

令和6年度市場検証(中間報告)

【電気通信事業分野における市場動向の分析】

令和7年5月9日
事務局

○ 電気通信事業分野における市場動向の分析

- ① 非電気通信サービスとの連携による「ポイント経済圏」構築・拡大による移動系通信市場への影響（重点的検証項目）
- ② 代替性の分析
 - ・ワイヤレス固定ブロードバンドサービスを含む、固定系ブロードバンドサービス間の代替性
 - ・携帯電話の通話といった従来の通信サービスとOTTサービス間の代替性
- ③ 移動系通信市場
- ④ 固定系通信市場
- ⑤ 法人向けサービス市場

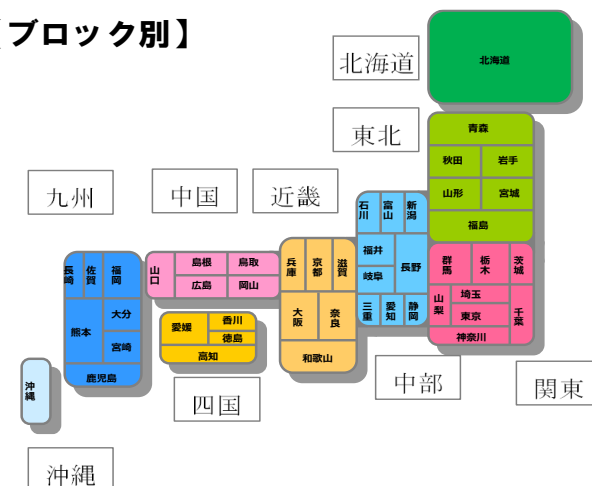
（参考資料）

- ・利用者アンケート（移動系・固定系）について
- ・法人等利用者アンケートについて
- ・事業者アンケートについて

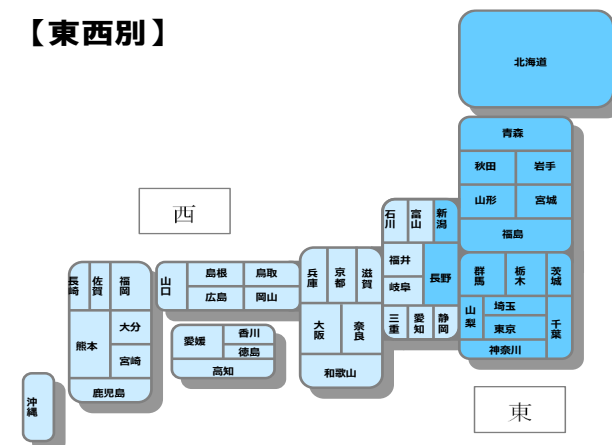
- 「電気通信事業分野における市場検証に関する基本方針」(令和5年8月31日)において定められている電気通信事業分野における検証対象市場(サービス範囲及び地理的範囲)は以下のとおり。

サービス範囲					地理的範囲
移動系通信	小売市場		移動系通信市場		全国
			携帯電話向け通信サービス市場		
			通信モジュール市場		
	卸売市場		移動系通信市場		全国
			携帯電話向け通信サービス市場		
			通信モジュール市場		
固定系通信	データ通信	小売市場	固定系ブロードバンド市場		ブロック別
			固定系超高速ブロードバンド市場		
			FTTH 市場		
		ISP 市場		全国	
	音声通信	卸売市場	FTTH 市場		ブロック別
		小売市場	固定電話市場		東西
			050-IP 電話市場		全国
法人向けサービス市場	ネットワークソリューション	移動系通信市場（法人向け）		用途ごとの横断的な市場	全国
		固定系通信市場（法人向け）			

【ブロック別】



【東西別】



固定通信市場

NTT 持株

移动通信市場

100%出資

100%出資

NTT東西

(光サービスシェア58.2%)
(回線シェア69.9%)

ドコモ光

ネットワークの貸出し

NTTドコモ

(シェア34.8%)

KDDI グループ

(シェア27.1%)

ネットワークの貸出し

MVNO (シェア15.8%)

ネットワークの貸出し

CATV※ (光サービスシェア8.3%)

※ 収益の50%超が通信事業

電力系事業者 (光サービスシェア8.1%)
(例: オプテージ)

KDDI グループ (光サービスシェア10.6%)

ソフトバンク光

楽天ひかり

ソフトバンク

(シェア19.4%)

楽天モバイル

(シェア2.8%)

競争事業者

注: 数値は令和6年3月末時点

注: 移动通信市場におけるシェアについて、MVNOへの提供に係るものを含めたMNO4グループのシェアは、以下のとおり。

NTTドコモ40.8%、KDDIグループ31.1%、ソフトバンク25.1%、楽天モバイル3.0%

※ 楽天モバイルのシェアは、MNOとしてのシェア。

※ MVNO (Mobile Virtual Network Operator):

電波の割当てを受けてサービスを提供する電気通信事業者から無線ネットワークを借りて、移动通信サービスを提供する電気通信事業者。

**① 非電気通信サービスとの連携による
「ポイント経済圏」構築・拡大による移動系通信市場への影響
（重点的検証項目）**

携帯電話サービスの利用者に対する各社の優遇状況とその影響

- 携帯電話各社はポイント経済圏との連携による無料化・割引およびポイント還元を実施。期間限定で実施される場合や、還元されるポイント等には有効期間や上限が設けられる場合もあり、還元規模に限度が設けられている。
- ポイント経済圏による解約率とARPUへの好影響は一部事業者で一定程度みられる。

MNO4者の「携帯電話サービス+ポイント経済圏サービス」利用時の一部還元内容（諸条件あり）

NTTドコモ			KDDI			ソフトバンク			楽天		
サービス名等		還元内容	サービス名等		還元内容	サービス名等		還元内容	サービス名等		還元内容
クレジット カード	dカード	ドコモ携帯利用料の最大20%ポイント還元	ECサイト	au PAY マーケット	お買い物の1.5%（上限150P/月）をポイント還元	ECサイト	Yahoo! ショッピング	PayPay払いで最大17%ポイント還元（上限5000P/月）	ECサイト	楽天市場	楽天ポイント+4倍（上限2000P/月） 楽天スーパーセール+9倍（上限3000P）
		187円割引			500ポイント/月まで、「Pontaポイント」を「Pontaポイント（au PAYマーケット限定）」に1.5倍で交換可能						楽天トラベル 楽天トラベルポイント2倍（上限10000P）
証券	マネックス証券	最大4.1%ポイント還元		決済	au PAY	決済	PayPay	PayPayクーポン利用で最大半額相当還元	その他	楽天マガジン	90日無料。 無料期間の後26%OFF （572円→422円/月）
電気	ドコモでんき Green	最大20%ポイント還元									楽天ミュージック 30日ごとに5時間利用無料
その他	爆アゲセレクション	10-25%ポイント還元（サービスごとに還元ポイント/月の上限あり）	クレジット カード	au PAYカード （ゴールド） auじぶん銀行 （住宅ローン）	キャンペーン日（月4日間）限定でau+4.5%（上限500P/月）、UQ+2.5%（上限300P/月）上乗せ	クレジット カード	PayPayカード	携帯料金の支払いでポイント還元 PayPayカード：最大1.5% PayPayカードゴールド：最大10%		エンタメサービス （動画視聴）	・NBAコンテンツ視聴無料（4,500円/月） ・バ・リーグTV視聴無料（702円～/月） ・hulu初月無料。無料期間の後、20%ポイント還元
	Amazonプライム	120ポイント還元 600円割引（最大3カ月）			au携帯利用料の9%を上乗せポイント還元			月額料金最大20%がポイント還元			
	ディズニープラス	990円割引（最大6カ月）			適用金利から年0.07%引き下げ	その他	LINE MUSIC	6カ月無料。無料期間の後、更に1年以上利用で年500ポイント			

ポイント経済圏による解約率とARPUへの影響

出所：第43回市場検証会議の各社提出資料を基に総務省作成

	NTTドコモ※1	KDDI （マネ活プラン）	ソフトバンク	楽天
解約率	相対的に低い傾向	約2割改善	※2	※3
ARPU	相対的に高い傾向	約1割増加	※2	※3

【補足】MNO4者が提供・連携する主要サービス一覧

サービス	NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク	楽天
ポイント	dポイント	Pontaポイント	PayPayポイント	楽天ポイント
ECサイト	dショッピング	au Payマーケット	Yahooショッピング	楽天市場
決済サービス	d払い	au Pay	PayPay	楽天ペイ/楽天Edy
クレジットカード	dカード	au PAYカード	PayPayカード	楽天カード
銀行口座	※4	auじぶん銀行	PayPay銀行	楽天銀行
証券口座	マネックス証券	※7	PayPay証券	楽天証券
生命保険	※5	auの生命ほけん	※8	楽天生命
電気	ドコモでんき	auでんき	おうちでんき	楽天でんき
ガス	ドコモ ガス※6	ガス for au	ソフトバンクガス	楽天ガス

出所：第43回市場検証会議の各社提出資料、各社ウェブサイトを基に総務省作成

- 出所：第43回市場検証会議の各社提出資料を基に総務省作成
- ※1：dポイントクラブの会員ランクが高く、d払いやdカードなど複数サービス利用者
 - ※2：ポイント経済圏による解約率とARPUへの影響に関する言及はないが、第43回市場検証会議の時点では特段の相関は見られない（ARPUや解約率には様々な要素が影響）
 - ※3：解約率とARPUに関する言及はないが、楽天モバイル利用者は楽天サービスの利用額が多い
 - ー 楽天市場：楽天モバイル契約者+47.9%
 - ー 楽天トラベル：楽天モバイル契約者+13.5%
 - ー 楽天カード：楽天モバイル契約者+26.8%
 - ※4：三菱UFJ銀行と協働でデジタル口座サービスの「dスマートバンク」を提供
 - ※5：保険サービスの比較サイト「ドコモスマート保険ナビ」を運営（ドコモ・インシュアランス）海外旅行保険、自転車保険など、保険会社を引受会社とした保険サービスを展開
 - ※6：2025年6月開始予定
 - ※7：KDDIはauカブコム証券（現三菱UFJ eスマート証券）の株式を共同出資していた三菱UFJフィナンシャル・グループへ売却（2025年2月）
 - ※8：生命保険以外では「ソフトバンクかんたん保険」、「PayPayほけん」を展開

- 利用者アンケートの結果を踏まえると、
 - ポイントサービスやECサイト等の各種サービスにおいては、メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するサービスの利用が多くなる傾向がうかがえる。
 - メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する他サービスを利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響をもたらしていることがうかがえる一方で、メインの携帯電話の利用継続に直ちに影響をもたらしていないことがうかがえる。
 - メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する他サービスを多く利用している者ほど、メインの携帯電話を契約したこと及び利用継続することに影響があると回答する者が多くなる傾向がうかがえる。
- また、MNO4者(NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク及び楽天モバイル)に対するヒアリングにおいて、ポイント還元を重視したプラン等でポイントを多く得ており、携帯電話事業者が提供又は連携するサービスを複数利用する者ほど「解約率低下」と「ARPU上昇」の傾向があるとの回答が一部事業者からあった(スライド5参照)。その一方で、同ヒアリングにおいて、各社の利用者は他の携帯電話事業者や非携帯電話事業者主導のポイントを複数利用できることが指摘されており、利用者アンケートにおいても同様の傾向が確認できた。
- ポイント経済圏を構築する各種サービスは複数事業者が提供するサービスを組み合わせて利用でき、排他的なサービスとはなっていない。総じて、現時点ではポイント経済圏によって携帯電話サービスの過度な囲い込みがなされているとまでは言えないが、引き続き状況を注視する。

- 利用しているすべてのポイントサービスについて確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するポイントサービスの利用が多くなる傾向があり、NTTドコモは「dポイント」、auは「Pontaポイント」、SoftBankは「PayPayポイント」、楽天モバイルは「楽天ポイント」がそれぞれ最多となった。
- 最も利用しているポイントサービスについて確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するポイントサービスの利用が多くなる傾向があるものの、au、ワイモバイル、UQ Mobile、OCNモバイルONEでは「楽天ポイント」が最多となった。

【利用しているすべてのポイントサービス】(複数回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	dポイント	79.7%	Pontaポイント	69.5%	PayPayポイント	73.1%	PayPayポイント	74.2%	楽天ポイント	72.6%	楽天ポイント	95.0%	楽天ポイント	87.7%	楽天ポイント	72.5%	楽天ポイント	71.1%
2位	楽天ポイント	66.5%	楽天ポイント	68.1%	楽天ポイント	62.1%	楽天ポイント	71.0%	Pontaポイント	63.2%	Vポイント	51.1%	PayPayポイント	49.1%	dポイント	65.8%	Vポイント	52.3%
3位	Vポイント	49.7%	Vポイント	51.9%	Vポイント	57.2%	Vポイント	56.1%	Vポイント	51.5%	PayPayポイント	48.2%	Vポイント	36.8%	Vポイント	57.5%	PayPayポイント	51.1%
4位	PayPayポイント	41.3%	PayPayポイント	42.0%	Pontaポイント	39.3%	Pontaポイント	41.5%	PayPayポイント	50.0%	Pontaポイント	40.0%	dポイント	29.8%	PayPayポイント	50.0%	dポイント	48.2%
5位	Pontaポイント	32.1%	WAONポイント	34.0%	WAONポイント	32.5%	WAONポイント	34.5%	WAONポイント	38.2%	dポイント	35.2%	WAONポイント	28.1%	Pontaポイント	41.7%	Pontaポイント	43.7%

【最も利用しているポイントサービス】(単一回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	dポイント	43.0%	楽天ポイント	37.2%	PayPayポイント	42.4%	楽天ポイント	35.8%	楽天ポイント	41.5%	楽天ポイント	79.9%	楽天ポイント	73.7%	楽天ポイント	43.3%	楽天ポイント	39.3%
2位	楽天ポイント	30.4%	Pontaポイント	25.3%	楽天ポイント	27.8%	PayPayポイント	35.6%	Pontaポイント	17.7%	PayPayポイント	6.7%	PayPayポイント	10.5%	dポイント	17.5%	dポイント	18.1%
3位	PayPayポイント	8.7%	PayPayポイント	12.4%	Vポイント	10.1%	Vポイント	8.2%	PayPayポイント	14.5%	Vポイント	4.3%	Vポイント	5.3%	PayPayポイント	15.0%	PayPayポイント	17.2%
4位	Vポイント	6.9%	Vポイント	8.5%	WAONポイント	4.9%	dポイント	5.6%	WAONポイント	7.7%	dポイント	3.4%	dポイント	3.5%	Vポイント	8.3%	Pontaポイント	7.5%
5位	WAONポイント	3.1%	WAONポイント	5.6%	dポイント	4.2%	WAONポイント	5.3%	dポイント	6.2%	WAONポイント	2.2%	WAONポイント	3.5%	Pontaポイント	5.8%	Vポイント	7.4%

- 利用しているすべてのポイントサービスについて、利用している理由を確認した。「携帯電話サービスの料金支払いで貯まる」との回答は「dポイント」で28.7%と最も高かった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携しているポイントサービスを利用している理由について確認した。「携帯電話サービスの料金支払いで貯まる」との回答は「dポイント」で34.4%と最も高かった。
- メインで利用している携帯電話サービスとポイントが関係している理由（「携帯電話サービスの料金支払いで貯まる」、「携帯電話回線契約・端末購入の際にポイント進呈がある」、「携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP」）によって利用している者も一定数いるが、ポイントの利用のしやすさ（「利用可能な（貯まる）店舗・サービスが多い」、「ポイントカード・アプリが使いやすい」）を重視する傾向が強いことがうかがえる。

(複数回答)

【利用しているすべてのポイントサービス】

		サービスの利用理由										
	該当数	携帯電話サービスの料金支払いで貯まる	利用可能な（貯まる）店舗・サービスが多い	ポイントの還元率が高い（複数サービスを含む）	ポイントキャンペーン（ポイント●倍）がある	ブランドイメージが良い	携帯電話回線契約・端末購入の際にポイント進呈がある	携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP	ポイントカード・アプリが使いやすい	他ポイント（マイル）への交換が可能	家族・知人等へのポイント送付が可能	その他
		2889	28.7	36.1	13.8	14.6	17.3	15.3	14.5	34.8	8.2	5.2
利用しているポイントサービス	dポイント	2889	28.7	36.1	13.8	14.6	17.3	15.3	14.5	34.8	8.2	5.2
	Pontaポイント(au WALLET ポイント)	2619	13.8	28.6	9.7	9.4	14.4	7.9	7.2	30.1	8.2	3.4
	PayPayポイント	3067	10.1	42.4	17.6	20.5	15.9	7.5	8.1	34.1	7.1	11.5
	楽天ポイント	4264	12.0	41.2	25.0	24.5	15.9	7.1	8.6	36.4	6.4	4.2
	Vポイント(Tポイント)	3139	3.3	32.3	9.6	9.4	15.5	2.5	3.0	27.0	11.2	3.2
	WAONポイント	2008	3.7	27.5	9.2	13.8	15.6	3.6	2.9	28.6	7.7	3.0
	その他	672	3.3	14.3	11.5	10.7	10.7	3.9	2.8	17.1	9.8	5.5

該当数を除き、単位：%

【メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携しているポイントサービス】

		サービスの利用理由										
	該当数	携帯電話サービスの料金支払いで貯まる	利用可能な（貯まる）店舗・サービスが多い	ポイントの還元率が高い（複数サービスを含む）	ポイントキャンペーン（ポイント●倍）がある	ブランドイメージが良い	携帯電話回線契約・端末購入の際にポイント進呈がある	携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP	ポイントカード・アプリが使いやすい	他ポイント（マイル）への交換が可能	家族・知人等へのポイント送付が可能	その他
		2173	34.4	28.6	12.7	12.4	15.8	17.1	16.2	27.7	6.4	5.0
利用しているポイントサービス	dポイント	2173	34.4	28.6	12.7	12.4	15.8	17.1	16.2	27.7	6.4	5.0
	Pontaポイント(au WALLET ポイント)	1392	19.5	20.3	8.3	7.8	10.5	10.2	9.3	21.0	4.7	2.5
	PayPayポイント	1353	13.7	32.3	16.2	17.0	11.8	9.8	10.1	27.8	5.5	9.0
	楽天ポイント	583	11.8	34.8	15.8	16.3	11.6	8.9	9.2	25.8	5.6	8.7
	Vポイント(Tポイント)	1353	2.2	18.6	5.5	5.0	8.5	1.9	1.6	16.7	6.9	1.9
	WAONポイント	42	7.1	21.4	9.5	11.9	2.4	7.1	2.4	16.7	7.1	38.1

該当数を除き、単位：%

- 利用しているすべてのECサイトについて確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するECサイトの利用が多くなる傾向がある。また、回答者全体では、「楽天市場」、「Amazon」の利用が多かった。
- 最も利用しているECサイトについて確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するECサイトの利用が多くなる傾向がある。また、回答者全体では、「楽天市場」、「Amazon」の利用が多かった。

【利用しているすべてのECサイト】(複数回答)

	NTTドコモ(n=2,053)		au(n=924)		ソフトバンク(n=733)		ワイモバイル(n=620)		UQ Mobile(n=468)		楽天モバイル(MNO)(n=583)		楽天モバイル(MVNO)(n=57)		OCNモバイルONE(n=120)		全体(n=6,000)	
1位	Amazon	66.7%	Amazon	66.7%	Amazon	65.1%	Amazon	65.5%	楽天市場	73.1%	楽天市場	90.4%	楽天市場	80.7%	Amazon	75.8%	楽天市場	69.0%
2位	楽天市場	66.4%	楽天市場	65.2%	楽天市場	58.3%	楽天市場	65.2%	Amazon	69.7%	Amazon	70.0%	Amazon	57.9%	楽天市場	68.3%	Amazon	67.5%
3位	Yahoo!ショッピング	32.9%	Yahoo!ショッピング	32.1%	Yahoo!ショッピング	56.5%	Yahoo!ショッピング	61.8%	Yahoo!ショッピング	37.6%	Yahoo!ショッピング	37.4%	Yahoo!ショッピング	28.1%	Yahoo!ショッピング	46.7%	Yahoo!ショッピング	40.7%
4位	dショッピング	12.2%	au PAY マーケット	22.6%	dショッピング	4.0%	dショッピング	3.1%	au PAY マーケット	15.6%	au PAY マーケット	3.8%	dショッピング	5.3%	dショッピング	9.2%	au PAY マーケット	7.4%
5位	au PAY マーケット	3.3%	dショッピング	3.8%	au PAY マーケット	3.7%	au PAY マーケット	2.1%	dショッピング	3.8%	dショッピング	3.4%	au PAY マーケット	3.5%	au PAY マーケット	5.8%	dショッピング	6.7%

【最も利用しているECサイト】(単一回答)

	NTTドコモ(n=2,053)		au(n=924)		ソフトバンク(n=733)		ワイモバイル(n=620)		UQ Mobile(n=468)		楽天モバイル(MNO)(n=583)		楽天モバイル(MVNO)(n=57)		OCNモバイルONE(n=120)		全体(n=6,000)	
1位	Amazon	40.3%	Amazon	40.4%	Amazon	35.7%	楽天市場	31.0%	楽天市場	41.5%	楽天市場	65.2%	楽天市場	59.6%	Amazon	47.5%	楽天市場	38.3%
2位	楽天市場	38.2%	楽天市場	36.3%	Yahoo!ショッピング	26.7%	Amazon	30.8%	Amazon	36.8%	Amazon	26.2%	Amazon	31.6%	楽天市場	33.3%	Amazon	37.2%
3位	Yahoo!ショッピング	8.2%	au PAY マーケット	5.7%	楽天市場	23.9%	Yahoo!ショッピング	27.6%	Yahoo!ショッピング	9.4%	Yahoo!ショッピング	3.6%	dショッピング	3.5%	Yahoo!ショッピング	11.7%	Yahoo!ショッピング	11.9%
4位	dショッピング	2.0%	Yahoo!ショッピング	5.1%	au PAY マーケット	1.8%	au PAY マーケット	0.6%	au PAY マーケット	2.8%	au PAY マーケット	0.7%	Yahoo!ショッピング	3.5%	dショッピング	3.3%	au PAY マーケット	1.8%
5位	au PAY マーケット	0.9%	dショッピング	1.5%	dショッピング	1.4%	dショッピング	0.0%	dショッピング	0.9%	dショッピング	0.5%	au PAY マーケット	0.0%	au PAY マーケット	0.8%	dショッピング	1.4%

- 利用しているすべてのECサイトについて、利用している理由を確認した。「携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP」との回答は「dショッピング」で22.3%と最も高かった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携しているECサイトを利用している理由について確認した。「携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP」との回答は「dショッピング」で27.2%、「楽天市場」で25.0%であった。

(複数回答)

【利用しているすべてのECサイト】

		サービスの利用理由										
利用しているECサイト	該当数	携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP	利用しているポイントが貯まる(使える)	料金・価格が安い	ブランドイメージが良い	送料が安い／無料	商品のラインアップ	配送が早い	セール・キャンペーン(倍)があるや	決済方法	サイトが使いやすい	その他
Amazon	4048	4.1	17.0	38.7	13.3	39.0	36.9	39.1	16.4	18.8	30.3	6.5
dショッピング	400	22.3	31.5	11.8	14.3	13.8	18.5	10.5	22.8	23.5	19.3	13.0
au PAY マーケット	444	17.8	33.1	18.2	14.0	20.5	17.6	10.1	24.1	19.4	22.3	10.8
Yahoo! ショッピング	2442	7.1	30.3	27.1	12.7	18.2	29.0	12.7	26.3	20.9	28.3	10.2
楽天市場	4140	8.1	37.1	28.3	13.1	23.7	33.0	15.4	30.3	18.4	31.5	6.1
その他	577	3.3	16.5	28.1	12.3	27.0	33.1	18.9	14.4	14.4	25.5	22.7

該当数を除き、単位：%

【メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携しているECサイト】

		サービスの利用理由										
利用しているECサイト	該当数	携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP	利用しているポイントが貯まる(使える)	料金・価格が安い	ブランドイメージが良い	送料が安い／無料	商品のラインアップ	配送が早い	セール・キャンペーン(倍)があるや	決済方法	サイトが使いやすい	その他
Amazon	1460	6.2	19.6	35.6	14.1	36.8	37.2	39.1	16.4	21.6	32.0	7.6
dショッピング	261	27.2	34.1	12.3	14.2	11.9	18.0	10.3	23.0	27.6	18.4	12.6
au PAY マーケット	282	19.9	37.6	20.2	13.5	21.6	18.1	11.7	23.8	23.0	22.7	10.6
Yahoo! ショッピング	797	13.2	34.9	30.9	12.7	20.2	26.2	13.9	30.4	23.3	30.2	7.2
楽天市場	527	25.0	49.3	33.2	11.0	28.5	30.9	13.7	36.2	18.6	31.3	4.2

該当数を除き、単位：%

- 利用しているすべての決済サービスについて確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する決済サービスの利用が多くなる傾向があり、NTTドコモは「d払い」、auは「au Pay」、SoftBankは「PayPay」、楽天モバイルは「楽天ペイ」がそれぞれ最多となった。
- 最も利用している決済サービスについて確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する決済サービスの利用が多くなる傾向があり、NTTドコモは「d払い」、SoftBankは「PayPay」、楽天モバイルは「楽天ペイ」がそれぞれ最多となった。

【利用しているすべての決済サービス】(複数回答)

	NTTドコモ(n=2,053)		au(n=924)		ソフトバンク(n=733)		ワイモバイル(n=620)		UQ Mobile(n=468)		楽天モバイル(MNO)(n=583)		楽天モバイル(MVNO)(n=57)		OCNモバイルONE(n=120)		全体(n=6,000)	
1位	d払い	47.7%	au Pay	41.5%	PayPay	69.4%	PayPay	73.4%	PayPay	48.1%	楽天ペイ	56.4%	楽天ペイ	47.4%	PayPay	47.5%	PayPay	48.3%
2位	PayPay	38.7%	PayPay	37.9%	楽天ペイ	20.9%	楽天ペイ	25.6%	au Pay	33.1%	PayPay	45.1%	PayPay	47.4%	楽天ペイ	30.8%	楽天ペイ	27.0%
3位	楽天ペイ	21.7%	楽天ペイ	21.9%	WAON	19.1%	WAON	18.7%	楽天ペイ	28.2%	WAON	19.9%	WAON	21.1%	d払い	25.0%	d払い	23.4%
4位	交通系非接触決済	18.9%	WAON	17.3%	交通系非接触決済	18.3%	交通系非接触決済	16.8%	WAON	21.8%	交通系非接触決済	19.2%	交通系非接触決済	12.3%	WAON	24.2%	WAON	18.7%
5位	WAON	17.6%	交通系非接触決済	17.1%	nanaco	13.6%	nanaco	12.9%	交通系非接触決済	16.2%	楽天Edy	16.3%	楽天Edy	12.3%	交通系非接触決済	19.2%	交通系非接触決済	17.8%

【最も利用している決済サービス】(単一回答)

	NTTドコモ(n=2,053)		au(n=924)		ソフトバンク(n=733)		ワイモバイル(n=620)		UQ Mobile(n=468)		楽天モバイル(MNO)(n=583)		楽天モバイル(MVNO)(n=57)		OCNモバイルONE(n=120)		全体(n=6,000)	
1位	d払い	30.7%	PayPay	21.9%	PayPay	55.5%	PayPay	55.8%	PayPay	28.2%	楽天ペイ	40.8%	楽天ペイ	33.3%	PayPay	26.7%	PayPay	29.0%
2位	PayPay	18.2%	au Pay	21.8%	楽天ペイ	7.0%	楽天ペイ	11.3%	楽天ペイ	14.1%	PayPay	18.9%	PayPay	22.8%	楽天ペイ	20.0%	楽天ペイ	13.9%
3位	楽天ペイ	9.3%	楽天ペイ	9.6%	WAON	5.7%	WAON	5.3%	au Pay	12.6%	WAON	4.3%	WAON	12.3%	d払い	10.0%	d払い	12.1%
4位	交通系非接触決済	5.3%	WAON	5.3%	交通系非接触決済	4.9%	楽天Edy	3.1%	WAON	9.2%	楽天Edy	3.9%	交通系非接触決済	5.3%	交通系非接触決済	7.5%	WAON	5.5%
5位	WAON	4.8%	楽天Edy	4.9%	nanaco	3.0%	QUICPay	2.9%	QUICPay	4.1%	交通系非接触決済	3.8%	iD	5.3%	nanaco	5.8%	au Pay	5.1%

- 利用しているすべての決済サービスについて、利用している理由を確認した。「携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP」との回答は、「d払い」で17.7%、「au Pay」で14.5%であった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している決済サービスを利用している理由について確認した。「携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP」との回答は、「d払い」で21.6%、「楽天ペイ」で21.0%、「au Pay」で19.0%であった。

(複数回答)

【利用しているすべての決済サービス】

		サービスの利用理由													
		該当数	携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP	携帯電話サービスの支払いでポイントがある	利用しているポイントが貯まる(使える)	ブランドイメージが良い	利用可能な店舗・サービスが多い	ポイントの還元率が高い(複数サービス含む)	ポイントキャンペーン(ポイント還元)●倍期間がある	アプリ・サービスが使いやすい	家族・知人等への支払いが可能	家計管理が容易	その他		
利用している決済サービス	該当数を除き、単位: %														
	交通系非接触決済	1068	4.0	5.3	16.6	14.2	27.6	7.0	5.6	27.1	3.1	6.6	24.3		
	iD	500	10.2	10.4	21.2	17.4	30.8	11.2	12.0	24.0	5.8	7.6	14.0		
	QUICPay	314	5.4	8.3	16.6	13.4	29.3	9.2	10.2	23.6	7.0	9.6	15.0		
	nanaco	789	3.5	5.6	26.2	16.5	20.5	7.6	10.3	19.9	3.3	6.1	21.2		
	楽天Edy	681	7.2	7.5	33.2	15.3	28.3	13.5	15.1	23.6	6.3	6.9	13.2		
	WAON	1123	3.1	5.0	33.2	17.4	25.6	10.7	14.7	19.1	3.2	6.2	16.5		
	その他非接触決済	10	10.0	20.0	60.0	30.0	50.0	30.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0		
	PayPay	2899	6.4	8.3	31.0	15.5	44.3	17.3	23.7	31.2	12.3	6.0	8.8		
	au Pay	786	14.5	19.1	33.3	14.2	26.0	11.3	18.8	28.6	4.1	4.6	12.5		
	LINE Pay	279	3.6	7.2	29.4	14.7	17.6	11.8	12.9	24.7	11.5	5.0	18.6		
	楽天ペイ	1619	9.6	10.9	41.4	13.8	30.9	27.7	26.5	29.5	5.1	5.9	6.9		
	メルペイ	398	5.0	5.3	26.6	14.1	20.1	9.5	11.8	29.6	6.5	7.0	19.8		
	d払い	1405	17.7	23.7	39.1	16.0	34.2	16.9	19.4	28.3	5.0	6.8	9.2		
その他QRコード決済	67	1.5	3.0	35.8	7.5	19.4	7.5	13.4	34.3	0.0	6.0	28.4			

【メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している決済サービス】

		サービスの利用理由													
		該当数	携帯電話サービスの契約でポイント還元率UP	携帯電話サービスの支払いでポイントがある	利用しているポイントが貯まる（使える）	ブランドイメージが良い	利用可能な店舗・サービスが多い	ポイントの還元率が高い（複数サービスを含む）	ポイントキャンペーン（ポイント還元）●倍期間）がある	アプリ・サービスが使いやすい	家族・知人等への支払いが可能	家計管理が容易	その他		
利用している決済サービス	楽天Edy	95	10.5	5.3	26.3	15.8	27.4	11.6	12.6	21.1	5.3	7.4	13.7		
	WAON	42	54.8	7.1	16.7	7.1	11.9	2.4	2.4	9.5	54.8	2.4	16.7		
	PayPay	964	10.8	14.1	34.4	16.4	43.5	22.1	25.3	32.6	10.6	5.4	8.5		
	au Pay	538	19.0	22.9	35.9	13.4	26.2	12.6	18.0	28.3	3.5	4.8	11.2		
	LINE Pay	71	5.6	2.8	29.6	21.1	12.7	12.7	11.3	31.0	12.7	5.6	18.3		
	楽天ペイ	329	21.0	26.1	48.3	14.6	32.8	34.3	33.4	32.2	5.8	6.7	6.1		
	d払い	1009	21.6	29.5	40.0	16.2	33.6	18.3	19.3	27.1	5.2	6.6	8.2		

- 利用しているすべてのクレジットカードについて確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するクレジットカードの利用が多くなる傾向がある。また、回答者全体では、「楽天カード」の利用が最多となった。
- 最も利用しているクレジットカードについて確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するクレジットカードの利用が多くなる傾向がある。また、回答者全体では、「楽天カード」の利用が最多となった。

【利用しているすべてのクレジットカード】(複数回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	楽天カード	45.2%	楽天カード	44.3%	楽天カード	39.7%	楽天カード	46.9%	楽天カード	50.9%	楽天カード	80.3%	楽天カード	71.9%	楽天カード	49.2%	楽天カード	49.8%
2位	dカード	39.9%	au Payカード	27.6%	PayPayカード	37.4%	PayPayカード	35.3%	イオンカード	25.2%	イオンカード	23.2%	PayPayカード	22.8%	三井住友カード	21.7%	PayPayカード	21.7%
3位	イオンカード	20.0%	イオンカード	19.0%	イオンカード	17.5%	イオンカード	22.6%	au Payカード	24.8%	PayPayカード	22.5%	イオンカード	17.5%	イオンカード	20.8%	イオンカード	21.1%
4位	PayPayカード	15.4%	PayPayカード	15.4%	三井住友カード	14.7%	三井住友カード	15.6%	PayPayカード	21.2%	三井住友カード	15.3%	Amazonカード	12.3%	dカード	19.2%	dカード	17.0%
5位	三井住友カード	14.2%	三井住友カード	14.3%	エポスカード	8.5%	エポスカード	9.7%	三井住友カード	15.2%	エポスカード	9.9%	三菱UFJカード	8.8%	PayPayカード	19.2%	三井住友カード	14.8%

【最も利用しているクレジットカード】(単一回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	楽天カード	28.1%	楽天カード	29.5%	楽天カード	22.2%	楽天カード	30.0%	楽天カード	37.2%	楽天カード	67.1%	楽天カード	63.2%	楽天カード	35.0%	楽天カード	33.5%
2位	dカード	23.0%	au Payカード	13.6%	PayPayカード	21.1%	PayPayカード	16.3%	au Payカード	9.8%	三井住友カード	4.8%	イオンカード	7.0%	三井住友カード	10.8%	dカード	9.0%
3位	三井住友カード	6.5%	三井住友カード	7.5%	三井住友カード	8.0%	イオンカード	8.1%	三井住友カード	7.5%	イオンカード	3.4%	三菱UFJカード	5.3%	dカード	9.2%	PayPayカード	7.7%
4位	イオンカード	5.0%	イオンカード	5.7%	イオンカード	6.7%	三井住友カード	7.7%	PayPayカード	6.0%	PayPayカード	3.1%	PayPayカード	3.5%	イオンカード	9.2%	三井住友カード	7.0%
5位	PayPayカード	3.3%	PayPayカード	5.2%	エポスカード	4.1%	エポスカード	3.7%	イオンカード	6.0%	エポスカード	2.2%	Amazonカード	3.5%	PayPayカード	5.0%	イオンカード	6.1%

- 利用しているすべてのクレジットカードについて、利用している理由を確認した。「携帯電話サービスの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は「dカード」で34.8%、「au Payカード」で25.9%であった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携しているクレジットカードを利用している理由について確認した。「携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は「dカード」では38.8%、「au Payカード」で30.5%であった。

(複数回答)

【利用しているすべてのクレジットカード】

		サービスの利用理由												
		該 当 数	携 帯 電 話 サ ー ビ ス と の 連 携 で ポ イ ン ト が も ら え る (還 元 率 UP)	銀 行 口 座 と の 連 携 で ポ イ ン ト が も ら え る (還 元 率 UP)	証 券 会 社 と の 連 携 で ポ イ ン ト が も ら え る (還 元 率 UP)	決 済 サ ー ビ ス と の 連 携 で ポ イ ン ト が も ら え る (還 元 率 UP)	年 会 費 が 安 い ／ 無 料	ブ ラ ン ド イ メ ー ジ が 良 い	利 用 可 能 な 店 舗 ・ サ ー ビ ス が 多 い	付 加 価 値 サ ー ビ ス (保 険 ・ ラ ウ ン ジ ・ そ の 他 優 待)	貯 ま る ポ イ ン ト の 種 類 ・ 使 い や す さ	利 用 特 典 ・ キ ャ ン ペ ー ン ・ ポ イ ン ト 還 元 (割 引 ・ UP)	そ の 他	
該当数を除き、単位: %		該 当 数												
利用しているクレジットカード	dカード	1018	34.8	5.3	5.1	19.7	33.6	16.9	25.7	7.1	31.8	20.8	6.3	
	au Payカード	510	25.9	11.4	8.8	16.9	48.4	13.7	19.4	6.3	28.4	15.7	6.7	
	PayPayカード	1304	11.5	6.6	4.2	18.6	58.7	12.7	24.5	4.8	27.2	19.7	7.9	
	楽天カード	2986	8.5	10.0	8.5	16.7	63.6	12.7	25.8	4.0	40.2	22.1	5.1	
	イオンカード	1264	3.5	5.2	2.0	8.9	67.8	12.3	21.0	7.1	21.6	16.4	8.8	
	三菱UFJカード	315	6.3	9.8	7.9	8.6	35.9	20.6	26.7	8.6	14.6	12.7	18.1	
	三井住友カード	890	4.2	12.9	8.5	10.8	44.6	26.0	26.7	8.7	20.6	14.6	11.8	
	エポスカード	499	2.8	4.2	3.6	6.2	59.9	13.4	16.6	10.6	16.0	12.0	10.0	
	Amazonカード	436	6.0	5.5	7.1	15.1	51.4	18.1	17.4	5.3	20.4	20.0	9.4	
	その他	1322	1.7	3.2	1.7	7.2	47.7	14.4	21.3	7.6	22.7	12.9	22.5	

【メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携しているクレジットカード】

		サービスの利用理由											
		該 当 数	携 帯 電 話 サ ー ビ ス と の 連 携 で ポ イ ン ト が も ら え る （ 還 元 率 UP ）	銀 行 口 座 と の 連 携 で ポ イ ン ト が も ら え る （ 還 元 率 UP ）	証 券 会 社 と の 連 携 で ポ イ ン ト が も ら え る （ 還 元 率 UP ）	決 済 サ ー ビ ス と の 連 携 で ポ イ ン ト が も ら え る （ 還 元 率 UP ）	年 会 費 が 安 い ／ 無 料	ブ ラ ン ド イ メ ー ジ が 良 い	利 用 可 能 な 店 舗 ・ サ ー ビ ス が 多 い	付 加 価 値 サ ー ビ ス （ 保 険 ・ ラ ウ ン ジ ・ そ の 他 優 待 ）	貯 ま る ポ イ ン ト の 種 類 ・ 使 い や す さ す	利 用 特 典 ・ キ ャ ン ペ ー ン （ 割 引 ・ 還 元 UP ）	そ の 他
該当数を除き、単位：%													
ト カ ー ド	dカード	842	38.8	5.1	5.0	21.3	31.2	16.9	25.3	7.1	33.5	21.1	6.3
	au Payカード	371	30.5	10.8	8.1	18.1	47.7	12.9	22.1	6.2	28.8	15.9	6.7
	PayPayカード	493	20.1	7.3	4.3	19.5	53.8	12.0	23.7	4.3	32.0	19.5	7.9
	楽天カード	468	24.1	14.7	9.6	21.4	72.4	10.9	26.1	3.8	45.5	28.6	1.9
	イオンカード	24	20.8	8.3	4.2	12.5	79.2	75.0	16.7	8.3	20.8	29.2	4.2

- 利用しているすべての銀行口座について確認した。携帯電話事業者が提供又は連携するサービスでは「楽天銀行」の利用が多い結果となった。また、回答者全体では、「ゆうちょ銀行」、「地方銀行」の利用が多い結果となった。
- 最も利用している銀行口座について確認した。携帯電話事業者が提供又は連携するサービスでは「楽天銀行」の利用が多い結果となった。また、回答者全体では、「地方銀行」、「ゆうちょ銀行」の利用が多い結果となった。

【利用しているすべての銀行口座】(複数回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	ゆうちょ銀行	57.8%	ゆうちょ銀行	57.3%	ゆうちょ銀行	52.0%	ゆうちょ銀行	59.0%	ゆうちょ銀行	56.0%	楽天銀行	56.6%	楽天銀行	47.4%	ゆうちょ銀行	55.8%	ゆうちょ銀行	56.6%
2位	地方銀行	39.2%	地方銀行	37.0%	地方銀行	33.0%	地方銀行	36.5%	地方銀行	36.5%	ゆうちょ銀行	54.5%	ゆうちょ銀行	45.6%	地方銀行	35.0%	地方銀行	37.1%
3位	楽天銀行	27.6%	楽天銀行	28.1%	三菱UFJ銀行	27.0%	楽天銀行	28.1%	楽天銀行	29.1%	地方銀行	39.1%	地方銀行	33.3%	三井住友銀行	30.0%	楽天銀行	30.8%
4位	三菱UFJ銀行	24.0%	三菱UFJ銀行	24.8%	楽天銀行	24.6%	三菱UFJ銀行	22.3%	三菱UFJ銀行	25.6%	三菱UFJ銀行	21.4%	三菱UFJ銀行	21.1%	楽天銀行	29.2%	三菱UFJ銀行	24.6%
5位	三井住友銀行	18.9%	三井住友銀行	19.7%	三井住友銀行	18.8%	三井住友銀行	17.3%	三井住友銀行	18.6%	三井住友銀行	18.0%	PayPay銀行	21.1%	三菱UFJ銀行	24.2%	三井住友銀行	19.3%

【最も利用している銀行口座】(単一回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	地方銀行	24.1%	地方銀行	22.7%	ゆうちょ銀行	19.9%	地方銀行	23.9%	ゆうちょ銀行	21.6%	楽天銀行	31.7%	ゆうちょ銀行	22.8%	地方銀行	21.7%	地方銀行	21.9%
2位	ゆうちょ銀行	19.5%	ゆうちょ銀行	20.9%	地方銀行	19.1%	ゆうちょ銀行	20.8%	地方銀行	21.4%	ゆうちょ銀行	18.9%	地方銀行	17.5%	ゆうちょ銀行	17.5%	ゆうちょ銀行	20.0%
3位	三菱UFJ銀行	12.3%	三菱UFJ銀行	13.2%	三菱UFJ銀行	16.4%	三菱UFJ銀行	11.0%	三菱UFJ銀行	12.2%	地方銀行	17.2%	楽天銀行	17.5%	三菱UFJ銀行	11.7%	三菱UFJ銀行	12.3%
4位	三井住友銀行	8.3%	楽天銀行	8.8%	三井住友銀行	9.5%	楽天銀行	9.5%	楽天銀行	11.8%	三菱UFJ銀行	7.2%	三菱UFJ銀行	12.3%	三井住友銀行	10.8%	楽天銀行	11.2%
5位	みずほ銀行	7.9%	三井住友銀行	8.5%	楽天銀行	6.5%	三井住友銀行	8.4%	三井住友銀行	7.7%	三井住友銀行	5.7%	三井住友銀行	7.0%	楽天銀行	10.8%	三井住友銀行	8.4%

- 利用しているすべての銀行口座について、利用している理由を確認した。「携帯電話サービスの契約・引き落とし口座設定でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は、「auじぶん銀行」で9.3%、「楽天銀行」で6.7%、「PayPay銀行」で5.8%であった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している銀行口座を利用している理由について確認した。「携帯電話サービスの契約・引き落とし口座設定でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は、「楽天銀行」で13.3%、「auじぶん銀行」で13.2%、「PayPay銀行」で8.7%であった。

(複数回答)

【利用しているすべての銀行口座】

		サービスの利用理由											
利用している銀行口座	該当数	携帯電話サービスの契約・引き落とし口座設定でポイントがもらえる(還元率UP)	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	証券会社との連携でポイントがもらえる(還元率UP)	決済サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	口座開設キャンペーン・特典(口座開設時にポイント付与、ポイント還元率UP等)	手数料が安い／無料	利息がいい	ブランドイメージが良い	店舗へのアクセスが良い	利用可能なATMが多い	インターネット・アプリ利用ができる	その他
		該当数	2.1	2.2	1.8	2.2	19.6	3.0	13.6	38.6	38.9	14.4	19.0
ゆうちょ銀行	3396	2.1	2.2	1.8	2.2	2.2	19.6	3.0	13.6	38.6	38.9	14.4	19.0
三菱UFJ銀行	1476	3.3	4.2	3.1	4.1	3.5	12.7	4.3	19.4	24.2	31.7	22.3	22.6
三井住友銀行	1156	3.8	11.0	5.9	5.2	5.7	11.9	4.5	22.8	21.6	25.5	25.3	23.0
みずほ銀行	924	2.6	3.9	3.4	4.5	4.3	12.4	3.7	16.5	21.1	25.0	19.5	28.9
地方銀行	2225	2.5	3.5	1.8	2.2	2.1	11.9	2.1	10.7	41.3	32.4	15.5	23.5
auじぶん銀行	388	9.3	17.0	11.1	10.6	10.8	30.7	21.9	13.9	8.0	16.5	36.3	14.7
PayPay銀行	740	5.8	11.4	6.9	10.5	12.3	24.5	9.1	13.1	7.0	21.8	41.1	18.9
楽天銀行	1848	6.7	20.1	13.0	12.0	11.5	30.7	18.4	10.4	5.2	17.7	42.7	13.4
その他	1313	2.1	4.3	4.6	3.0	4.3	25.3	11.3	8.4	23.8	23.0	22.5	28.8

【メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している銀行口座】

		サービスの利用理由											
利用している銀行口座	該当数	携帯電話サービスの契約・引き落とし口座設定でポイントがもらえる(還元率UP)	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	証券会社との連携でポイントがもらえる(還元率UP)	決済サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	口座開設キャンペーン・特典(口座開設時にポイント付与、ポイント還元率UP等)	手数料が安い／無料	利息がいい	ブランドイメージが良い	店舗へのアクセスが良い	利用可能なATMが多い	インターネット・アプリ利用ができる	その他
		該当数	2.1	2.2	1.8	2.2	19.6	3.0	13.6	38.6	38.9	14.4	19.0
三菱UFJ銀行	22	100.0	22.7	22.7	27.3	18.2	27.3	13.6	27.3	40.9	45.5	36.4	4.5
auじぶん銀行	205	13.2	21.0	13.7	12.7	12.2	31.2	21.5	14.1	8.3	19.0	38.5	14.6
PayPay銀行	195	8.7	12.3	9.2	13.3	10.8	21.5	9.7	13.8	6.2	19.5	41.0	18.5
楽天銀行	330	13.3	26.4	16.1	14.5	13.3	37.9	24.8	8.5	3.9	18.2	40.9	12.4

- 利用しているすべての証券口座について確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する証券口座の利用が多くなる傾向がある。また、回答者全体では「楽天証券」の利用が最も多い結果となった。
- 最も利用している証券口座について確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する証券口座の利用が多くなる傾向がある。また、回答者全体では「楽天証券」の利用が最も多い結果となった。

【利用しているすべての証券口座】(複数回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	楽天証券	15.3%	楽天証券	13.1%	楽天証券	13.9%	楽天証券	18.9%	楽天証券	20.5%	楽天証券	34.0%	楽天証券	28.1%	SBI証券	28.3%	楽天証券	18.0%
2位	SBI証券	13.5%	SBI証券	10.6%	SBI証券	13.8%	SBI証券	13.4%	SBI証券	13.2%	SBI証券	17.7%	SBI証券	12.3%	楽天証券	20.8%	SBI証券	14.1%
3位	野村証券	7.2%	野村証券	7.0%	野村証券	6.4%	野村証券	6.6%	野村証券	7.9%	マネックス証券	6.3%	野村証券	12.3%	野村証券	9.2%	野村証券	7.0%
4位	マネックス証券	4.4%	au カブコム証券	6.4%	PayPay証券	5.0%	マネックス証券	4.2%	au カブコム証券	7.5%	野村証券	6.2%	マネックス証券	8.8%	マネックス証券	8.3%	マネックス証券	4.7%
5位	au カブコム証券	3.5%	マネックス証券	4.0%	マネックス証券	4.4%	PayPay証券	3.2%	マネックス証券	4.9%	au カブコム証券	5.0%	au カブコム証券	5.3%	au カブコム証券	8.3%	au カブコム証券	4.4%

【最も利用している証券口座】(単一回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	楽天証券	11.5%	楽天証券	10.0%	SBI証券	11.5%	楽天証券	15.5%	楽天証券	16.0%	楽天証券	27.3%	楽天証券	19.3%	SBI証券	25.8%	楽天証券	13.8%
2位	SBI証券	10.5%	SBI証券	6.9%	楽天証券	10.2%	SBI証券	9.0%	SBI証券	10.0%	SBI証券	12.2%	野村証券	10.5%	楽天証券	10.8%	SBI証券	10.5%
3位	野村証券	4.3%	野村証券	4.9%	PayPay証券	3.0%	野村証券	3.1%	野村証券	4.7%	野村証券	2.6%	SBI証券	8.8%	マネックス証券	2.5%	野村証券	4.0%
4位	マネックス証券	2.0%	au カブコム証券	4.2%	野村証券	2.9%	PayPay証券	2.3%	au カブコム証券	3.6%	マネックス証券	1.4%	PayPay証券	5.3%	au カブコム証券	2.5%	au カブコム証券	2.0%
5位	PayPay証券	1.8%	PayPay証券	1.6%	マネックス証券	1.9%	マネックス証券	1.9%	マネックス証券	1.5%	au カブコム証券	1.4%	au カブコム証券	1.8%	PayPay証券	2.5%	PayPay証券	1.9%

- 利用しているすべての証券口座について、利用している理由を確認した。「携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は「auカブコム証券」で15.3%、「PayPay証券」で15.1%であった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している証券口座を利用している理由について確認した。「携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は、「auカブコム証券」が23.4%であった。

(複数回答)

【利用しているすべての証券口座】

		サービスの利用理由										
		該当数	携帯電話サービスの連携でポイントがもらえる（還元率ＵＰ）	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる（還元率ＵＰ）	銀行口座との連携でポイントがもらえる（還元率ＵＰ）	設時にポイント付与、ポイント還元（口座開設キャンペーン・特典（口座開設時にポイント付与、ポイント還元等））	支払いにポイントが使える（貯まる）	手数料が安い／無料	取り扱い品目がいい	ブランドイメージが良い	サイト・アプリが使いやすい	その他
該当数を除き、単位：％												
利用している証券口座	SBI証券	845	5.2	12.8	10.2	14.0	16.0	55.0	21.5	20.2	20.5	9.9
	マネックス証券	282	8.2	15.2	7.4	13.5	17.4	35.8	15.6	15.6	23.4	17.0
	au カブコム証券	261	15.3	19.2	13.4	17.2	20.7	33.3	13.8	16.5	18.0	13.8
	PayPay証券	186	15.1	17.2	17.7	22.0	23.7	27.4	19.9	21.0	24.2	9.7
	楽天証券	1080	9.4	22.6	20.2	18.6	23.0	44.2	13.5	13.8	23.6	9.1
	野村証券	419	5.0	5.7	5.7	6.9	6.4	6.2	17.9	32.0	9.8	36.3
	その他	445	1.8	3.8	3.4	5.6	6.5	20.4	13.0	18.2	11.9	45.4

【メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している証券口座】

	その他	サービスの利用理由											
		該当数	携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる（還元率UP）	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる（還元率UP）	銀行口座との連携でポイントがもらえる（還元率UP）	U等	口座開設時にポイント付与・特典（口座開設時にポイント還元率UP）	支払いにポイントが使える（貯まる）	手数料が安い／無料	取り扱い品目がいい	ブランドイメージが良い	サイト・アプリが使いやすい	その他
5	9.9												
4	17.0												
0	13.8												
2	9.7												
6	9.1												
8	36.3												
9	45.4												
該当数を除き、単位：%													
い	マネックス証券	100	13.0	22.0	6.0	19.0	25.0	35.0	14.0	18.0	25.0	13.0	
る用	au カブコム証券	94	23.4	26.6	17.0	17.0	22.3	34.0	13.8	21.3	14.9	9.6	
座証し	PayPay証券	57	12.3	12.3	12.3	14.0	19.3	26.3	19.3	22.8	22.8	12.3	
券て	楽天証券	198	12.6	29.8	27.8	14.6	25.8	48.5	14.6	10.6	20.2	8.6	

- 利用しているすべての保険について確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する保険の利用が多くなる傾向はみられない。また、回答者全体では「アフラック」、「県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)」、「日本生命」の利用が多い結果となった。
- 最も利用している保険について確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する保険の利用が多くなる傾向はみられない。また、回答者全体では「日本生命」、「県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)」、「アフラック」の利用が多い結果となった。

【利用しているすべての保険】(複数回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル(MNO) (n=583)		楽天モバイル(MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	アフラック	15.1%	アフラック	12.8%	アフラック	13.8%	アフラック	13.7%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	14.5%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	14.9%	アフラック	19.3%	日本生命	19.2%	アフラック	13.8%
2位	日本生命	12.5%	日本生命	12.0%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	10.5%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	11.6%	アフラック	12.4%	アフラック	11.0%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	7.0%	アフラック	16.7%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	11.7%
3位	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	11.2%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	10.2%	日本生命	10.2%	日本生命	10.5%	日本生命	9.0%	日本生命	9.4%	日本生命	7.0%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	15.0%	日本生命	11.1%
4位	かんぽ生命	8.5%	かんぽ生命	9.5%	かんぽ生命	10.0%	かんぽ生命	8.2%	かんぽ生命	7.1%	かんぽ生命	6.2%	かんぽ生命	5.3%	かんぽ生命	11.7%	かんぽ生命	8.4%
5位	こくみん共済coop(全労済)	6.2%	こくみん共済coop(全労済)	6.3%	こくみん共済coop(全労済)	5.7%	こくみん共済coop(全労済)	6.6%	こくみん共済coop(全労済)	6.8%	こくみん共済coop(全労済)	6.2%	こくみん共済coop(全労済)	5.3%	楽天生命	5.0%	こくみん共済coop(全労済)	6.2%

【最も利用している保険】(単一回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル(MNO) (n=583)		楽天モバイル(MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	日本生命	10.3%	日本生命	10.3%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	8.3%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	8.5%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	11.3%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	11.5%	アフラック	12.3%	日本生命	12.5%	日本生命	8.9%
2位	アフラック	8.8%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	6.9%	アフラック	7.8%	アフラック	8.2%	アフラック	7.7%	日本生命	7.5%	日本生命	7.0%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	10.0%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	8.6%
3位	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	8.0%	アフラック	6.8%	日本生命	7.6%	日本生命	7.6%	日本生命	6.6%	アフラック	7.0%	県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	3.5%	アフラック	10.0%	アフラック	8.1%
4位	かんぽ生命	5.6%	かんぽ生命	6.3%	かんぽ生命	6.3%	かんぽ生命	4.8%	こくみん共済coop(全労済)	5.1%	かんぽ生命	4.1%	かんぽ生命	3.5%	かんぽ生命	8.3%	かんぽ生命	5.4%
5位	こくみん共済coop(全労済)	4.2%	こくみん共済coop(全労済)	4.4%	こくみん共済coop(全労済)	4.5%	こくみん共済coop(全労済)	4.2%	かんぽ生命	3.8%	こくみん共済coop(全労済)	3.4%	こくみん共済coop(全労済)	3.5%	楽天生命	3.3%	こくみん共済coop(全労済)	4.1%

- 利用しているすべての保険について、利用している理由を確認した。「携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は、「楽天生命」が15.8%、「auの生命ほけん」が14.5%、「はなさく生命」が11.1%であった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している保険を利用している理由について確認した。「携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は一定数みられた。

(複数回答)

【利用しているすべての保険】

		サービスの利用理由										
利用している保険サービス	該当数	携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	銀行口座との連携でポイントがもらえる(貯ま)	支払いにポイントが使える(貯ま)	掛け金が安い	保険内容が良い	ブランドイメージが良い	プランがわかりやすい	窓口へのアクセス	キャンペーン・特典	その他
		該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数
県民共済(都民共済・道民共済・府民共済)	700	3.7	2.1	4.4	3.4	62.4	23.0	11.1	19.7	5.7	4.1	10.9
アフラック	828	4.7	4.1	3.4	3.9	19.2	32.4	20.9	19.4	4.7	5.1	25.5
かんぽ生命	506	4.2	4.2	3.8	4.5	13.6	27.3	14.8	16.8	23.9	4.9	22.9
こくみん共済coop(全労済)	372	3.5	6.2	5.4	2.7	50.5	25.3	12.6	15.9	6.7	5.9	16.4
日本生命	665	4.8	6.6	5.9	4.7	8.1	30.5	24.7	15.5	8.3	9.9	26.9
はなさく生命	99	11.1	11.1	9.1	13.1	20.2	31.3	15.2	14.1	14.1	13.1	10.1
auの生命ほけん(定期、医療(レディース専用含む)、がん、生活、認知症)	76	14.5	11.8	11.8	19.7	17.1	23.7	21.1	14.5	15.8	25.0	6.6
楽天生命	133	15.8	18.0	12.8	24.1	31.6	24.1	15.8	18.8	12.0	18.8	6.0
その他	1929	1.3	2.6	1.9	2.9	18.8	30.5	9.8	11.3	4.8	3.3	41.3

該当数を除き、単位：%

【メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している保険】

		サービスの利用理由										
利用している保険サービス	該当数	携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	銀行口座との連携でポイントがもらえる(貯ま)	支払いにポイントが使える(貯ま)	掛け金が安い	保険内容が良い	ブランドイメージが良い	プランがわかりやすい	窓口へのアクセス	キャンペーン・特典	その他
		該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数	該当数
はなさく生命	35	14.3	14.3	11.4	20.0	20.0	25.7	14.3	20.0	8.6	22.9	8.6
auの生命ほけん(定期、医療(レディース専用含む)、がん、生活、認知症)	28	14.3	10.7	0.0	25.0	21.4	28.6	21.4	10.7	7.1	25.0	0.0
楽天生命	23	13.0	17.4	8.7	21.7	34.8	21.7	21.7	13.0	0.0	8.7	4.3

該当数を除き、単位：%

- 利用している電気について確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する電気の利用が多くなる傾向がある。また、回答者全体では、「電力会社が提供するサービス」の利用が最も多い結果となった。

(単一回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	56.8%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	50.1%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	48.2%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	47.4%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	43.2%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	52.7%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	63.2%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	62.5%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	52.3%
2位	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	9.6%	auでんき	19.4%	ソフトバンクでんき	14.6%	ソフトバンクでんき	12.9%	auでんき	20.3%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	11.1%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	7.0%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	5.8%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	9.5%
3位	ドコモでんき	5.3%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	7.4%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	9.0%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	11.5%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	8.8%	楽天でんき	8.7%	楽天でんき	7.0%	ドコモでんき	2.5%	auでんき	5.5%
4位	楽天でんき	1.7%	楽天でんき	1.5%	楽天でんき	1.2%	楽天でんき	1.6%	ドコモでんき	1.9%	auでんき	2.2%	ソフトバンクでんき	1.8%	auでんき	1.7%	ソフトバンクでんき	3.8%
5位	auでんき	0.9%	ドコモでんき	0.8%	auでんき	1.0%	auでんき	1.1%	ソフトバンクでんき	1.5%	ソフトバンクでんき	1.2%	auでんき	0.0%	ソフトバンクでんき	1.7%	ドコモでんき	2.3%

- 利用している電気について、利用している理由を確認した。「携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は、「auでんき」で37.7%、「ソフトバンクでんき」で32.7%であった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している電気の利用理由について確認した。「携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は、「auでんき」で42.3%、「ソフトバンクでんき」で36.9%、「ドコモでんき」で32.4%であった。

(複数回答)

【利用している電気】

		サービスの利用理由											
		該当数	携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる（還元率UP）	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる（還元率UP）	銀行口座との連携でポイントがもらえる（還元率UP）	固定インターネットサービスとの連携	ガスとまとめることで割引がある	支払いにポイントが使える（貯まる）	電気代が安い	ブランドイメージが良い	プランが分かりやすい	環境に良い	その他
該当数を除き、単位：％													
利用している電気	電力会社が提供するサービス（東京電力、関西電力、等）	3140	2.2	4.9	2.9	3.3	5.9	5.0	11.9	22.9	14.9	3.7	43.0
	ガス会社が提供するサービス（東京ガス、大阪ガス、等）	568	4.8	7.9	5.1	5.6	48.6	10.7	23.6	13.4	11.4	4.2	14.6
	ドコモでんき	138	28.3	28.3	13.0	20.3	9.4	20.3	8.7	13.8	14.5	11.6	5.8
	auでんき	329	37.7	17.9	7.0	15.2	10.9	22.8	16.1	10.3	12.8	4.0	13.7
	ソフトバンクでんき	226	32.7	15.9	6.6	16.8	5.3	11.1	23.0	11.1	7.5	2.7	11.9
	楽天でんき	132	15.2	32.6	11.4	11.4	13.6	29.5	24.2	6.8	15.9	8.3	4.5
	その他	593	2.9	5.2	2.5	6.1	8.6	7.4	33.4	6.1	7.9	4.2	38.6

該当数を除き、単位：%

【メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携している電気】

		サービスの利用理由													
サービスが 良い	かなり やすい	環境に 良い	その他		携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	銀行口座との連携でポイントがもらえる(還元率UP)	固定インターネットサービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	ガスとまとめることで割引がある	支払いにポイントが使える(貯まる)	電気代が安い	ブランドイメージが良い	プランが分かりやすい	環境に良い	その他
22.9	14.9	3.7	43.0												
13.4	11.4	4.2	14.6												
13.8	14.5	11.6	5.8												
10.3	12.8	4.0	13.7												
11.1	7.5	2.7	11.9												
6.8	15.9	8.3	4.5												
6.1	7.9	4.2	38.6												
該当数を除き、単位：%				該当数											
さいり ー用 ー電 ス気	ドコモでんき	111	32.4	27.9	13.5	23.4	9.9	25.2	8.1	11.7	15.3	11.7	6.3		
	auでんき	274	42.3	19.0	6.6	17.2	11.3	22.6	15.0	10.6	13.5	4.0	10.9		
	ソフトバンクでんき	187	36.9	15.5	6.4	17.6	5.3	10.7	20.9	11.2	7.0	1.6	13.9		
	楽天でんき	51	21.6	37.3	13.7	9.8	7.8	35.3	31.4	7.8	11.8	5.9	3.9		

該当数を除き、単位：%

- 利用しているガスについて確認した。メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するガスの利用が多くなる傾向がある。また、回答者全体では、「ガス会社が提供するサービス」の利用が最も多い結果となった。

(単一回答)

	NTTドコモ (n=2,053)		au (n=924)		ソフトバンク (n=733)		ワイモバイル (n=620)		UQ Mobile (n=468)		楽天モバイル (MNO) (n=583)		楽天モバイル (MVNO) (n=57)		OCNモバイルONE (n=120)		全体 (n=6,000)	
1位	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	42.0%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	41.5%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	42.4%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	41.6%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	36.1%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	40.3%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	43.9%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	37.5%	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	41.2%
2位	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	13.1%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	12.0%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	15.6%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	14.5%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	15.2%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	13.4%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	21.1%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	15.8%	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	13.5%
3位	楽天ガス	1.0%	ガス for au	3.8%	ソフトバンクガス	1.4%	楽天ガス	1.0%	ガス for au	4.3%	楽天ガス	4.1%	楽天ガス	1.8%	楽天ガス	2.5%	ガス for au	1.4%
4位	ガス for au	0.6%	楽天ガス	1.9%	ガス for au	0.7%	ソフトバンクガス	0.8%	ソフトバンクガス	0.4%	ガス for au	0.5%	ガス for au	0.0%	ガス for au	1.7%	楽天ガス	1.4%
5位	ソフトバンクガス	0.0%	ソフトバンクガス	0.2%	楽天ガス	0.7%	ガス for au	0.3%	楽天ガス	0.4%	ソフトバンクガス	0.2%	ソフトバンクガス	0.0%	ソフトバンクガス	0.0%	ソフトバンクガス	0.3%

- 利用しているガスについて、利用している理由を確認した。「携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は「ガス for au」で32.1%であった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携しているガスの利用理由について確認した。「携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)」との回答は「ガス for au」で41.8%であった。

(複数回答)

【利用しているガス】

		サービスの利用理由											
		該当数	携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	銀行口座との連携でポイントがもらえる(還元率UP)	固定インターネットサービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	電気とまとめることで割引がある	支払いにポイントが使えるから	ガス代が安い	ブランドイメージが良い	ブランドが分かりやすい	環境に良い	その他
該当数を除き、単位：%													
ガ ス 利 用 サ ー ビ ス	ガス会社が提供するサービス(東京ガス、大阪ガス、等)	2473	2.8	4.9	2.9	3.3	12.3	4.2	15.1	20.9	11.4	3.5	40.7
	電力会社が提供するサービス(東京電力、関西電力、等)	812	7.0	10.7	6.2	8.9	24.3	8.7	15.8	16.6	13.8	5.8	19.3
	ガス for au	81	32.1	9.9	9.9	17.3	27.2	16.0	13.6	14.8	13.6	11.1	8.6
	ソフトバンクガス	20	20.0	5.0	20.0	15.0	25.0	15.0	20.0	10.0	20.0	5.0	0.0
	楽天ガス	82	15.9	30.5	13.4	12.2	15.9	22.0	23.2	11.0	14.6	13.4	4.9
	その他	894	1.3	2.6	0.9	2.0	6.0	2.2	14.3	3.9	4.5	2.0	69.5

該当数を除き、単位：%

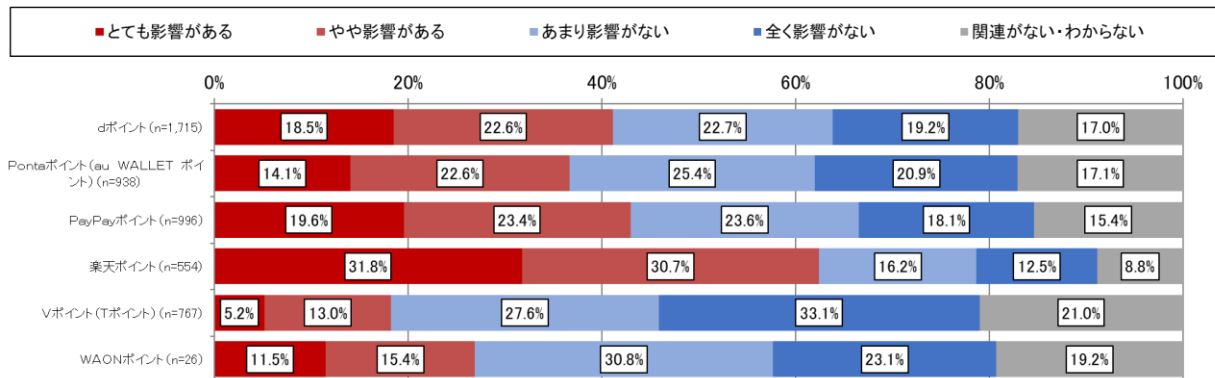
【メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携しているガス】

					サービスの利用理由											
ガス代が安い	ブランドイメージが良い	ブランドが分かりやすい	環境に良い	その他	該当数	携帯電話サービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	クレジットカードとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	銀行口座との連携でポイントがもらえる(還元率UP)	固定インターネットサービスとの連携でポイントがもらえる(還元率UP)	電気とまとめることで割引がある	支払いにポイントが使えるから	ガス代が安い	ブランドイメージが良い	ブランドが分かりやすい	環境に良い	その他
15.1	20.9	11.4	3.5	40.7												
15.8	16.6	13.8	5.8	19.3												
13.6	14.8	13.6	11.1	8.6												
20.0	10.0	20.0	5.0	0.0												
23.2	11.0	14.6	13.4	4.9												
14.3	3.9	4.5	2.0	69.5												
該当数を除き 単位: %																
サービス	ガス	利用している	ガス for au	55	41.8	7.3	10.9	16.4	34.5	12.7	16.4	10.9	12.7	9.1	12.7	
		ソフトバンクガス	15	20.0	6.7	26.7	6.7	33.3	13.3	26.7	6.7	26.7	6.7	0.0		
		楽天ガス	24	20.8	37.5	8.3	20.8	25.0	29.2	25.0	12.5	12.5	8.3	4.2		

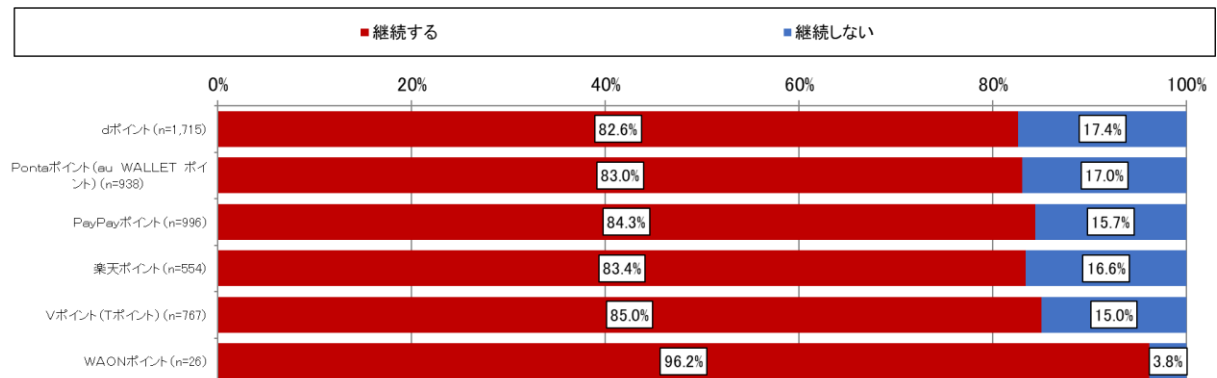
該当数を除き、単位：%

- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するポイントサービスを利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスの契約に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は、「dポイント」、「Pontaポイント」、「PayPayポイント」で4割前後であり、「楽天ポイント」で6割を超えており、ポイントサービスが携帯電話サービスの契約に影響をもたらしていることがうかがえる。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するポイントサービスが仮に利用できなくなった場合に、メインの携帯電話の利用を継続するかについて確認した。携帯電話サービスを「継続しない」との回答はいずれのポイントサービスにおいても2割弱にとどまっており、ポイントサービスが携帯電話サービスの利用継続に直ちに影響をもたらしていないことがうかがえる。

【携帯電話サービスの契約に対する影響】

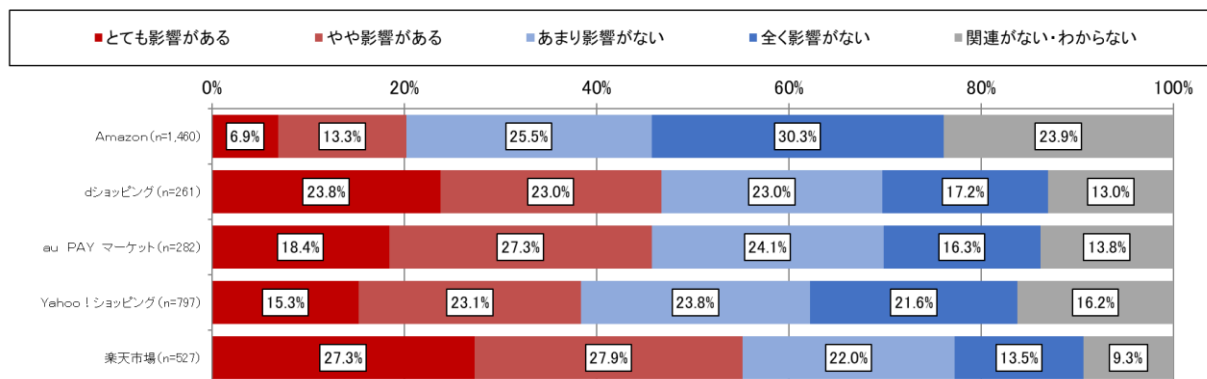


【携帯電話サービスの利用継続に対する影響】

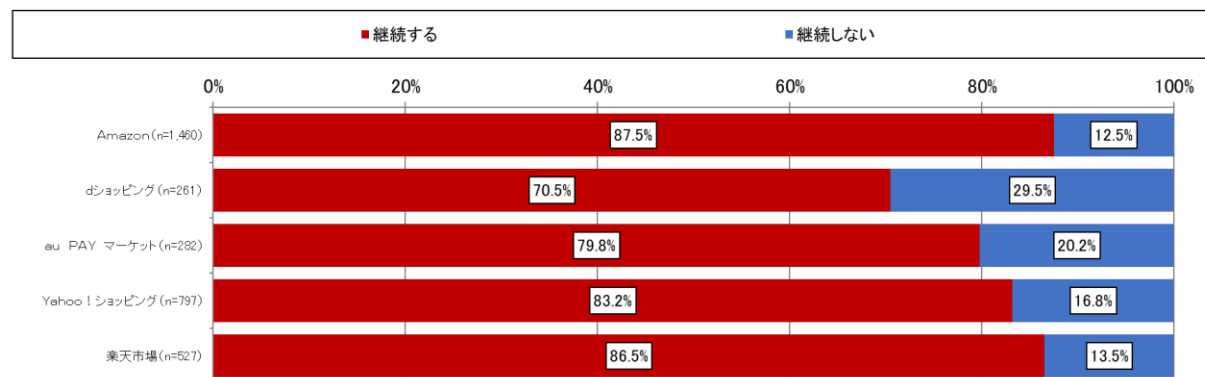


- 利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するECサイトを利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスの契約に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は、「dショッピング」、「au Payマーケット」、「Yahoo!ショッピング」で4割前後であり、「楽天市場」で5割を超えており、ECサイトが携帯電話サービスの契約に影響をもたらしていることがうかがえる。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するECサイトが仮に利用できなくなった場合に、利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインの携帯電話の利用を継続するかについて確認した。携帯電話サービスを「継続しない」との回答は、いずれのECサイトにおいても1～3割にとどまっており、ECサイトが携帯電話サービスの利用継続に直ちに影響をもたらしていないことがうかがえる。

【携帯電話サービスの契約に対する影響】

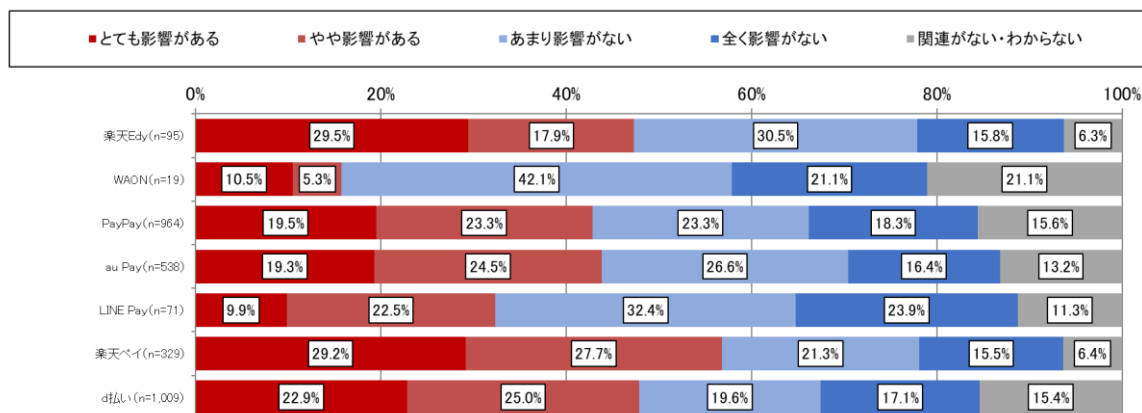


【携帯電話サービスの利用継続に対する影響】

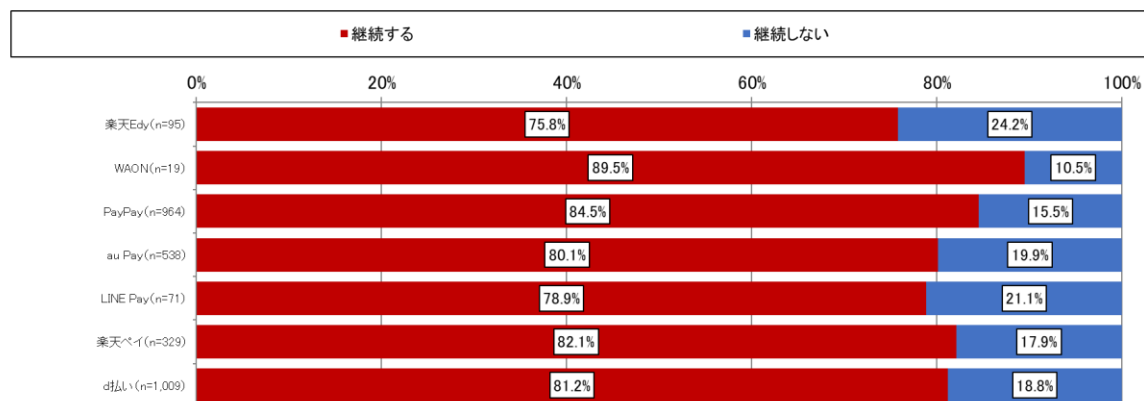


- 利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する決済サービスを利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスの契約に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は、「d払い」、「au Pay」、「PayPay」で4割を超え、「楽天ペイ」で5割を超えており、決済サービスが携帯電話サービスの契約に影響をもたらしていることがうかがえる。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する決済サービスが仮に利用できなくなった場合に、利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインの携帯電話の利用を継続するかについて確認した。携帯電話サービスを「継続しない」との回答は、いずれの決済サービスにおいても2割前後にとどまっており、決済サービスが携帯電話サービスの利用継続に直ちに影響をもたらしていないことがうかがえる。

【携帯電話サービスの契約に対する影響】

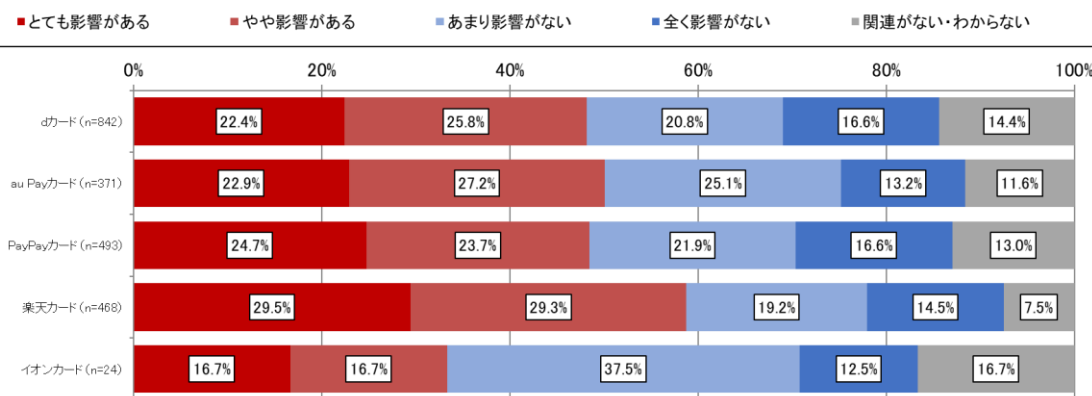


【携帯電話サービスの利用継続に対する影響】

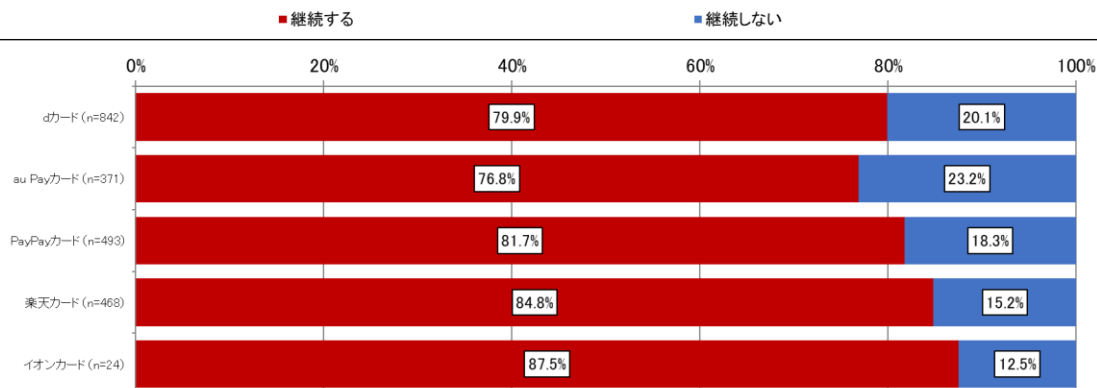


- 利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するクレジットカードを利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスの契約に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は、「dカード」、「au Payカード」、「PayPayカード」で5割前後であり、「楽天カード」で6割弱であり、決済サービスが携帯電話サービスの契約に影響をもたらしていることがうかがえる。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するクレジットカードが仮に利用できなくなった場合に、利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインの携帯電話の利用を継続するかについて確認した。携帯電話サービスを「継続しない」との回答は、いずれのクレジットカードにおいても2割前後にとどまっており、クレジットカードが携帯電話サービスの利用継続に直ちに影響をもたらしていないことがうかがえる。

【携帯電話サービスの契約に対する影響】

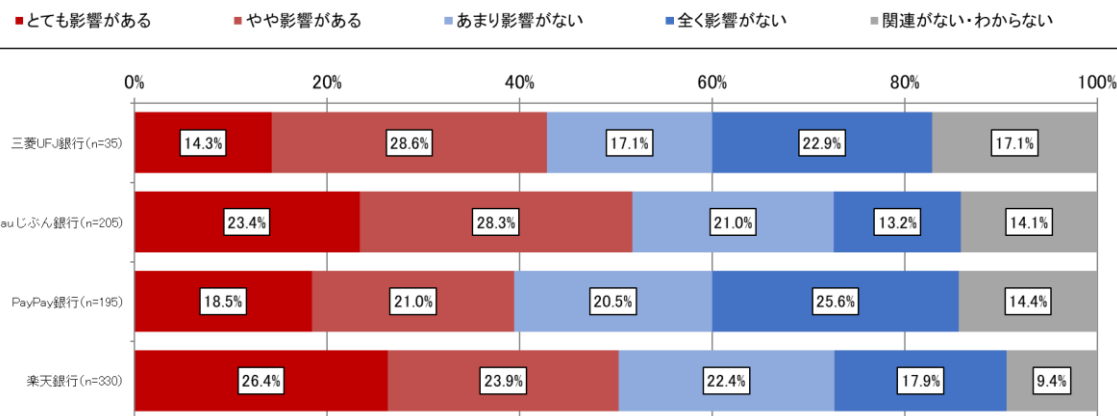


【携帯電話サービスの利用継続に対する影響】

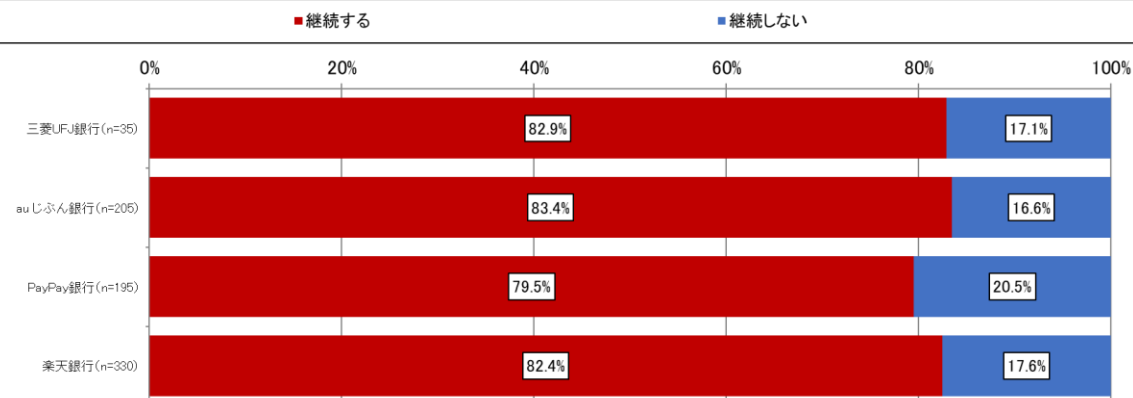


- 利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する銀行口座を利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスの契約に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は、「PayPay銀行」で4割弱であり、「au じぶん銀行」、「楽天銀行」で5割を超えており、銀行口座が携帯電話サービスの契約に影響をもたらしていることがうかがえる。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する銀行口座が仮に利用できなくなった場合に、利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインの携帯電話の利用を継続するかについて確認した。携帯電話サービスを「継続しない」との回答は、いずれの銀行口座においても2割前後にとどまっており、銀行口座が携帯電話サービスの利用継続に直ちに影響をもたらしていないことがうかがえる。

【携帯電話サービスの契約に対する影響】

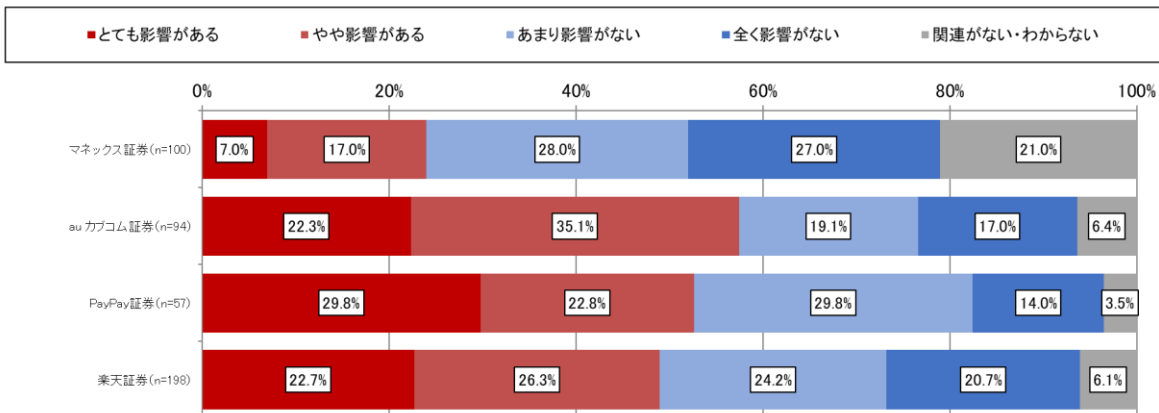


【携帯電話サービスの利用継続に対する影響】

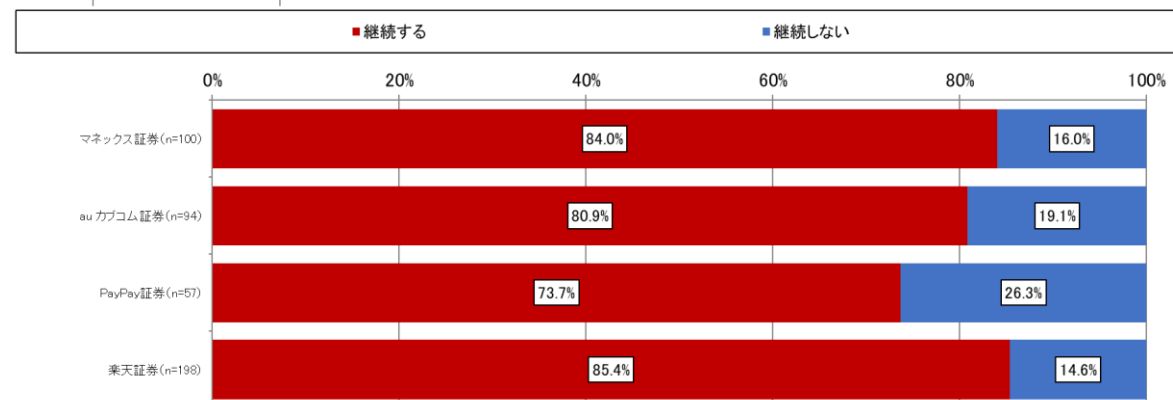


- 利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する証券口座を利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスの契約に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は、「au カブコム証券」、「PayPay証券」、「楽天証券」で5割前後であり、証券口座が携帯電話サービスの契約に影響をもたらしていることがうかがえる。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する証券口座が仮に利用できなくなった場合に、利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインの携帯電話の利用を継続するかについて確認した。携帯電話サービスを「継続しない」との回答は、いずれの証券口座においても2割前後となっており、証券口座が携帯電話サービスの利用継続に直ちに影響をもたらしていないことがうかがえる。

【携帯電話サービスの契約に対する影響】

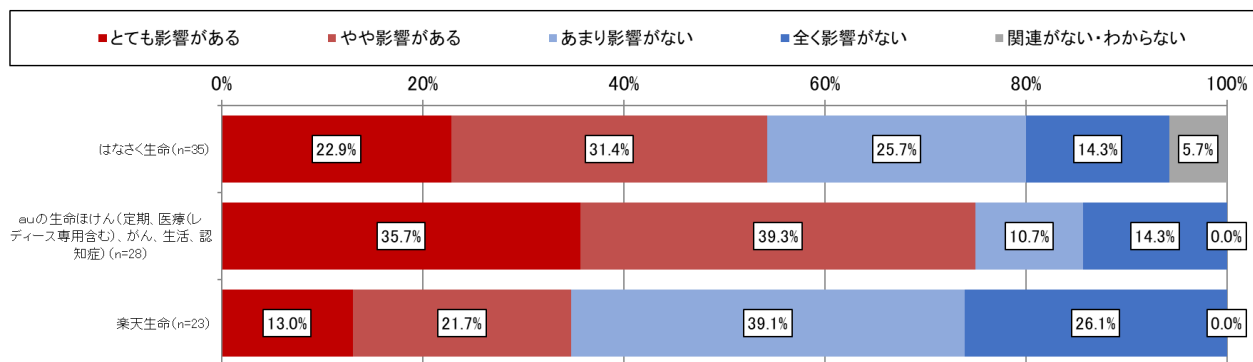


【携帯電話サービスの利用継続に対する影響】

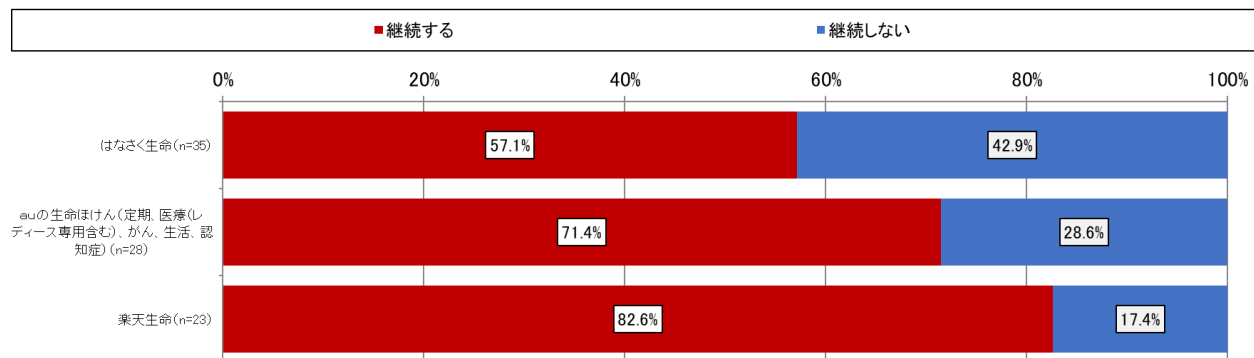


- 利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する保険を利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスの契約に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は、「はなさく生命」で54.3%、「auの生命ほけん」で75.0%であり、証券口座が携帯電話サービスの契約に影響をもたらしていることがうかがえる。(各サービスの回答者数が少ないため参考)
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する保険が仮に利用できなくなった場合に、利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインの携帯電話の利用を継続するかについて確認した。携帯電話サービスを「継続しない」との回答は、「はなさく生命」で42.9%、「auの生命ほけん」で28.6%、楽天生命で17.4%であった。(各サービスの回答者数が少ないため参考)

【携帯電話サービスの契約に対する影響】

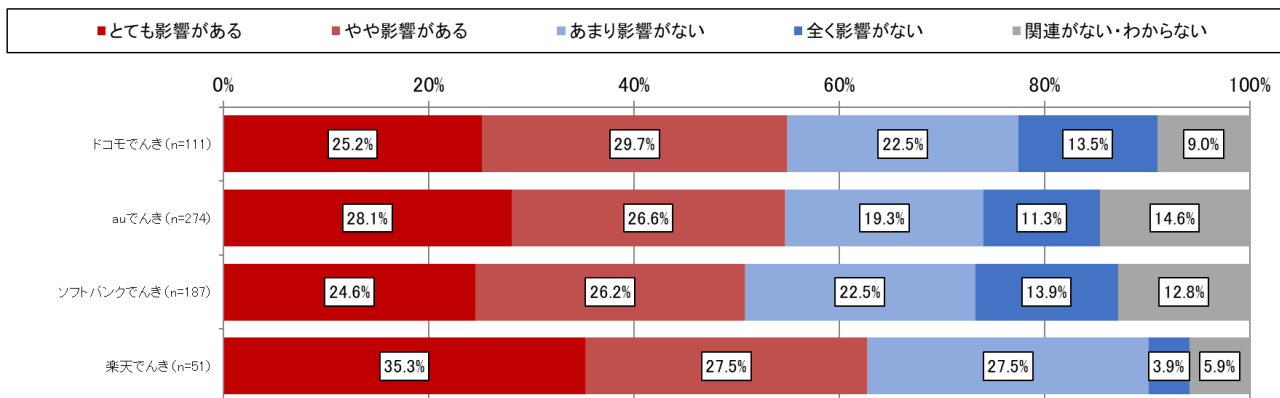


【携帯電話サービスの利用継続に対する影響】

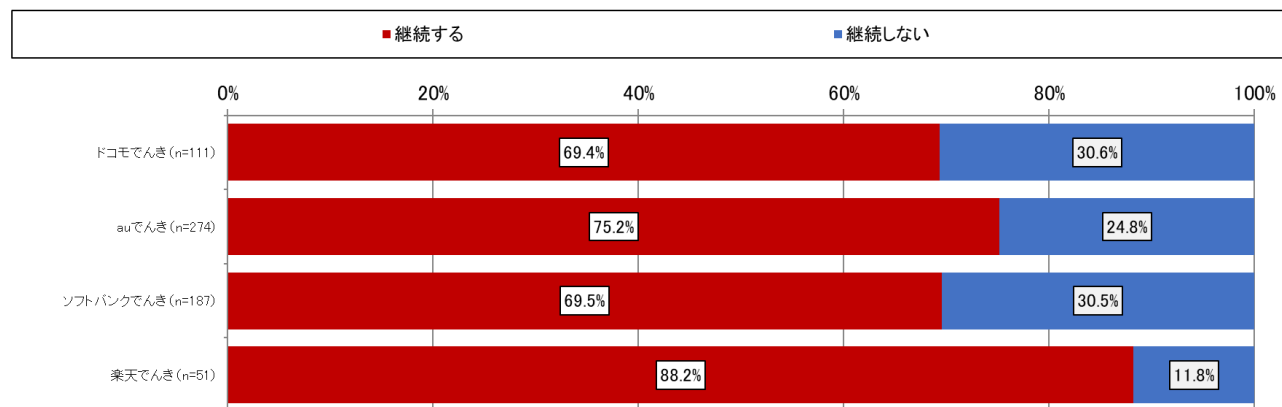


- 利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する電気を利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスの契約に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は、「ドコモでんき」、「auでんき」、「ソフトバンクでんき」で5割を超え、「楽天でんき」で6割を超えており、電気が携帯電話サービスの契約に影響をもたらしていることがうかがえる。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携する電気が仮に利用できなくなった場合に、利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインの携帯電話の利用を継続するかについて確認した。携帯電話サービスを「継続しない」との回答は、いずれの電気においても1～3割にとどまり、電気が携帯電話サービスの利用継続に直ちに影響をもたらしていないことがうかがえる。

【携帯電話サービスの契約に対する影響】

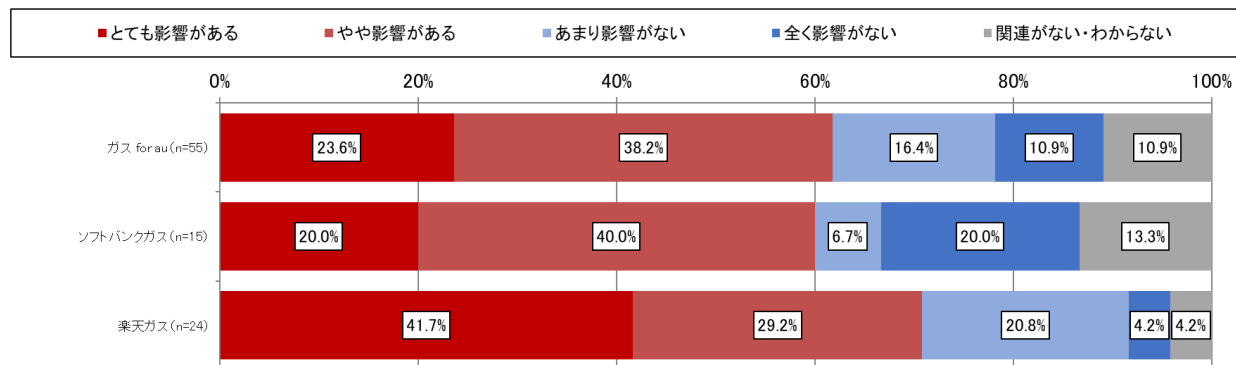


【携帯電話サービスの利用継続に対する影響】

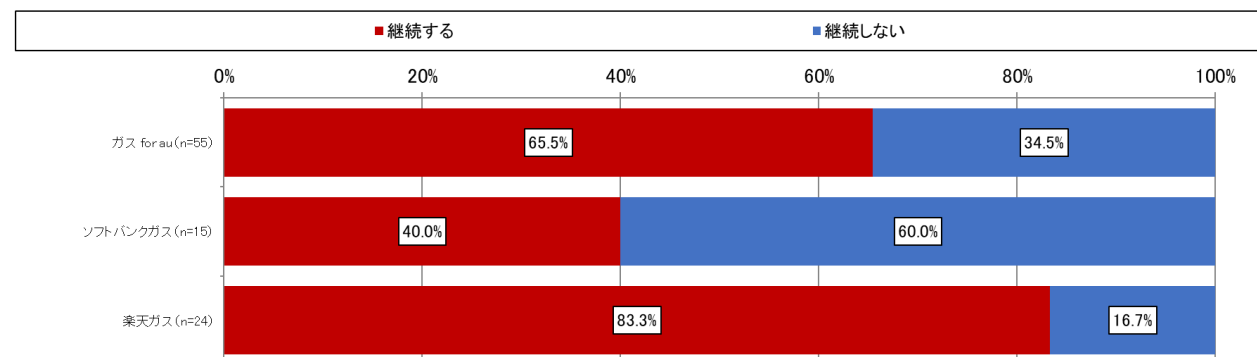


- 利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するガスを利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスの契約に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は、「ガス for au」、「ソフトバンクガス」で6割を超え、「楽天ガス」で7割を超えており、ガスが携帯電話サービスの契約に影響をもたらしていることがうかがえる。(各サービスは回答者数が少ないため参考)
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するガスが仮に利用できなくなった場合に、利用しているポイントの還元等も踏まえ、メインの携帯電話の利用を継続するかについて確認した。携帯電話サービスを「継続しない」との回答は、「ソフトバンクガス」で60.0%であった。(各サービスは回答者数が少ないため参考)

【携帯電話サービスの契約に対する影響】

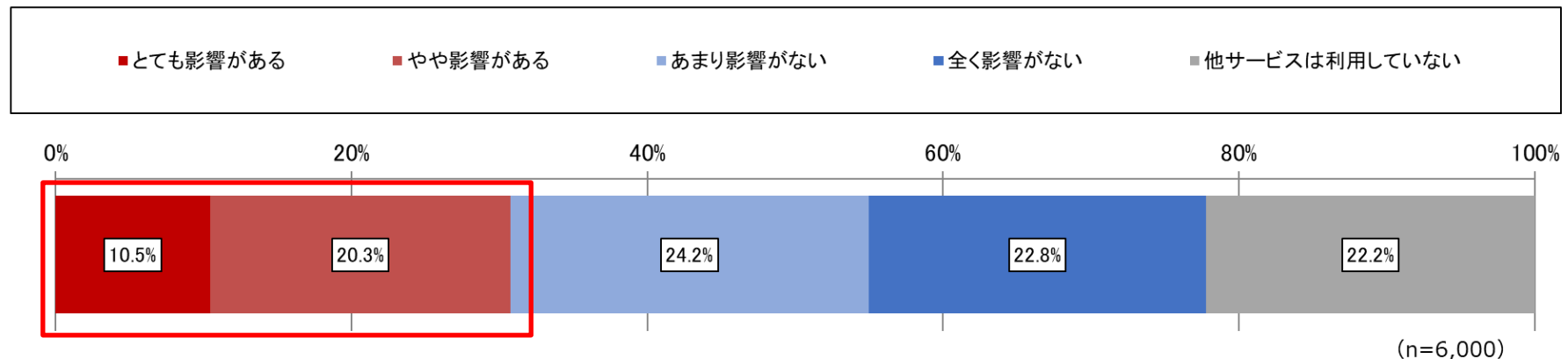


【携帯電話サービスの利用継続に対する影響】

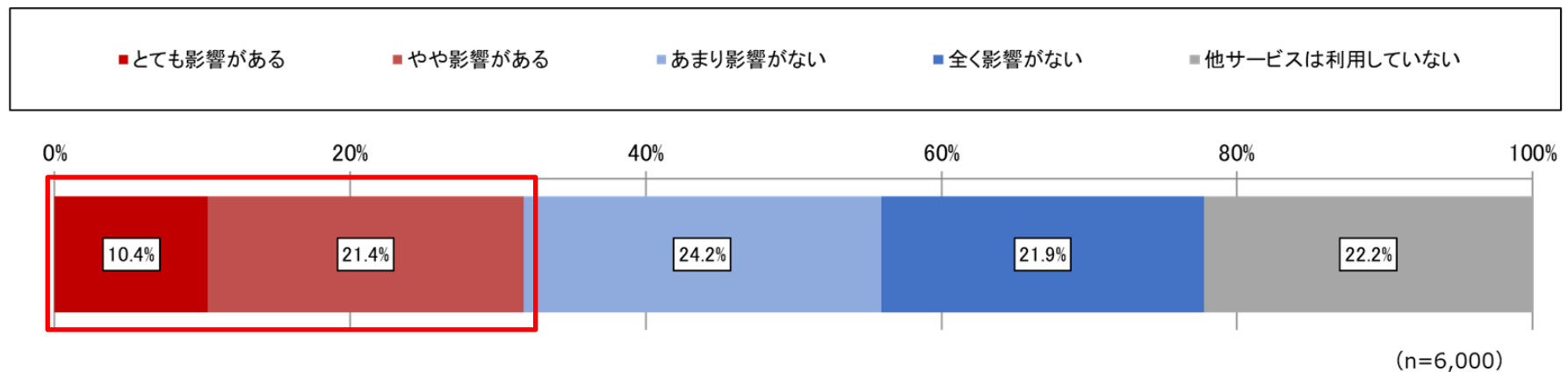


- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するサービスを複数利用している者に、利用しているポイントの還元等も踏まえ、複数サービスを利用していることが、メインの携帯電話を契約したことに影響したかについて確認した。携帯電話サービスを契約したことについて、「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は30.8%であった。
- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するサービスを複数利用している者に、複数サービスを利用していることが、メインの携帯電話を継続することに影響があるかについて確認した。携帯電話サービスの継続に「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答は31.8%であった。

【携帯電話サービスの契約に対する影響】



【携帯電話サービスの継続に対する影響】



- メインで利用している携帯電話の事業者が提供又は連携するサービスを複数利用している者に、利用しているサービス数ごとに、複数サービスを利用していることが、①メインの携帯電話を契約したことに影響したか、②メインの携帯電話を継続して利用することに影響があるかについて確認した。
- ①、②のいずれにおいても、利用しているサービス数が多いほど、「とても影響がある」、「やや影響がある」との回答が多くなる傾向がうかがえる。

該当数を除き、単位：％

契約への影響

		該当数	とても影響がある	やや影響がある	あまり影響がない	全く影響がない	他サービスはない
全体		6000	10.5	20.3	24.2	22.8	22.2
メインのサービスと連携しているサービス数	0	1107	6.1	13.3	17.2	22.3	41.1
	1	860	7.2	13.4	24.3	25.9	29.2
	2	978	7.7	18.3	28.0	24.6	21.4
	3	1058	10.7	19.9	26.9	22.8	19.7
	4	984	10.4	25.3	27.2	23.5	13.6
	5	597	17.8	29.8	24.3	18.3	9.9
	6	299	21.7	33.4	21.4	19.1	4.3
	7	85	27.1	31.8	20.0	17.6	3.5
	8	26	42.3	30.8	3.8	23.1	0.0
	9	5	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	10	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

該当数を除き、単位：％

継続への影響

		該当数	とても影響がある	やや影響がある	あまり影響がない	全く影響がない	他サービスはない
全体		6000	10.4	21.4	24.2	21.9	22.2
メインのサービスと連携しているサービス数	0	1107	5.4	13.6	18.4	21.5	41.1
	1	860	6.5	13.8	25.0	25.5	29.2
	2	978	7.0	19.4	28.5	23.7	21.4
	3	1058	10.4	21.6	26.7	21.6	19.7
	4	984	13.0	26.9	24.6	21.8	13.6
	5	597	18.1	32.2	23.8	16.1	9.9
	6	299	19.1	34.1	22.4	20.1	4.3
	7	85	27.1	27.1	21.2	21.2	3.5
	8	26	34.6	42.3	7.7	15.4	0.0
	9	5	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	10	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

②代替性の分析

- 令和6年度検証においては、主に以下の3点について代替性の分析を行う。
 - ・ ワイヤレス固定ブロードバンドサービスを含む、固定系ブロードバンドサービス間の代替性
 - ・ 携帯電話の通話といった従来の通信サービスとOTTサービス(音声アプリケーション等)間の代替性
 - ・ WANサービスとクラウドサービスの代替性
- 代替性については、昨年度検証に引き続き、以下の分析を継続する。
 - ・ ある商品・サービスAの10%の価格引上げに対し、商品・サービスAの利用を取りやめ、他の商品・サービスBに振り替える(代用する)ことを選択したアンケート回答者の割合が10%以上であった場合、当該商品・サービスAの提供者による価格引上げが当該提供者の売上の拡大につながらないものと想定され、商品・サービスBが商品・サービスAの価格引上げを妨げることになると考えられる※。このような場合、商品・サービスA及びBは代替的であると評価する。
- そのうえで、固定系ブロードバンドサービス間の代替性の分析については、分析を精緻化する観点から、以下の観点から分析を行う。
 - ・ アンケートにおいて提示する各サービスのシナリオの精緻化
 - アンケートにおいて提示する各サービスのシナリオにおいて、通信速度や安定性などの品質面での具体的な違いや契約時・解約時における工事の手間などを、具体例を用いて可能な限り明確に示す。
 - ・ 分析の精緻化
 - 回答者の年齢層・世帯構成、サービスの選択理由、居住形態等の要素を考慮した分析を行う。

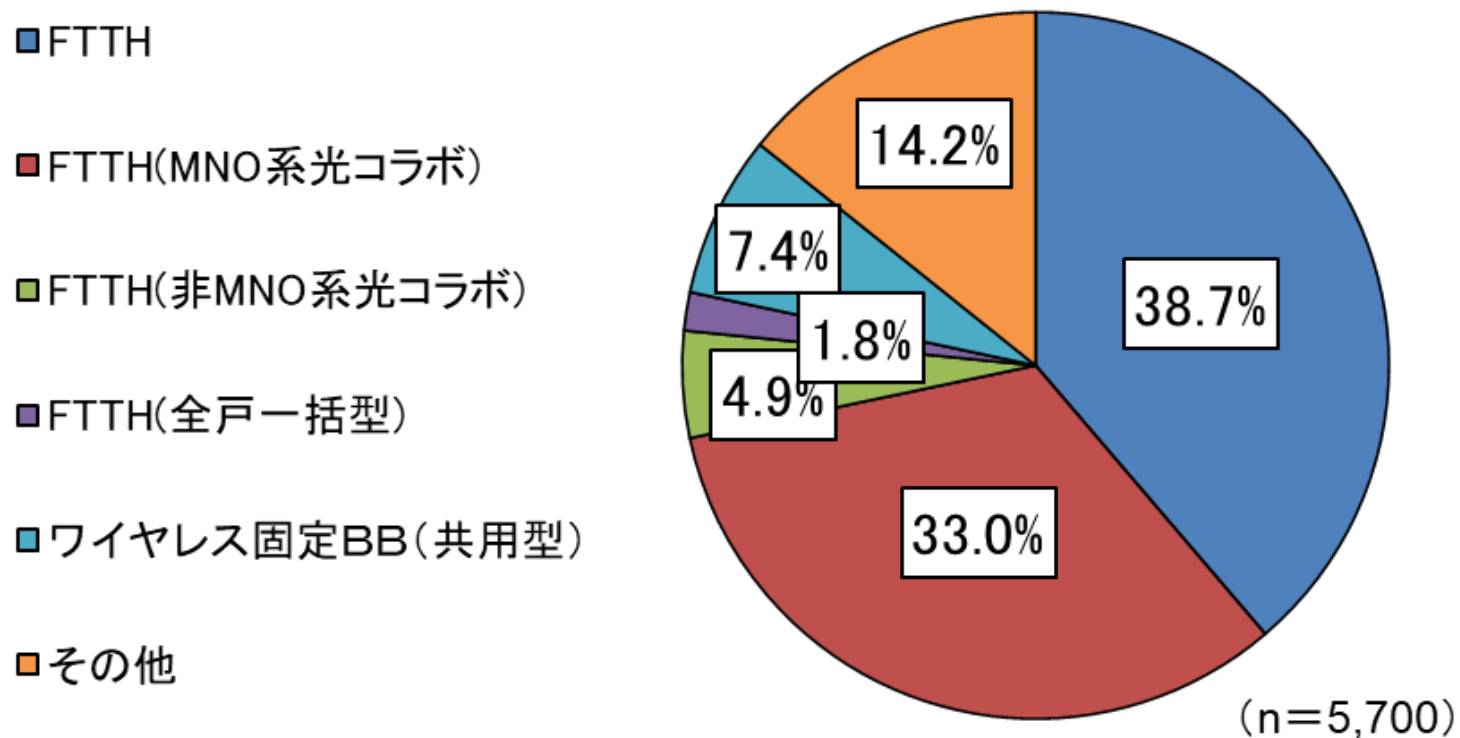
※参考：企業結合審査に関する独占禁止法の運用指針（令和元年12月改定）第2 1及び2

**ワイヤレス固定ブロードバンドサービスを含む、
固定系ブロードバンドサービス間の代替性**

- 利用者アンケートの結果を踏まえると、個人向けの固定系ブロードバンドサービスにおいては、FTTHアクセスサービスとワイヤレス固定ブロードバンドアクセスサービス(共用型)(Softbank Air、auホームルーター5G、docomo home5G、Rakuten Turbo。以下「ワイヤレス固定BB(共用型)」という。)の間に代替性があると認識されていることがうかがえる。
- 法人等利用者アンケートの結果を踏まえると、法人向けの固定系ブロードバンドサービスにおいては、ワイヤレス固定BB(共用型)を利用している法人にとってFTTHアクセスサービスは代替的であると認識していることがうかがえる一方で、FTTHアクセスサービスを利用している法人にとってワイヤレス固定BB(共用型)は代替的であると認識していないことがうかがえるため、FTTHアクセスサービスとワイヤレス固定BB(共用型)はそれらの利用者によって相互に代替的であるとまでは認識されておらず、これらサービスの間に代替性があるとまでは認識されていないことがうかがえる。
- 個人向けの固定系ブロードバンドサービスについて、利用者の年代別、居住形態別、同居人数別の分析を行った。利用者アンケートを踏まえると、年代ごと、居住形態ごと、同居人数ごとに代替性の認識に一定程度違いがあるものの、特定の傾向は見られない。
- 昨年度の検証では、法人向けの固定系ブロードバンドサービスにおいては、ワイヤレス固定BB(共用型)を利用している法人にとってFTTHアクセスサービスは代替的でないとして認識していると評価している一方で、今年度は代替的であると認識していると評価しており、代替性の認識に変化が見られる。その要因の1つとして、今年度はアンケートで提示する各サービスのシナリオにおいて、通信速度や安定性などの品質面での具体的な違いや契約時・解約時における工事の手間などを、具体例を用いて明確に示したことで、より現実に近いシナリオとなり、ワイヤレス固定BB(共用型)を解約してFTTHで代用するとの回答の増加につながったと考えられる。法人向けの固定系ブロードバンドサービスにおいて代替性の認識に変化が見られ、サービスが個人向けか法人向けかという違いにより、アンケートの結果に違いが見受けられたことを踏まえ、引き続き、個人向けのサービスと法人向けのサービスの認識について注視する。

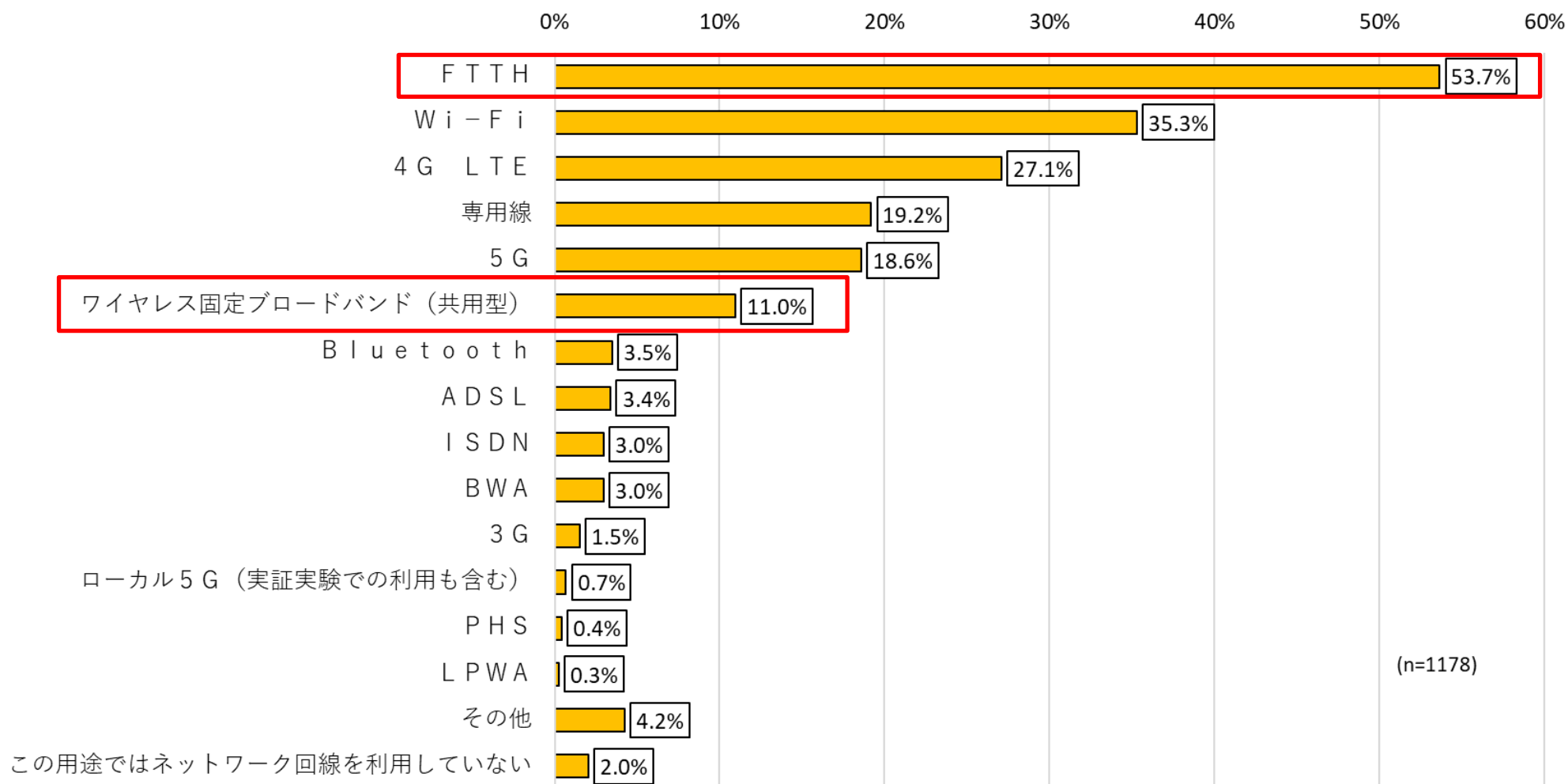
- FTTHアクセスサービスの利用者の全利用者に占める割合は、78.3%。一方、ワイヤレス固定BB(共用型)の利用者の全利用者に占める割合は7.4%。

【固定インターネットのサービス別利用率】



- 法人等利用者が利用する回線は、インターネット利用用途ではFTTHが53.7%と半数を超えており、主要なネットワーク回線と言える。ワイヤレス固定ブロードバンド(共用型)は11.0%。

(複数回答、「わからない」回答を除く)



- 固定系ブロードバンドサービスの中でも、特に利用者の割合の高いFTTHアクセスサービスと、近年提供が進んでいると思われるワイヤレス固定BB(共用型)間の代替性の分析を行うため、一方のサービスの価格について、小幅ではあるが実質的であり、かつ一時的ではない価格引上げをした場合に、需要者が他方のサービスに振り替える程度の分析を行った。
- アンケート回答者に表示した実際の設問内容及び各サービスのシナリオは以下のとおりである。スイッチングコストと捉え得る費用(初期費用、違約金・解約金、開通期間・解約手続等)や品質面での違い(通信速度、通信安定性等)についても一定程度、シナリオに含んだ上で、アンケートを実施している。

【設問内容】

仮に、利用中の固定インターネットサービスを含む全てのFTTHアクセスサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約について、当てはまるものをお答えください。

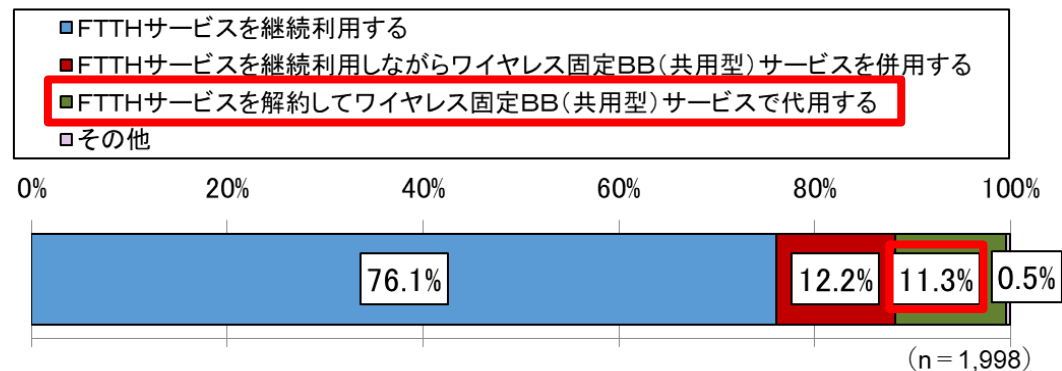
【提示した各サービスのシナリオ】

	FTTH	HOME Wi-Fi
	FTTHユーザーの場合 回答者ごとに現在の利用料金 (KQ16) を動的表示	HOME Wi-Fiユーザーの場合 回答者ごとに現在の利用料金 (KQ16) を動的表示
月額料金	HOME Wi-Fiユーザーの場合は下記を表示 戸建て：4,000～6,000円 集合住宅：3,000～5,000円	FTTHユーザーの場合は下記を表示 1年目：3,300～5,000円 2年目以降：5,000～5,400円
初期費用	事務手数料：3,300円	事務手数料：3,300円
工事費	戸建て：19,800円 集合住宅：16,500円	戸建て：無料 集合住宅工事費：無料
開通期間(申し込み日から)	1～3カ月後 (工事の必要の有無、工事場所の確認、工事日程の調整(通常1カ月程度、繁忙時3カ月程度)、工事立ち合い(1～3時間))	即日 (機器を自身で設置)
接続機器の本体価格(一括購入金額)	月額料金に含む	40,000～70,000円
違約金・解約金	約1カ月分の料金	なし
解約手続	解約申し込み～内容確認(数日内)、機器の返却、解約処理(1週間程度) (光ファイバーケーブル・光コンセントの撤去工事が必要な場合がある。 (工事費：無料～31,680円))	解約申し込み(即日～申し込み当月末)
一般的な通信速度	受信(下り)：100Mbps～10Gbps 送信(上り)：100Mbps～10Gbps	受信(下り)：76Mbps～4.2Gbps 送信(上り)：76Mbps～218Mbps FTTHより劣っている。
一般的な通信品質	HOME Wi-Fiより優れている。 光ファイバーを宅内まで引き込むため、ノイズや距離の影響を受けづらく、通信が安定しやすい。	モバイル電波を受信するため、周辺環境(住宅の階層、基地局の設置位置など)、利用環境(接続端末数、機器設置位置など)によって通信が安定しにくい場合がある。
速度制限	なし	速度制限なし～月間30GBを超えた場合や、利用量が増加する時間帯(夜間など)に速度制限がかかる場合がある。
スマートフォンセット割	あり	あり
コンテンツセット割(動画サービスなど)	あり	あり
地デジ・BS再送信	あり	なし
宅内の機器設置場所の自由度	低い	高い

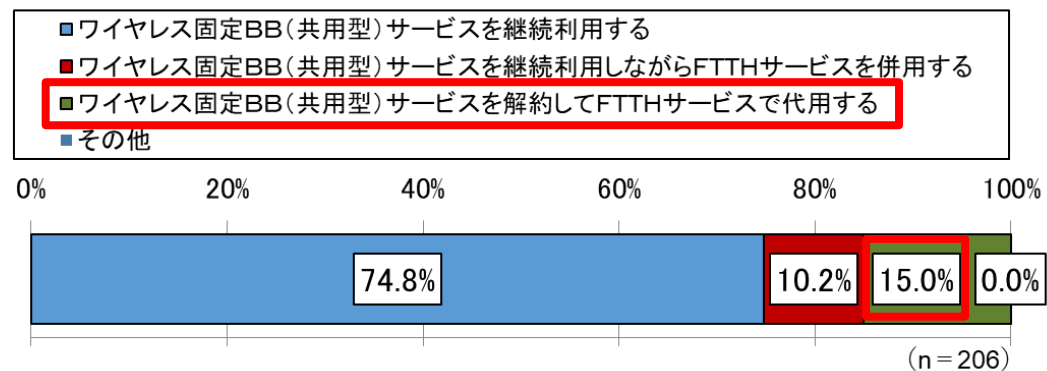
※上記は平均的な目安となります。サービスやお住まいの状況によって変動します。

- 仮に、利用中の固定インターネットサービスを含む全てのFTTHアクセスサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約について、「FTTHを解約してワイヤレス固定BB(共用型)で代用する」との回答は**11.3%**であり、10%を上回っていた。
- 仮に、利用中のワイヤレス固定BB(共用型)含む全てのワイヤレス固定BB(共用型)の月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約について、「ワイヤレス固定BB(共用型)を解約してFTTHで代用する」との回答は**15.0%**であり、10%を上回っていた。
- 今回の分析によれば、FTTHアクセスサービスとワイヤレス固定BB(共用型)が代替的であると認識されていることがうかがえる。

【FTTH→ワイヤレス固定BB(共用型)】



【ワイヤレス固定BB(共用型)→FTTH】



- 法人等利用者アンケートにおいては、以下の内容をアンケートで提示した。
- スwitchングコストと捉え得る費用(初期費用、違約金・解約金、開通期間等)についても一定程度、シナリオに含んだ上で、アンケートを実施している。

仮に利用中のFTTHサービスを含む全てのFTTHサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約について、あてはまるものをご回答ください(ひとつだけ)。

※利用サービスを切替・併用する場合、従来サービスの解約料や、新規サービスの事務手数料や開設工事費がかかる可能性があることもご考慮ください。

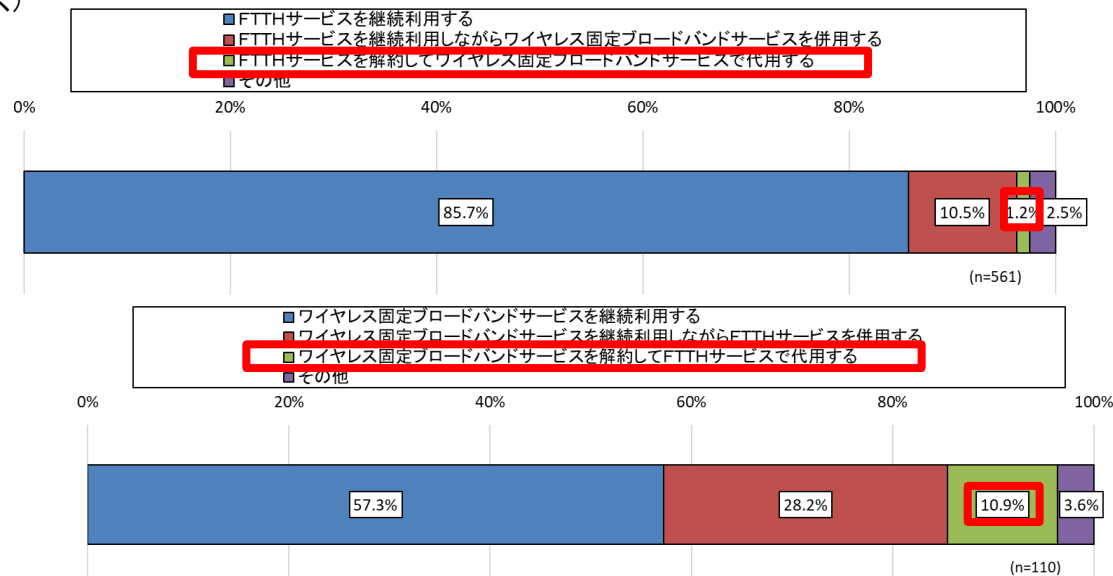
※ワイヤレス固定ブロードバンドサービスは、docomo home5G、auホームルータープラン 5G、Rakuten Turbo、SoftBank Airの各サービスが該当します。

【提示した各サービスのシナリオ】

属性	FTTH	ワイヤレス固定ブロードバンド
月額料金	約3,500～約45,000円	約5,000円
初期費用	事務手数料:3,300円	事務手数料:3,300円
工事費	約20,000～約55,000円	無料
開通期間(申し込み日から)	1～3カ月後 工事の必要の有無、工事場所の確認、工事日程の調整(通常1カ月程度、繁忙時3カ月程度)、工事立ち合い(1～3時間)	即日 機器を自身で設置
接続機器の本体価格(一括購入金額)	月額料金に含む	約25,000～約70,000円
違約金・解約金	最低利用期間や初期費用・工事費の分割払い中に解約する場合、残りの月数分の月額料金や、割賦残債などを請求される場合がある。	なし
解約手続き	解約申し込み～内容確認(数日内)、機器の返却、解約処理(1週間程度)。 時期によって工事にかかる期間が異なり、集中時期には1か月以上かかる。 (工事費は無料～31,680円)	解約申し込み～即日解約処理
一般的な通信速度	受信(下り):100Mbps～10Gbps 送信(上り):100Mbps～10Gbps	受信(下り):76Mbps～4.2Gbps 送信(上り):76Mbps～218Mbps
一般的な通信品質	ワイヤレス固定ブロードバンドより優れている。 光ファイバーを宅内まで引き込むため、ノイズや距離の影響を受けづらく、通信が安定しやすい。	FTTHより劣っている。 モバイル電波を受信するため、周辺環境(設置場所の階層、基地局の設置位置など)、利用環境(接続端末数、機器設置位置など)によって通信が安定しにくい場合がある。
速度制限	制限なし	速度制限なし～月間30GBを超えた場合や、利用量が増加する時間帯(夜間など)に速度制限がかかる場合がある。
帯域確保・保証(ギランティ)サービス	あり	なし
スマートフォンセット割	あり	あり
宅内の機器設置場所の自由度	低い	高い

- 仮に、利用中のFTTHサービスを含む全てのFTTHサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約について、「FTTHを解約してワイヤレス固定BB(共用型)で代用する」との回答は1.2%であり、10%を下回っていた。
- 仮に、利用中のワイヤレス固定BB(共用型)サービスを含む全てのワイヤレス固定BB(共用型)サービスの月額料金が、今後10%値上がりする場合、今後の固定インターネットサービスの契約について、「ワイヤレス固定BB(共用型)を解約してFTTHで代用する」との回答は10.9%であり、10%を上回っていた。
- 今回の分析によれば、ワイヤレス固定ブロードバンドアクセスサービスを利用している法人にとってFTTHアクセスサービスは代替的であると認識していることがうかがえる一方で、FTTHアクセスサービスを利用している法人にとってワイヤレス固定BB(共用型)は代替的であると認識していることがうかがえないため、FTTHアクセスサービスとワイヤレス固定BB(共用型)はそれらの利用者によって相互に代替的であるとまでは認識されておらず、これらサービスの間に代替性があるとまでは認識されていないことがうかがえる。
- 昨年度の検証では、「ワイヤレス固定BB(共用型)を解約してFTTHアクセスサービスで代用する」との回答は1.6%で10%を下回っており、ワイヤレス固定ブロードバンドアクセスサービスを利用している法人にとってFTTHアクセスサービスは代替的でないとして認識していると評価している一方で、今年度は代替的であると認識していると評価しており、代替性の認識に変化が見られる。その要因の1つとして、今年度はアンケートで提示する各サービスのシナリオにおいて、通信速度や安定性などの品質面での具体的な違いや契約時・解約時における工事の手間などを、具体例を用いて明確に示したことで、より現実的に即したシナリオとなり、ワイヤレス固定BB(共用型)を解約してFTTHで代用するとの回答の増加につながったことが考えられる。法人向けの固定系ブロードバンドサービスにおいて代替性の認識に変化が見られ、サービスが個人向けか法人向けかという違いにより、アンケートの結果に違いが見受けられたことを踏まえ、引き続き、個人向けのサービスと法人向けのサービスの認識について注視する。

(単一回答、「わからない」回答を除く)



- 仮に、利用中の固定インターネットサービスを含む全てのFTTHアクセスサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約の利用方法について、年代別の分析を行った。「FTTHを解約してワイヤレス固定BB(共用型)で代用する」との回答は60代を除いて10%を超えており、その中でも20代、40代のFTTH利用者は、全体の割合(11.3%)よりも「代用する」を比較的多く選んでいる(それぞれ15.5%、12.0%)。
- 仮に、利用中のワイヤレス固定BB(共用型)含む全てのワイヤレス固定BB(共用型)の月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約の利用方法について、年代別の分析を行った。「ワイヤレス固定BB(共用型)を解約してFTTHで代用する」との回答は20代、40代、50代で10%を超えており、全体の割合(15.0%)よりも「代用する」を比較的多く選んでいる(それぞれ16.3%、18.2%、25.7%)。
- 年代ごとに代替性の認識に一定程度違いがあるものの、特定の傾向は見られない。

【FTTH→ワイヤレス固定BB(共用型)】

		今のFTTH月額料金が10%値上がりした場合				
		該 当 数	F T T H サ ー ビ ス を 継 続 利 用 す る	型 が F T T H サ ー ビ ス を 併 用 す る (共 用 型 な い)	F T T H サ ー ビ ス を 継 続 利 用 す る (共 用 型 な い)	そ の 他
該当者数を除き、単位：%						
全 体		1998	76.1	12.2	11.3	0.5
年 代	10代	18	66.7	22.2	11.1	0.0
	20代	328	60.1	24.1	15.5	0.3
	30代	397	67.8	21.2	10.8	0.3
	40代	459	78.0	9.6	12.0	0.4
	50代	467	85.9	3.9	10.1	0.2
	60代	329	86.0	4.3	8.5	1.2

【ワイヤレス固定BB(共用型)→FTTH】

		今のワイヤレス固定BB(共用型)月額料金が10%値				
		該 当 数	サ ー ビ ス を 継 続 利 用 す る (共 用 型)	サ ー ビ ス を 併 用 す る (共 用 型)	サ ー ビ ス を 併 用 す る (共 用 型)	そ の 他
該当者数を除き、単位：%						
全 体		206	74.8	10.2	15.0	0.0
年 代	10代	6	66.7	33.3	0.0	0.0
	20代	43	58.1	25.6	16.3	0.0
	30代	35	80.0	14.3	5.7	0.0
	40代	55	80.0	1.8	18.2	0.0
	50代	35	71.4	2.9	25.7	0.0
	60代	32	87.5	3.1	9.4	0.0

- 仮に、利用中の固定インターネットサービスを含む全てのFTTHアクセスサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約の利用方法について、居住形態別の分析を行った。「FTTHを解約してワイヤレス固定BB(共用型)で代用する」との回答は戸建て(持ち家)、戸建て(賃貸)、集合住宅(分譲)の居住者で10%を超えており、その中でも戸建て(賃貸)、集合住宅(分譲)のFTTH利用者は、全体の割合(11.3%)よりも「代用する」を比較的多く選んでいる(それぞれ24.7%、11.6%)。
- 仮に、利用中のワイヤレス固定BB(共用型)を含む全てのワイヤレス固定BB(共用型)の月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約の利用方法について、居住形態別の分析を行った。「ワイヤレス固定BB(共用型)を解約してFTTHで代用する」との回答は、戸建て(賃貸)、集合住宅(分譲)、集合住宅(賃貸)で10%を超えており、その中でも戸建て(賃貸)、集合住宅(分譲)、その他のワイヤレス固定BB(共用型)利用者は、全体の割合(15.0%)よりも「代用する」を比較的多く選んでいる(それぞれ37.5%、36.8%、25.0%)。
- 居住形態ごとに代替性の認識に一定程度違いがあるものの、特定の傾向は見られない。

【FTTH→ワイヤレス固定BB(共用型)】

		今のFTTH月額料金が10%値上がりした場合				
		該 当 数	F T T H サ ー ビ ス を 継 続 利 用 す る	型 が F T T H サ ー ビ ス を 併 用 す る （ 共 用 し な	ス ヤ F レ T 代 ス T 固 定 サ ー ビ ス （ 共 用 型 ） サ ー ワ イ ビ	そ の 他
該当者数を除き、単位：%						
全 体		1998	76.1	12.2	11.3	0.5
居 住 形 態	戸建て（持ち家）	1103	77.0	11.1	11.3	0.6
	戸建て（賃貸）	77	50.6	24.7	24.7	0.0
	集合住宅（分譲）	275	77.5	10.9	11.6	0.0
	集合住宅（賃貸）	526	77.0	13.3	9.3	0.4
	その他	17	82.4	11.8	5.9	0.0

【ワイヤレス固定BB(共用型)→FTTH】

		今のワイヤレス固定BB（共用型）月額料金が10%値				
		該 当 数	サ ー ビ ス を 継 続 利 用 す る （ 共 用 型 ）	Ｔ サ ー ビ ス を 継 続 利 用 す る （ 共 用 型 ） Ｆ Ｔ	ビ サ ー ビ ス を 代 用 す る （ 共 用 型 ） サ ー	そ の 他
該当者数を除き、単位：％						
全 体		206	74.8	10.2	15.0	0.0
居 住 形 態	戸建て（持ち家）	92	83.7	7.6	8.7	0.0
	戸建て（賃貸）	8	62.5	0.0	37.5	0.0
	集合住宅（分譲）	19	36.8	26.3	36.8	0.0
	集合住宅（賃貸）	83	74.7	10.8	14.5	0.0
	その他	4	75.0	0.0	25.0	0.0

- 仮に、利用中の固定インターネットサービスを含む全てのFTTHアクセスサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約の利用方法について、同居人数別の分析を行った。「FTTHを解約してワイヤレス固定BB(共用型)で代用する」との回答は6人以上と同居する場合を除いて10%を超えており、その中でも2人、4人と同居するFTTH利用者は、全体の割合(11.3%)よりも「代用する」を比較的多く選んでいる(それぞれ12.3%、12.3%)。
- 仮に、利用中のワイヤレス固定BB(共用型)含む全てのワイヤレス固定BB(共用型)の月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約の利用方法について、同居人数別の分析を行った。「ワイヤレス固定BB(共用型)を解約してFTTHで代用する」との回答は6人以上と同居する場合を除いて10%を超えており、その中でも2人、4人と同居するワイヤレス固定BB(共用型)利用者は、全体の割合(15.0%)よりも「代用する」を比較的多く選んでいる(それぞれ20.0%、22.7%)。
- 同居人数ごとに代替性の認識に一定程度違いがあるものの、特定の傾向は見られない。

【FTTH→ワイヤレス固定BB(共用型)】

		今のFTTH月額料金が10%値上がりした場合				
		該 当 数	F T T H サ ー ビ ス を 継 続 利 用 す る	サ ラ イ ビ ス ヤ H を レ サ ー ビ ス を 併 用 す る	代 用 す る F T T H サ ー ビ ス (共 用 型) サ ー ビ ス で ヤ	そ の 他
該当者数を除き、単位：%						
全 体		1998	76.1	12.2	11.3	0.5
居 住 人 数	一人暮らし	417	73.4	15.1	10.8	0.7
	1人	301	83.4	6.3	10.3	0.0
	2人	367	74.9	12.0	12.3	0.8
	3人	443	75.2	12.9	11.3	0.7
	4人	350	77.7	10.0	12.3	0.0
	5人	81	69.1	19.8	11.1	0.0
	6人以上	39	69.2	23.1	7.7	0.0

【ワイヤレス固定BB(共用型)→FTTH】

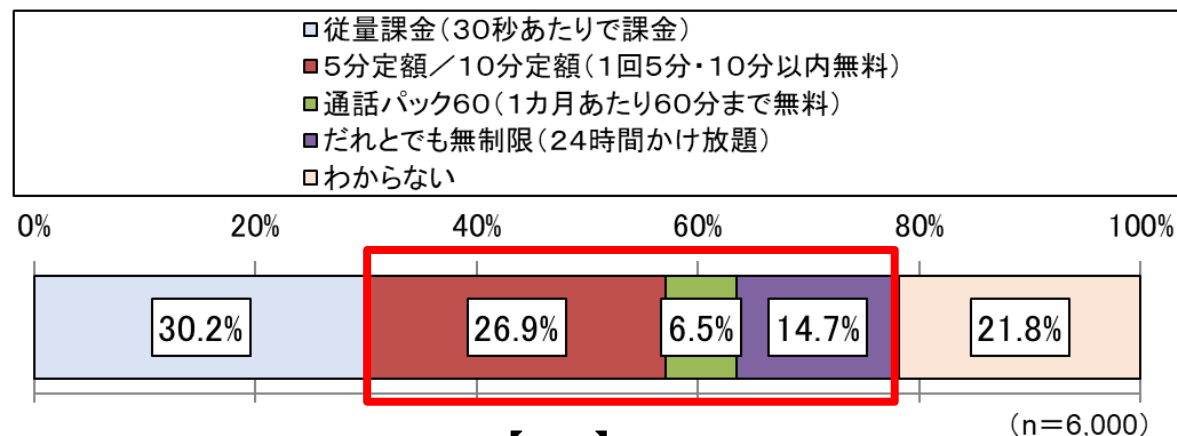
		今のワイヤレス固定BB(共用型)月額料金が10%値上がりした場合				
		該 当 数	ビ ス イ を ヤ レ ス 継 続 利 用 す る B (共 用 型) サ ー	サ ー ビ ス イ を ヤ レ ス 継 続 利 用 す る B (共 用 型) サ ー	代 用 す る ビ ス イ を ヤ レ ス 解 約 し て F T T H サ ー ビ ス で	そ の 他
該当者数を除き、単位：%						
全 体		206	74.8	10.2	15.0	0.0
居 住 人 数	一人暮らし	62	79.0	6.5	14.5	0.0
	1人	29	75.9	13.8	10.3	0.0
	2人	35	71.4	8.6	20.0	0.0
	3人	39	76.9	10.3	12.8	0.0
	4人	22	72.7	4.5	22.7	0.0
	5人	15	66.7	20.0	13.3	0.0
	6人以上	4	50.0	50.0	0.0	0.0

携帯電話の通話といった従来の通信サービスと OTTサービス間の代替性

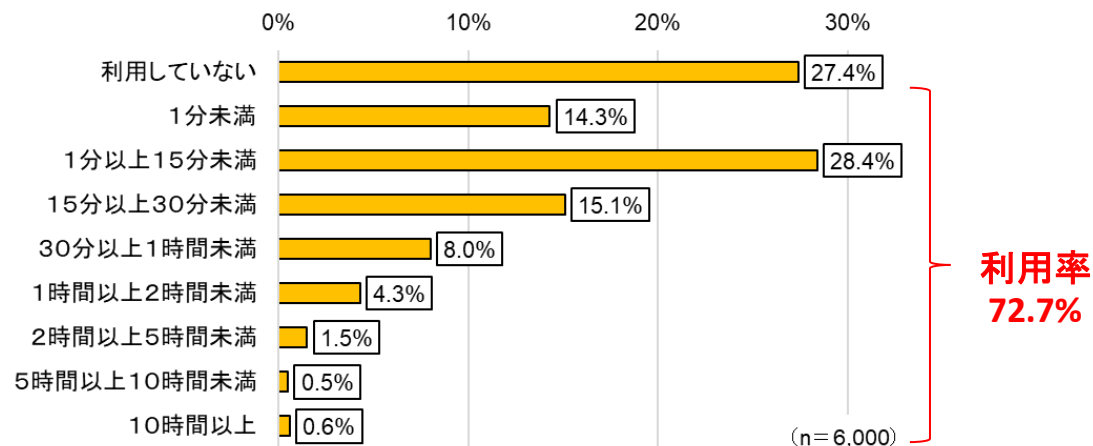
- 利用者アンケートの結果を踏まえると、個人向けの音声通話においては、携帯電話の通話定額プランとLINEが代替的であると認識されていないことがうかがえる。
- また、固定電話サービスと携帯電話の通話定額プランの間の代替性については、固定電話の利用者にとって、携帯電話の通話定額プランが代替的であると認識されていることがうかがえる一方、携帯電話の通話定額プランの利用者にとって、固定電話が代替的であると認識されていないことがうかがえるため、固定電話サービスと携帯電話の通話定額プランはそれらの利用者によって相互に代替的であるとまでは認識されておらず、それらのサービスの間に代替性があるとまでは認識されていないことがうかがえる。
- 法人等利用者アンケートの結果を踏まえると、法人向けの音声通話においては、携帯電話サービス・固定電話サービス・OTTサービスの間に代替性があるとまでは認識されていないことがうかがえる。
- 昨年度の検証では、個人向けの音声通話においては、携帯電話サービスの通話定額プランとLINEが代替的であると認識していると評価している一方で、今年度は代替的であると認識されていないと評価しており、代替性の認識に変化が見られる。個人向けの音声通話において代替性の認識に変化が見られたことを踏まえ、引き続き、携帯電話の通話といった従来の通信サービスとOTTサービス(音声アプリケーション等)の認識について注視する。

- 携帯電話の通話定額プランは「5分定額/10分定額」(26.9%)、「通話パック60」(6.5%)、「だれとでも無制限」(14.7%)を選んだ回答は計5割弱(後述の10%価格引き上げ分析の対象としたのはこれらの通話定額プランの利用者)。なお、「従量課金」との回答が30.2%だった。
- 音声通話アプリケーション別の利用率、利用時間を確認したところ、「LINE」の利用率が72.7%で最も高い結果となった。

【携帯電話の通話定額プラン】

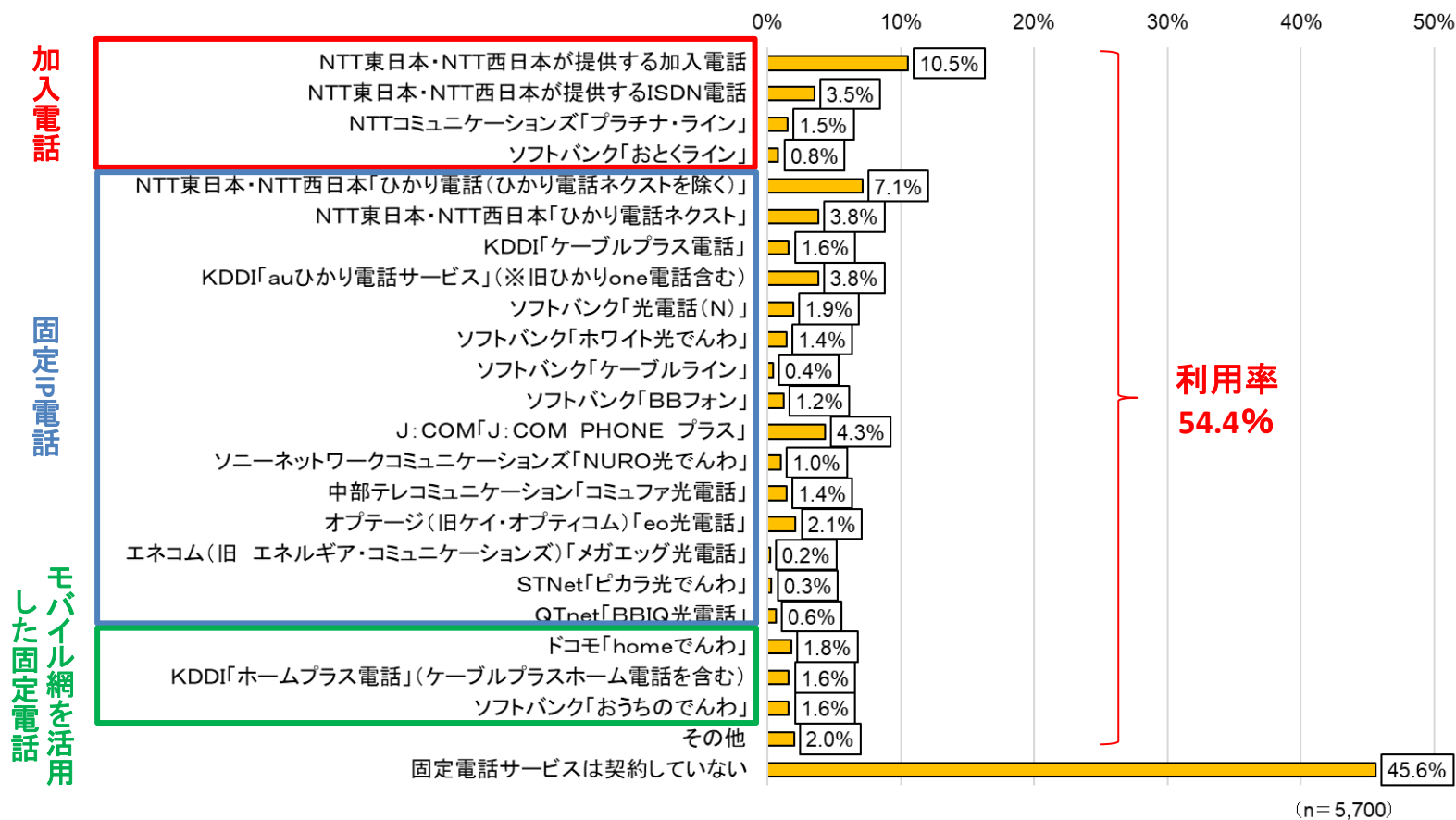


【LINE】



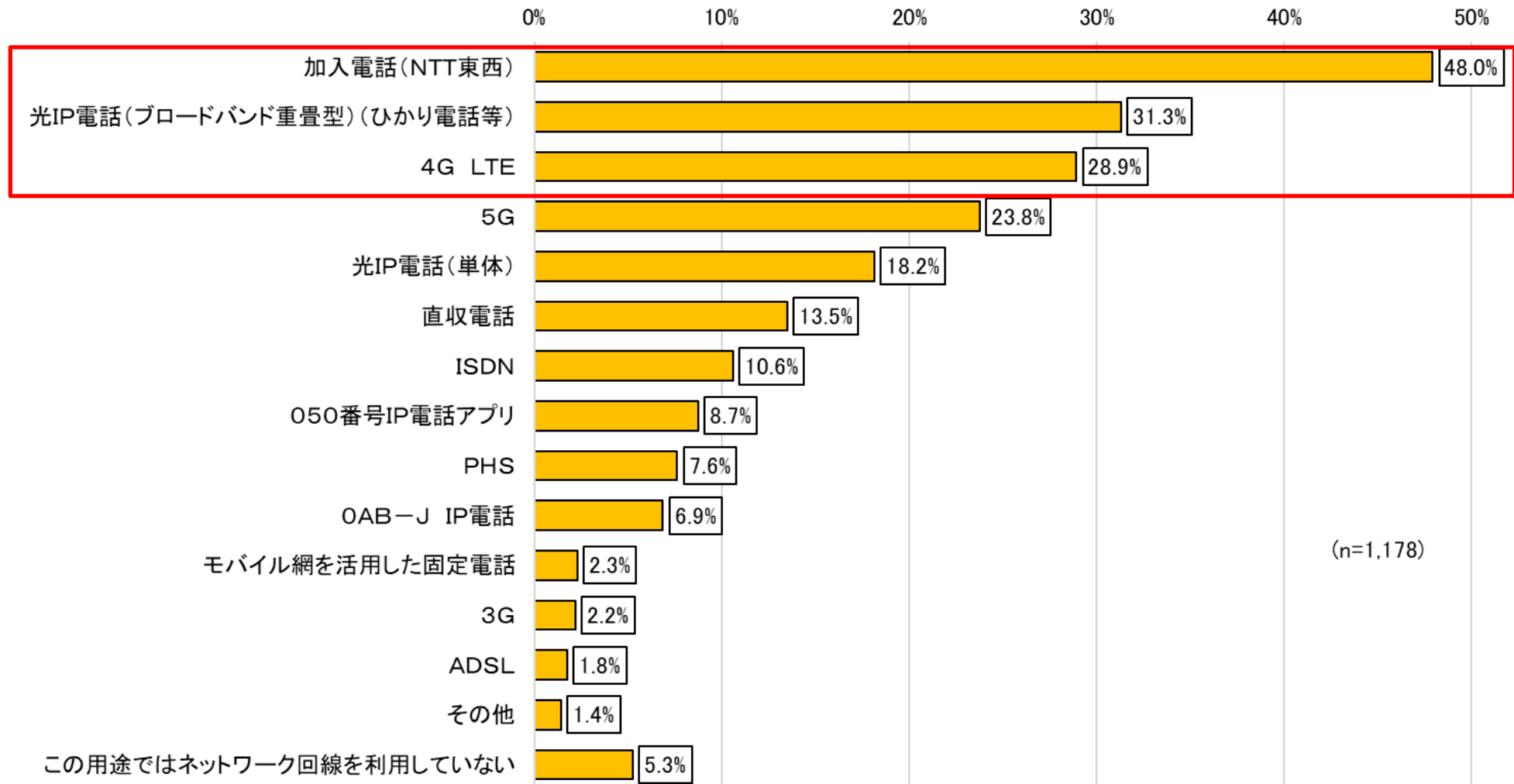
- 現在利用している固定電話サービスについて確認したところ、固定電話サービスの利用者は54.4%だった。

【現在利用中の固定電話サービス】



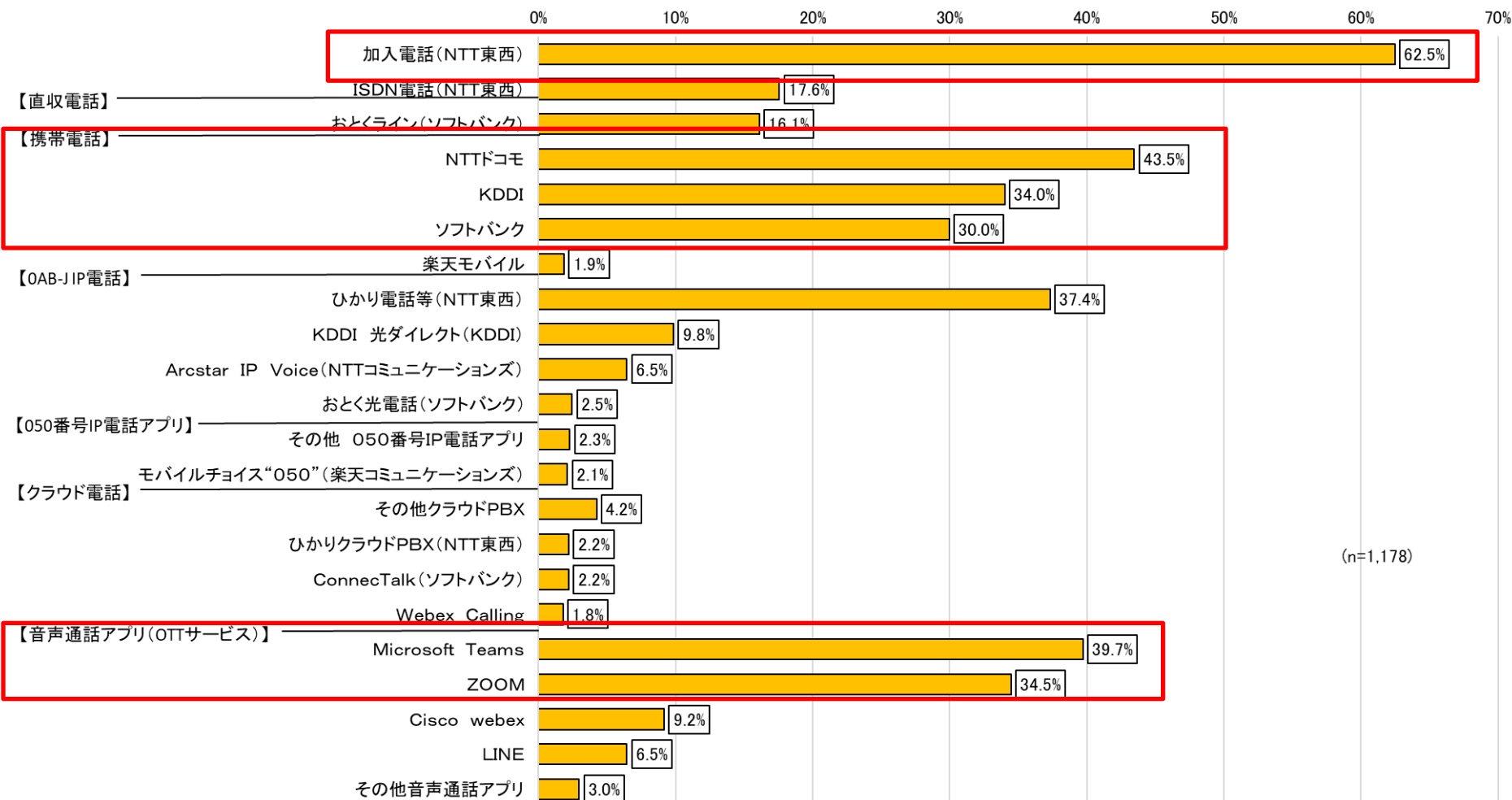
- 利用しているネットワーク回線を確認したところ、法人等利用者は、音声通話用途で約半数がNTT東西の加入電話を利用。光IP電話（ブロードバンド重畳型）、4G LTEは3割前後が利用している。

（複数回答、「わからない」回答を除く）



- 利用している音声サービスは「加入電話(NTT東西)」が62.5%と最も多い。
- 携帯電話では「NTTドコモ」が43.5%、「KDDI」が34.0%、「ソフトバンク」が30.0%となった。
- 音声通話アプリ(OTTサービス)は「Microsoft Teams」が39.7%、「ZOOM」が34.5%で2強と言える。

(複数回答、「わからない」回答を除く)



- 携帯電話の通話といった従来の通信サービスとOTTサービス(音声アプリケーション等)間の代替性間の代替性の分析を行うため、一方のサービスの価格について、小幅ではあるが実質的であり、かつ一時的ではない価格引上げをした場合に、需要者が他方のサービスに振り替える程度の分析を行った。
- アンケート回答者に表示した実際の設問内容及び各サービスのシナリオは以下のとおりである。スイッチングコストと捉え得る費用(解約時の手数料)についても一定程度、シナリオに含んだ上で、アンケートを実施している。

【設問内容】

仮に、利用中の携帯電話サービスの音声通話サービスの定額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の携帯電話サービスの音声通話サービス・音声通話アプリケーションの利用方法について、当てはまるものをお答えください。

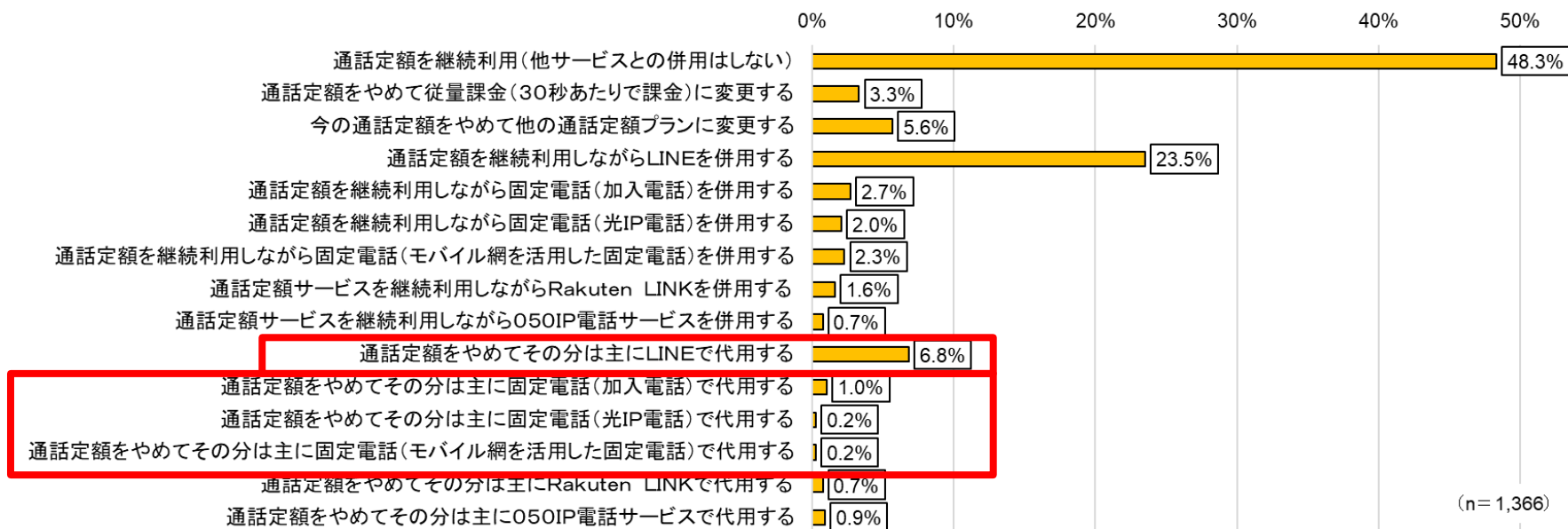
【提示した各サービスのシナリオ】

属性	携帯電話	LINE電話	Rakuten Link	050IP電話	固定電話(加入電話)	固定電話(光IP電話)	固定電話(モバイル網を活用した固定電話)
前提条件	携帯電話契約	携帯電話番号・固定電話番号	楽天モバイル契約	なし	なし	FTTHサービス契約 (「ひかり電話ネクスト」は FTTHサービス契約不要)	なし
利用準備	サービス契約	アプリダウンロード	アプリダウンロード	アプリダウンロード	サービス契約	サービス契約	サービス契約
電話番号の発行	090/080/070番号	なし	なし	050番号	市街局番からの番号	市街局番からの番号	市街局番からの番号
通話連絡条件	なし	友達登録	なし	なし	なし	なし	なし
通話に必要な機器	携帯電話・スマートフォン	スマートフォン	スマートフォン	スマートフォン	固定電話機	固定電話機	固定電話機
利用場所	どこでも利用可能	どこでも利用可能	どこでも利用可能	どこでも利用可能	自宅内のみ	自宅内のみ	自宅内のみ
緊急通報(110・119への通話)	○	×	×	×	○	○	○
月額料金(基本料金)	5分・10分定額：700～880円 月60分パック：500円 かけ放題：1,700～1,980円	無料	無料	基本料金：300円 ※別途、従量課金が必要	基本料金：1,760～2,145円	550円 (「ひかり電話ネクスト」は 2,750円)	1,078円
従量課金	定額サービス未加入時： 22円/30秒	無料	無料	【携帯電話への通話】 17.6円/分 【固定電話への通話】 8.8円/3分 ※同一IP電話サービス同士は 無料	【携帯電話への通話】 17.6円/60秒 【固定電話への通話】 <市内電話> 9.35円/3分 <市外電話(距離別)> ～20km：22円/90秒 20km超～60km：33円/60秒 60km超：44円/45秒 ※昼時間(8-19時)の場合	【携帯電話への通話】 17.6円/60秒 【固定電話への通話】 8.8円/3分	【携帯電話への通話】 17.6円/60秒 【固定電話への通話】 8.8円/3分 ※同一サービス同士は無料
解約時の手数料 (通話サービスのみの解約時)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

※料金は国内向けの音声通話料金となります。データ通信を利用するサービスのデータ通信利用料は含まれません。

- 仮に、利用中の携帯電話サービスの通話定額プランの料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の携帯電話の通話定額プラン・音声通話アプリケーションの利用方法について確認した。
- 今回の分析によれば、「わからない」との回答を除くと、「通話定額をやめてその分は主にLINEで代用する」との回答が6.8%であり、携帯電話サービスの通話定額プランとLINEが代替的であると認識されていないことがうかがえる。また、「通話定額をやめてその分は主に固定電話で代用する」との回答はいずれも1~0%にとどまっており、携帯電話の通話定額プランの利用者にとって、固定電話が代替的であると認識されていないことがうかがえる。
- 昨年度の検証では、「通話定額をやめてその分は主にLINEで代用する」との回答が10.3%であり、携帯電話サービスの通話定額プランとLINEが代替的であると認識している一方で、今年度は代替的であると認識されていないと評価しており、代替性の認識に変化が見られる。このように、個人向けの音声通話において代替性の認識に変化が見られたことを踏まえ、引き続き、携帯電話の通話といった従来の通信サービスとOTTサービス(音声アプリケーション等)の認識について注視する。

【携帯電話の音声定額サービス→他サービス】



- 携帯電話の通話といった従来の通信サービスとOTTサービス(音声アプリケーション等)間の代替性間の代替性の分析を行うため、一方のサービスの価格について、小幅ではあるが実質的であり、かつ一時的ではない価格引上げをした場合に、需要者が他方のサービスに振り替える程度の分析を行った。
- 固定電話を利用するアンケート回答者に表示した実際の設問内容及び各サービスのシナリオは以下のとおりである。スイッチングコストと捉え得る費用(解約時の手数料)についても一定程度、シナリオに含んだ上で、アンケートを実施している。

【設問内容】

仮に、利用中の固定電話サービス含む全ての固定電話の料金(月額基本料+通話料)が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の音声通話の利用方法について、当てはまるものをお答え下さい。

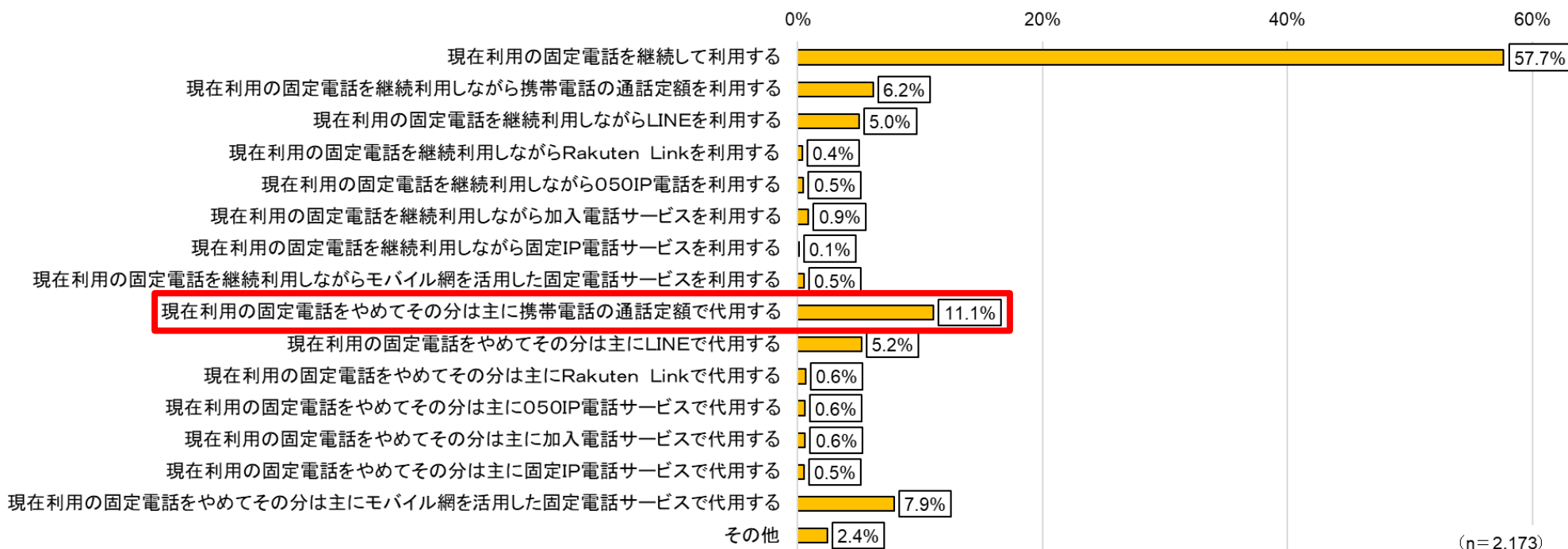
【提示した各サービスのシナリオ】

属性	携帯電話	LINE電話	Rakuten Link	050IP電話	固定電話(加入電話)	固定電話(光IP電話)	固定電話(モバイル網を活用した固定電話)
前提条件	携帯電話契約	携帯電話番号・固定電話番号	楽天モバイル契約	なし	なし	FTTHサービス契約 (「ひかり電話ネクスト」は FTTHサービス契約不要)	なし
利用準備	サービス契約	アプリダウンロード	アプリダウンロード	アプリダウンロード	サービス契約	サービス契約	サービス契約
電話番号の発行	090/080/070番号	なし	なし	050番号	市街局番からの番号	市街局番からの番号	市街局番からの番号
通話連絡条件	なし	友達登録	なし	なし	なし	なし	なし
通話に必要な機器	携帯電話・スマートフォン	スマートフォン	スマートフォン	スマートフォン	固定電話機	固定電話機	固定電話機
利用場所	どこでも利用可能	どこでも利用可能	どこでも利用可能	どこでも利用可能	自宅内のみ	自宅内のみ	自宅内のみ
緊急通報(110・119への通話)	○	×	×	×	○	○	○
月額料金(基本料金)	5分・10分定額：700～880円 月60分パック：500円 かけ放題：1,700～1,980円	無料	無料	基本料金：300円 ※別途、従量課金が必要	基本料金：1,760～2,145円	550円 (「ひかり電話ネクスト」は 2,750円)	1,078円
従量課金	定額サービス未加入時： 22円/30秒	無料	無料	【携帯電話への通話】 17.6円/分 【固定電話への通話】 8.8円/3分 ※同一IP電話サービス同士は 無料	【携帯電話への通話】 17.6円/60秒 【固定電話への通話】 <市内電話> 9.35円/3分 <市外電話(距離別)> ～20km：22円/90秒 20km超～60km：33円/60秒 60km超：44円/45秒 ※昼時間(8-19時)の場合	【携帯電話への通話】 17.6円/60秒 【固定電話への通話】 8.8円/3分	【携帯電話への通話】 17.6円/60秒 【固定電話への通話】 8.8円/3分 ※同一サービス同士は無料
解約時の手数料 (通話サービスのみの解約時)	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

※料金は国内向けの音声通話料金となります。データ通信を利用するサービスのデータ通信利用料は含まれません。

- 仮に、利用中の固定電話サービス含む全ての固定電話の料金(月額基本料+通話料)が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の音声通話の利用方法について確認した。
- 今回の分析によれば、「現在利用の固定電話をやめて携帯電話の通話定額で代用する」との回答が11.1%で、固定電話の利用者にとって、代用するものの中では携帯電話の通話定額プランが代替的であると認識されていることがうかがえる。

【固定電話サービス→他サービス】



(n=2,173)

- 音声通話における携帯電話と固定電話の代替性の検証においては、以下の内容をアンケートで提示した。
- スwitchングコストと捉え得る費用(解約時の手数料)についても一定程度、シナリオに含んだ上で、アンケートを実施している。

仮に、利用中の携帯電話サービスを含む全ての携帯電話サービスの料金(月額基本料+通話料)が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の携帯電話サービスの音声通話の利用方法について、あてはまるものをお答えください(ひとつだけ)。

※利用サービスを切替・併用する場合、従来サービスの解約料や、新規サービスの事務手数料や開設工事費がかかる可能性があることもご考慮ください。

※1 Web会議等OTTサービス...Teams、Zoom、Webex、LINE電話等のオンラインコミュニケーションツール

※2 モバイル網を活用した固定電話...homeでんわ、ホームプラス電話(ケーブルプラスホーム電話を含む)、ワイヤレス固定電話(NTT東西)等

※3 クラウド電話(電話転送役務を用いるもの)...ひかりクラウド電話、Direct Calling、UniTalk、Cloud Calling等

※4 050番号IP電話アプリ...「050-通信事業者の識別番号-加入者番号」で構成されるIP電話のうち、スマートフォンのアプリから発信する機能を持つサービス

【提示した各サービスのシナリオ】

属性	携帯電話	音声通話アプリ	050番号IP電話アプリ	クラウド電話 (クラウドPBX)	固定電話(加入電話)	固定電話(直収電話)	固定電話 (0AB-Jの光IP電話)	固定電話 (モバイル網を活用した固定電話)
サービス例	KDDI、ドコモ、ソフトバンク、楽天モバイル、以外MVNO	Teams、Zoom、Webex、LINE電話等のオンラインコミュニケーションツール	ビジネスナンバーセット、モバイルチョイス「050」、LaLa Call等	ひかりクラウド電話、Direct Calling、UniTalk、Cloud Calling等	加入電話、ISDN電話	おとくライン	ひかり電話(光IP電話)、KDDI 光ダイレクト、おとく光電話等	homeでんわ、ホームプラス電話、ワイヤレス固定電話(NTT東西)等
前提条件	携帯電話契約	なし	なし	なし	なし	なし	FTTHサービス契約	固定電話機購入
利用準備	サービス契約	アプリダウンロード	アプリダウンロード	サービス契約	サービス契約	サービス契約	サービス契約	サービス契約
電話番号の発行	090/080/070番号	なし (一部オプションで番号発行)	050番号	市外局番・050番号	市街局番の番号	市街局番の番号	市街局番の番号	市外局番の発行
通話連絡条件	なし	なし (一部では友達登録等が必要)	なし	なし	なし	なし	なし	なし
通話対応機器	携帯電話・スマートフォン	携帯電話・スマートフォン・PC・タブレット	スマートフォン	携帯電話・スマートフォン・PC・タブレット・対応固定電話機	固定電話機	固定電話機	固定電話機	固定電話機
利用場所	どこでも利用可能	どこでも利用可能	どこでも利用可能	どこでも利用可能	オフィス等のみ	オフィス等のみ	オフィス等のみ	オフィス等のみ
緊急通報(110・119への通話)	○	×	×	×	○	○	○	○
月額料金(基本料金)	5分・10分定額:700～880円 月60分パック:500円 かけ放題:1,700～1,980円	基本無料 (一部有料オプションあり)	基本料金: 300円～11,000円	サービスによって異なる 例1:Direct Calling:33,990円 例2:Unitalk:800円(市外局番)	基本料金: 1,760～2,145円	おとくライン: 2,350円～3,380円	約500～約1,500円	サービスによって異なる 例1:home電話 ライト1,078円 ベーシック2,178円 例2:ホームプラス電話 1,463円
従量課金	定額サービス未加入時: 22円/30秒	なし	【携帯電話への通話】 17.6円/分 【固定電話への通話】 8.8円/3分 ※同一IP電話サービス同士は無料	従量課金 例1:Direct Calling 【固定電話への通話】8.8円/3分 【携帯電話への通話】17.6円/60秒 例2:Unitalk 【固定電話への通話】 7.9円/3分 【携帯電話への通話】 15.5～16円/60秒	【携帯電話への通話】 17.6円/60秒 【固定電話への通話】 9.35円/3分	通常料金プランの場合 【携帯電話への通話】 20～25円/60秒 (曜日・時間帯によって異なる) 【IP電話への通話】 10円/3分 【固定電話への通話】 ＜県内電話＞ 市内(区域内)8.5円/3分 それ以上:20～40円/3分 (距離・曜日・時間帯によって異なる) ＜県外電話＞ 20～80円/3分 (距離・曜日・時間帯によって異なる)	【携帯電話への通話】 17.6円/60秒 【固定電話への通話】 8.8円/3分	従量課金 例:home電話 【固定電話への通話】 8.8円/3分 【携帯電話への通話】 17.6円/60秒
解約時の手数料 (通話サービスのみの解約時)	なし	なし	なし	サービスごとに異なる	なし	開通後60か月未満に解約した場合、標準工事費(110円/月(不課税))の残月分を一括払い	なし	サービスごとに異なる

※料金は国内向けの音声通話料金となります。データ通信を利用するサービスのデータ通信利用料は含まれません。

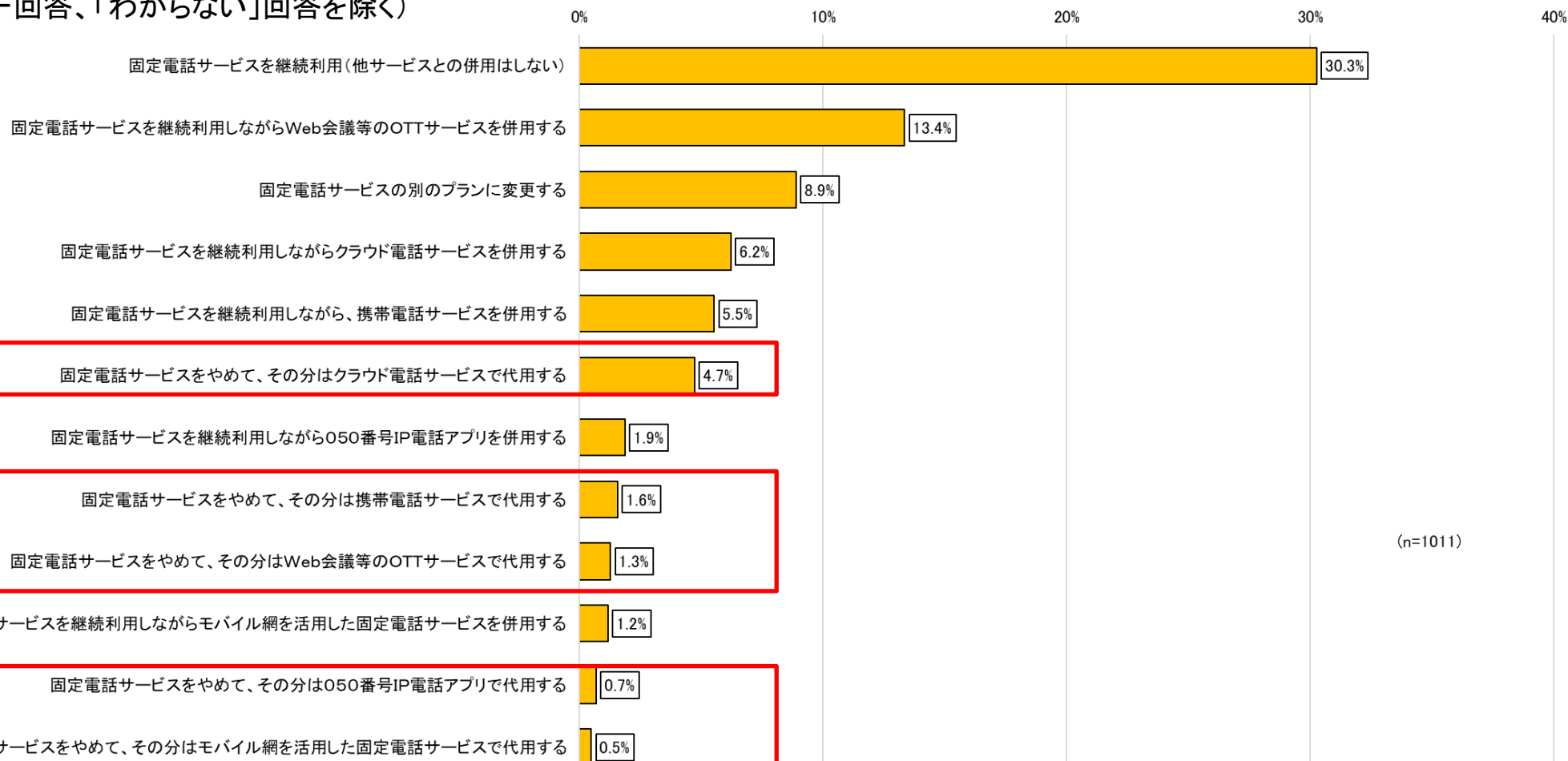
- 仮に、利用中の携帯電話サービスを含む全ての携帯電話サービスの料金(月額基本料+通話料)が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の携帯電話サービスの音声通話の利用方法について、「携帯電話サービスをやめて他サービスで代用する」と回答した割合(0~1.5%)は10%を下回っており、今回の分析によれば、**携帯電話サービスを利用する法人等利用者においては、他の音声通話サービスが代替的ではないと認識されていることがうかがえる。**

(単一回答、「わからない」回答を除く)



- 仮に、利用中の固定電話サービスを含む全ての固定電話サービスの料金(月額基本料+通話料)が今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定電話サービスの音声通話の利用方法について、「固定電話サービスをやめて他サービスで代用する」と回答した割合(0.5~4.7%)は10%を下回っており、今回の分析によれば、固定電話サービスを利用する法人等利用者においては、他の音声通話サービスが代替的ではないと認識されていることがうかがえる。

(単一回答、「わからない」回答を除く)

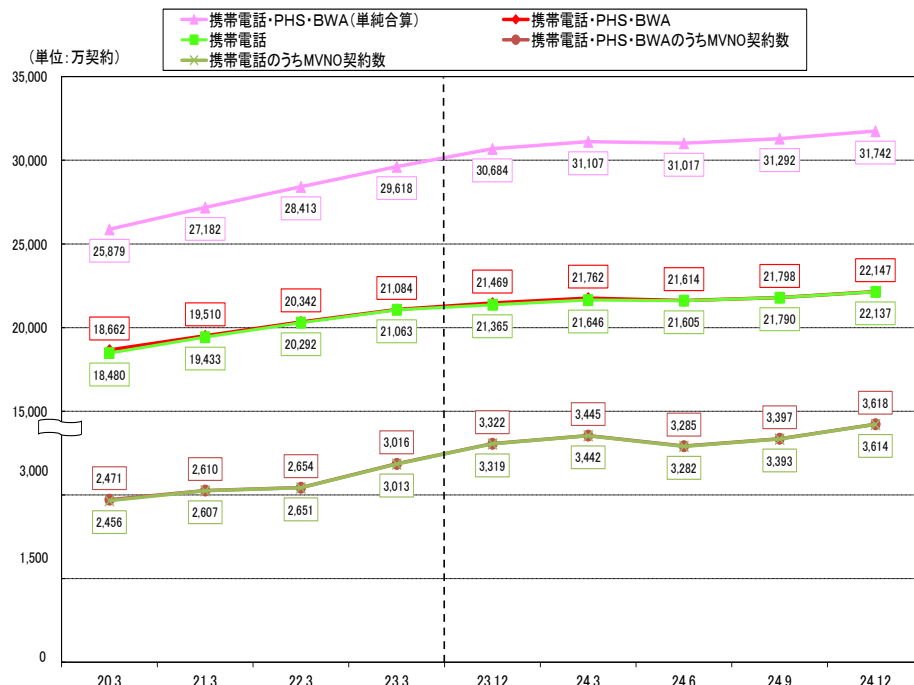


③ 移動系通信市場

- 2024年12月末時点における移動系通信の契約数は、2億2,147万(前期比+1.6%、前年同期比+3.2%)、携帯電話向け通信サービス※の契約数は、1億6,604万(前期比+1.0%、前年同期比+2.4%)となっている。また、MNOの卸契約数は3,618万(前期比+6.5%、前年同期比+8.9%)となっており、引き続き増加傾向にある。
※ 携帯電話契約数から通信モジュール契約数を除いたもの
- 携帯電話向け通信サービス市場におけるシェアは、楽天モバイル・MVNOが微増、NTTドコモ・ソフトバンク・KDDIが微減となっている。
- メイン回線・サブ回線ごとに、現在利用している携帯電話サービスの継続利用期間が3年未満の利用者に対して、以前利用していた携帯電話サービスについて確認したところ、メイン回線については、NTTドコモからahamoに、auからpovo・UQモバイルに、ソフトバンクからワイモバイルに変更した利用者が多くなっている。他方、サブ回線については、「現在利用している携帯電話事業者・サービスが初めて」という回答が圧倒的に多い。
- 携帯電話サービスとセットで提供されるサービスについては、利用者アンケートの結果、「FTTH」、「ワイヤレス固定BB(共用型)」のセット提供が携帯電話サービスの選択に影響をもたらしていることや、「FTTH」、「ワイヤレス固定BB(共用型)」のセット提供が、他のサービスとのセット提供に比べ、携帯電話サービスの切替えのスイッチングコストとしての影響を与えていることがうかがえる。
- 他の事業者が提供する携帯電話サービスに切替えない理由を確認したところ、「現在利用しているサービスに満足しているから」との回答が17.3%と最も多く、「通信会社を変更する事務手続きが面倒だから」との回答が11.2%と2番目に多くなっている。
- メイン回線のサービス品質への満足度を4G/5G別に確認したところ、いずれの点についても満足(「とても満足」と「やや満足」との回答が8割程度であった。メイン回線のサービス品質について「通信の途切れにくさ」に不満(「やや不満」と「とても不満」と回答した回答者に、4G/5G別に不満とを感じる場所・利用シーンを確認したところ、5Gでは、「地下」(31.4%)、「山間部」(30.5%)、「自宅」(26.9%)の順に多かった。現在利用している携帯電話サービス事業者に対して、5Gサービスについて期待することは、「安定性(繋がりやすさ)の向上」と回答した利用者が58.3%で最も多かった。

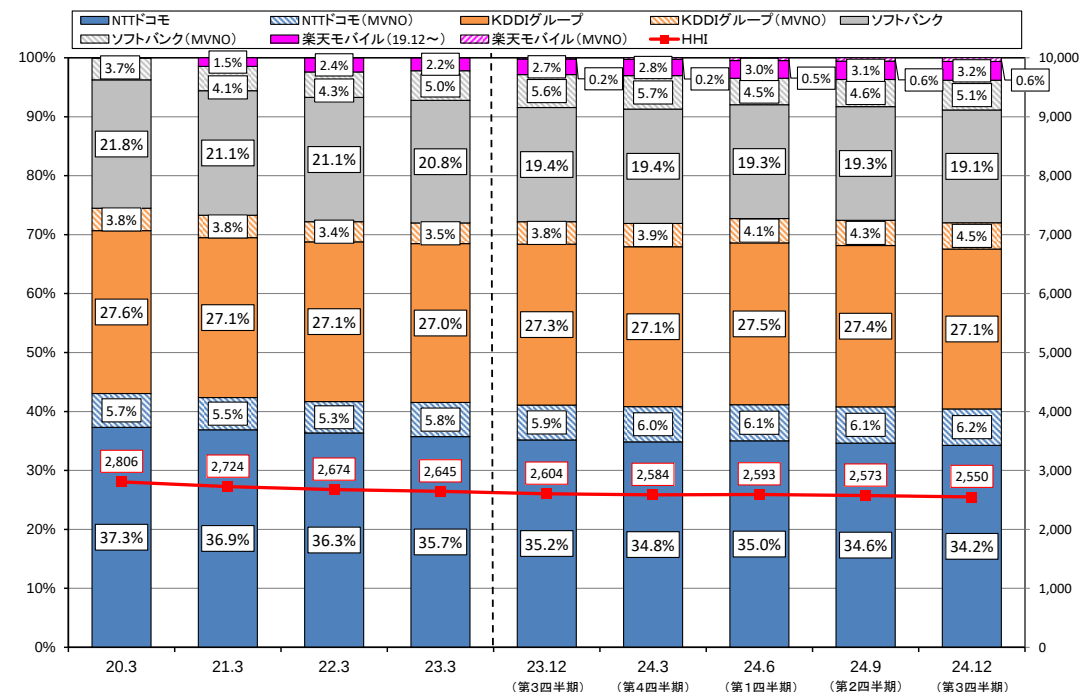
- 2024年12月末時点における移動系通信(携帯電話(3G、LTE及び5G)及びBWA)の契約数は、2億2,147万(前期比+1.6%、前年同期比+3.2%)、携帯電話の契約数は、2億2,137万(前期比+1.6%、前年同期比+3.6%)となっている。
- MNO4グループ及びMVNO別の移動系通信市場におけるシェアの分布(2024年12月末)は以下のとおり。
 - ・ NTTドコモが34.2%(前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲0.9ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると40.4%)
 - ・ KDDIグループが27.1%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.2ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると31.6%)
 - ・ ソフトバンクが19.1%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.3ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると24.2%)
 - ・ 楽天モバイルが3.2%(前期比+0.1ポイント、前年同期比▲0.5ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると3.8%)
 - ・ MVNOが16.3%(前期比+0.8ポイント、前年同期比+0.9ポイント)

【移動系通信の契約数の推移】



注：MNOからの報告を基に作成。

【移動系通信市場におけるシェア及び市場集中度の推移】



注1：「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズが含まれる。

注2：MVNOのシェアを提供元のMNOグループごとに合算し、当該MNOグループ名の後に「(MVNO)」と付記して示している。

注3：楽天モバイルが提供するMVNOサービスは、「NTTドコモ(MVNO)」及び「KDDIグループ(MVNO)」に含まれる。

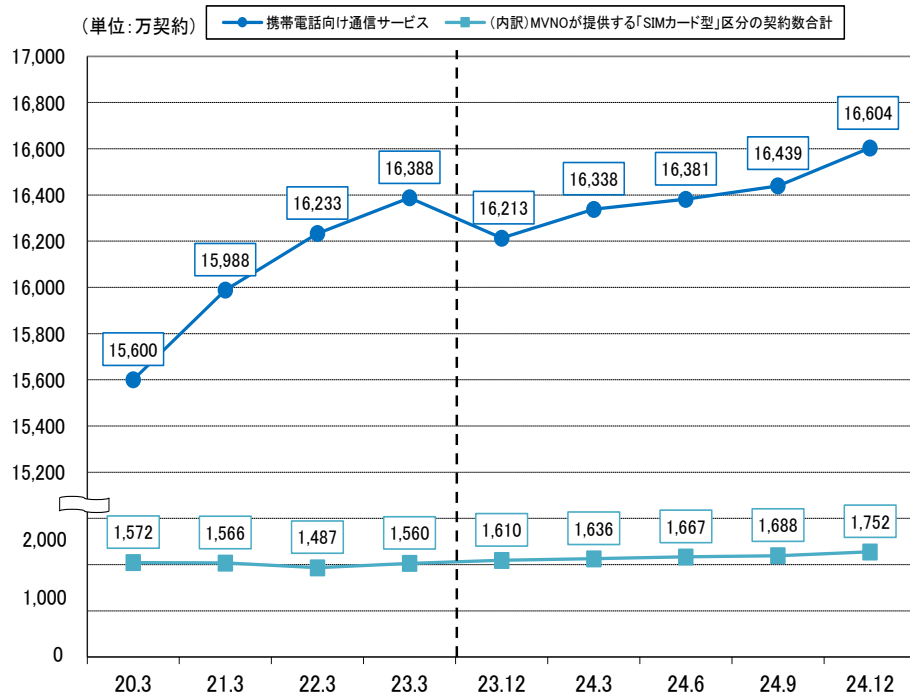
注4：HHIはMVNOのシェアを全て合算して算出している。

出所：電気通信事業報告規則に基づく報告

- 2024年12月末時点における携帯電話向け通信サービス※の契約数は、1億6,604万（前期比+1.0%、前年同期比+2.4%）となっている。
- MNO4グループ及びMVNO別の携帯電話向け通信サービス市場におけるシェアの分布（2024年12月末）は以下のとおり。
 - ・ NTTドコモが35.6%（前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲1.2ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると43.2%）
 - ・ KDDIグループが23.9%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲0.6ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると26.9%）
 - ・ ソフトバンクが20.3%（前期比▲0.3ポイント、前年同期比▲1.1ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると24.9%）
 - ・ 楽天モバイルが4.2%（前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.7ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると5.1%）
 - ・ MVNOが16.0%（前期比+0.9ポイント、前年同期比+2.2ポイント）

※ 携帯電話契約数から通信モジュール契約数を除いたもの

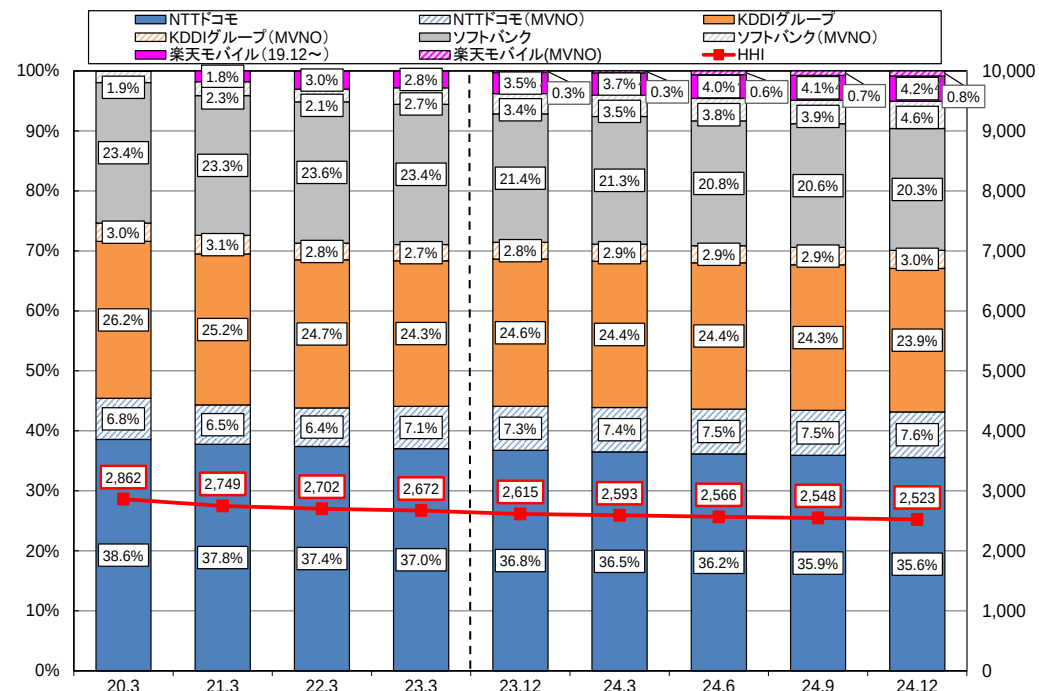
【携帯電話向け通信サービスの契約数の推移】



注：MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。

出所：電気通信事業報告規則に基づく報告

【携帯電話向け通信サービス市場におけるシェア及び市場集中度の推移】



注1：「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズ（2020年度第2四半期まで）が含まれる。

注2：MVNOのシェアを提供元のMNOグループごとに合算し、当該MNOグループ名の後に「（MVNO）」と付記して示している。

注3：楽天モバイルが提供するMVNOサービスは、「NTTドコモ（MVNO）」及び「KDDIグループ（MVNO）」に含まれる。

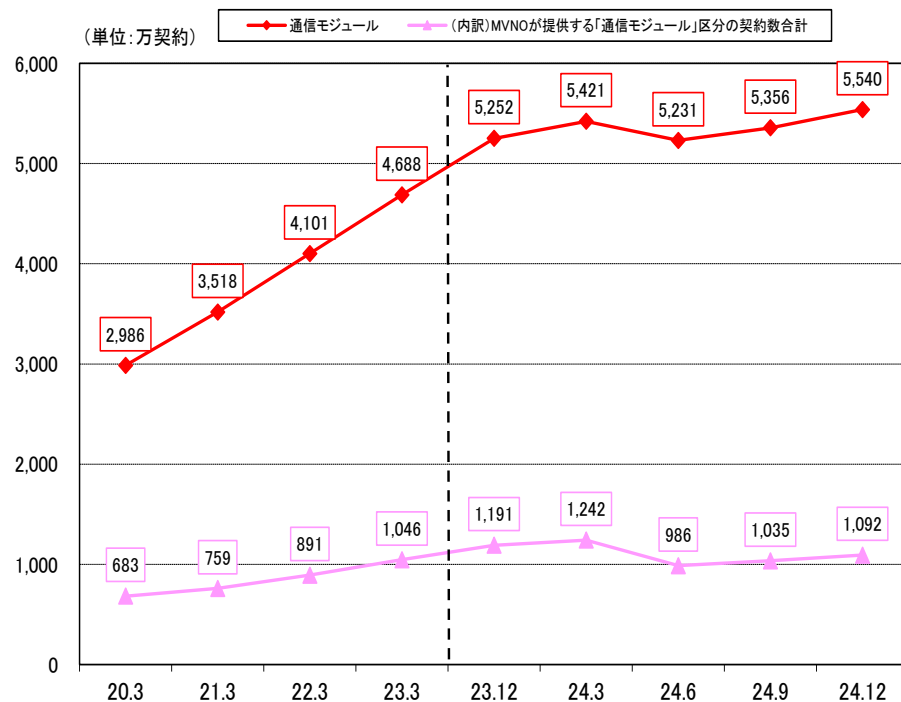
注4：HHIはMVNOのシェアを全て合算して算出している。

注5：各社のMVNO契約数については、提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成しているため、MVNO契約数が実際よりも過少となっている可能性がある。

出所：電気通信事業報告規則に基づく報告

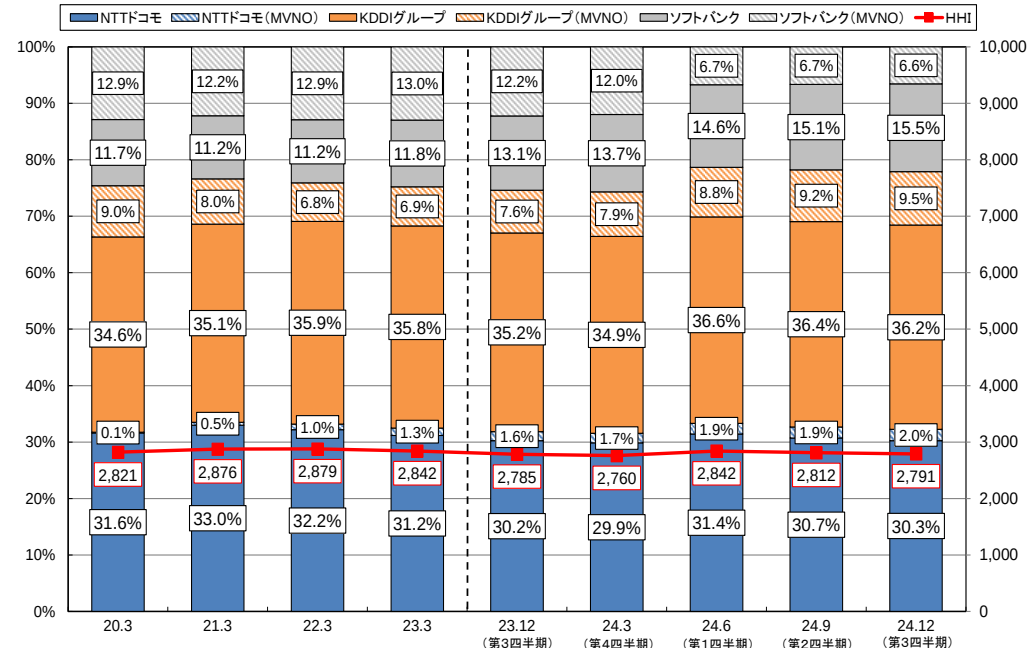
- 2024年12月末時点における通信モジュールの契約数は、5,540万(前期比+3.4%、前年同期比+5.5%)となっている。
- MNO3グループ及びMVNO別の通信モジュール市場におけるシェアの分布(2024年12月末)は以下のとおり。
 - ・ NTTドコモが30.3%(前期比▲0.5ポイント、前年同期比±0.0ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると32.2%)
 - ・ KDDIグループが36.2%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比+1.0ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると45.7%)
 - ・ ソフトバンクが15.5%(前期比+0.4ポイント、前年同期比+2.4ポイント、MVNOへの提供に係るものを含めると22.1%)
 - ・ MVNOが18.0%(前期比+0.3ポイント、前年同期比▲3.4ポイント)

【通信モジュールの契約数の推移】



注: MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。

【通信モジュール市場におけるシェア及び市場集中度の推移】



注1: 「KDDIグループ」には、KDDI及び沖縄セルラーを含む。

注2: MVNOのシェアを提供元のMNOごとに合算し、当該MNO名の後に「(MVNO)」と付記して示している。

注3: HHIはMVNOのシェアを全て合算して算出している。

注4: 各社のMVNO契約数については、提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成しているため、MVNO契約数が実際よりも過少となっている可能性がある。

注5: 実質的にはIoT向けと考えられるものの、MVNOから「通信モジュール」ではなく「SIMカード型」として契約数の報告がなされている場合も存在する可能性があるため、MVNO契約数が実際よりも過少となっている可能性がある。

注6: 通信モジュールを提供するMVNOの中には、MNOと同様の形態でサービスを提供していないものも含まれている可能性がある。

注7: 本グラフでは、携帯電話回線を用いた通信モジュール契約数からシェアを算出している。

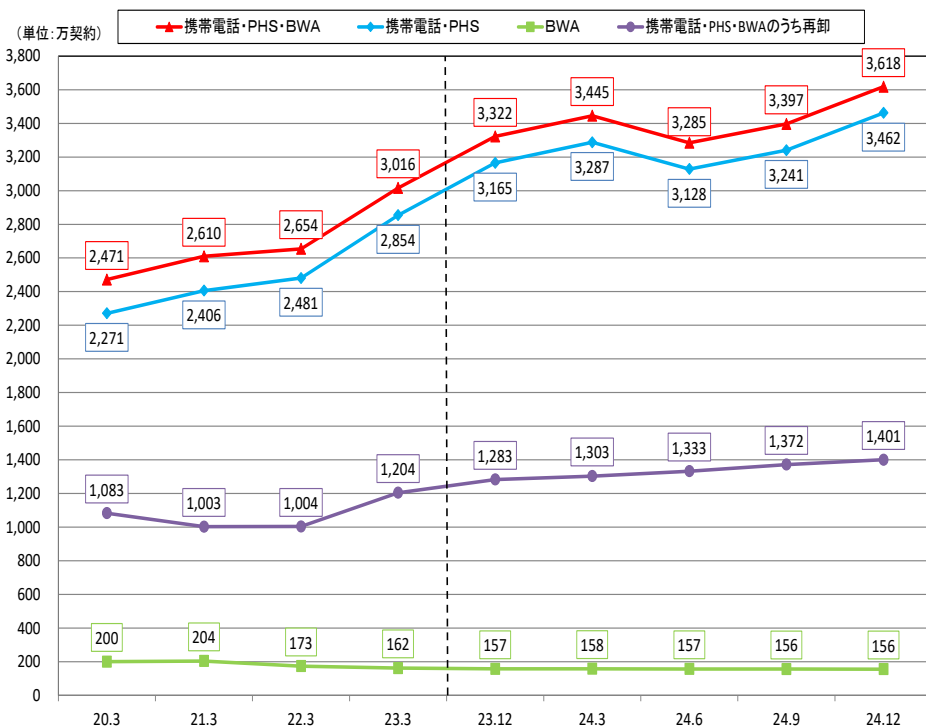
出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

- 2024年12月末時点におけるMNOの卸契約数は**3,618万**(前期比+6.5%、前年同期比+8.9%)となっており、引き続き**増加傾向**にある。また、再卸事業者が提供する契約数は**1,401万**(前期比+2.1%、前年同期比+9.2%)となっており、直近では**増加傾向**にある。
- 2024年12月末時点における最終利用者に提供するMVNO※の卸元事業者別シェアは、NTTドコモが**28.6%**(前期比+0.3ポイント、前年同期比+3.5ポイント)、KDDIグループが**27.2%**(前期比+0.2ポイント、前年同期比+3.6ポイント)、ソフトバンクが**16.6%**(前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲10.0ポイント)、**楽天モバイル(MNO)**が**1.8%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+1.7ポイント)、**再卸事業者**が**25.8%**(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲1.2ポイント)となっている。HHIは**1,875**となっている。

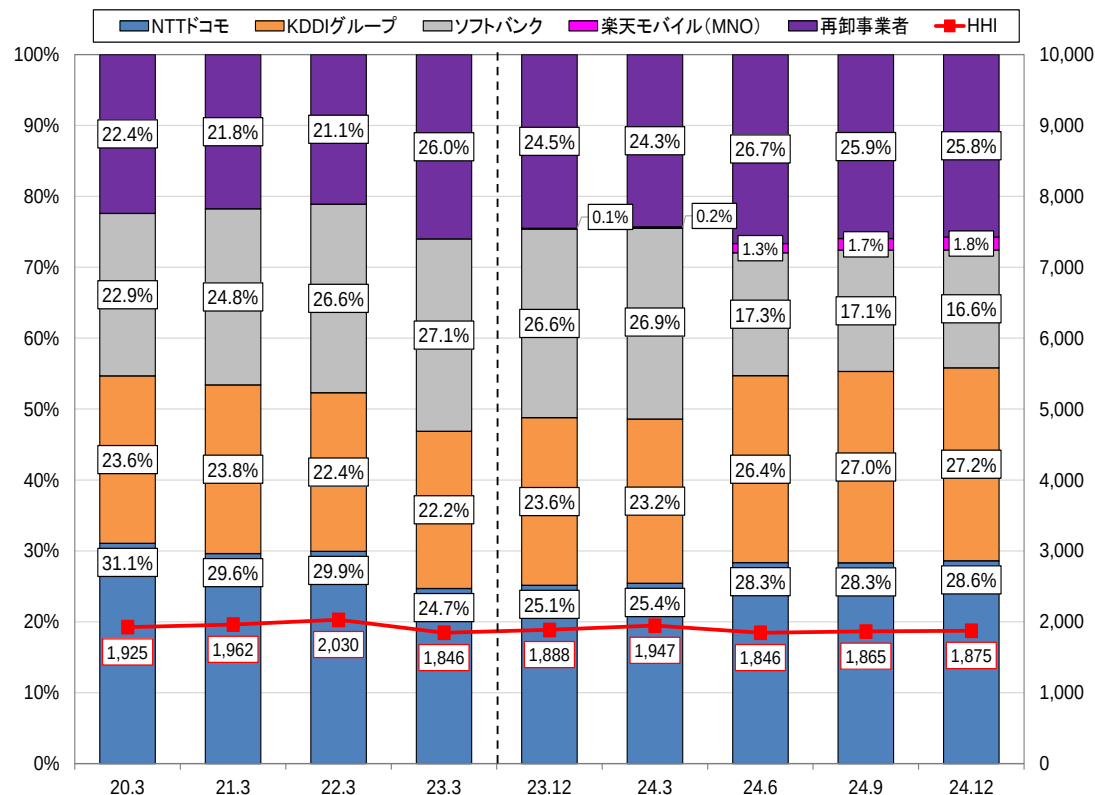
※ 提供している契約数が3万以上のMVNO

【移動系通信の卸契約数の推移】



注: MNO及び契約数3万以上のMVNOからの報告を基に作成。

【最終利用者に提供するMVNOの卸元事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注1: 「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズを含む。

注2: 提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。

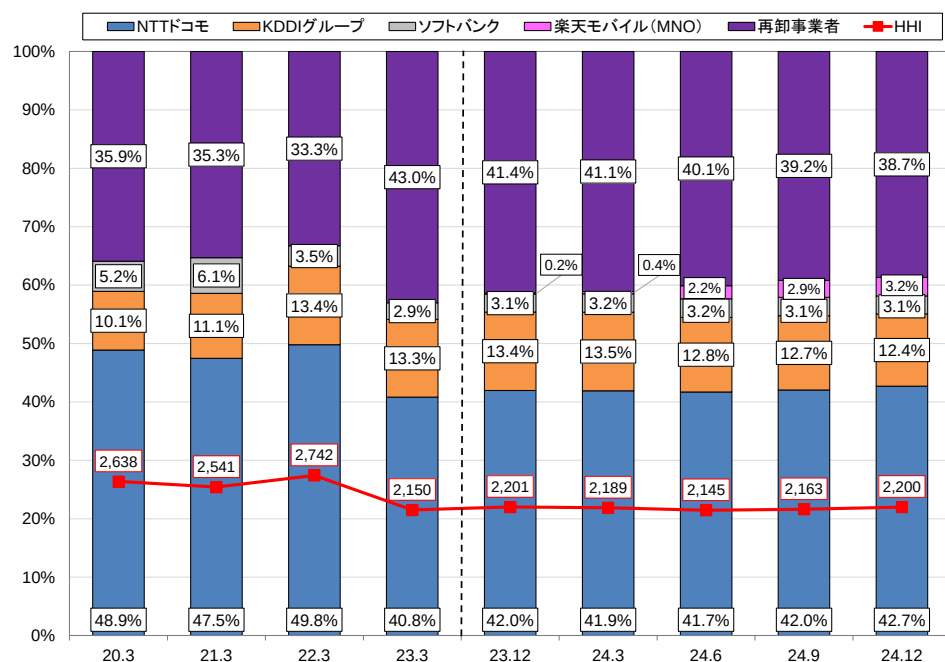
注3: MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。

出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

- 2024年12月末時点における携帯電話向け通信サービス市場の最終利用者に提供するMVNO※の卸元事業者別シェアは、NTTドコモが**42.7%**(前期比+0.7ポイント、前年同期比+0.7ポイント)、KDDIグループが**12.4%**(前期比▲0.4ポイント、前年同期比▲1.1ポイント)、ソフトバンクが**3.1%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比±0.0ポイント)、再卸事業者が**38.7%**(前期比▲0.5ポイント、前年同期比▲2.7ポイント)となっている。HHIは**2,200**となっている。
- 2024年12月末時点における通信モジュール市場の最終利用者に提供するMVNO※の卸元事業者別シェアは、NTTドコモが**10.1%**(前期比±0.0ポイント、前年同期比+3.0ポイント)、KDDIグループが**48.3%**(前期比+0.6ポイント、前年同期比+14.7ポイント)、ソフトバンクが**33.4%**(前期比▲1.1ポイント、前年同期比▲20.7ポイント)、再卸事業者が**8.2%**(前期比+0.5ポイント、前年同期比+3.0ポイント)となっている。HHIは**3,555**となっている。

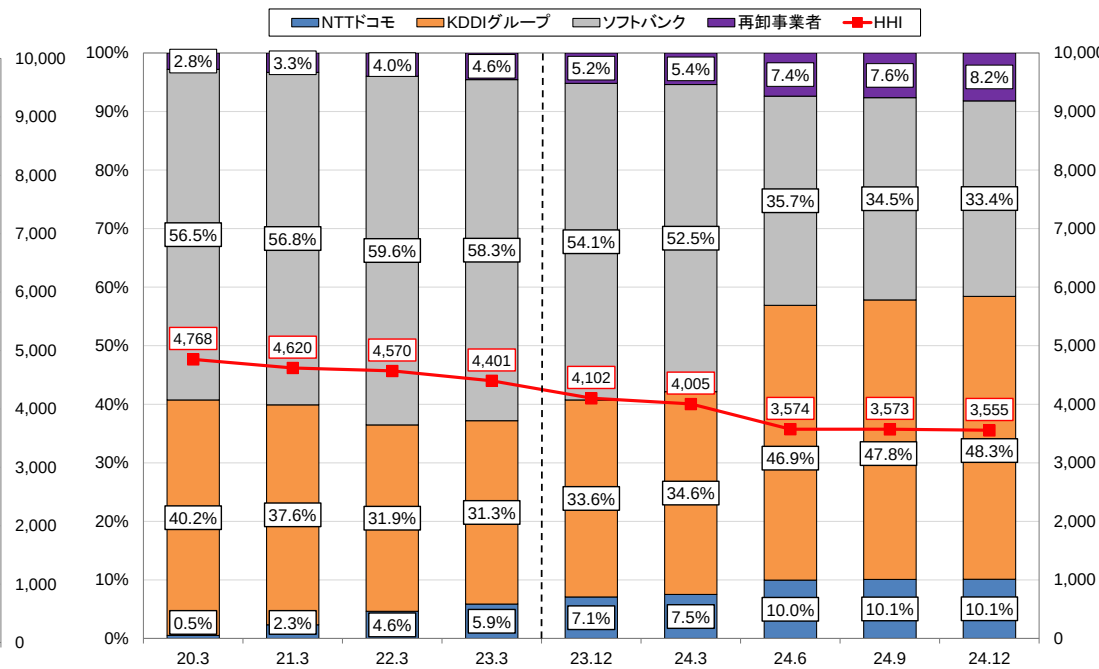
※ 提供している契約数が3万以上のMVNO

【最終利用者に提供するMVNOの卸元事業者別シェア及び市場集中度の推移(SIMカード型)】



注1:「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー及びUQコミュニケーションズを含む。
 注2:提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。
 注3:MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。

【最終利用者に提供するMVNOの卸元事業者別シェア及び市場集中度の推移(通信モジュール)】



注1:「KDDIグループ」には、KDDI及びUQコミュニケーションズを含む。
 注2:提供している契約数が3万以上のMVNOからの報告を元に作成。
 注3:MNOのグループ内取引による契約数の重複を排除している。

- メイン回線・サブ回線ごとに、現在利用している携帯電話サービスの継続利用期間が3年未満の利用者に対して、以前利用していた携帯電話サービスについて確認した。
- メイン回線については、同一事業者を除くと、NTTドコモからahamoに、auからpovo・UQモバイルに、ソフトバンクからワイモバイルに変更した利用者が多くなっている。

以前利用していた携帯電話サービス(メイン回線)

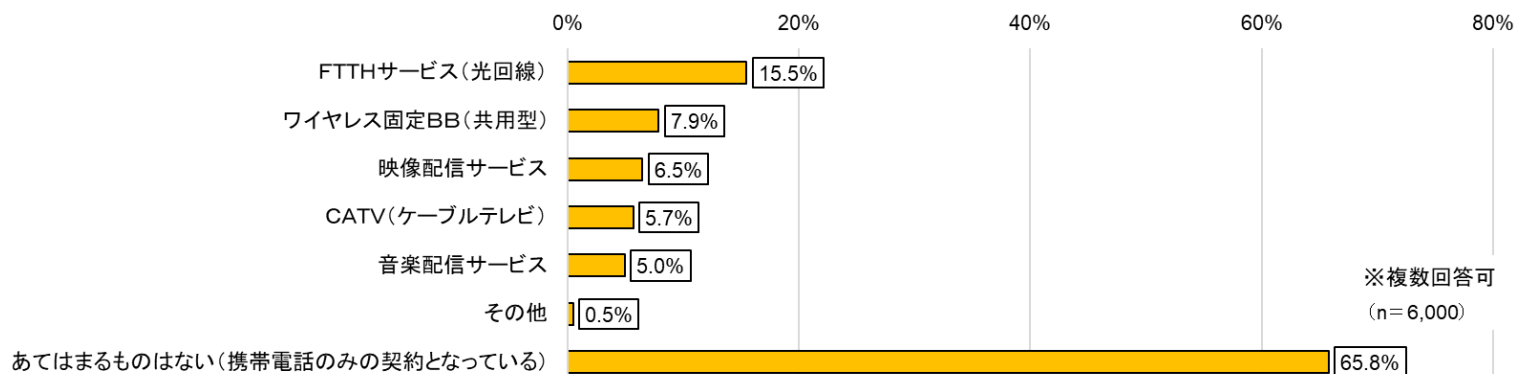
		以前利用していた携帯電話サービス(メイン回線)																											
		該 当 数	NTT ド コ モ	a h a m o	OCN モ バ イ ル O N E (N T T ド コ モ (旧 N T T レ ゾ ナ ン ト)	a u	p o v o	ソ フ ト バ ン ク	L I N E M O	楽 天 モ バ イ ル (R a k u t e n 最 強 ブ ラ ン)	ワ イ モ バ イ ル	U Q モ バ イ ル	IIJ m i o (み お ふ お ん) (イ ン タ ー ネ ッ ト イ ニ シ ア テ ィ ブ)	イ オ ン モ バ イ ル (イ オ ン リ テ ー ル)	J : C O M M O B I L E (J : C O M グ ル ー プ)	D M M m o b i l e (楽 天 モ バ イ ル)	N i f M o (ニ フ テ ィ)	B I G L O B E モ バ イ ル (※ 旧 B I G L O B E L T E ・ 3 G 含 む (ビ ッ グ ロ ー ブ)	m i n e o (オ プ テ ー ジ (旧 ケ ィ ・ オ プ テ ィ コ ム)	L I N E モ バ イ ル (L I N E モ バ イ ル)	S I M (プ ラ ス ワ ン ・ マ ー ケ テ ィ ン グ 含 む)	楽 天 モ バ イ ル (楽 天 モ バ イ ル) ※ 旧 F R E E T E L	そ の 他	わ か ら な い / 覚 え て い な い	現 在 利 用 し て い る 携 帯 電 話 事 業 者 ・ サ ー ビ ス が 初 め て				
該当数を除き、単位: %																													
現在利用している携帯電話サービス(メイン回線)	全 体	2160	22.5	3.1	1.6	18.4	2.0	15.0	1.2	4.9	5.5	5.5	0.6	0.4	0.3	0.4	0.1	1.0	0.9	0.5	3.5	3.3	2.7	7.0					
	NTTドコモ	343	49.9	3.5	2.0	5.8	0.9	5.5	0.9	2.3	2.9	2.9	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.6	4.4	16.9					
	ahamo	207	65.2	0.0	0.5	7.7	2.4	2.4	1.9	2.9	4.8	3.9	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.5	0.0	1.0	0.5	2.9	2.4					
	OCNモバイルONE(NTTドコモ(旧 NTTレゾナント))	57	24.6	7.0	0.0	5.3	1.8	7.0	0.0	14.0	0.0	7.0	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	3.5	12.3	1.8	8.8					
	au	165	6.7	3.0	1.8	43.0	1.2	4.8	0.0	3.0	0.0	14.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	5.5	15.8					
	povo	69	7.2	0.0	2.9	37.7	0.0	0.0	1.4	24.6	0.0	4.3	1.4	0.0	1.4	0.0	0.0	2.9	2.9	1.4	2.9	0.0	1.4	7.2					
	ソフトバンク	189	11.1	0.5	1.1	9.5	0.0	48.1	0.5	2.1	15.3	2.6	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.5	0.0	0.5	1.1	0.5	5.3					
	LINEMO	44	11.4	4.5	0.0	4.5	2.3	22.7	0.0	9.1	6.8	9.1	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	2.3	0.0	6.8	2.3	9.1	2.3	4.5					
	楽天モバイル(Rakuten 最強プラン)	253	13.0	5.1	2.8	9.9	4.3	9.1	3.2	0.0	7.5	9.9	0.8	0.8	0.0	0.8	0.4	0.8	1.6	0.8	23.3	1.6	0.4	4.0					
	ワイモバイル	306	13.7	4.9	1.3	10.8	1.3	42.2	1.0	4.2	0.0	7.8	0.3	0.7	0.3	0.0	0.0	1.0	1.0	0.0	0.7	3.6	2.3	2.9					
	UQモバイル	315	8.9	3.5	0.3	48.9	2.2	7.6	1.0	4.1	11.4	0.0	0.0	0.3	0.6	0.3	0.3	0.3	0.3	0.0	1.3	2.2	2.9	3.5					
	IIJmio(みおふおん) (インターネットイニシアティブ)	44	6.8	2.3	6.8	4.5	6.8	2.3	0.0	6.8	2.3	6.8	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0	9.1	4.5	4.5	0.0	18.2	4.5	9.1					
	イオンモバイル(イオンリテール)	10	20.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	26	11.5	0.0	0.0	23.1	7.7	3.8	0.0	3.8	7.7	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	11.5	3.8	11.5					
	DMMmobile(楽天モバイル)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	NifMo(ニフティ)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	BIGLOBEモバイル ※旧BIGLOBE LTE・3G含む(ビッグローブ)	8	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	mineo(オプテージ(旧ケイ・オプティコム))	24	8.3	0.0	0.0	12.5	4.2	4.2	0.0	12.5	4.2	4.2	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	20.8	8.3	0.0	0.0				
	LINEモバイル(LINEモバイル)	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	楽天モバイル(楽天モバイル) ※旧 FREETELSIM(プラスワン・マーケティング含む)	25	12.0	0.0	0.0	12.0	4.0	8.0	0.0	36.0	12.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
	その他	73	9.6	2.7	4.1	15.1	1.4	4.1	2.7	13.7	1.4	1.4	4.1	0.0	0.0	1.4	0.0	2.7	1.4	1.4	1.4	24.7	2.7	4.1					

- 他方で、サブ回線については、「現在利用している携帯電話事業者・サービスが初めて」という回答が圧倒的に多く、NTTドコモ利用者、au利用者及びソフトバンク利用者については、自社のサービス内での変更(3Gから4G、4Gから5Gなど)も、比較的多くみられる。

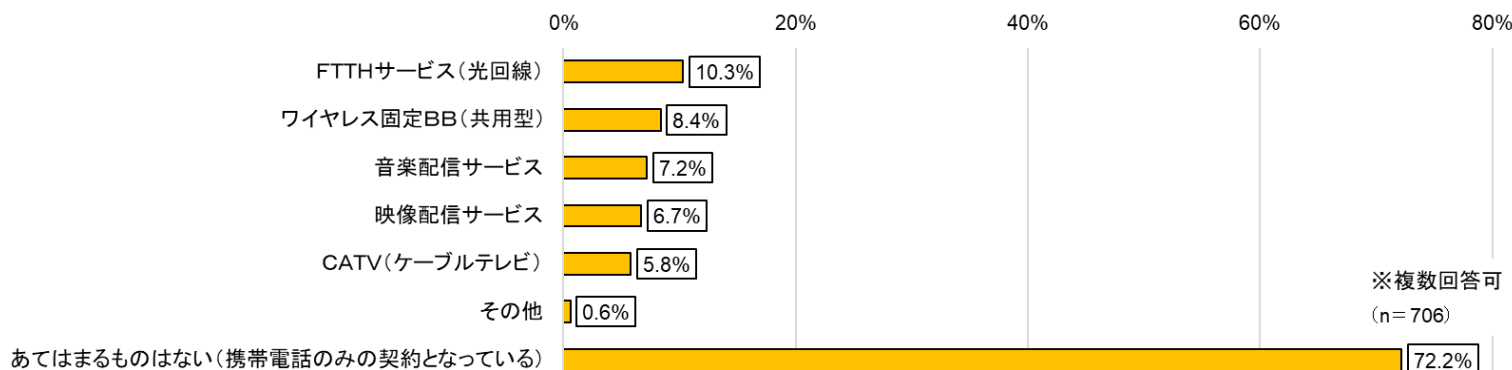
		以前利用していた携帯電話サービス(サブ回線)																						現在利用している携帯電話事業者・サービスが初めて
		NTTドコモ	ahamo	OCNモバイルONE(NTTドコモ(旧NTTレゾナント))	au	povo	ソフトバンク	LINEMO	楽天モバイル(Rakuten UN-LIMIT)	ワイモバイル(ソフトバンク)	UQモバイル(KDDI)	IIJmio(みおふおん)(インターネットイニシアティブ)	イオンモバイル(イオンリテール)	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	DMMmobile(楽天モバイル)	NifMo(ニフティ)	BIGLOBEモバイル※旧BIGLOBE LTE・3G含む(ビッグロープ)	mineo(オプテージ(旧ケイ・オプティコム))	LINEモバイル(LINEモバイル)	楽天モバイル(楽天モバイル)※旧FREETELSIM(プラスワン・マーケティング含む)	その他	わからない／覚えていない		
該当数																								
該当数を除き、単位: %																								
全 体		323	12.7	1.9	2.5	9.0	2.5	8.7	1.2	5.3	3.7	2.2	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.3	0.3	5.6	2.2	7.7	32.5	
現在利用している携帯電話サービス(サブ回線)	NTTドコモ	69	26.1	4.3	1.4	2.9	4.3	11.6	1.4	4.3	2.9	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	14.5	23.2	
	ahamo	21	33.3	0.0	0.0	14.3	4.8	4.8	9.5	4.8	4.8	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	14.3	
	OCNモバイルONE(NTTドコモ(旧NTTレゾナント))	7	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.1	
	au	20	5.0	5.0	0.0	35.0	5.0	5.0	0.0	10.0	0.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	
	povo	29	3.4	0.0	0.0	13.8	0.0	0.0	0.0	13.8	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	55.2	
	ソフトバンク	23	4.3	0.0	0.0	4.3	8.7	39.1	0.0	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	26.1	
	LINEMO	7	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1	
	楽天モバイル(Rakuten UN-LIMIT)	30	16.7	0.0	0.0	3.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	0.0	36.7	0.0	0.0	30.0	
	ワイモバイル(ソフトバンク)	22	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0	27.3	4.5	4.5	0.0	9.1	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	31.8	
	UQモバイル(KDDI)	25	8.0	0.0	0.0	20.0	0.0	4.0	0.0	4.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	4.0	4.0	36.0	
	IIJmio(みおふおん)(インターネットイニシアティブ)	5	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	
	イオンモバイル(イオンリテール)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	DMMmobile(楽天モバイル)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
NifMo(ニフティ)	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
BIGLOBEモバイル※旧BIGLOBE LTE・3G含む(ビッグロープ)	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0		
mineo(オプテージ(旧ケイ・オプティコム))	6	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7		
LINEモバイル(LINEモバイル)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0		
楽天モバイル(楽天モバイル)※旧FREETELSIM(プラスワン・マーケティング含む)	9	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3		
その他	13	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38.5	23.1	23.1		
わからない	31	6.5	3.2	9.7	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	25.8	32.3	

- 携帯電話サービスとセットで提供を受けているサービスについて、メイン回線では「FTTHアクセスサービス」(15.5%)が最も割合が高く、次いで、「ワイヤレス固定BB(共用型)」(7.9%)、「映像配信サービス」(6.5%)、「CATV」(5.7%)、「音楽配信サービス」(5.0%)という結果となっていた。
- サブ回線では回答者全体でみると、携帯電話のみの契約となっていると回答した者が72.2%とメイン回線と比べて多くなっている。

【メイン回線】

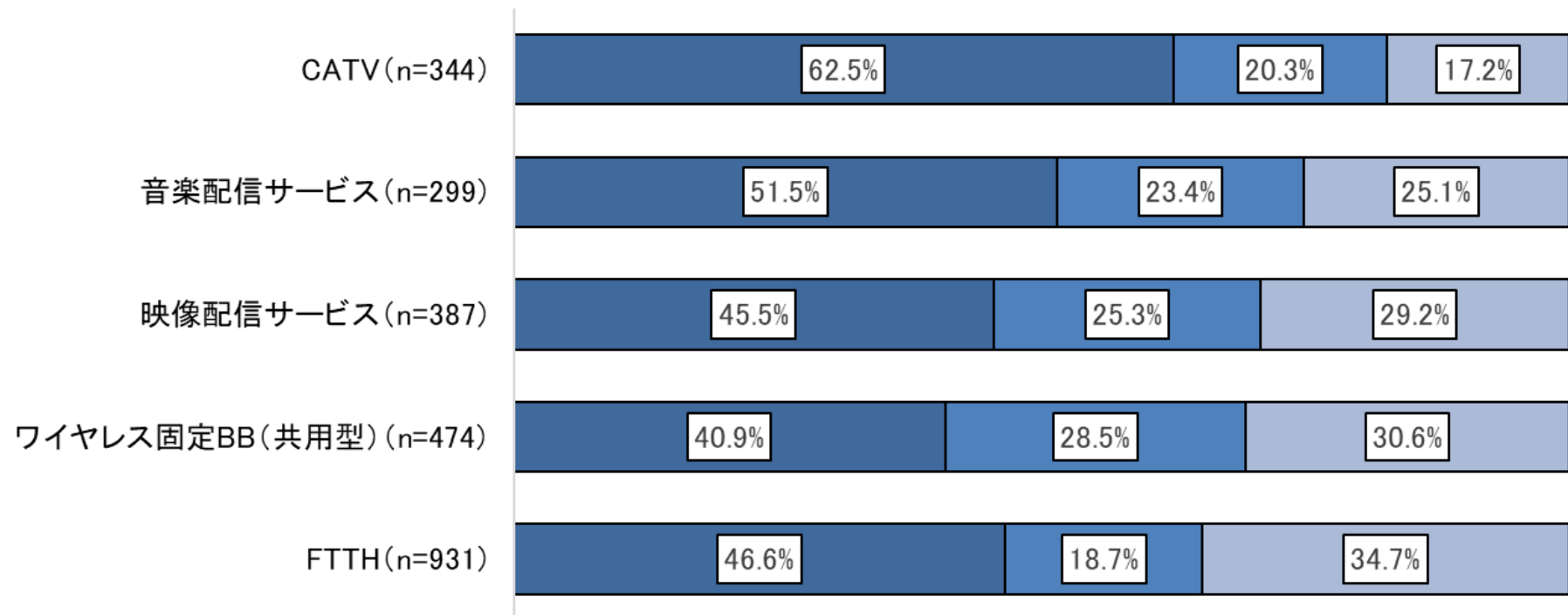


【サブ回線】



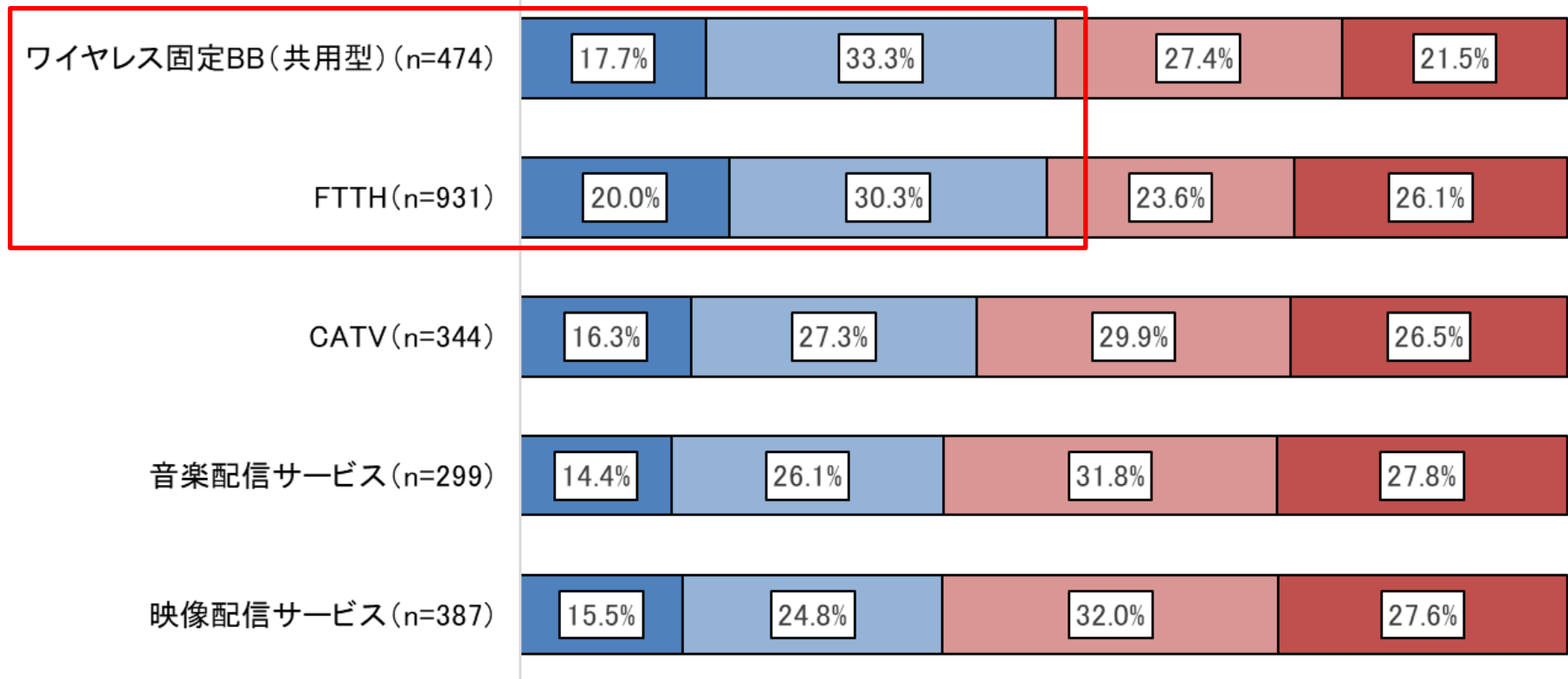
- 携帯電話サービスとセットで提供を受けているサービスの利用開始時期について、各サービスごとに確認した。
- メイン回線においては、携帯電話サービスの利用開始と同時かそれ以降にサービスの利用を開始したとの回答は、「CATV」で8割を超え、「音楽配信サービス」、「映像配信サービス」、「ワイヤレス固定BB(共用型)」で7割前後となっており、携帯電話サービスがその他のサービス選択に影響をもたらしていることがうかがえる。

- 現在メインで利用中の携帯電話サービスの利用開始後にサービスの利用を開始した。
- 現在メインで利用中の携帯電話サービスの利用開始と同時にサービスの利用を開始した。
- 現在メインで利用中の携帯電話サービスの利用開始前からサービスを利用していた。

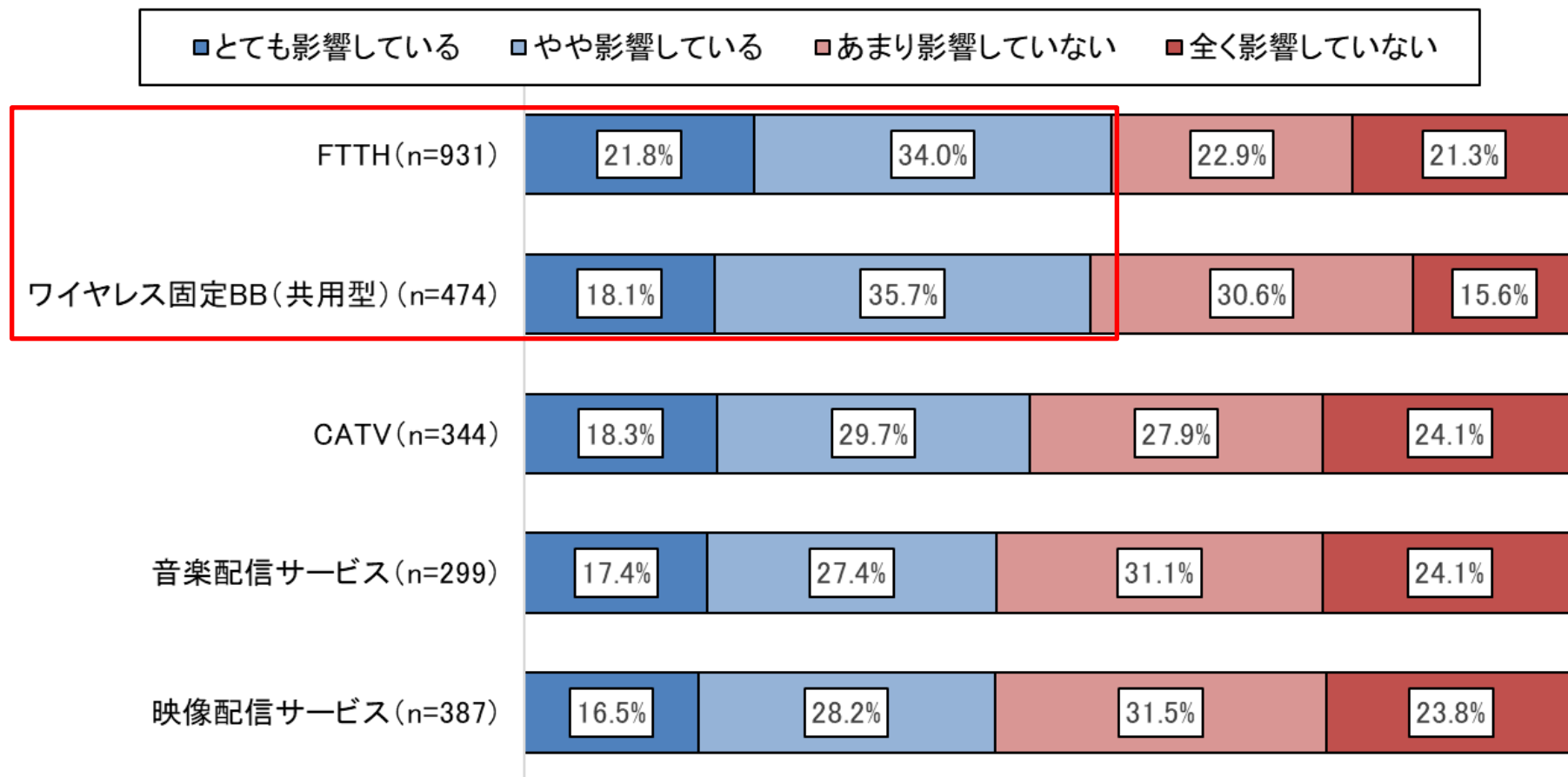


- 携帯電話サービスを契約する際に他のサービスをセットで契約できることが影響したかについて、各サービスごとに確認した。
- メイン回線では、携帯電話サービスを契約する際にセット契約できることが影響したとの回答は、「ワイヤレス固定BB(共用型)」(51.0%)と「FTTH」(50.3%)をセットで契約している利用者で5割を超えており、ワイヤレス固定BB(共用型)とFTTHのセット提供が携帯電話サービスの選択に影響をもたらしていることがうかがえる。

■とても影響した ■やや影響した ■あまり影響しなかった ■全く影響しなかった

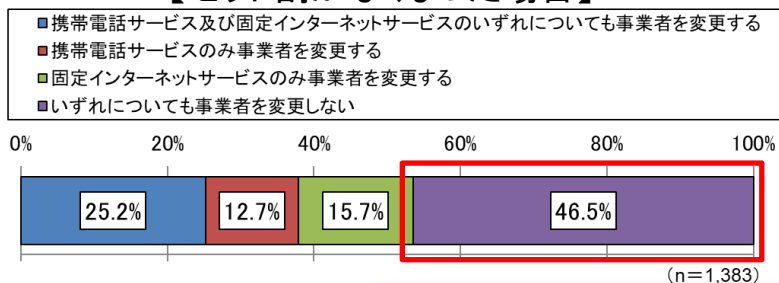


- 携帯電話サービスを継続している理由として、他のサービスをセットで契約していることが影響しているかについて、各サービスごとに確認した。
- メイン回線では、携帯電話サービスを継続している理由に影響しているとの回答は、「FTTH」(55.8%)と「ワイヤレス固定BB(共用型)」(53.8%)をセットで契約している利用者が5割を超えており、これらのサービスのセット提供が、携帯電話サービスの切替えのスイッチングコストとしての影響を与えていることがうかがえる。



- 携帯電話サービスと固定系ブロードバンドサービスをセット割で提供を受けることについて利用者に確認した。セット割利用者がセット割がなくなった場合にどうするかについては、「いずれについても事業者を変更しない」との回答が5割弱であった(46.5%)。
- セット割を利用していない利用者の理由としては、「違約金の支払いをしたくない」、「追加工事が必要だから」、「解約・MNPが簡単に行えないから」といった理由が10～15%程度にとどまる一方、「事業者を変更するための事務作業が面倒くさいから」が53.3%と最も多い理由だった。違約金・解約手続やMNP・追加工事といった要素よりも事務作業がよりスイッチングコストとして認識されていることがうかがえる。

【セット割がなくなった場合】



固定系ブロードバンドサービスを利用しているが、セット割対象の事業者(サービス)に変更するための事務作業が面倒くさいから

固定系ブロードバンドサービスを利用しているが、セット割対象の事業者(サービス)に変更するために現在利用しているサービスを解約したときに生じる違約金の支払いをしたくないから

固定系ブロードバンドサービスを利用しているが、セット割対象の事業者(サービス)に変更するため現在利用している事業者(サービス)の解約に伴う追加工事(及びその費用)が必要だから

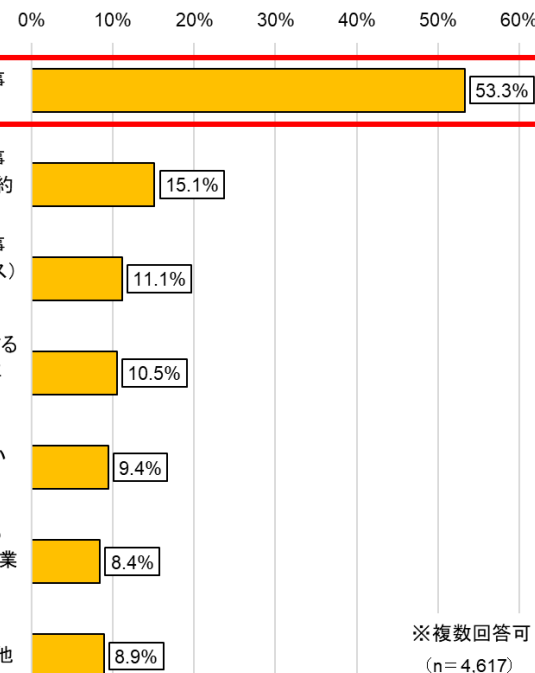
固定系ブロードバンドサービスを利用しているが、セット割を利用すると利用している携帯電話サービスの事業者の解約・MNPが簡単に行えないから

固定系ブロードバンドサービスを利用しておらず、今後も利用したいと思わないため

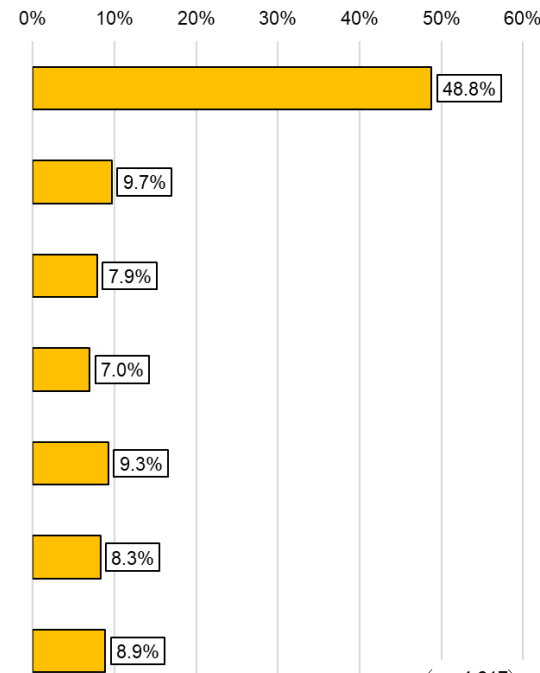
固定系ブロードバンドサービスを利用しておらず、利用したいと思っているが、固定系ブロードバンドサービスを契約するための事務作業が面倒くさいから

その他

【セット割しない理由(すべて)】



【セット割しない理由(最も)】



※複数回答可
(n=4,617)

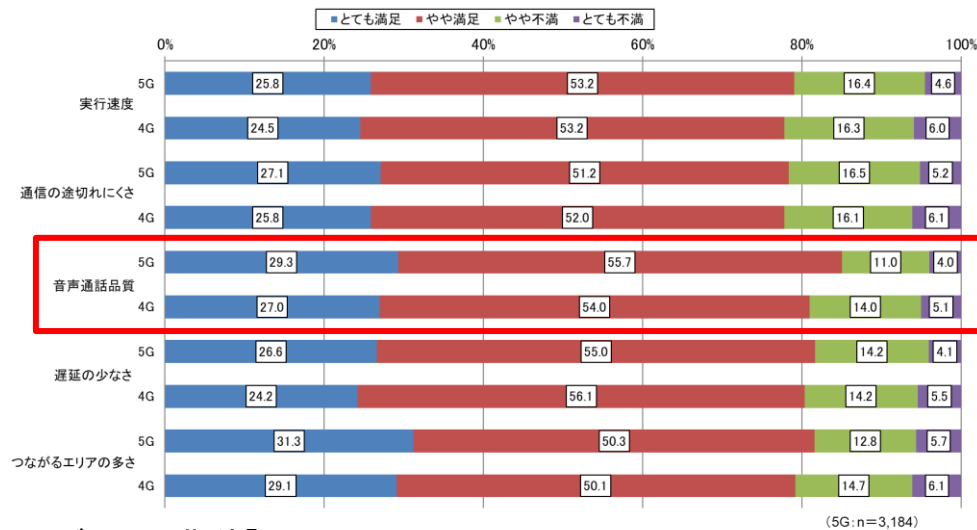
(n=4,617)

- 現在利用契約している携帯電話サービスが仮に利用できなくなった場合の変更先として回答したサービスごとに、現時点で切替えない理由を確認した。
- メイン回線では、「現在利用しているサービスに満足しているから」との回答が17.3%と最も多く、サービス競争が適正に機能していることがうかがえる一方、「通信会社を変更する事務手続きが面倒だから」との回答が11.2%と2番目に多くなっている。

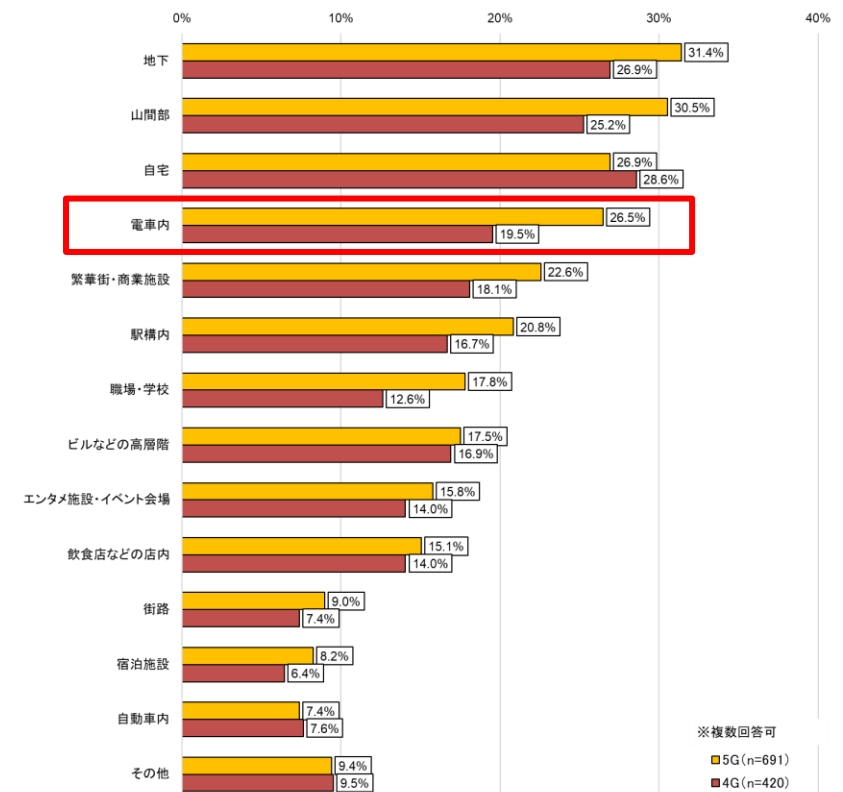
メイン回線に係る変更先として回答したサービスに現時点で切り替えない理由(最も当てはまるもの)																																
該当数			サブ利用(2回線目以降)の回線として利用している	サービスの内容をよく知らないから	身近で契約できる場所がないから	契約の仕方がわからないから	初期費用が高いから	月額利用料金が高いから	タイトルのコストが高いから	電話番号を安く抑えるためには、電話の際に専用のアプリを利用しなければならぬ面倒くさいから	都合の良い料金体系がないから	料金プランがわかりにくいから	割引やキャッシュバックがないから	固定通話やインターネット接続サービスとのセット契約、セット割引が利用できないから	通信速度が遅いと思うから	通信品質に不安があるから	アフターサービスやサポートに不安があるから	設定が難しそうだから	メールアドレスを変更しにくいから	利用可能な端末に魅力を感じないから	端末にSIMロックがかかっておりそのまま端末を利用できないから	魅力的なサービスがないから	ブランドイメージが良くないから	通信会社を変更する事務手続きが面倒だから	現在利用しているサービスに満足しているから	MNPワンストップに対応していない	事業者からクーラーボンの提供を受けるなど、引き止めを受けたから	MNPワンストップを利用しようと思ったが、受付時間外の夜間において、中斷を強いられるから	MNPワンストップを利用しようと思ったが、店頭・電話では手続に対応していないから	その他		
全 体			6000	0.3	5.0	2.3	2.3	2.0	8.4	3.8	2.3	3.7	2.6	2.1	2.5	2.5	4.8	1.5	3.3	5.5	2.1	0.8	3.3	1.4	11.2	17.3	0.9	0.7	0.8	0.8	0.8	5.3
現在利用している携帯電話サービス(メイン回線)が利用できなかった場合の変更先	NTTドコモ	525	0.4	4.8	2.3	1.3	2.9	14.3	5.7	1.5	5.3	3.0	1.5	1.7	1.7	2.5	1.1	3.4	5.5	2.5	1.0	2.9	1.1	11.0	15.2	1.5	1.3	1.3	1.0	0.6	1.5	
	ahamo	699	0.1	5.3	2.1	2.4	1.1	7.7	4.4	2.1	3.0	1.9	1.7	1.7	2.6	5.0	1.9	4.9	8.7	1.9	1.1	2.9	0.9	11.3	18.9	0.6	0.7	0.3	0.9	1.1	2.7	
	au	362	0.3	4.7	3.3	3.3	2.8	11.3	3.3	2.2	3.6	3.6	2.5	3.6	1.4	3.0	1.1	3.0	6.6	1.9	0.6	3.6	0.3	9.9	16.9	0.6	1.4	1.1	0.6	1.4	2.2	
	povo	339	0.3	7.4	1.8	3.8	0.9	5.0	3.5	2.1	3.5	3.2	2.1	1.8	2.1	2.9	0.6	3.5	6.2	2.7	1.5	3.2	1.5	14.2	18.6	1.5	0.3	0.3	1.8	0.3	3.5	
	ソフトバンク	486	0.0	4.3	3.1	2.7	2.3	12.8	4.9	2.7	3.9	2.5	2.3	3.5	1.4	2.1	1.2	2.7	6.0	2.5	0.2	4.3	2.9	9.1	15.6	0.2	0.8	0.8	0.6	1.9	2.9	
	LINEMO	205	0.5	4.4	4.4	2.4	1.0	5.4	4.9	1.0	4.9	2.0	3.4	2.4	2.4	2.9	1.5	3.4	3.4	2.9	1.0	3.4	2.0	9.8	22.9	0.5	1.0	0.5	1.0	0.5	4.4	
	楽天モバイル	1057	0.9	3.7	2.2	2.6	1.6	6.2	2.7	3.1	2.2	1.6	1.1	2.8	4.9	11.5	1.2	2.6	5.1	2.1	0.8	2.2	1.6	12.6	16.7	0.8	0.6	0.7	0.5	0.6	4.8	
	ワイモバイル(ソフトバンク)	580	0.0	4.5	1.6	1.9	1.9	8.4	2.8	2.1	2.4	3.1	2.9	3.1	2.2	4.1	1.0	2.6	5.3	2.9	0.7	3.8	1.4	16.2	14.7	0.2	0.3	0.7	0.9	0.5	7.8	
	UQモバイル(KDDI)	539	0.2	4.6	2.0	3.2	1.7	6.9	3.9	0.7	5.6	2.0	1.9	2.2	3.2	2.4	2.0	3.7	3.2	1.1	0.2	3.7	1.3	12.8	23.4	1.3	0.6	0.9	0.4	0.2	4.8	
	IIJmio(みおふぉん)(インターネットイニシアティブ)	99	1.0	9.1	2.0	0.0	5.1	6.1	10.1	4.0	5.1	5.1	4.0	2.0	1.0	3.0	4.0	2.0	3.0	1.0	2.0	1.0	3.0	7.1	11.1	1.0	0.0	2.0	1.0	1.0	3.0	
	イオンモバイル(イオンリテール)	97	0.0	4.1	0.0	2.1	3.1	5.2	3.1	5.2	9.3	3.1	3.1	3.1	3.1	5.2	4.1	2.1	4.1	1.0	1.0	2.1	2.1	9.3	15.5	1.0	1.0	1.0	2.1	1.0	3.1	
	J:COM MOBILE(J:COMグループ)	97	1.0	3.1	3.1	1.0	4.1	8.2	4.1	5.2	5.2	5.2	6.2	3.1	2.1	4.1	0.0	3.1	8.2	2.1	0.0	3.1	2.1	6.2	14.4	1.0	0.0	1.0	2.1	0.0	1.0	
	DMMmobile(楽天モバイル)	100	0.0	8.0	2.0	1.0	1.0	8.0	6.0	6.0	4.0	4.0	1.0	4.0	1.0	10.0	2.0	6.0	6.0	1.0	1.0	3.0	1.0	8.0	11.0	0.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
NifMo(ニフティ)	31	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	6.5	6.5	3.2	3.2	0.0	12.9	3.2	3.2	3.2	6.5	6.5	6.5	0.0	3.2	0.0	0.0	6.5	12.9	0.0	3.2	0.0	6.5	3.2	0.0		
BIGLOBEモバイル ※旧BIGLOBE LTE・3G含む(ビッグロープ)	78	0.0	6.4	2.6	1.3	3.8	9.0	1.3	0.0	7.7	0.0	2.6	0.0	0.0	6.4	2.6	1.3	3.8	3.8	6.4	5.1	2.6	9.0	15.4	0.0	2.6	3.8	2.6	0.0	0.0		
mineo(オブテージ(旧ケイ・オプティコム))	117	0.0	6.8	1.7	2.6	2.6	7.7	4.3	2.6	1.7	3.4	2.6	1.7	0.9	3.4	1.7	0.9	4.3	2.6	0.0	6.0	0.0	6.8	22.2	2.6	2.6	2.6	2.6	0.9	2.6		
その他	589	0.2	6.6	2.2	1.7	1.9	7.5	2.2	2.0	2.9	3.1	1.4	2.2	1.2	2.2	1.5	3.6	4.2	1.4	0.5	4.8	0.7	7.6	16.6	1.4	0.0	0.3	0.0	0.5	19.7		

- メイン回線のサービス品質への満足度を4G/5G別に確認したところ、いずれの点についても満足(「とても満足」と「やや満足」)との回答が8割程度であった。4Gと5Gで満足度に差が大きかったのは「音声通話品質」で、満足(「とても満足」と「やや満足」)との回答は、5Gの方が4.1ポイント高い結果となった。(5G:85.0%、4G:80.9%)
- メイン回線のサービス品質について「通信の途切れにくさ」に不満(「やや不満」と「とても不満」)と回答した回答者に、4G/5G別に不満と感じる場所・利用シーンを確認した。5Gでは、「地下」(31.4%)、「山間部」(30.5%)、「自宅」(26.9%)の順となり、4Gと5Gで差が大きかったのは「電車内」で、5Gの方が7.0ポイント高い結果となった。
- 現在利用している携帯電話サービス事業者に対して、5Gサービスについて期待することは、「安定性(繋がりやすさ)の向上」と回答した利用者が58.3%で最も多かった。

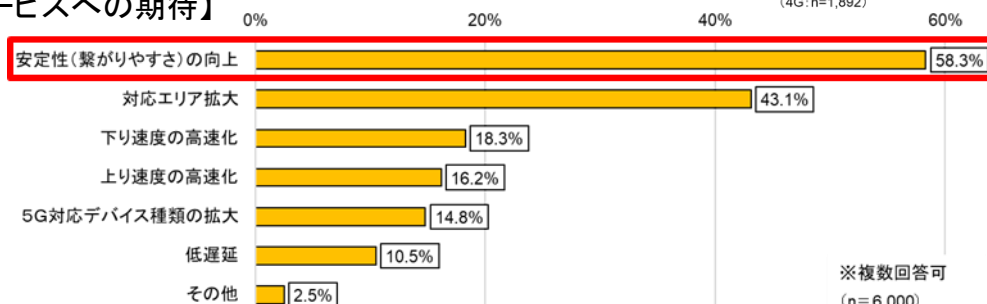
【サービス品質への満足度(4G/5G別)】



【利用環境への不満(4G/5G別)】



【5Gサービスへの期待】



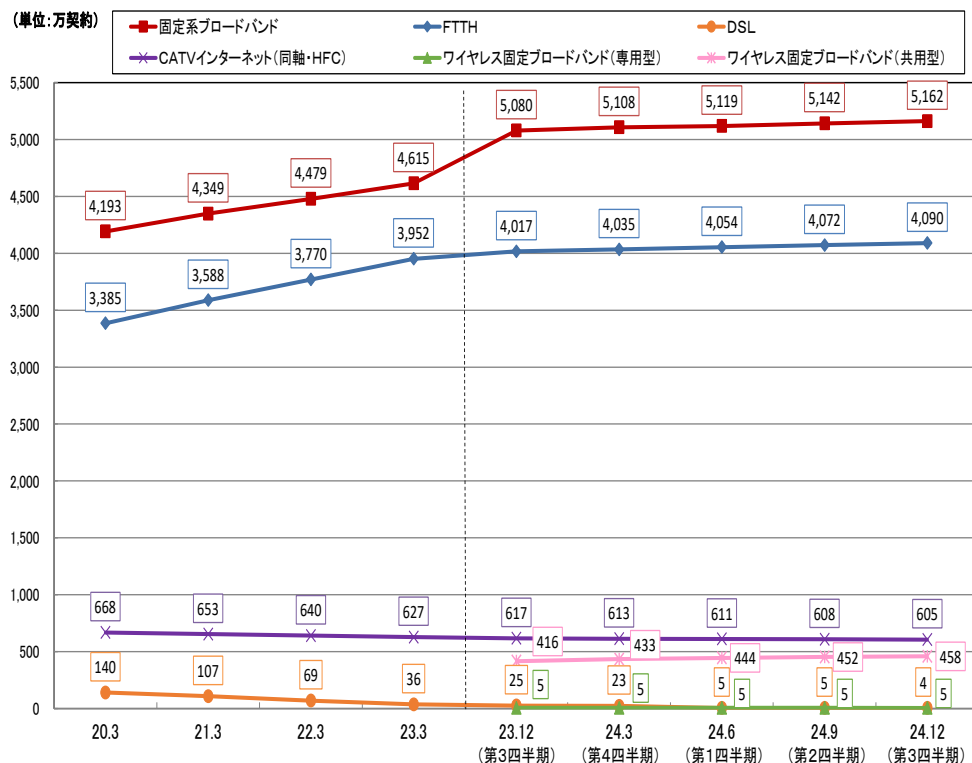
④ 固定系通信市場

- 2024年12月末時点における固定系ブロードバンド市場の契約数は5,162万(前期比+0.4%、前年同期比+1.6%)となっている。このうち、FTTH契約数は4,090万(前期比+0.4%、前年同期比+1.8%)であり、固定系ブロードバンド契約数全体に占める割合は79.2%(前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.2ポイント)となっている。
- FTTH市場(設備設置事業者別)の事業者別シェア※(2024年12月末)をみると、NTT東西が57.5%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲1.1ポイント)、KDDIグループが10.7%(前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.1ポイント)、オプテージが3.9%(前期比±0.0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)。
※ 卸電気通信役務の提供に係るものを含む。
- FTTH市場(サービス提供主体別※)の事業者別シェア(2024年12月末)をみると、NTTドコモが19.1%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.6ポイント)、NTT東西が15.1%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲1.1ポイント)、ソフトバンクが11.9%(前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.3ポイント)、KDDIグループが9.6%(前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.2ポイント)。
※ 卸電気通信役務の提供を受け、最終利用者にFTTHアクセスサービスの提供を行う事業者を含む。
- 固定ブロードバンドサービスとセットで提供されるサービスによる影響について利用者アンケートを通じて分析したところ、「携帯電話サービス」や「映像配信サービス」のセット提供が固定ブロードバンドサービスの選択に影響をもたらしていることや、「携帯電話サービス」「映像配信サービス」のセット提供が、他のサービスとのセット提供に比べ、固定ブロードバンドサービスの切替えのスイッチングコストとしての影響を与えていることがうかがえる。
- 2024年12月末時点におけるISP(固定系)の契約数は4,135万(前期比+0.1%、前年同期比▲0.6%)となっている。
- 2024年12月末時点における固定電話市場の事業者別シェアは、NTT東西が62.0%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.7ポイント)、KDDIグループが22.4%(前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.1ポイント)、ソフトバンクが7.5%(前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.2ポイント)。050-IP電話の事業者別シェアは、ソフトバンクが45.9%(前期比+0.3ポイント、前年同期比+3.9ポイント)、NTTコミュニケーションズが23.3%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比+1.1ポイント)、楽天モバイルが14.5%(前期比±0.0ポイント、前年同期比▲0.6ポイント)、KDDIグループが6.8%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.5ポイント)。

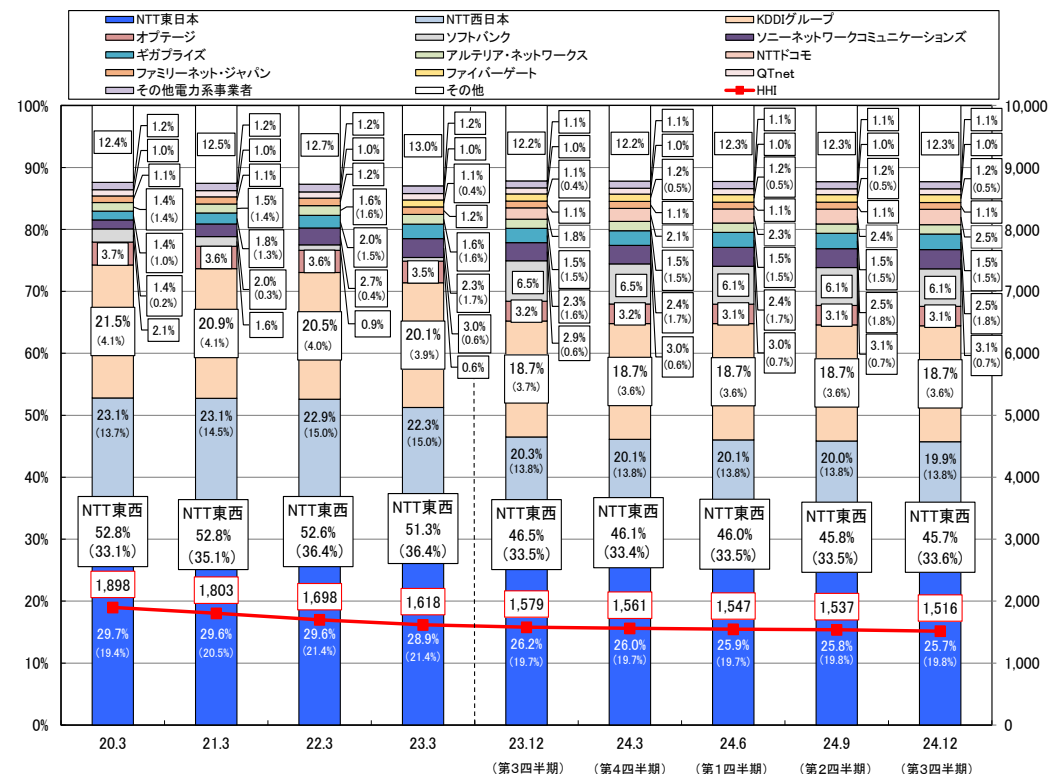
- 2024年12月末時点における固定系ブロードバンド※市場の契約数は**5,162万**（前期比+0.4%、前年同期比+1.6%）となっている。このうち、**FTTH契約数は4,090万**（前期比+0.4%、前年同期比+1.8%）であり、**固定系ブロードバンド契約数全体に占める割合は79.2%**（前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.2ポイント）となっている。
- 事業者別シェアは、**NTT東西が12.1%**（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.9ポイント：卸電気通信役務の提供に係るものを含めると45.7%）、**KDDIグループが18.7%**（前期比±0.0ポイント、前年同期比±0.0ポイント：卸電気通信役務の提供に係るものを含めると22.3%）、**オプテージが3.1%**（前期比、前年同期比ともに±0.0ポイント）となっている。HHIは**1,516**（前期比▲22、前年同期比▲64）。

※ FTTH、DSL、CATVインターネット（同軸・HFC）及びワイヤレス固定ブロードバンドの合計。

【固定系ブロードバンドサービスの契約数の推移】



【固定系ブロードバンド市場の事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注1：固定系ブロードバンド契約数の事業者別シェアはFTTH、DSL及びCATVインターネット（同軸・HFC）を対象としており、FWAを含んでいない。
 注2：「KDDIグループ」には、KDDI、沖縄セルラー、中部テレコミュニケーション、OTNet及びJ:COMグループが含まれる。以下、特段の記載がない限り同じ。
 注3：「その他電力系事業者」には、STNet及びエネコムが含まれる。
 注4：括弧内は、卸電気通信役務の提供に係るシェア。

● 2024年12月末における固定系超高速ブロードバンド※1市場の契約数は**5,001万**（前期比+0.4%、前年同期比+2.3%）、このうち、CATVインターネット（通信速度下り30Mbps以上）は**448万**（前期比▲0.5%、前年同期比▲1.2%）、ワイヤレス固定ブロードバンドは**463万**（前期比+1.4%、前年同期比+10.1%）となっている。

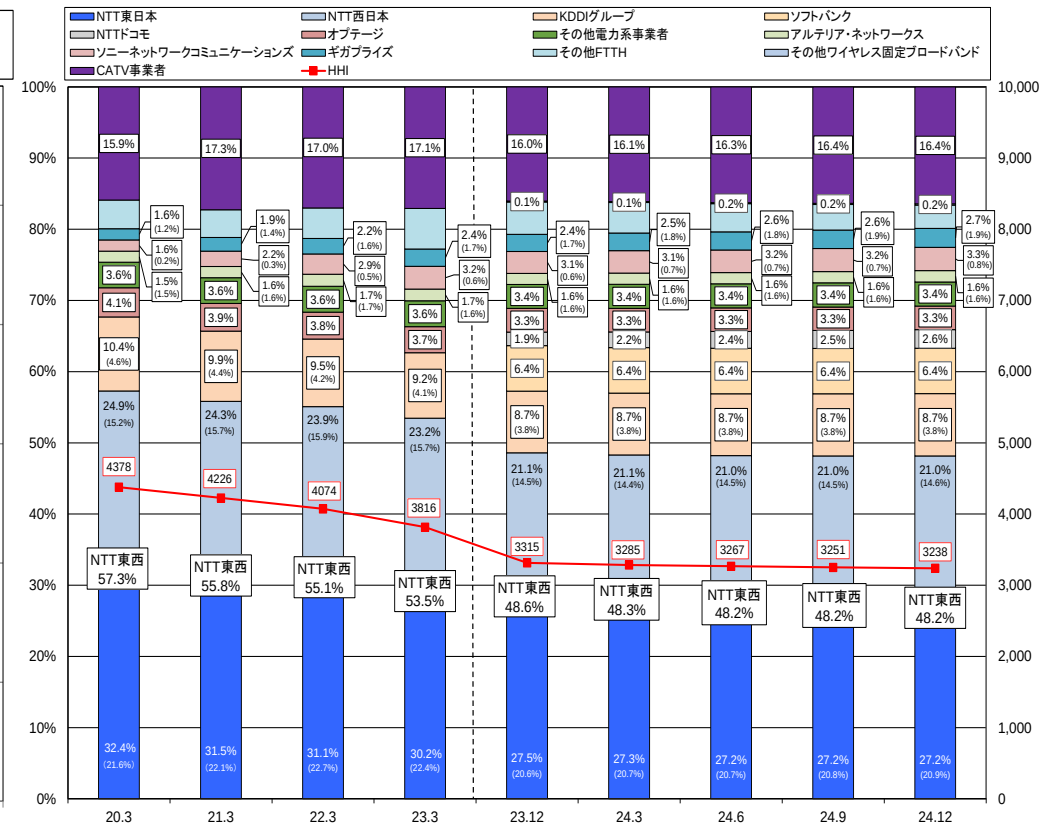
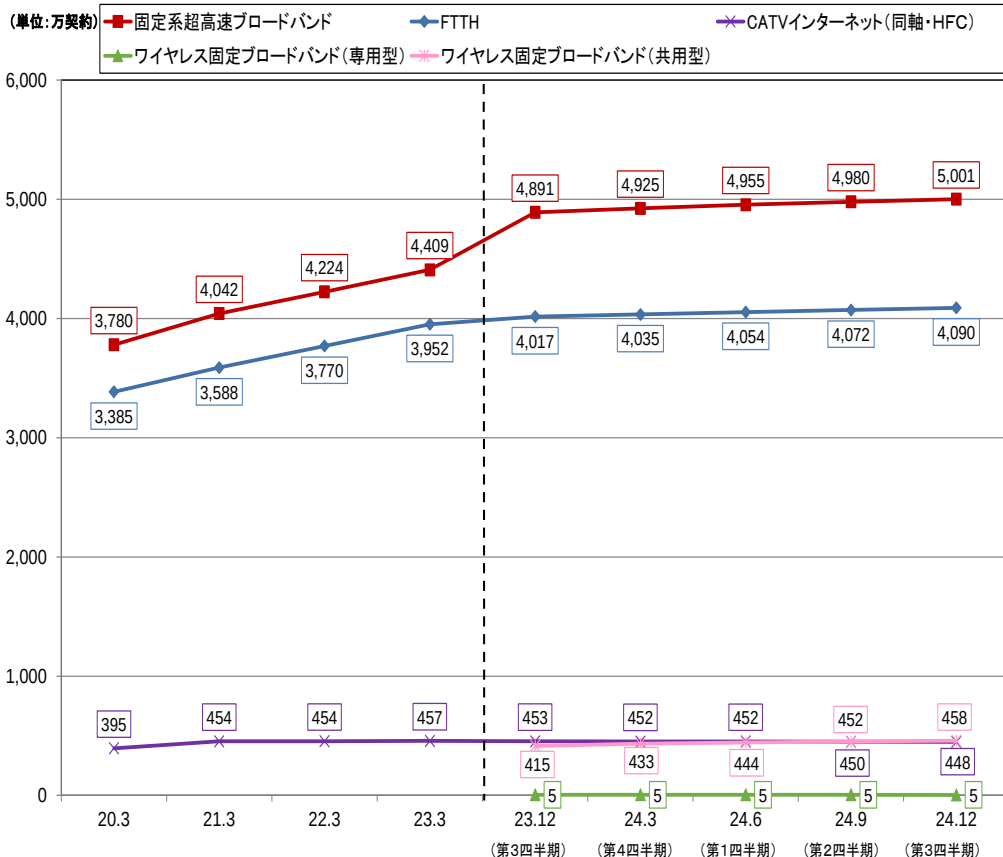
● 事業者別シェアは、NTT東西が**12.7%**（前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲0.8ポイント：卸電気通信役務の提供に係るものを含めると48.2%）、KDDIグループが**4.9%**（前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.1ポイント：卸電気通信役務の提供に係るものを含めると8.7%）、CATV事業者※2が**16.4%**（前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.4ポイント）。HHIは**3,238**（前期比▲13、前年同期比▲77）。

※1 FTTH、通信速度下り30Mbps以上のCATVインターネット及びワイヤレス固定ブロードバンドの合計。

※2 CATV事業者が提供するFTTH及び通信速度下り30Mbps以上のCATVインターネットの合計。

【固定系超高速ブロードバンドサービスの契約数の推移】

【固定系超高速ブロードバンド市場の事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注1:「CATV事業者」には、J:COMグループが含まれる。

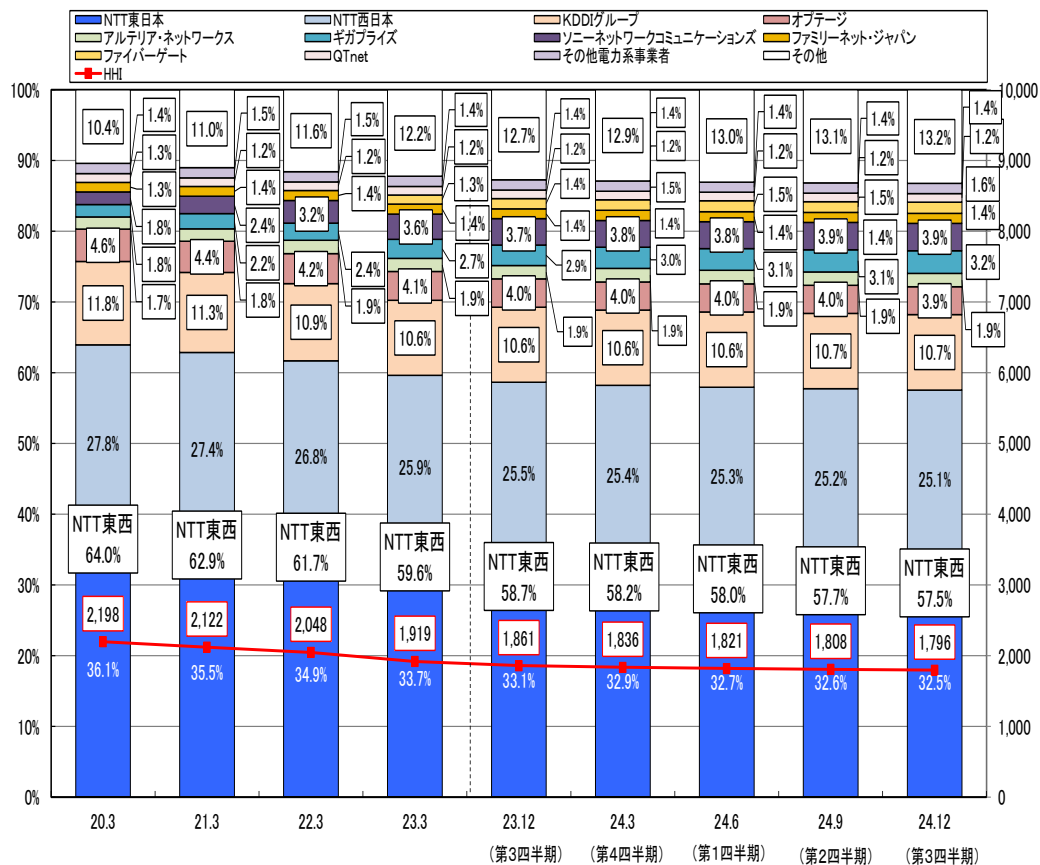
注2: 括弧内は、卸電気通信役務の提供に係るシェア。

出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

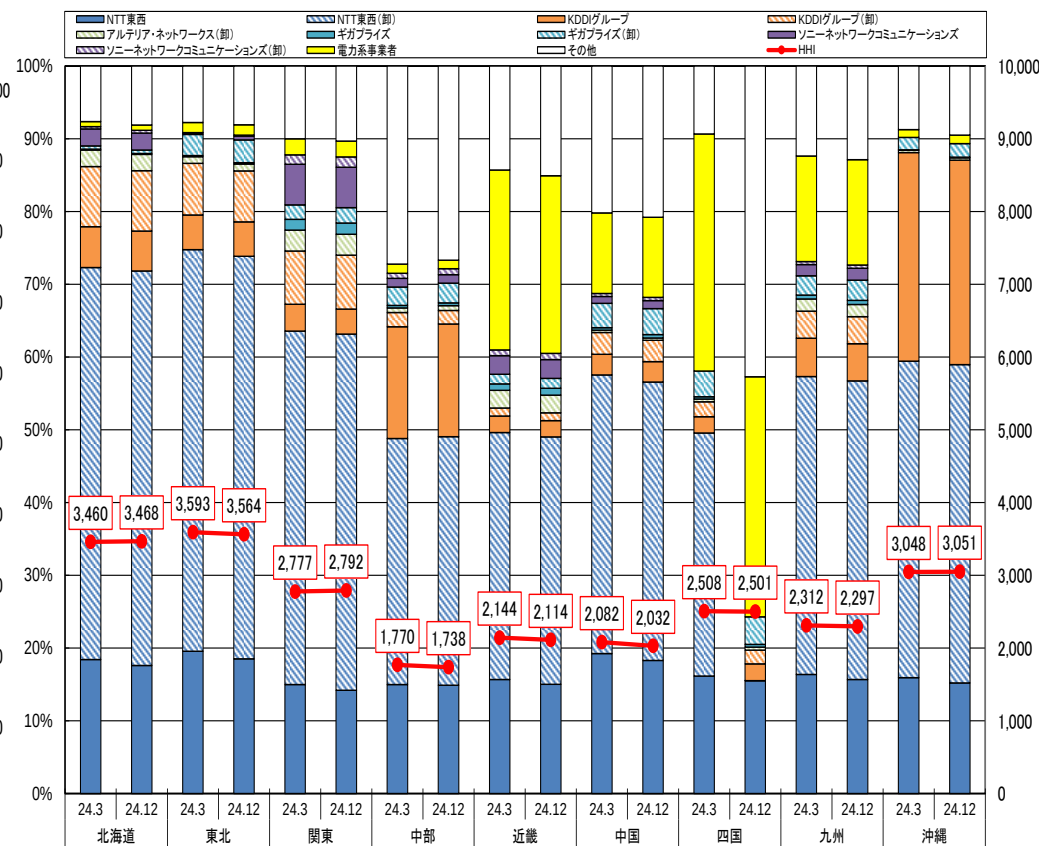
- FTTH市場(設備設置事業者別)の事業者別シェア※(2024年12月末)をみると、NTT東西が57.5%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲1.1ポイント)、KDDIグループが10.7%(前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.1ポイント)、オプテージが3.9%(前期比±0.0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)。HHIは1,796(前期比▲12、前年同期比▲65)。
- 2024年3月末時点と比較して、NTT東西の小売シェアは、全ての地域ブロックで減少している一方、卸電気通信役務(サービス卸)の提供に係るものを含めたシェアは、最も高い東北で約7割、最も低い近畿でも約5割を占めており、依然としてNTT東西の設備シェアが高い。

※ 卸電気通信役務の提供に係るものを含む。

【FTTH市場(設備設置事業者別)の事業者別シェア及び市場集中度の推移】



【FTTH市場(設備設置事業者別)の事業者別シェア(地域ブロック別)】



出所: 電気通信事業報告規則に基づく報告

FTTH市場(サービス提供主体別)の事業者別シェア

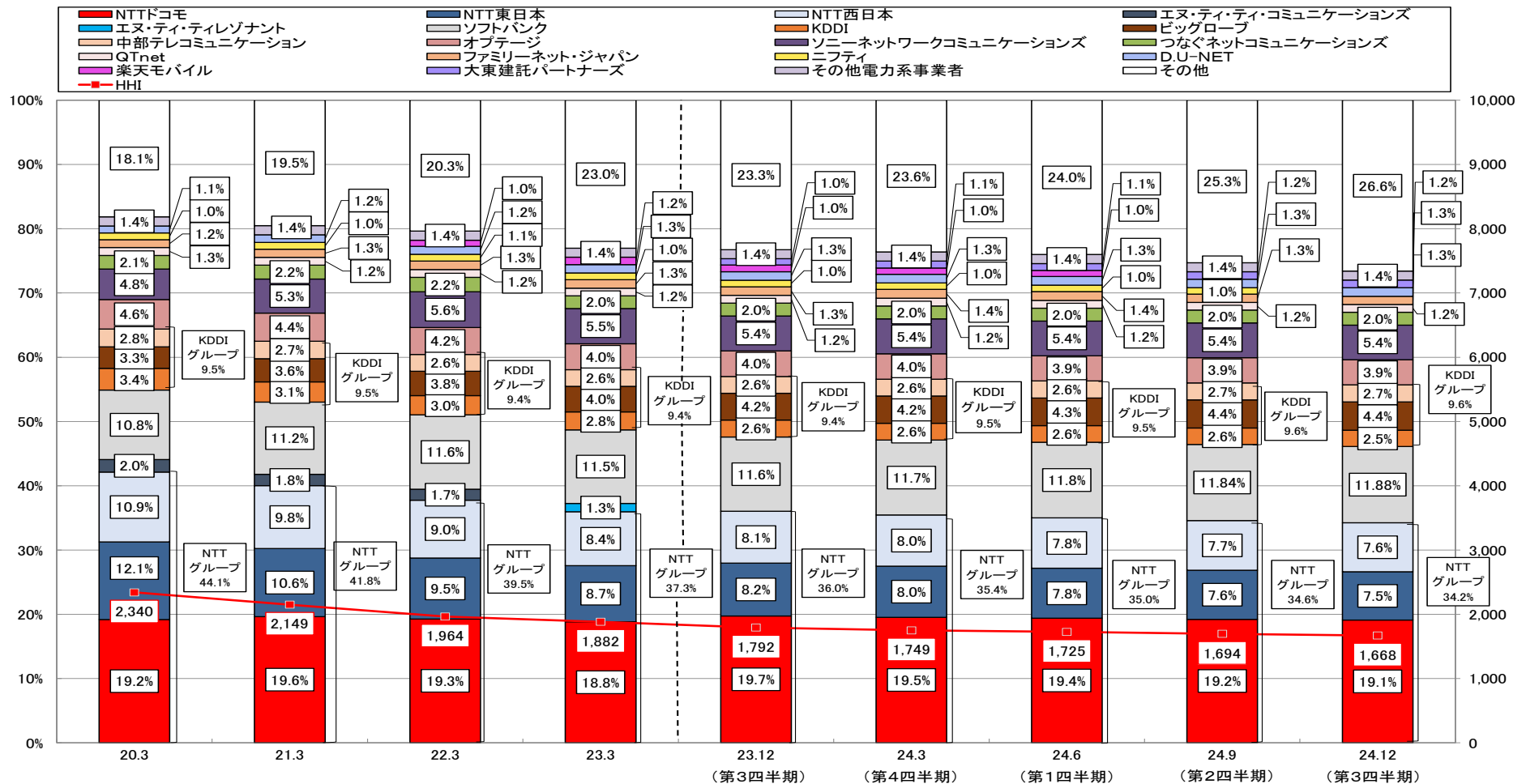
83

- FTTH市場(サービス提供主体別※1)の事業者別シェア(2024年12月末)をみると、NTTドコモが19.1%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.6ポイント)、NTT東西が15.1%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比▲1.1ポイント)、ソフトバンクが11.9%(前期比±0ポイント、前年同期比+0.3ポイント)、KDDIグループ※2が9.6%(前期比±0ポイント、前年同期比+0.2ポイント)。HHIは1,668(前期比▲26、前年同期比▲124)。

- NTTドコモが最大のシェアを有しているが、直近では横ばい傾向にある。

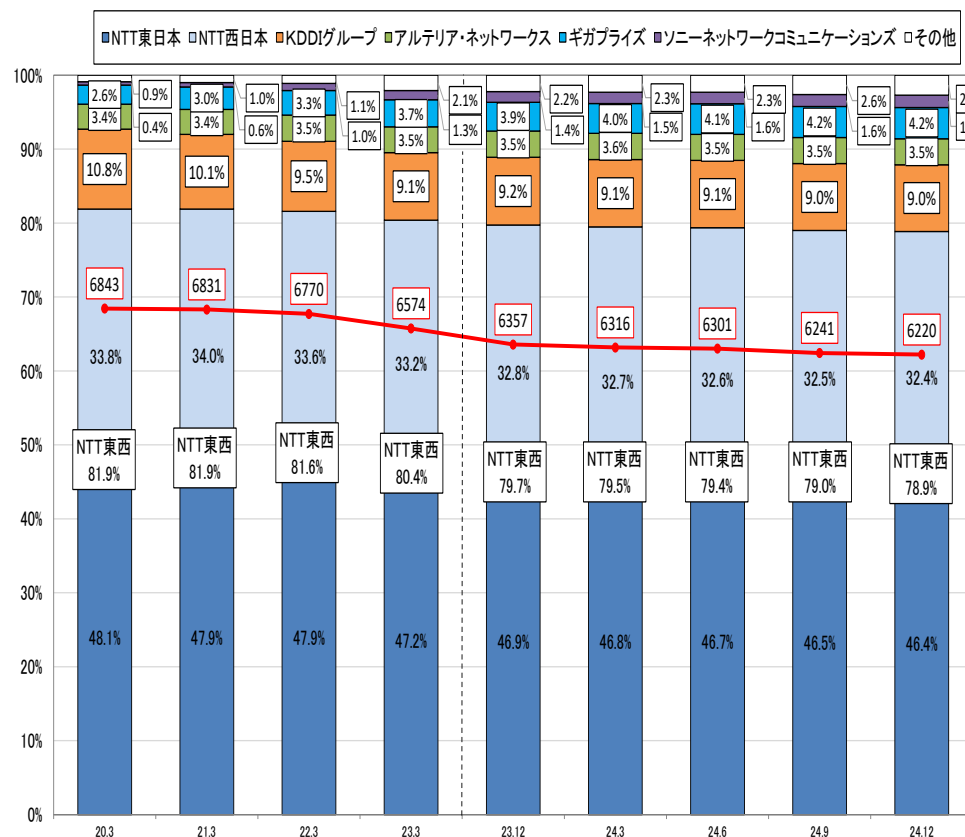
※1 卸電気通信役務の提供を受け、最終利用者にFTTHアクセスサービスの提供を行う事業者を含む。

※2 下記グラフにおいて「KDDIグループ」としている事業者が含まれる。

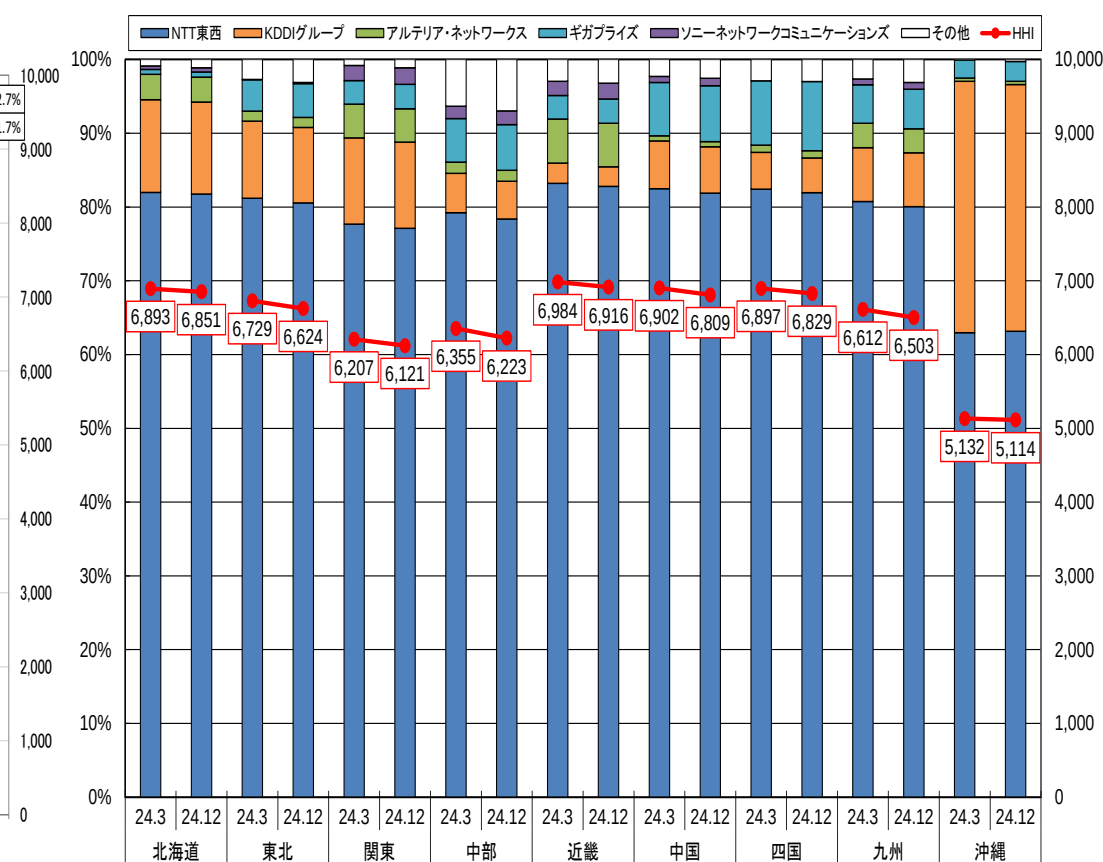


- FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア(2024年12月末)をみると、NTT東西(サービス卸)が**78.9%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.9ポイント)、KDDIが**9.0%**(前期比±0.0ポイント、前年同期比▲0.2ポイント)となっている。HHIは**6,220**(前期比▲22、前年同期比▲137)。
- 地域ブロック別でみると、NTT東西のシェアが関東、中部、沖縄を除く全ての地域で8割超(最も低い沖縄でも6割を占める。)となっている。HHIは、最も高い地域は近畿で6,916、最も低い地域は沖縄で5,114。

【FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア及び市場集中度の推移】



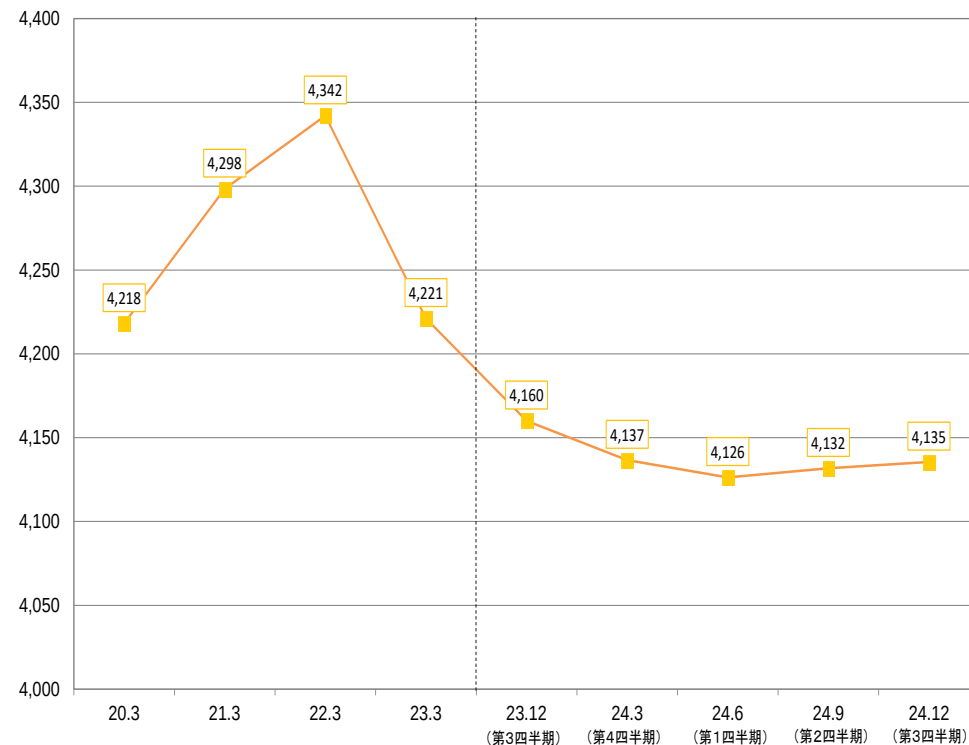
【FTTH市場(卸売市場)の事業者別シェア及び市場集中度の推移(地区ブロック別)】



- 2024年12月末時点におけるISP(固定系)の契約数は**4,135万**(前期比+0.1%、前年同期比▲0.6%)となっている。
- ISP(固定系)契約数における事業者別シェアは、**KDDI系が30.2%**(前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.8ポイント)、**NTT系が20.7%**(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.6ポイント)、**ソフトバンク系が13.7%**(前期比±0.0ポイント、前年同期比▲0.1ポイント)及び**ベンダー系が13.1%**(前期比±0.0ポイント、前年同期比±0.0ポイント)となっている。**HHIは1,654**(前期比+2、前年同期比+20)。

【ISP(固定系)の契約数】

(単位:万回線)



注1:主契約のみの契約数。

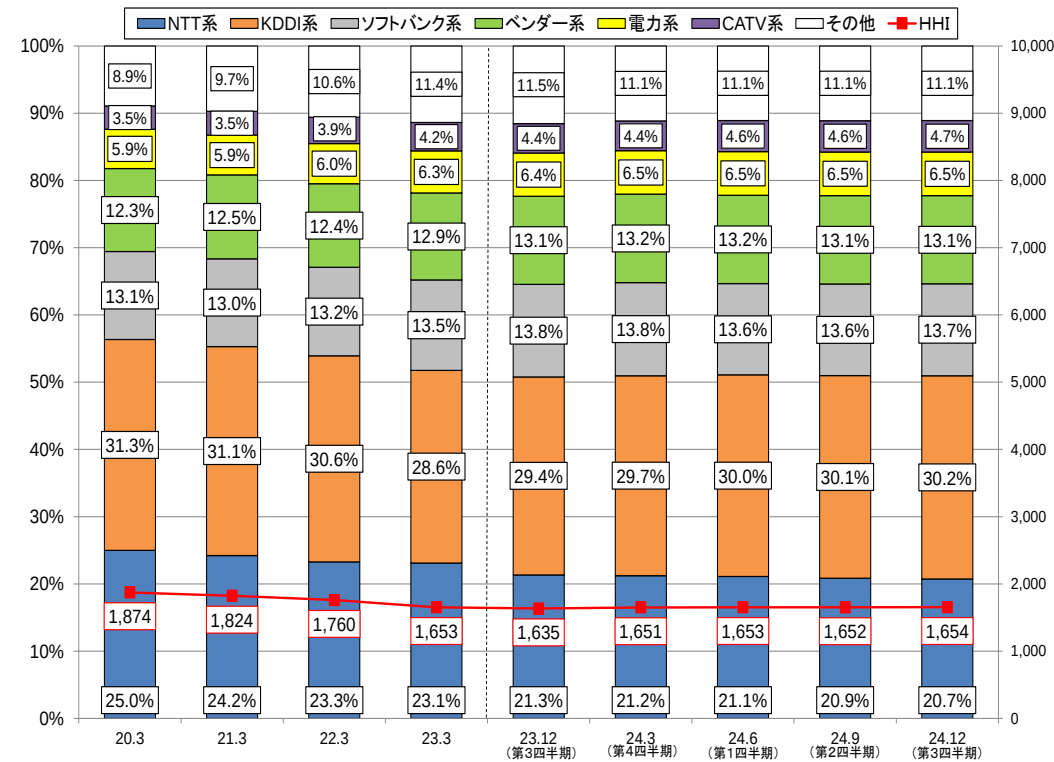
注2:NTT系のシェアには、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ、NTTぶらら(令和4(2022)年度第1四半期まで)、NTTドコモ等が含まれる。

注3:KDDI系のシェアには、KDDI、中部テレコミュニケーション、J:COM、ビッグロブ等が含まれる。

注4:ベンダー系のシェアには、ソニーネットワークコミュニケーションズ、ニフティ等が含まれる。

注5:電力系のシェアには、オプテージ、STNet、QTnet等が含まれる。

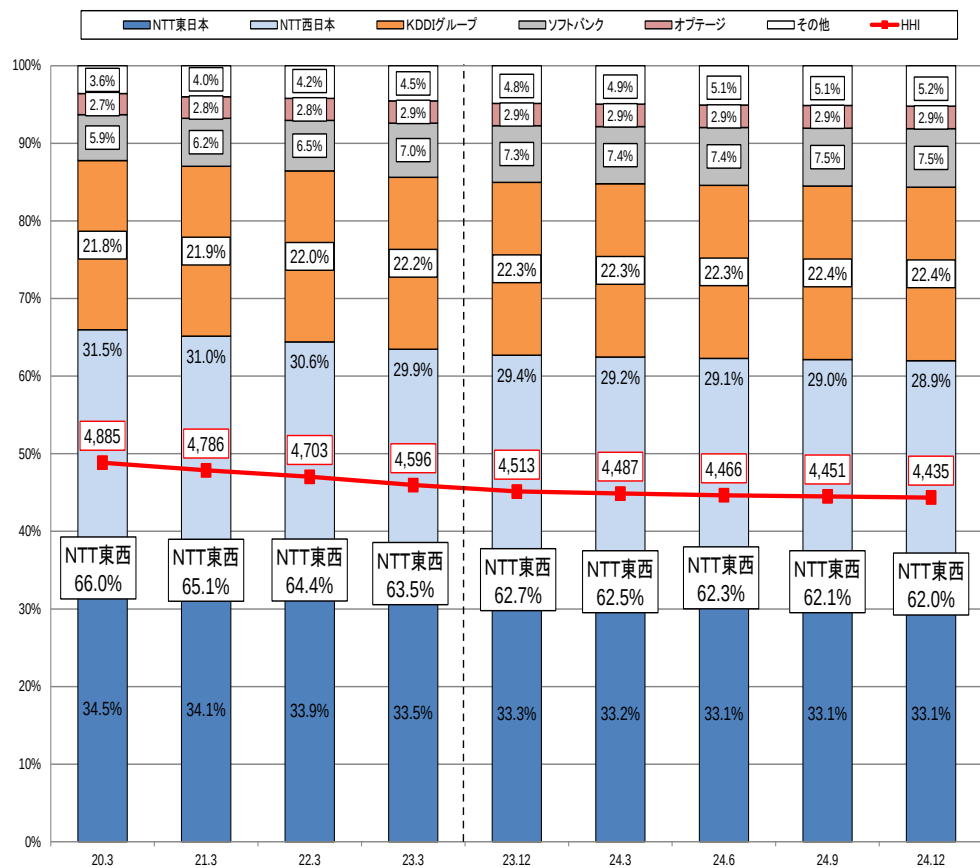
【ISP(固定系)契約数における事業者別シェア】



固定電話市場の事業者別シェア

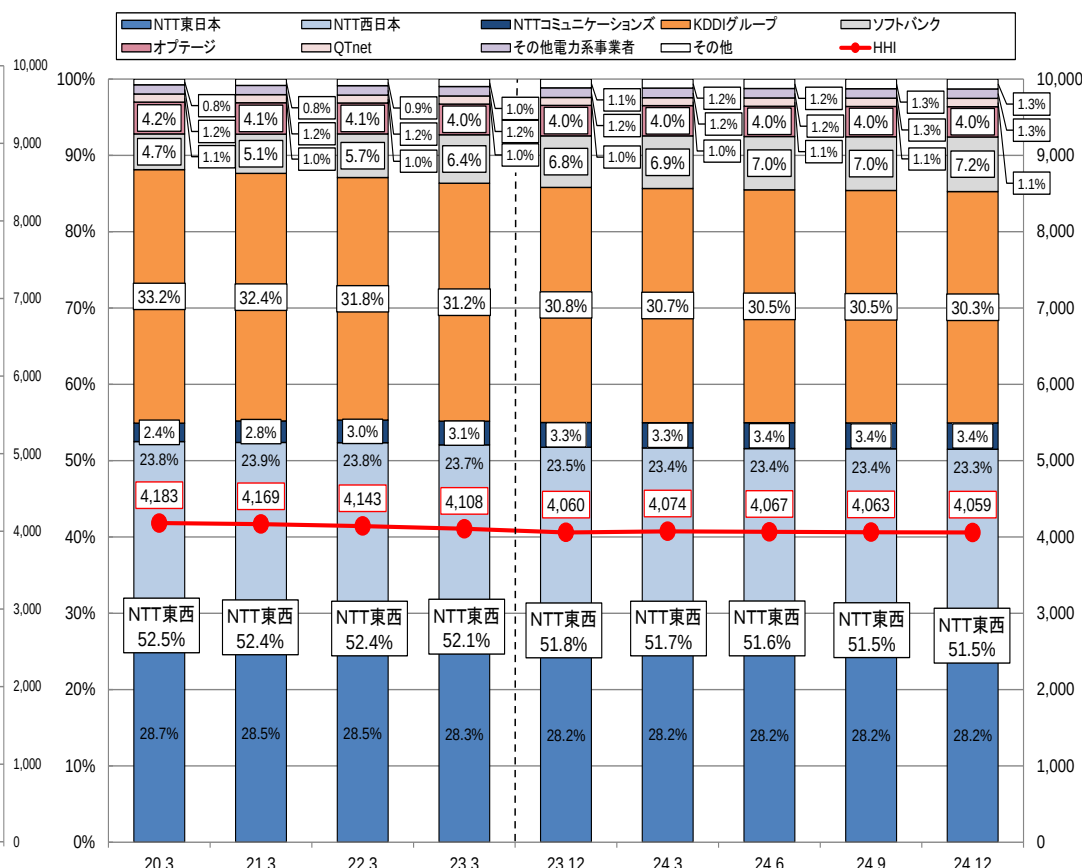
- 2024年12月末時点における固定電話市場の契約数は4,871万。事業者別シェアは、NTT東西が62.0%（前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.7ポイント）、KDDIグループが22.4%（前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.1ポイント）、ソフトバンクが7.5%（前期比±0.0ポイント、前年同期比+0.2ポイント）。HHIは4,535（前期比▲15、前年同期比▲78）。
- 0ABJ-IP電話の利用番号数は3,592万。事業者別シェアは、NTT東西が51.5%（前期比±0.0ポイント、前年同期比▲0.2ポイント）、KDDIグループが30.3%（前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.5ポイント）、ソフトバンクが7.2%（前期比+0.1ポイント、前年同期比+0.4ポイント）。HHIは4,059（前期比▲4、前年同期比▲1）。

【固定電話の契約数における事業者別シェア及び市場集中度の推移】



注:「KDDIグループ」には、KDDI、中部テレコミュニケーション及びJ:COMが含まれる。

【0ABJ-IP電話の利用番号数における事業者別シェア及び市場集中度の推移】

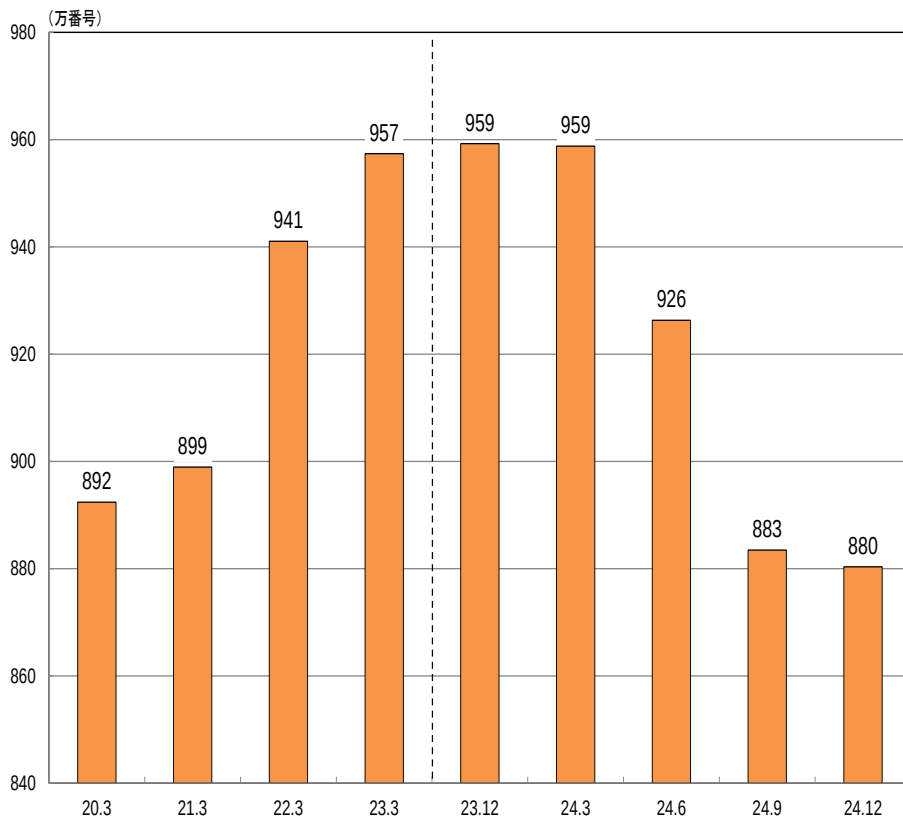


出所:電気通信事業報告規則に基づく報告

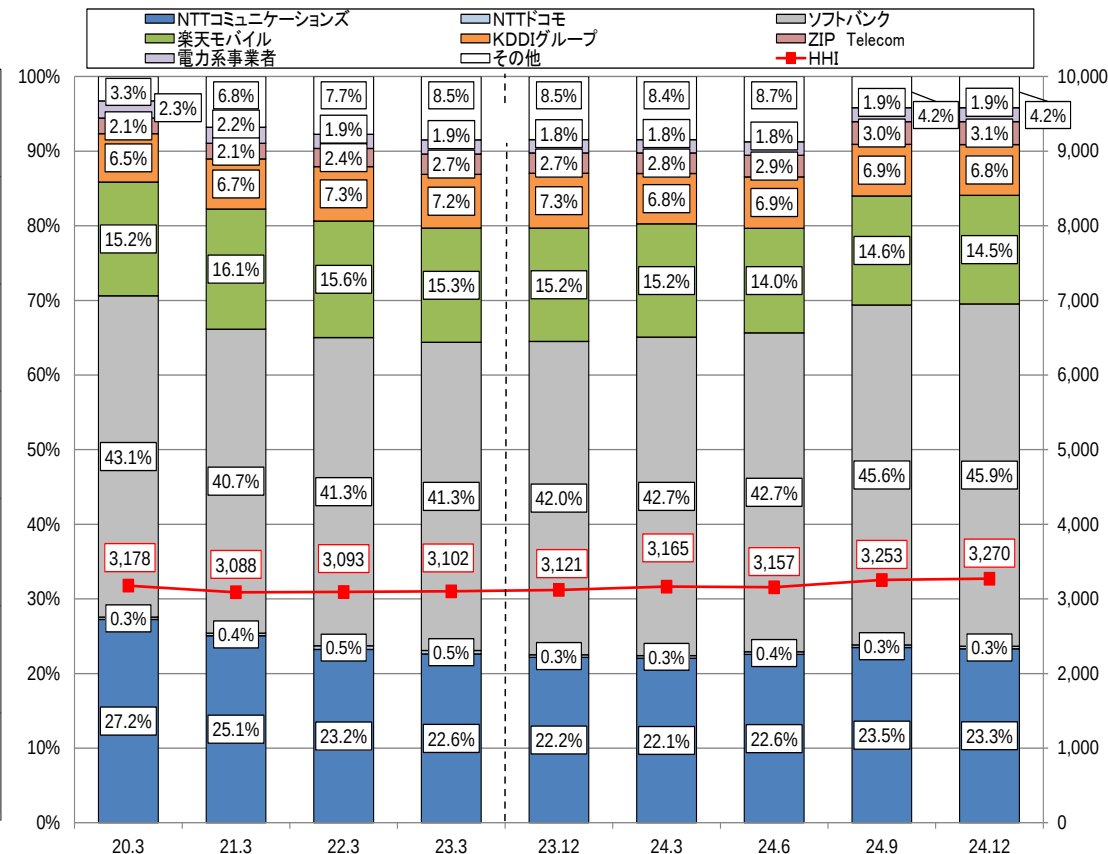
- 2024年12月末時点における050-IP電話の利用番号数※は880万(前期比▲0.4%、前年同期比▲8.2%)。
- 事業者別シェアは、ソフトバンクが45.9%(前期比+0.3ポイント、前年同期比+3.9ポイント)、NTTコミュニケーションズが23.3%(前期比▲0.2ポイント、前年同期比+1.1ポイント)、楽天モバイルが14.5%(前期比±0.0、前年同期比ともに▲0.6ポイント)、KDDIグループが6.8%(前期比▲0.1ポイント、前年同期比▲0.5ポイント)。HHIは3,270(前期比+17、前年同期比+150)。

※ 卸電気通信役務の提供に係るものを含む。

【050-IP電話の利用番号数の推移】



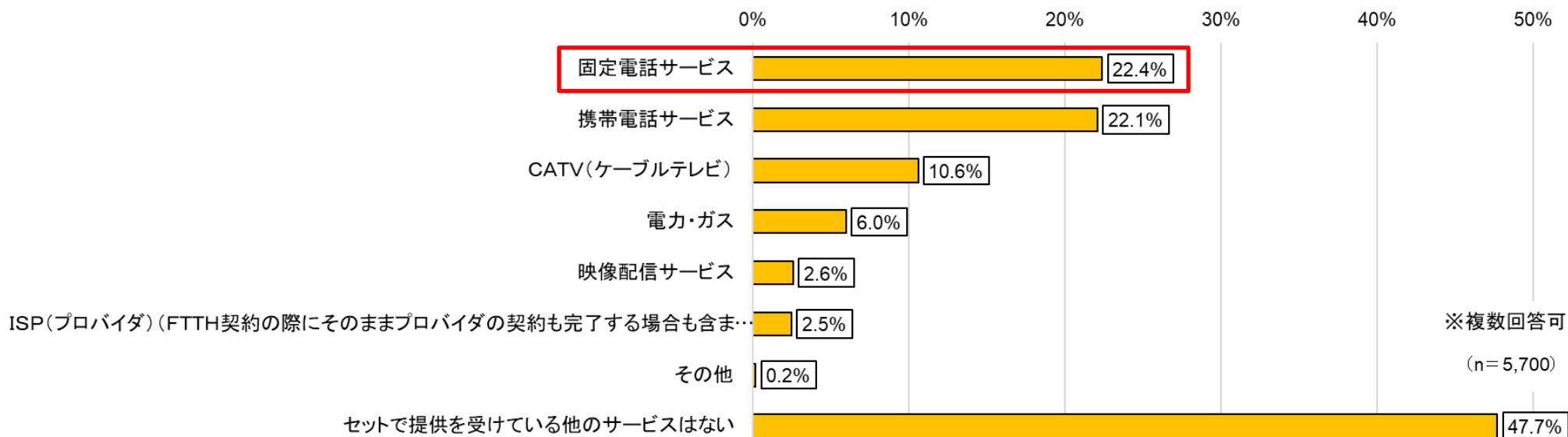
【050-IP電話の利用番号数における事業者別シェア及び市場集中度の推移】



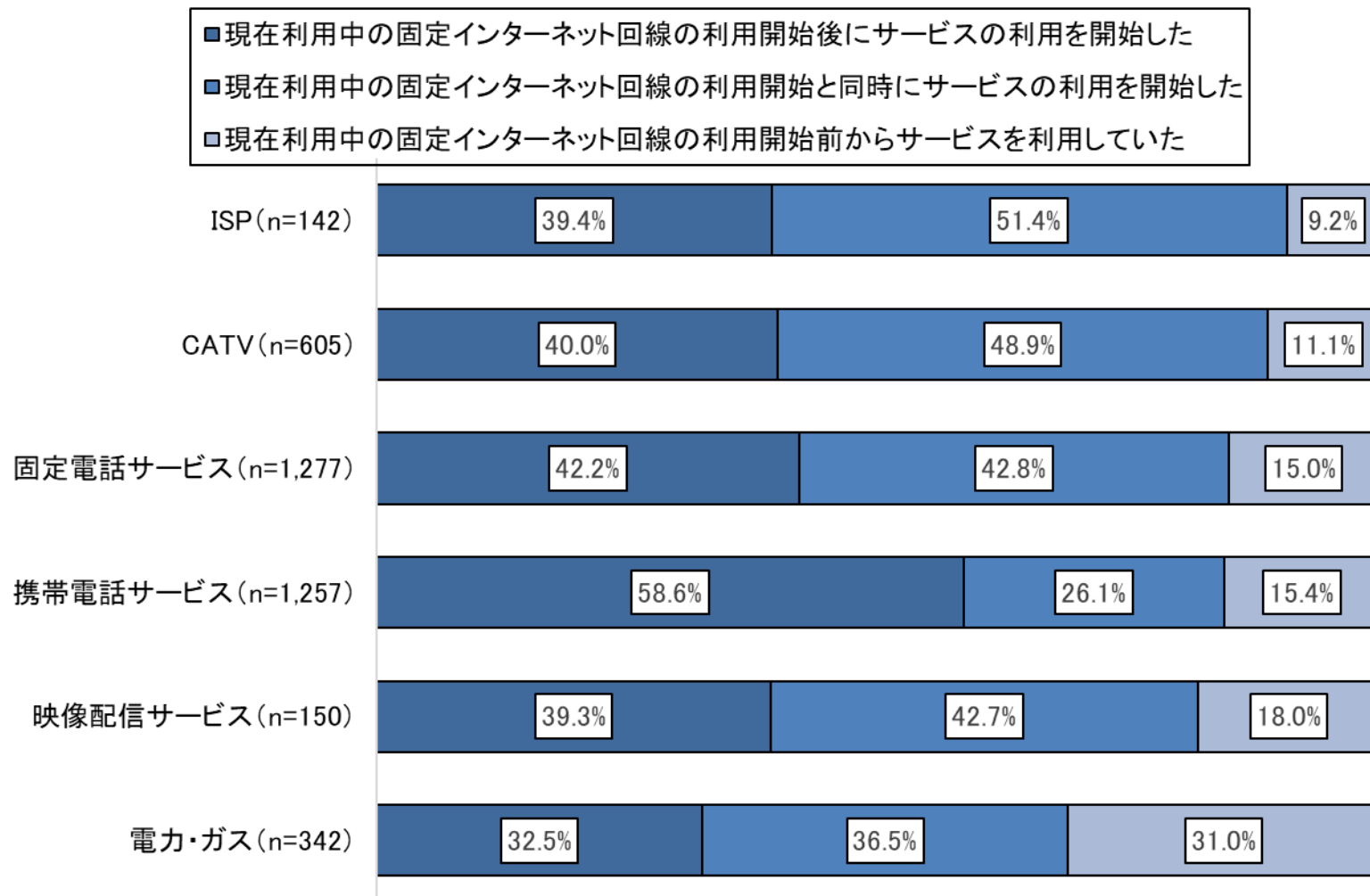
注:「KDDIグループ」には、KDDI及び中部テレコミュニケーションが含まれる。

- 固定ブロードバンドサービスとセットで提供を受けているサービスについて確認したところ、「固定電話サービス」が22.4%で最も高かった。
- 「セットで提供を受けている他のサービスはない」との回答は47.7%で、セットで他のサービスを受けている割合は5割強であった。

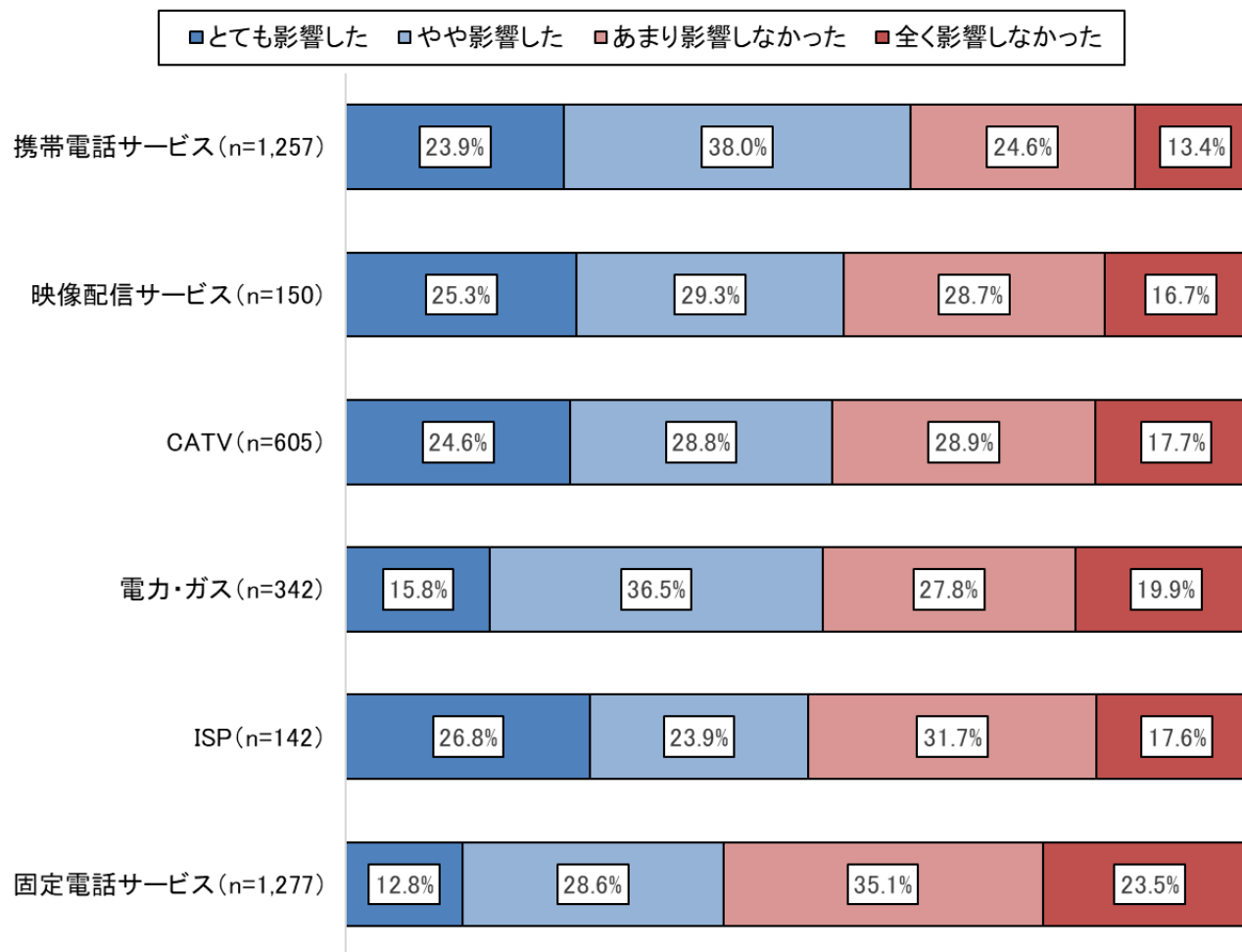
【セットで提供を受けているサービス】



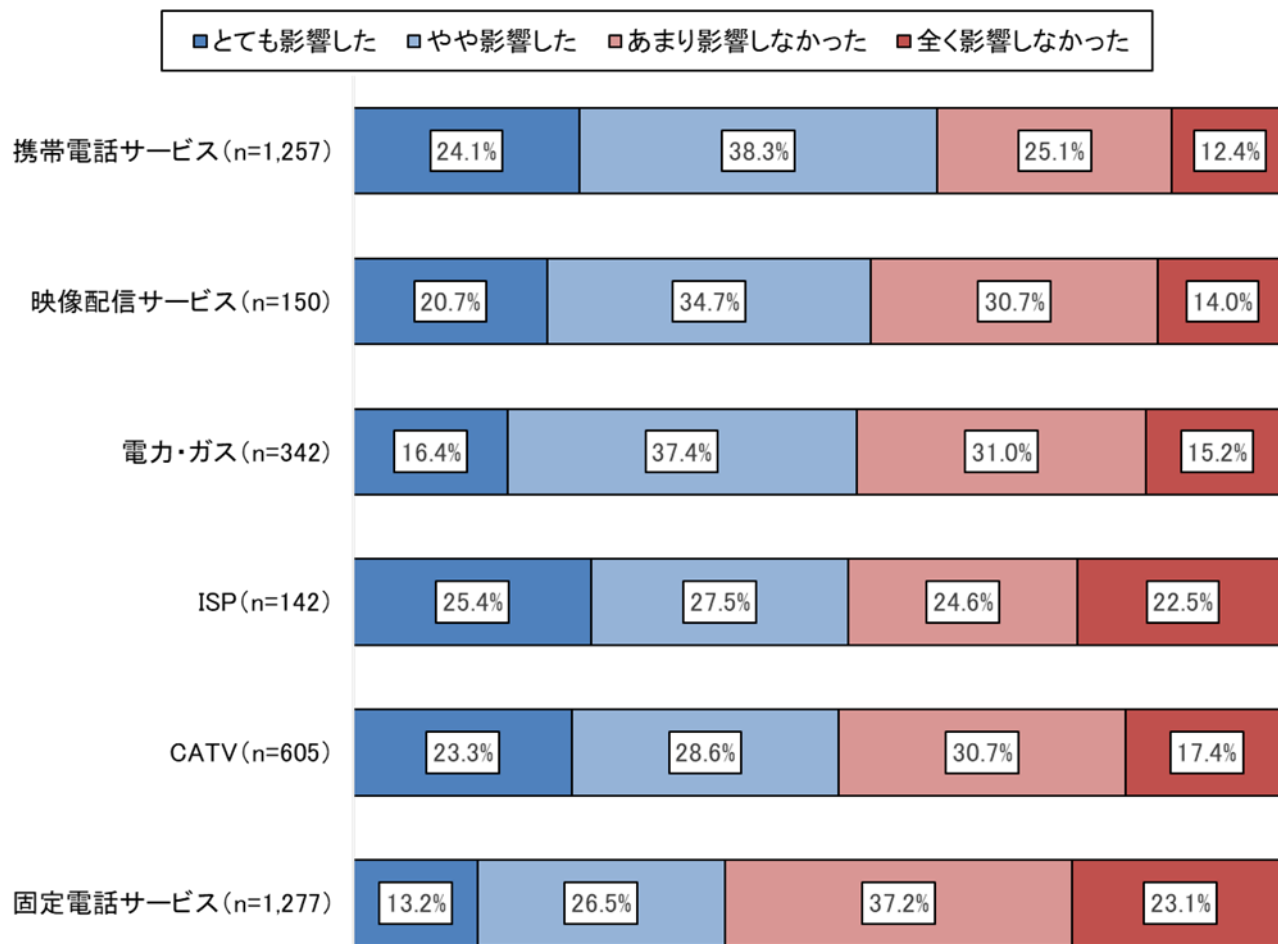
- 固定インターネットサービスとセットで提供を受けているサービスの利用開始時期について、各サービスごとに確認した。
- 固定インターネットサービスの利用開始と同時かそれ以降にサービスの利用を開始したとの回答は、「ISP」、「CATV」で9割前後となっており、固定ブロードバンドサービスがその他のサービス選択に影響をもたらしていることがうかがえる。



- 固定ブロードバンドサービスを契約する際に他のサービスをセットで契約できることが影響したかについて、各サービスごとに確認した。
- 固定ブロードバンドサービスを契約する際にセット契約できることが影響したとの回答は、「固定電話サービス」をセットで契約している利用者以外で5割を超えており、「携帯電話サービス」や「映像配信サービス」などのセット提供が固定ブロードバンドサービスの選択に影響をもたらしていることがうかがえる。



- 固定ブロードバンドサービスを継続している理由として、他のサービスをセットで契約していることが影響しているかについて、各サービスごとに確認した。
- 固定ブロードバンドサービスを継続している理由に影響しているとの回答は、「固定電話サービス」をセットで契約している利用者以外で5割を超えており、「携帯電話サービス」「映像配信サービス」などのセット提供が、固定ブロードバンドサービスの切替えのスイッチングコストとしての影響を与えていることがうかがえる。



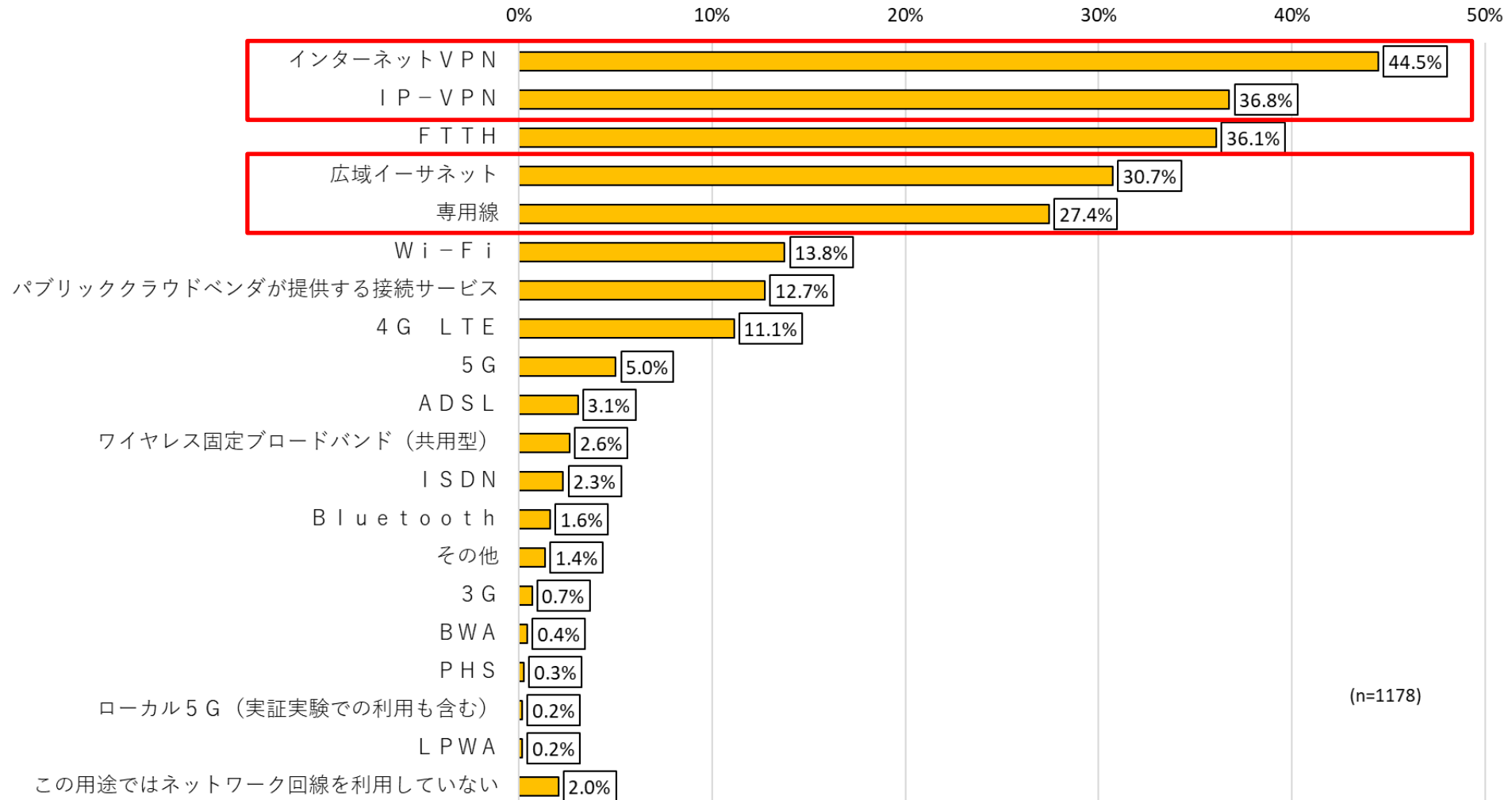
⑤ 法人向けサービス市場

- 法人向けサービス市場における検証対象市場(移動系通信市場(法人向け)、固定系通信市場(法人向け)、用途ごとの横断的な市場)に基づき、検証を行った。
- 移動系通信市場(法人向け)、固定系通信市場(法人向け)については昨年度同様のグラフの集計等を実施予定。
- 用途ごとの横断的な市場として、拠点間通信用途、インターネット利用用途、音声通話用途、IoT機器接続用途の4種類の用途ごとの市場に関する検証を行った。それぞれの市場において、調達方法や調達先候補の事業者、調達に関する相談相手、実際の調達先事業者について分析を行った。本年度検証において特筆すべき分析結果としては、以下が挙げられる。
- 拠点間通信用途の市場
 - 法人等利用者アンケートの結果を踏まえると、拠点間通信の用途においては、オンプレミスシステムをクラウドサービスに移行すると回答した割合は計32.1%であり、オンプレミスシステムの利用者にとって、クラウドサービスが代替的に認識されていることがうかがえる。また、通信の利用方法については、「WANサービスを廃止してインターネットに切り替える」割合は9.0%と、10%を下回っており、WANサービスとインターネットが代替的であるとまではいえない。ただし、「WANサービスとインターネットを併用する」も含めると23.1%となっており、インターネット利用を許容できる法人等利用者にとっては、より多くの回線の選択肢があり得ることがうかがえる。
 - オンプレミスシステムがクラウドサービスに代替することに伴い、WANサービスからインターネットの利用が増えていくことが想定される一方、法人等利用者によっては、継続してオンプレミスシステムとWANサービスを利用する意向が強いものもいることがうかがえる。オンプレミスシステムとWANサービスの組合せからクラウドサービスとインターネットの組合せへの移行状況については、クラウドサービスの拡大による法人向けサービス市場への影響として、継続して注視する。
- 引き続き、法人向けサービス市場の検証対象市場ごとに、法人等利用者における法人向けサービスの調達状況(調達方法、調達先等)等を注視する。

法人向けサービス市場 （拠点間通信用途）

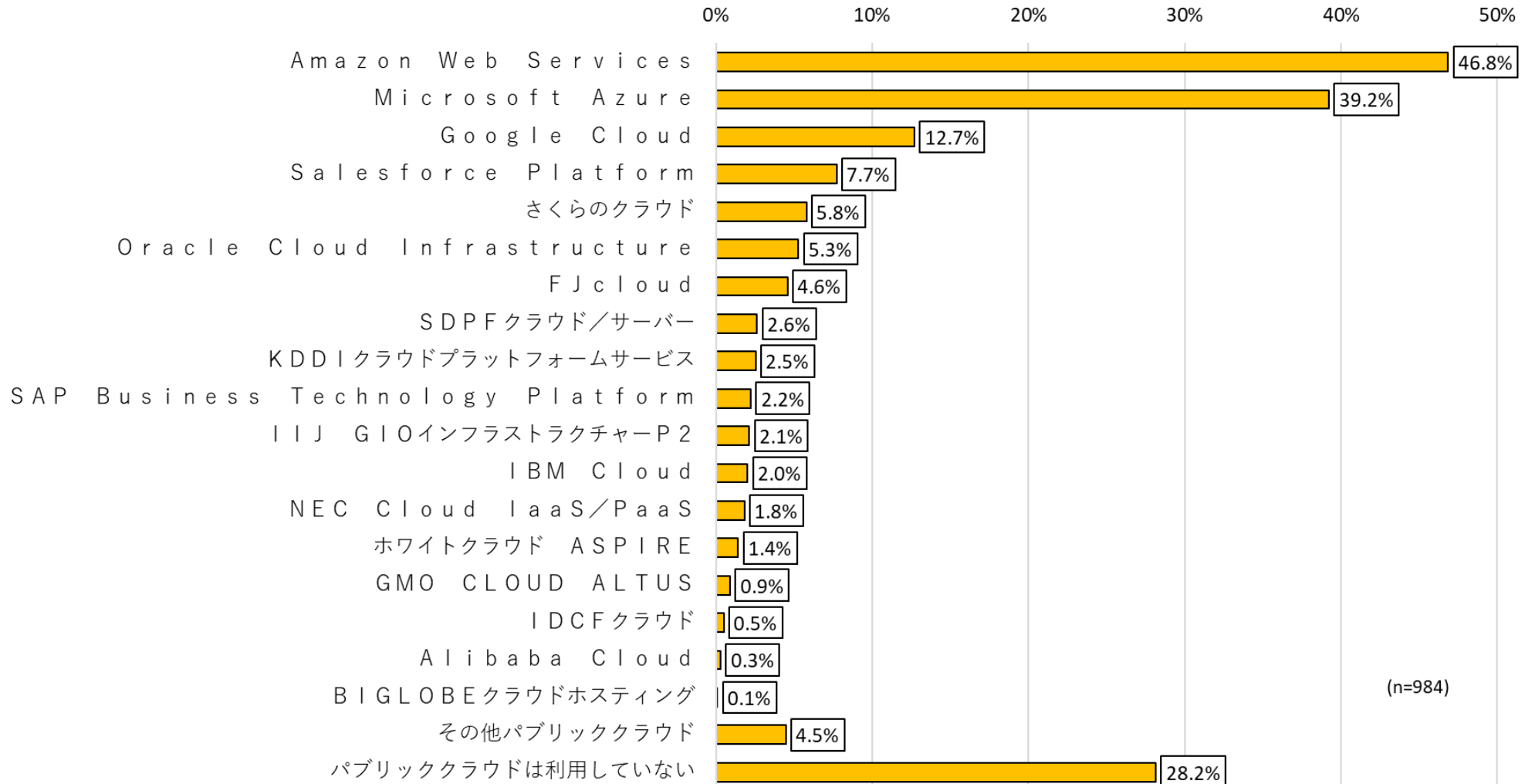
- 拠点間通信ではインターネットVPNが4割を超える。次いでIP-VPN、FTTH、広域イーサネットと続く（後述の10%価格引上げ分析の対象としているのはインターネットVPN、IP-VPN、広域イーサネット、専用線の利用者）。

（複数回答、「わからない」回答を除く）



- パブリッククラウドを利用しているのは全体の71.8%。
- 全体のうち46.8%がAmazon Web Servicesを利用している。次いでMicrosoft Azure、Google Cloudが続く。

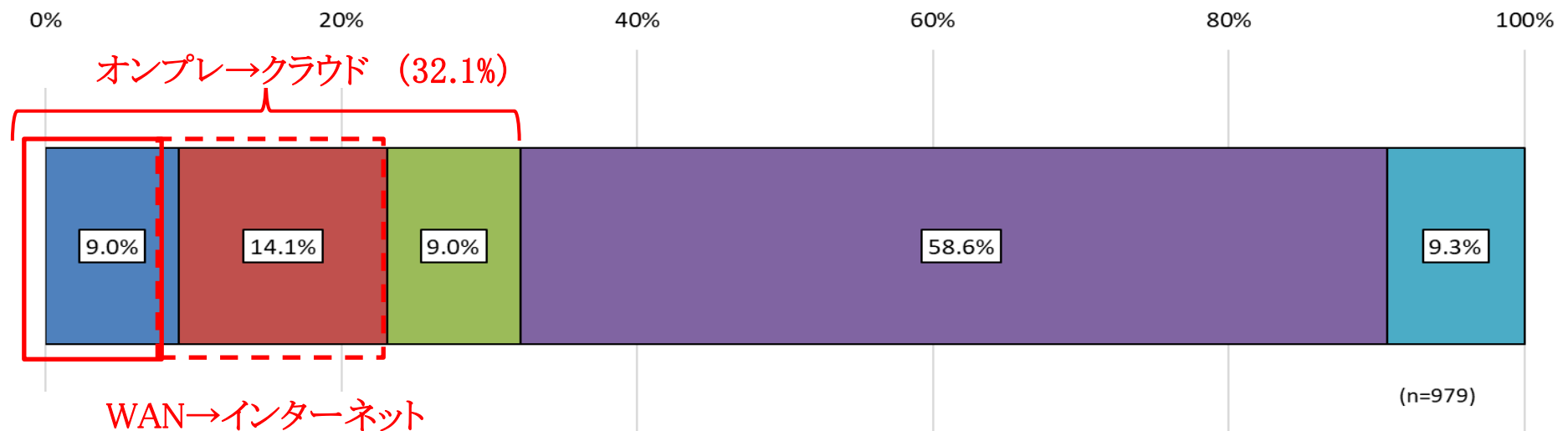
(複数回答)



- 拠点間通信で利用するオンプレミスシステムとWANサービスの運用費用が10%値上がりする場合、今後のシステムや通信の利用方法について確認した。
- 10%の値上がりに対して、「オンプレミスシステムをクラウドサービスに移行する」と回答した割合は計32.1%であり、オンプレミスシステムの利用者にとって、クラウドサービスが代替的に認識されていることがうかがえる。
- 通信の利用方法については、「WANサービスを廃止してインターネットに切り替える」割合は9.0%と、10%を下回っており、WANサービスとインターネットが代替的であるとまではいえない。ただし、「WANサービスとインターネットを併用する」も含めると23.1%となっており、インターネット利用を許容できる法人等利用者にとっては、より多くの回線の選択肢があり得ることがうかがえる。

(単一回答)

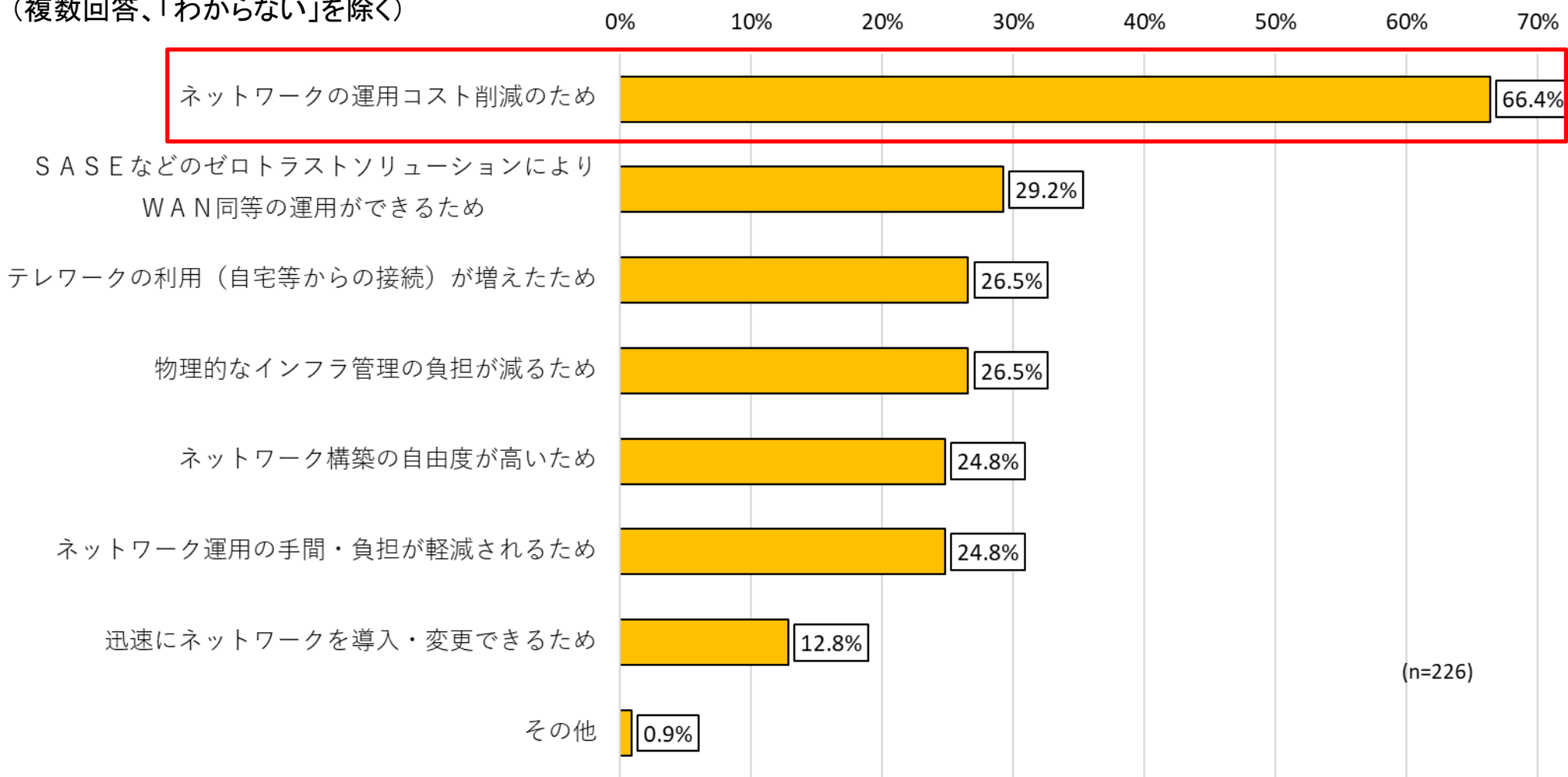
- 拠点間通信の用途で利用しているオンプレミスシステムをクラウドサービスに移行し、クラウドへの接続には通信事業者のWANサービスを廃止してインターネットに切り替える
- 拠点間通信の用途で利用しているオンプレミスシステムをクラウドサービスに移行し、クラウドへの接続には通信事業者のWANサービスとインターネットを併用する
- 拠点間通信の用途で利用しているオンプレミスシステムをクラウドサービスに移行するが、クラウドへの接続には通信事業者のWANサービスを継続して利用する
- 現状の方法(通信事業者WANサービスとオンプレミスシステムの組み合わせ)を継続する
- その他



- クラウド移行に際して、「インターネットに切り替える」「併用する」回答者のうち、66.4%が「ネットワーク運用コストの削減」を理由として挙げた。

■ 「WANサービスをインターネットに切り替える」または「WANサービスとインターネットを併用する」回答者

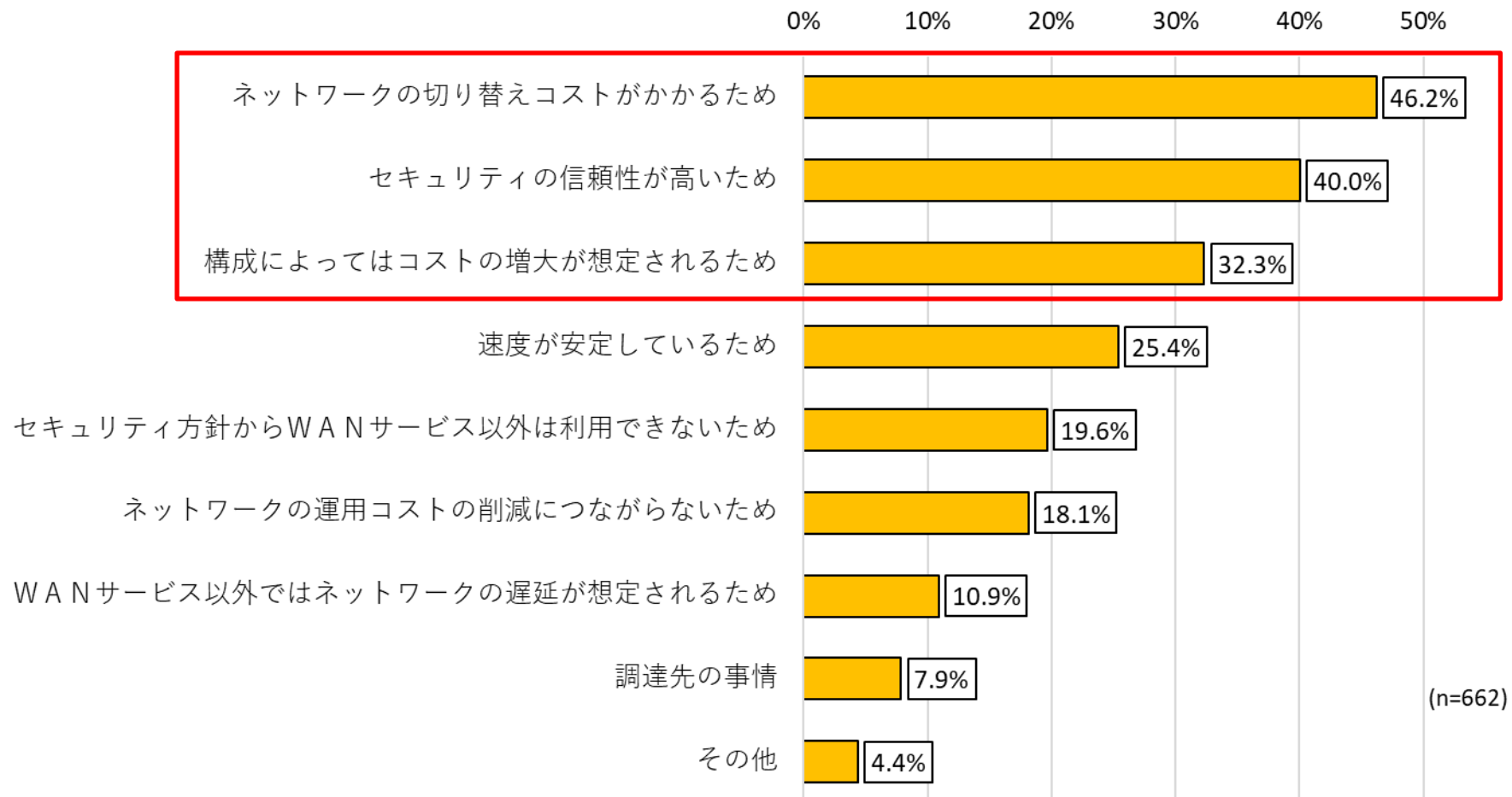
(複数回答、「わからない」を除く)



- 「WANを継続利用する」と回答した利用者のうち、半数近くが「ネットワーク切り替えコスト」を理由に挙げた。次いで、「セキュリティの信頼性の高さ」「構成により想定されるコスト増大」が続く。

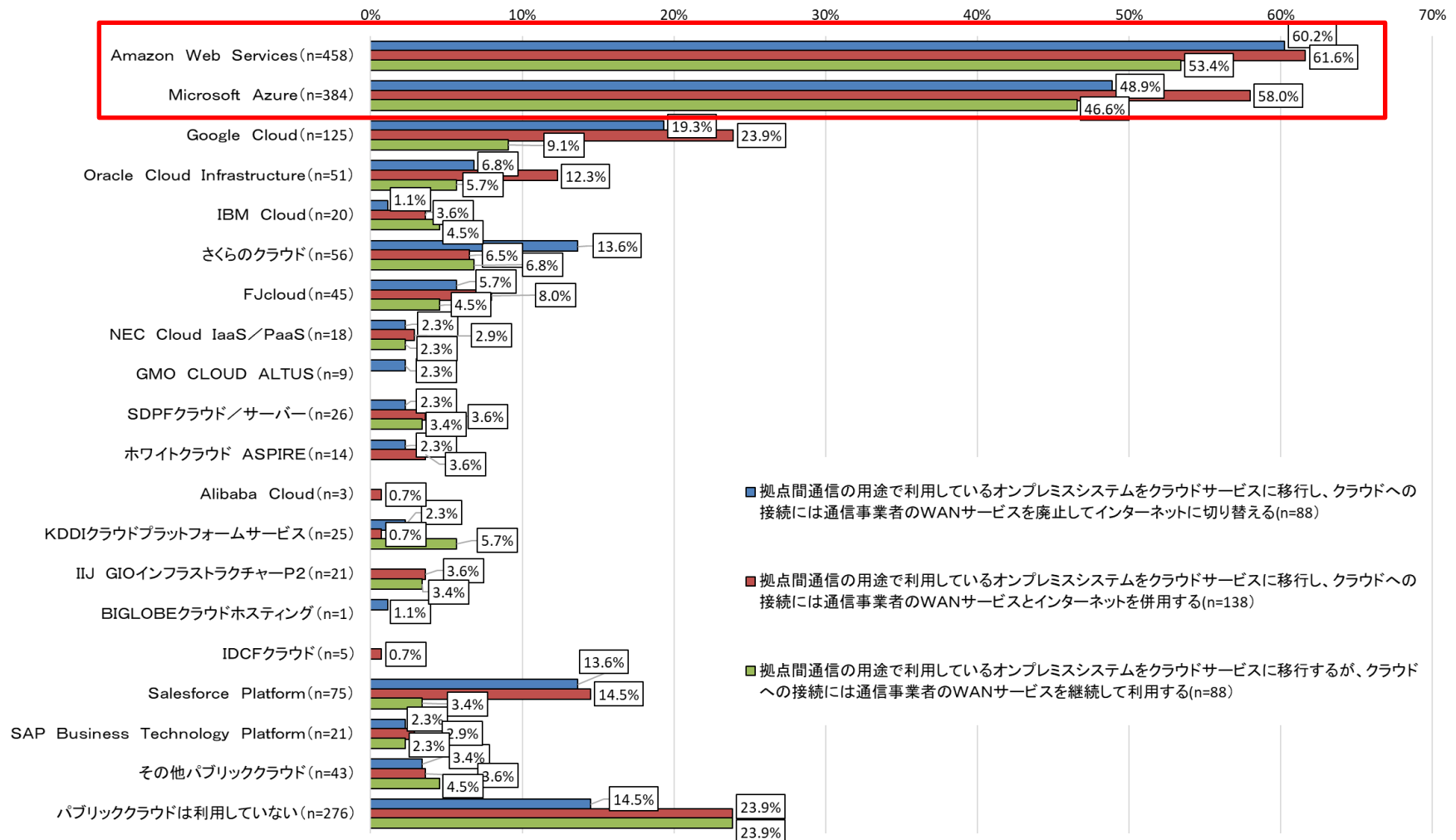
■ 「WANを継続利用する」回答者

(複数回答、「わからない」を除く)



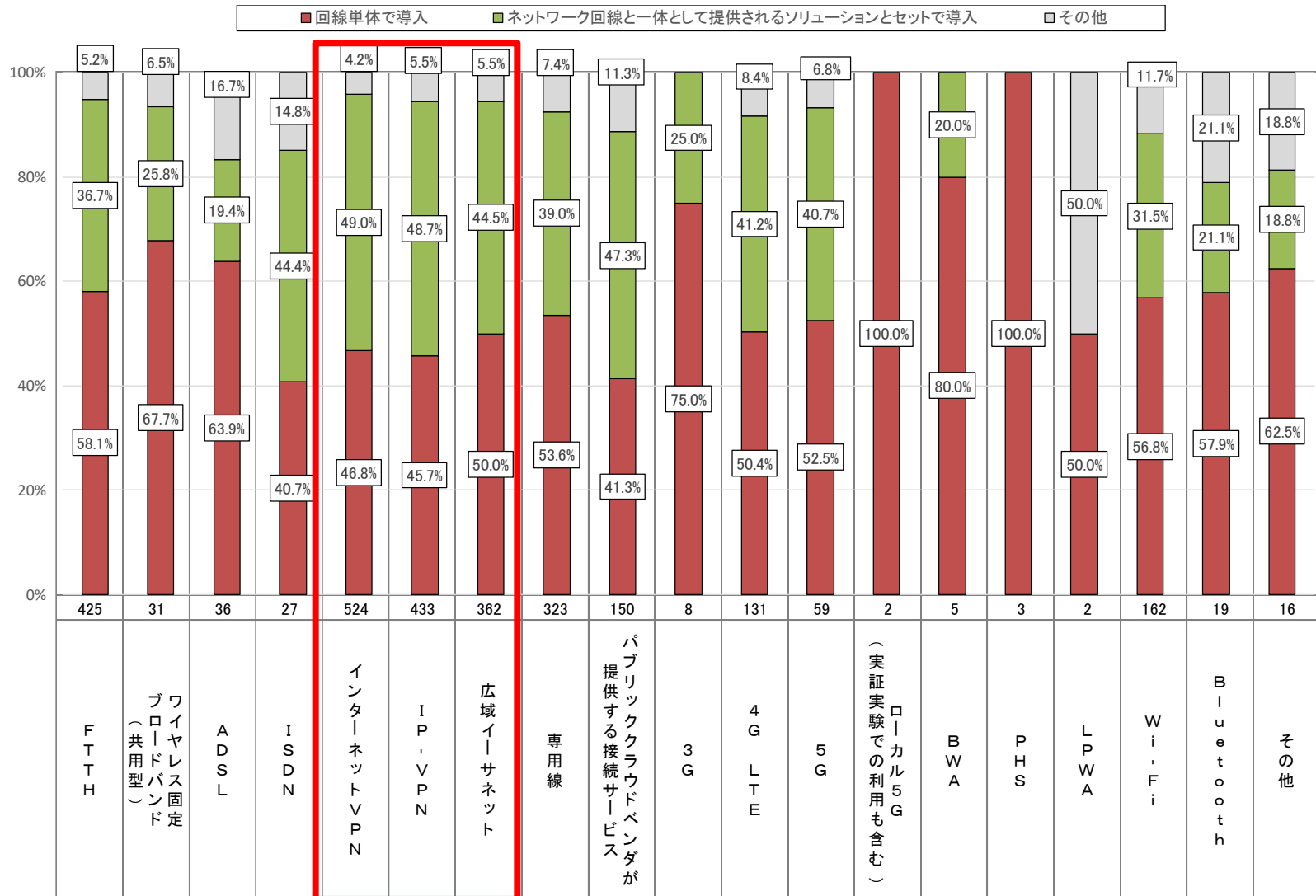
- 拠点間通信で利用するオンプレミスシステムとWANサービスを合わせた運用費用が今後10%値上がりする場合に、クラウドサービスに移行するいずれのパターンにおいても、同回答者のパブリッククラウド利用では「Amazon Web Service」や「Microsoft Azure」が多く、今後の移行先としても同サービスが選定されると想定される。

(複数回答、「パブリッククラウドは使っていない」回答を除く)



- 拠点間通信用途での利用が多かった「インターネットVPN」「IP-VPN」「広域イーサネット」の調達は、いずれも「回線単体」「ソリューションとセット」がほぼ5割ずつとなっている。

(単一回答)

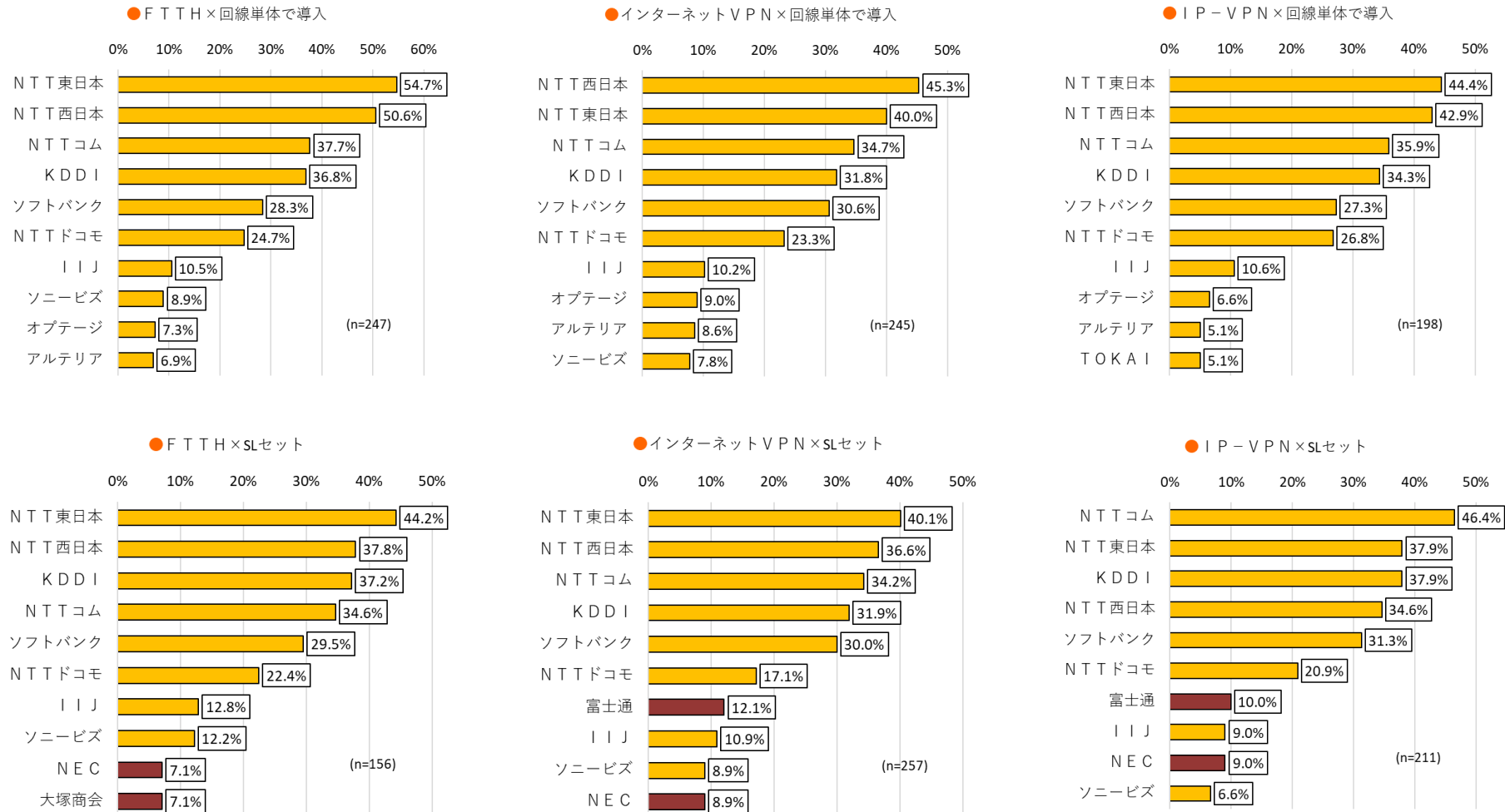


- 拠点間通信用途のネットワーク回線の調達先候補は、「国内の電気通信事業者」が最も多く、次いで「国内SIer」「親会社・グループ関連会社」と続く。

	該 当 数	順位									
		1位	2位	3位	4位	5位	(n=30以上の場合)				
FTTH	425	86.1	0.7	0.7	0.2	16.0	1.4	1.9	4.5	10.6	1.4
ワイヤレス固定ブロードバンド(共用型)	31	90.3	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	9.7	0.0
ADSL	36	77.8	0.0	2.8	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	2.8
ISDN	27	88.9	3.7	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	3.7	7.4	0.0
インターネットVPN	524	82.4	2.5	1.7	0.2	20.2	1.0	2.5	5.3	9.9	1.0
IP-VPN	433	80.6	3.5	1.6	0.0	21.2	1.8	2.5	3.9	12.7	2.1
広域イーサネット	362	82.0	1.1	1.1	0.3	18.0	1.9	2.8	7.7	13.0	2.8
専用線	323	74.0	3.4	0.9	0.0	21.1	0.9	3.1	7.7	15.8	4.0
パブリッククラウドベンダが提供する接続サービス	150	64.0	6.0	2.0	1.3	28.7	4.0	21.3	10.7	9.3	0.7
3G	8	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
4G LTE	131	90.1	1.5	0.0	0.0	12.2	0.0	0.8	0.0	9.2	0.8
5G	59	88.1	0.0	0.0	0.0	11.9	0.0	1.7	0.0	8.5	0.0
ローカル5G(実証実験での利用も含む)	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
BWA	5	80.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
PHS	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
LPWA	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
Wi-Fi	162	71.6	3.7	0.6	0.0	17.9	0.6	0.6	3.7	19.8	5.6
Bluetooth	19	57.9	5.3	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	26.3	15.8
その他	16	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	12.5	37.5

- 拠点間通信用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においてもNTTグループを中心とする国内の電気通信事業者が上位の結果となった。ソリューションセットではSlerがやや目立ち、NEC、富士通、大塚商会が事業者として挙げられている。

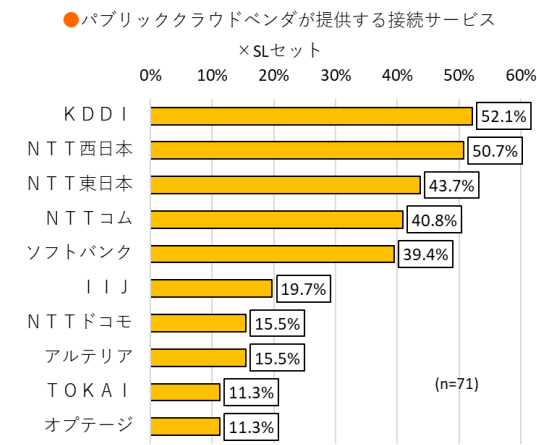
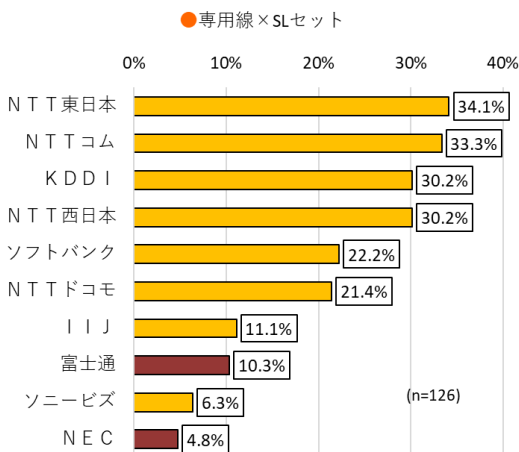
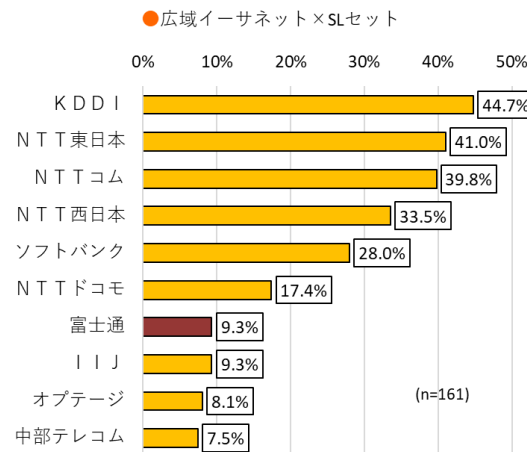
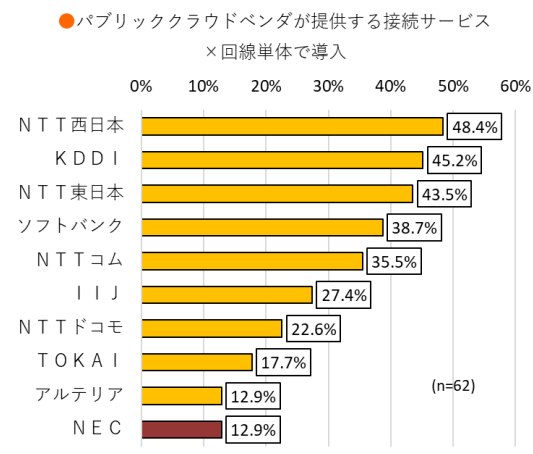
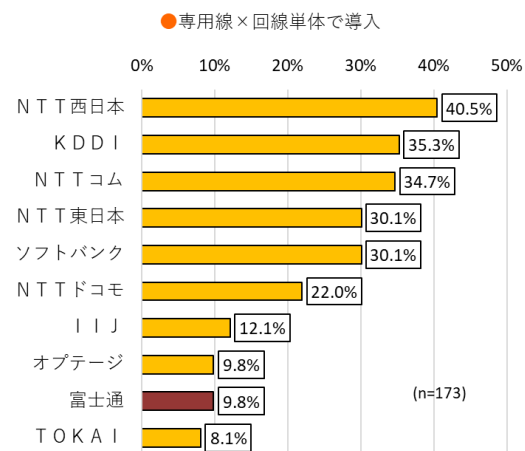
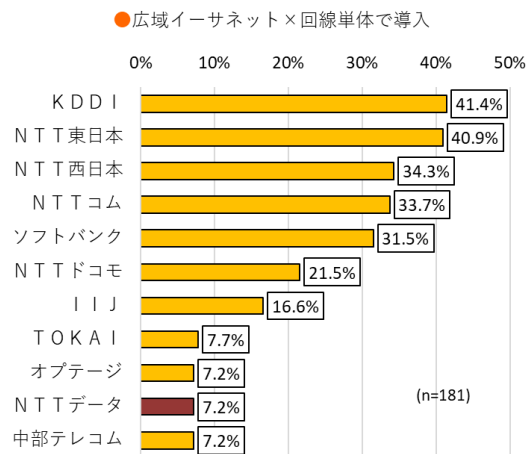
(複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値)



※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲で掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

- 拠点間通信用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においてもNTTグループを中心とする国内の電気通信事業者が上位の結果となった。ソリューションセットではSIerがやや目立ち、NTTデータ、NEC、富士通が事業者として挙げられている。

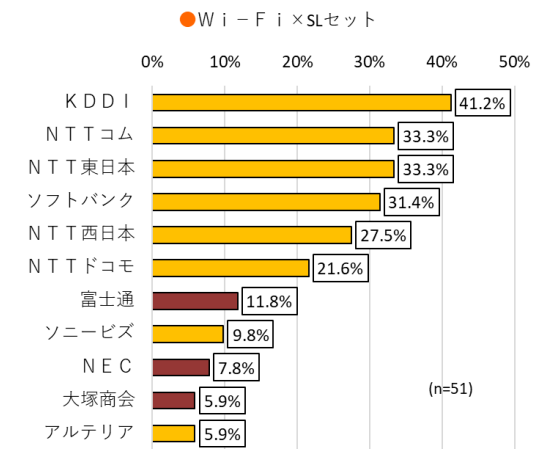
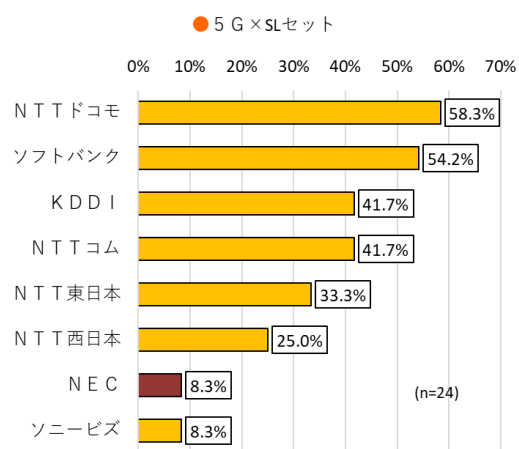
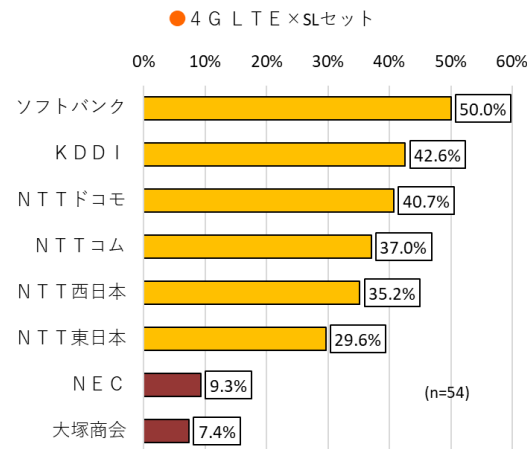
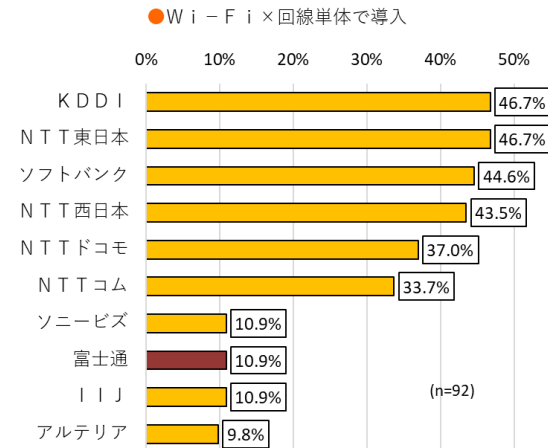
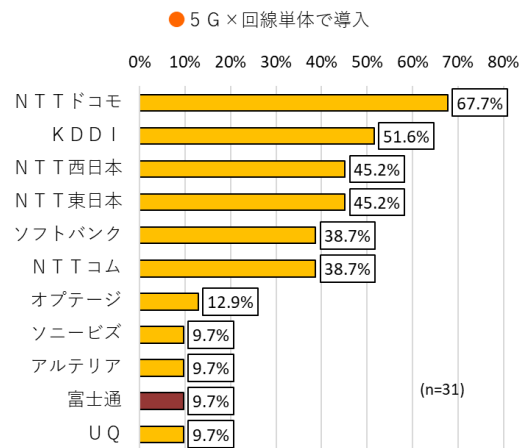
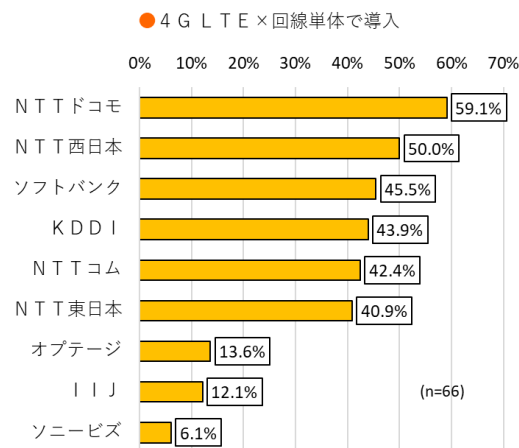
(複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値)



※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲で掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

- 拠点間通信用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においてもNTTグループを中心とする国内の電気通信事業者が上位の結果となった。ソリューションセットではSlerがやや目立ち、NEC、富士通、大塚商会が事業者として挙げられている。

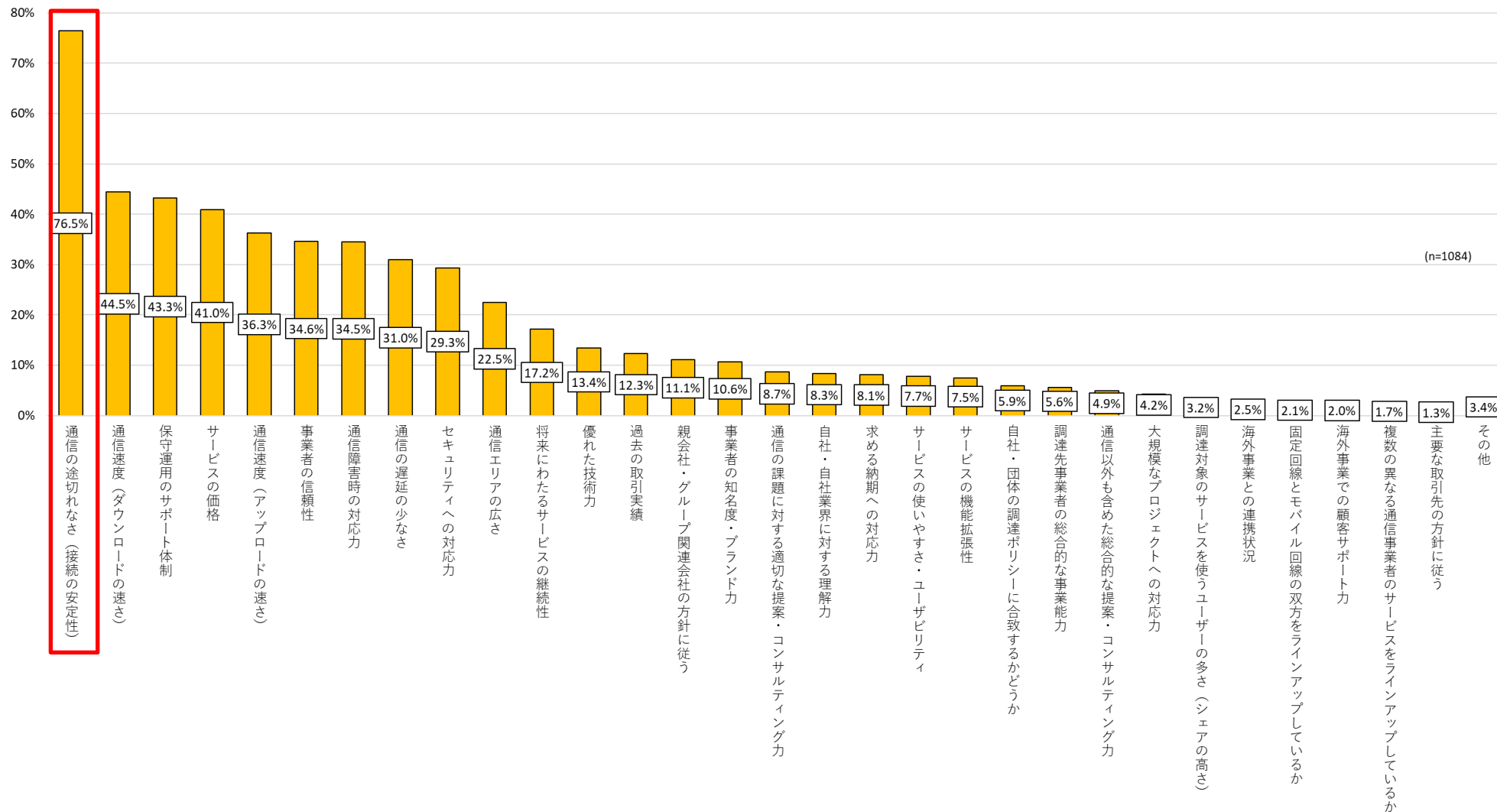
(複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値)



※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲で掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

- 拠点間通信用途において、調達先候補を選定する際の重視点は「通信の途切れなさ(接続の安定性)」が76.5%となり、「通信速度(ダウンロードの速さ)」「保守運用のサポート体制」「サービスの価格」が40%台前半で続く。

(複数回答)



- 拠点間通信用途のネットワーク回線の調達について、以下のいずれの回線においても、調達に関して相談した企業から実際の調達先が選ばれる割合が最も高い結果となっており、調達に関する相談相手に選ばれることが重要であることがうかがえる。

（複数回答、n=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）

■ FTTH 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTT東日本	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	KDDI	ソフトバンク	NTTドコモ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	ソニービズネットワークス	オプテージ	TOKAIコミュニケーションズ
調達先 相談相手	NTT東日本	119	50.4	20.2	12.6	11.8	11.8	7.6	3.4	5.0	0.0	1.7
	NTT西日本	108	24.1	50.0	11.1	13.0	10.2	5.6	4.6	2.8	3.7	2.8
	NTTコミュニケーションズ	73	23.3	13.7	42.5	11.0	8.2	11.0	1.4	2.7	0.0	5.5
	KDDI	72	18.1	18.1	12.5	45.8	22.2	11.1	5.6	2.8	2.8	5.6
	ソフトバンク	58	20.7	20.7	10.3	17.2	41.4	8.6	6.9	5.2	3.4	5.2
	NTTドコモ	47	21.3	23.4	19.1	17.0	17.0	36.2	2.1	8.5	4.3	2.1
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	21	33.3	19.0	9.5	19.0	14.3	4.8	38.1	0.0	9.5	14.3
	ソニービズネットワークス	20	35.0	25.0	20.0	20.0	5.0	15.0	10.0	55.0	5.0	5.0
	オプテージ	15	20.0	46.7	6.7	6.7	20.0	6.7	13.3	13.3	46.7	6.7
	TOKAIコミュニケーションズ	13	7.7	15.4	15.4	15.4	23.1	0.0	15.4	0.0	7.7	46.2

■ インターネットVPN 回線単体

順位 (n=30以上の場合)		該 当 数	実際の調達先											
			NTT T 西 日 本	NTT T 東 日 本	ソフ ト バ ン ク	NTT T コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ズ	K D D I	NTT T ド コ モ	イン タ ー ネ ッ ト イ ニ シ ア ティ ブ (ー I J ー)	オ プ テ ー ジ	ソ ニ ー ビ ズ ネ ッ ト ワ ー ク ス	アル テ リ ア ・ ネ ッ ト ワ ー ク ス	中 部 テ レ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	
調 達 先 相 談 相 手	NTT西日本	93	44.1	22.6	9.7	4.3	10.8	5.4	2.2	5.4	3.2	2.2	5.4	
	NTT東日本	80	22.5	51.3	12.5	8.8	11.3	7.5	1.3	0.0	5.0	1.3	3.8	
	ソフトバンク	64	12.5	17.2	43.8	12.5	20.3	9.4	3.1	1.6	4.7	1.6	1.6	
	NTTコミュニケーションズ	63	7.9	15.9	12.7	41.3	12.7	7.9	4.8	1.6	3.2	0.0	1.6	
	KDDI	60	15.0	13.3	23.3	11.7	43.3	6.7	3.3	5.0	5.0	0.0	3.3	
	NTTドコモ	39	30.8	25.6	20.5	20.5	17.9	38.5	0.0	2.6	10.3	0.0	2.6	
	インターネットイニシアティブ(IIJ)	19	0.0	10.5	15.8	21.1	15.8	0.0	36.8	5.3	0.0	0.0	0.0	
	オプテージ	18	44.4	16.7	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	50.0	5.6	0.0	0.0	
	ソニービズネットワークス	16	25.0	25.0	25.0	12.5	25.0	18.8	0.0	6.3	56.3	6.3	0.0	
アルテリア・ネットワークス	13	23.1	15.4	15.4	15.4	15.4	0.0	7.7	7.7	7.7	30.8	0.0		
中部テレコミュニケーション	13	23.1	15.4	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.3		

■ FTTH SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTT東日本	KDDI	NTT西日本	ソフトバンク	NTTコミュニケーションズ	NTTドコモ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	ソニービズネットワークス	NEC	大塚商会
調達先 相談相手	NTT東日本	49	51.0	12.2	20.4	14.3	18.4	12.2	4.1	4.1	2.0	4.1
	KDDI	48	20.8	41.7	18.8	8.3	14.6	8.3	4.2	6.3	2.1	4.2
	NTT西日本	46	23.9	19.6	52.2	10.9	19.6	10.9	2.2	4.3	0.0	2.2
	ソフトバンク	38	15.8	13.2	10.5	39.5	21.1	7.9	2.6	7.9	0.0	5.3
	NTTコミュニケーションズ	37	24.3	10.8	21.6	8.1	64.9	10.8	2.7	2.7	0.0	2.7
	NTTドコモ	23	30.4	17.4	21.7	26.1	26.1	43.5	4.3	4.3	0.0	8.7
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	16	18.8	18.8	18.8	12.5	25.0	6.3	43.8	6.3	0.0	0.0
	ソニービズネットワークス	14	14.3	7.1	14.3	21.4	7.1	0.0	0.0	35.7	7.1	7.1
	NEC	10	20.0	10.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	30.0	0.0
	大塚商会	10	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0	50.0

■ インターネットVPN SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTT東日本	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	ソフトバンク	KDDI	NTTドコモ	富士通	インターネットイニシアティブ（IIJ）	NEC	ソニービズネットワークス
調達先 相談相手	NTT東日本	83	47.0	21.7	19.3	12.0	13.3	7.2	6.0	3.6	1.2	3.6
	NTT西日本	71	25.4	56.3	19.7	9.9	14.1	4.2	4.2	4.2	1.4	2.8
	NTTコミュニケーションズ	70	21.4	17.1	48.6	8.6	14.3	7.1	0.0	2.9	0.0	1.4
	ソフトバンク	64	9.4	12.5	10.9	48.4	7.8	6.3	1.6	0.0	0.0	4.7
	KDDI	62	16.1	16.1	19.4	9.7	45.2	3.2	6.5	3.2	1.6	3.2
	NTTドコモ	32	21.9	18.8	15.6	21.9	15.6	46.9	9.4	0.0	0.0	3.1
	富士通	26	15.4	11.5	3.8	15.4	15.4	11.5	42.3	3.8	0.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	23	17.4	21.7	17.4	4.3	13.0	0.0	4.3	47.8	0.0	4.3
	NEC	21	14.3	9.5	9.5	0.0	9.5	4.8	4.8	4.8	33.3	4.8
	ソニービズネットワークス	18	22.2	16.7	11.1	22.2	16.7	0.0	0.0	5.6	5.6	33.3

- 拠点間通信用途のネットワーク回線の調達について、以下のいずれの回線においても、調達に関して相談した企業から実際の調達先が選ばれる割合が最も高い結果となっており、調達に関する相談相手に選ばれることが重要であることがうかがえる。

（複数回答、n=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）

■ IP-VPN 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先							
			NTT東日本	NTT西日本	KDDI	NTTコミュニケーションズ	ソフトバンク	NTTドコモ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	オプテージ
調達先 相談相手	NTT東日本	76	55.3	10.5	15.8	18.4	15.8	10.5	3.9	0.0
	NTT西日本	73	15.1	49.3	17.8	15.1	17.8	5.5	6.8	4.1
	KDDI	56	21.4	21.4	48.2	19.6	26.8	7.1	5.4	5.4
	NTTコミュニケーションズ	55	25.5	16.4	12.7	58.2	12.7	10.9	1.8	3.6
	ソフトバンク	44	13.6	15.9	22.7	13.6	54.5	6.8	6.8	4.5
	NTTドコモ	39	30.8	20.5	15.4	25.6	23.1	33.3	2.6	5.1
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	18	27.8	22.2	27.8	11.1	22.2	5.6	33.3	11.1
	オプテージ	9	0.0	44.4	11.1	22.2	33.3	11.1	11.1	44.4
	NTTデータ	9	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	55.6

■ IP-VPN SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先							
			NTTコミュニケーションズ	KDDI	NTT東日本	ソフトバンク	NTT西日本	NTTドコモ	富士通	インターネットイニシアティブ（IIJ）
調達先 相談相手	NTTコミュニケーションズ	76	55.3	10.5	10.5	5.3	9.2	3.9	0.0	2.6
	KDDI	65	18.5	36.9	10.8	10.8	13.8	4.6	4.6	3.1
	NTT東日本	57	15.8	10.5	33.3	15.8	14.0	3.5	5.3	1.8
	ソフトバンク	57	14.0	10.5	7.0	36.8	7.0	8.8	1.8	0.0
	NTT西日本	49	22.4	16.3	16.3	10.2	42.9	8.2	4.1	2.0
	NTTドコモ	27	18.5	14.8	7.4	18.5	44.4	0.0	0.0	0.0
	富士通	18	5.6	16.7	11.1	22.2	16.7	0.0	44.4	5.6
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	17	41.2	17.6	11.8	5.9	11.8	0.0	5.9	29.4
	NEC	16	12.5	18.8	6.3	0.0	6.3	0.0	6.3	12.5
	オプテージ	11	18.2	18.2	9.1	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0

■ 広域イーサネット 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTT東日本	KDDI	NTT西日本	UQコミュニケーションズ	ソフトバンク	NTTドコモ	中部テレコミュニケーション（IIJ）	NTTデータ	TOKAIコミュニケーションズ	オプテージ
調達先 相談相手	NTT東日本	65	58.5	16.9	12.3	0.0	13.8	6.2	3.1	6.2	0.0	1.5
	KDDI	59	20.3	45.8	15.3	0.0	18.6	5.1	3.4	5.1	1.7	6.8
	NTT西日本	50	22.0	20.0	46.0	0.0	12.0	4.0	8.0	4.0	4.0	8.0
	NTTコミュニケーションズ	44	18.2	18.2	13.6	0.0	9.1	9.1	4.5	4.5	9.1	4.5
	ソフトバンク	42	23.8	21.4	11.9	0.0	42.9	4.8	4.8	7.1	4.8	7.1
	NTTドコモ	29	20.7	20.7	17.2	0.0	20.7	27.6	3.4	3.4	3.4	6.9
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	22	13.6	18.2	22.7	0.0	13.6	4.5	36.4	0.0	0.0	13.6
	中部テレコミュニケーション	13	15.4	7.7	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	53.8	0.0	7.7
	NTTデータ	13	0.0	7.7	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	53.8	7.7
	TOKAIコミュニケーションズ	10	10.0	20.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	50.0
	オプテージ	10	0.0	10.0	50.0	0.0	30.0	10.0	10.0	0.0	10.0	50.0

■ 広域イーサネット SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先							
			KDDI	NTTコミュニケーションズ	NTT東日本	NTT西日本	ソフトバンク	NTTドコモ	富士通	オプテージ
調達先 相談相手	KDDI	59	50.8	18.6	16.9	18.6	10.2	5.1	5.1	6.8
	NTTコミュニケーションズ	51	21.6	54.9	17.6	13.7	17.6	9.8	0.0	2.0
	NTT東日本	49	20.4	18.4	49.0	20.4	12.2	4.1	6.1	2.0
	NTT西日本	42	31.0	19.0	23.8	54.8	4.8	9.5	4.8	9.5
	ソフトバンク	37	18.9	13.5	13.5	2.7	43.2	8.1	0.0	2.7
	NTTドコモ	16	31.3	37.5	12.5	25.0	18.8	50.0	0.0	6.3
	富士通	13	23.1	0.0	15.4	15.4	0.0	30.8	0.0	7.7
	オプテージ	12	25.0	8.3	16.7	41.7	8.3	0.0	0.0	66.7
	中部テレコミュニケーション	12	8.3	16.7	8.3	25.0	8.3	0.0	8.3	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	11	27.3	27.3	27.3	27.3	27.3	9.1	9.1	9.1

- 拠点間通信用途のネットワーク回線の調達について、以下のいずれの回線においても、調達に関して相談した企業から実際の調達先が選ばれる割合が最も高い結果となっており、調達に関する相談相手に選ばれることが重要であることがうかがえる。

（複数回答、n=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）

■ 専用線 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該 当 数	実際の調達先										
			NTT 西 日 本	NTT コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ズ	KD D I	NTT 東 日 本	ソフ ト バ ン ク	NTT ド コ モ	イン ター ネッ ト イ ニ シ ア ティ ブ (IIJ)	富 士 通	オ プ テ ー ジ	中 部 テ レ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	NTT デ ー タ
調 達 先 相 談 相 手	NTT西日本	61	42.6	11.5	11.5	11.5	9.8	4.9	3.3	1.6	8.2	9.8	1.6
	NTTコミュニケーションズ	52	7.7	36.5	15.4	9.6	11.5	7.7	3.8	5.8	1.9	3.8	3.8
	KDDI	49	12.2	12.2	34.7	14.3	18.4	6.1	2.0	4.1	4.1	6.1	0.0
	NTT東日本	42	9.5	14.3	19.0	42.9	11.9	4.8	2.4	4.8	0.0	7.1	0.0
	ソフトバンク	41	12.2	12.2	22.0	12.2	39.0	9.8	4.9	0.0	4.9	4.9	4.9
	NTTドコモ	31	19.4	19.4	16.1	9.7	19.4	29.0	3.2	6.5	9.7	3.2	3.2
	インターネットイニシアティブ (IIJ)	16	6.3	12.5	18.8	12.5	18.8	6.3	31.3	0.0	18.8	0.0	0.0
	富士通	15	13.3	0.0	26.7	6.7	13.3	13.3	0.0	33.3	0.0	0.0	6.7
	オプテージ	14	42.9	7.1	7.1	7.1	21.4	7.1	7.1	0.0	50.0	0.0	0.0
	中部テレコミュニケーション	13	15.4	0.0	7.7	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	46.2	0.0
NTTデータ	13	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	38.5	

■ 専用線 SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTT東日本	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	KDDI	ソフトバンク	NTTドコモ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	富士通	中部テレコミュニケーション	NEC
調達先 相談相手	NTT東日本	35	34.3	17.1	11.4	14.3	11.4	17.1	2.9	5.7	0.0	2.9
	NTT西日本	35	14.3	48.6	14.3	14.3	8.6	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	35	11.4	14.3	48.6	8.6	11.4	17.1	5.7	0.0	0.0	0.0
	KDDI	31	16.1	22.6	19.4	48.4	19.4	19.4	3.2	3.2	0.0	3.2
	ソフトバンク	21	4.8	14.3	9.5	9.5	52.4	19.0	4.8	0.0	0.0	0.0
	NTTドコモ	17	17.6	17.6	17.6	29.4	23.5	58.8	5.9	5.9	0.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	12	8.3	0.0	16.7	8.3	16.7	8.3	41.7	0.0	0.0	0.0
	富士通	12	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	41.7	0.0	0.0
	中部テレコミュニケーション	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	NEC	5	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

■ パブリッククラウドベンダーが提供する接続サービス 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTT西日本	ソフトバンク	NTT東日本	KDDI	NTTコミュニケーションズ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	NTTドコモ	TOKAIコミュニケーションズ	NEC	
調達先 相談相手	NTT西日本	21	42.9	9.5	19.0	19.0	9.5	14.3	9.5	0.0	0.0	0.0
	ソフトバンク	21	14.3	33.3	14.3	14.3	4.8	9.5	4.8	9.5	0.0	0.0
	NTT東日本	20	15.0	10.0	55.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0	5.0	5.0
	KDDI	20	20.0	25.0	25.0	35.0	10.0	10.0	5.0	10.0	5.0	5.0
	NTTコミュニケーションズ	15	6.7	13.3	13.3	6.7	40.0	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	12	16.7	16.7	16.7	25.0	16.7	50.0	8.3	16.7	0.0	0.0
	NTTドコモ	9	44.4	22.2	11.1	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	0.0
	TOKAIコミュニケーションズ	8	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0
	NEC	7	14.3	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0

■ パブリッククラウドベンダーが提供する接続サービス SLセット

順位 (n=30以上の場合)		該 当 数	実際の調達先										
			K D D I	N T T 西 日 本	N T T コ ミュ ニ ケー ション ズ	ソ フ ト バ ン ク	N T T 東 日 本	イン ター ネ ット イ ニ シ ア ティ ブ (IIJ)	N T T ド コ モ	オ プ テ ー ジ	中 部 テ レ コ ミュ ニ ケー ション	N E C	富 士 通
調 達 先 相 談 相 手	KDDI	31	48.4	22.6	19.4	19.4	22.6	9.7	3.2	6.5	9.7	0.0	9.7
	NTT西日本	26	34.6	38.5	15.4	19.2	23.1	7.7	3.8	7.7	11.5	3.8	3.8
	NTTコミュニケーションズ	26	23.1	11.5	42.3	15.4	30.8	11.5	3.8	3.8	7.7	0.0	3.8
	ソフトバンク	24	12.5	4.2	12.5	45.8	16.7	4.2	12.5	4.2	8.3	0.0	0.0
	NTT東日本	22	36.4	22.7	27.3	27.3	54.5	9.1	4.5	0.0	9.1	0.0	4.5
	インターネットイニシアティブ (IIJ)	12	25.0	25.0	25.0	16.7	16.7	58.3	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0
	NTTドコモ	10	10.0	0.0	10.0	50.0	10.0	10.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0
	オプテージ	7	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	0.0
	中部テレコミュニケーション	7	14.3	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0
	NEC	7	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	42.9	0.0
富士通	7	57.1	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	71.4	

- 拠点間通信用途のネットワーク回線の調達について、以下のいずれの回線においても、調達に関して相談した企業から実際の調達先が選ばれる割合が最も高い結果となっており、調達に関する相談相手に選ばれることが重要であることがうかがえる。

（複数回答、n=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）

■ 4G LTE 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先							
			NTTドコモ	NTT西日本	NTT東日本	KDDI	ソフトバンク	NTTコミュニケーションズ	オプテージ	インターネットイニシアティブ
調達先 相談相手	NTTドコモ	33	36.4	27.3	24.2	12.1	15.2	21.2	9.1	3.0
	NTT西日本	32	15.6	46.9	18.8	21.9	15.6	9.4	15.6	3.1
	NTT東日本	27	25.9	18.5	51.9	14.8	14.8	14.8	0.0	0.0
	KDDI	23	17.4	26.1	26.1	43.5	21.7	8.7	17.4	4.3
	ソフトバンク	23	13.0	17.4	21.7	21.7	47.8	13.0	13.0	8.7
	NTTコミュニケーションズ	21	28.6	14.3	23.8	14.3	9.5	47.6	4.8	0.0
	オプテージ	7	14.3	42.9	0.0	14.3	42.9	0.0	85.7	14.3
	インターネットイニシアティブ(IJ)	7	14.3	42.9	28.6	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0
	ソニービズネットワークス	4	25.0	50.0	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	50.0

■ Wi-Fi 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTT東日本	ソフトバンク	NTT西日本	KDDI	NTTドコモ	NTTコミュニケーションズ	富士通	ソニービズネットワークス	インターネットイニシアティブ	アルテリア・ネットワークス
調達先 相談相手	NTT東日本	37	59.5	18.9	18.9	24.3	10.8	13.5	5.4	0.0	0.0	0.0
	ソフトバンク	36	19.4	50.0	16.7	22.2	19.4	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0
	NTT西日本	33	33.3	21.2	51.5	27.3	18.2	12.1	0.0	3.0	6.1	0.0
	KDDI	33	18.2	27.3	21.2	54.5	18.2	3.0	3.0	3.0	3.0	9.1
	NTTドコモ	26	19.2	26.9	30.8	34.6	46.2	11.5	3.8	3.8	3.8	0.0
	NTTコミュニケーションズ	22	31.8	13.6	9.1	18.2	18.2	40.9	9.1	0.0	0.0	0.0
	富士通	9	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	ソニービズネットワークス	8	12.5	12.5	25.0	37.5	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	12.5
	インターネットイニシアティブ(IJ)	7	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	アルテリア・ネットワークス	6	50.0	33.3	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7

■ 4G LTE SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			ソフトバンク	KDDI	NTTコミュニケーションズ	NTTドコモ	NTT西日本	NTT東日本	NEC	インターネットイニシアティブ	NTTデータ	大塚商会
調達先 相談相手	ソフトバンク	26	53.8	19.2	19.2	15.4	11.5	7.7	0.0	3.8	3.8	3.8
	KDDI	19	26.3	52.6	15.8	21.1	15.8	10.5	0.0	5.3	0.0	5.3
	NTTコミュニケーションズ	18	33.3	16.7	66.7	22.2	11.1	11.1	0.0	5.6	5.6	0.0
	NTTドコモ	16	37.5	31.3	18.8	50.0	12.5	12.5	0.0	6.3	6.3	6.3
	NTT東日本	13	23.1	23.1	15.4	23.1	61.5	15.4	0.0	7.7	0.0	0.0
	NTT西日本	11	18.2	18.2	18.2	27.3	18.2	45.5	0.0	0.0	9.1	0.0
	NEC	5	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	インターネットイニシアティブ(IJ)	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	NTTデータ	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	大塚商会	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

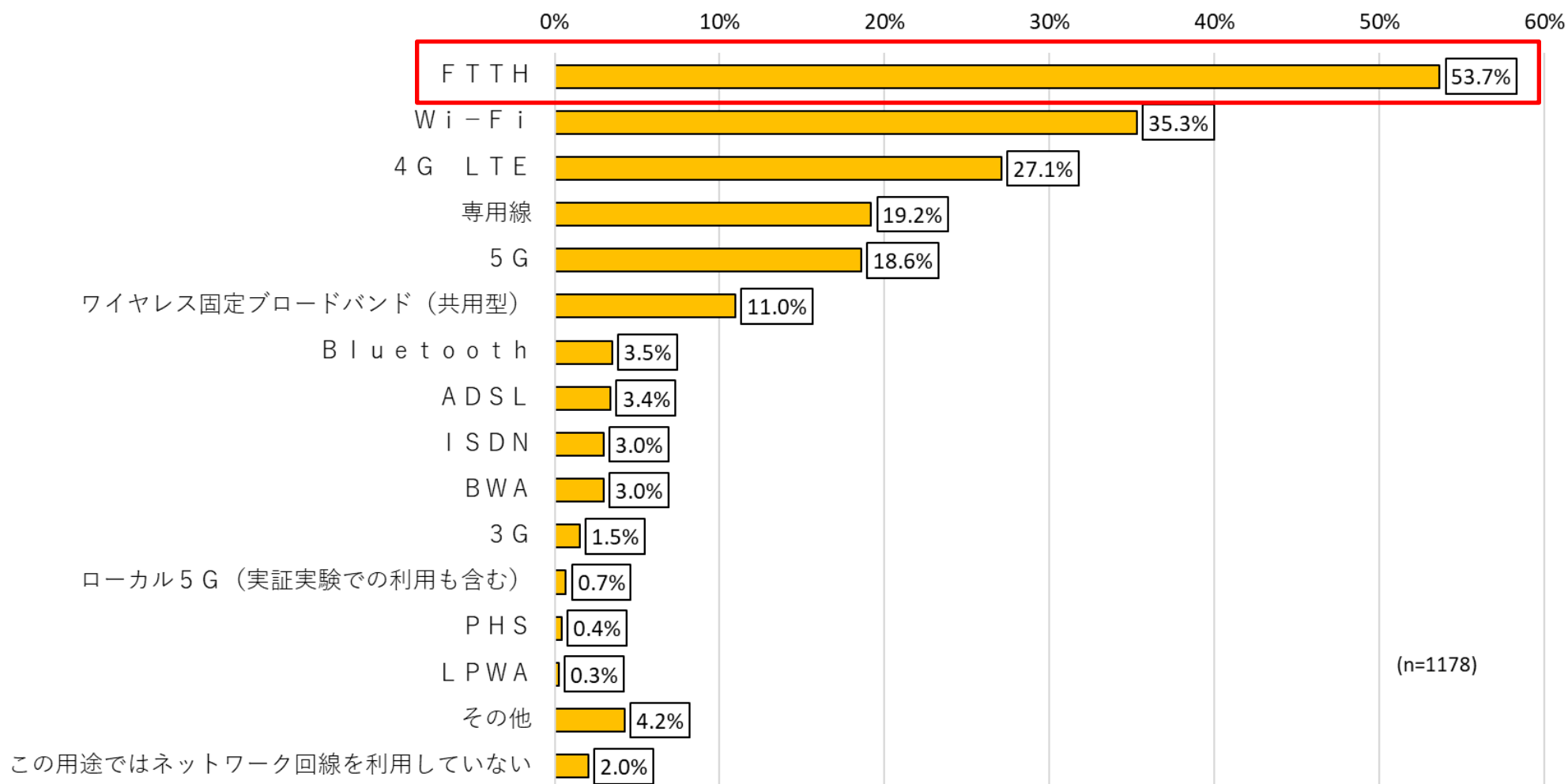
■ Wi-Fi SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先										
			KDDI	NTTコミュニケーションズ	ソフトバンク	NTT東日本	NTTドコモ	NTT西日本	富士通	ソニービズネットワークス	アルテリア・ネットワークス	NEC	大塚商会
調達先 相談相手	KDDI	18	61.1	16.7	11.1	5.6	5.6	22.2	11.1	0.0	5.6	0.0	11.1
	NTTコミュニケーションズ	15	26.7	40.0	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	6.7
	ソフトバンク	13	23.1	15.4	61.5	23.1	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	NTT東日本	12	8.3	0.0	25.0	58.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	NTTドコモ	10	10.0	10.0	10.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	NTT西日本	10	40.0	10.0	10.0	10.0	0.0	50.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	富士通	5	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	20.0
	ソニービズネットワークス	4	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	アルテリア・ネットワークス	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0
	NEC	3	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

法人向けサービス市場 (インターネット利用用途)

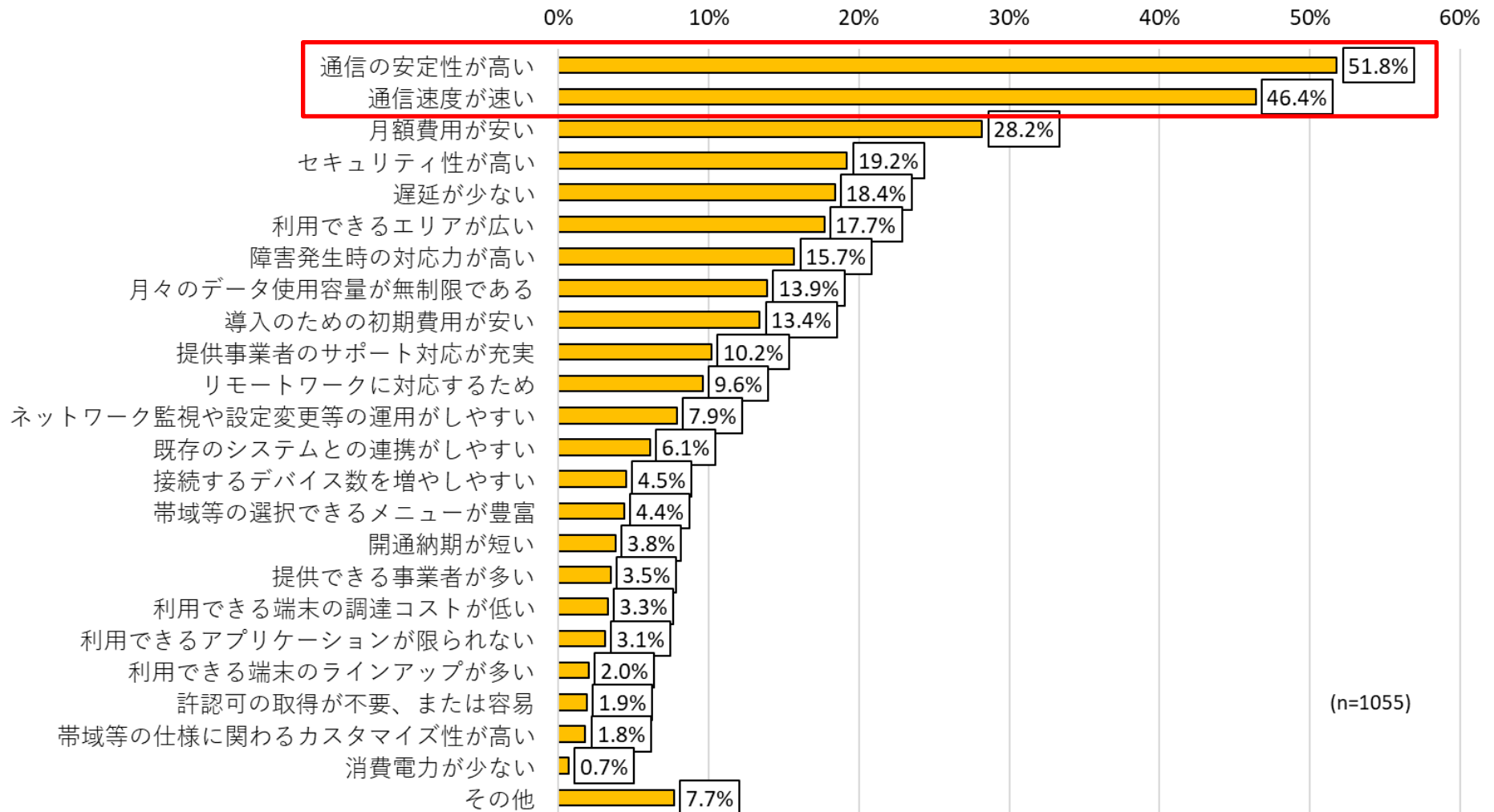
- インターネット利用ではFTTHが53.7%と半数を超えており、主要なネットワーク回線と言える。ワイヤレス固定ブロードバンド(共用型)は11.0%。

(複数回答、「わからない」回答を除く)



- インターネット利用のネットワーク回線選定では、「通信の安定性」が51.8%と最も重視される。
- 次いで「通信速度が速い」が46.4%となっている。

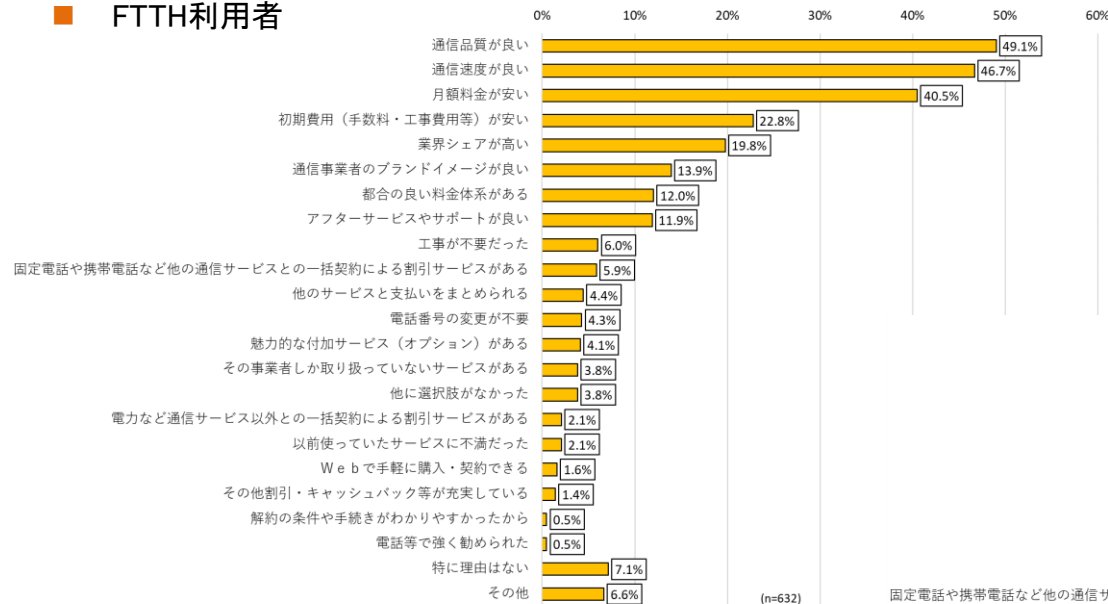
(複数回答、「わからない」回答を除く)



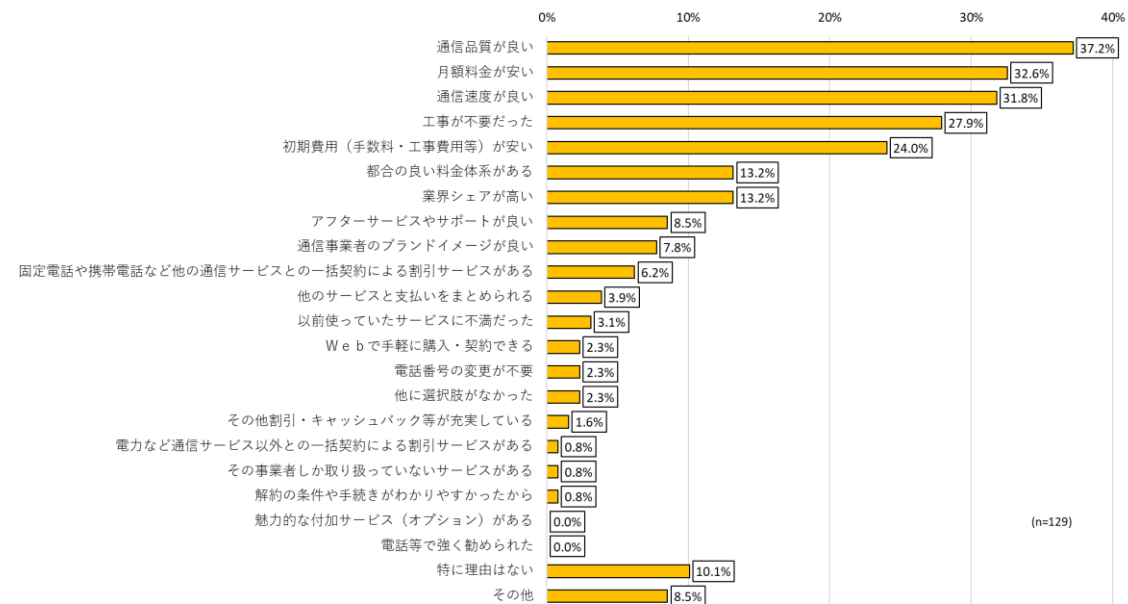
- インターネット利用用途でのFTTH利用者は、5割近くが「通信品質の良さ」を重視している。「通信速度の良さ」「月額料金の安さ」がそれに続く。
- インターネット利用用途でのワイヤレス固定BB利用者は、4割近くが「通信品質の良さ」を重視している。「月額料金の安さ」「通信速度の良さ」がそれに続き、「工事が不要だった」は27.9%となった。

(複数回答、「わからない」回答を除く)

■ FTTH利用者



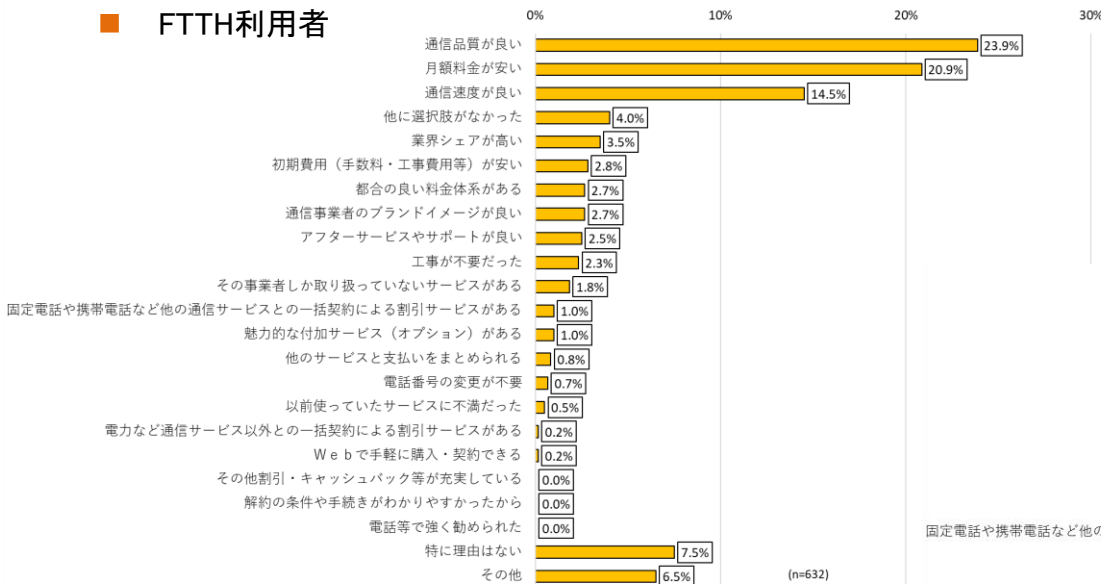
■ ワイヤレス固定ブロードバンド利用者



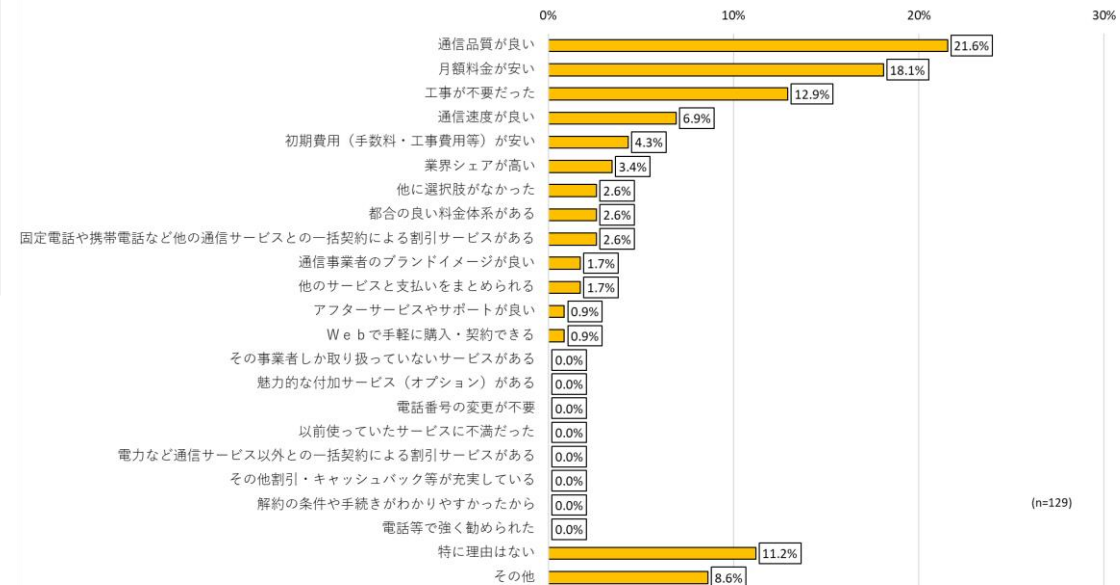
- インターネット利用用途でのFTTH利用者が最も重視していることは、「通信品質の良さ」「月額料金の安さ」が上位。次いで「通信速度が良い」が続く。
- インターネット利用用途でのワイヤレス固定ブロードバンド利用者が最も重視していることは、「通信品質の良さ」「月額料金の安さ」が上位。次いで「工事が不要」が続く。

(単一回答、「わからない」回答を除く)

FTTH利用者

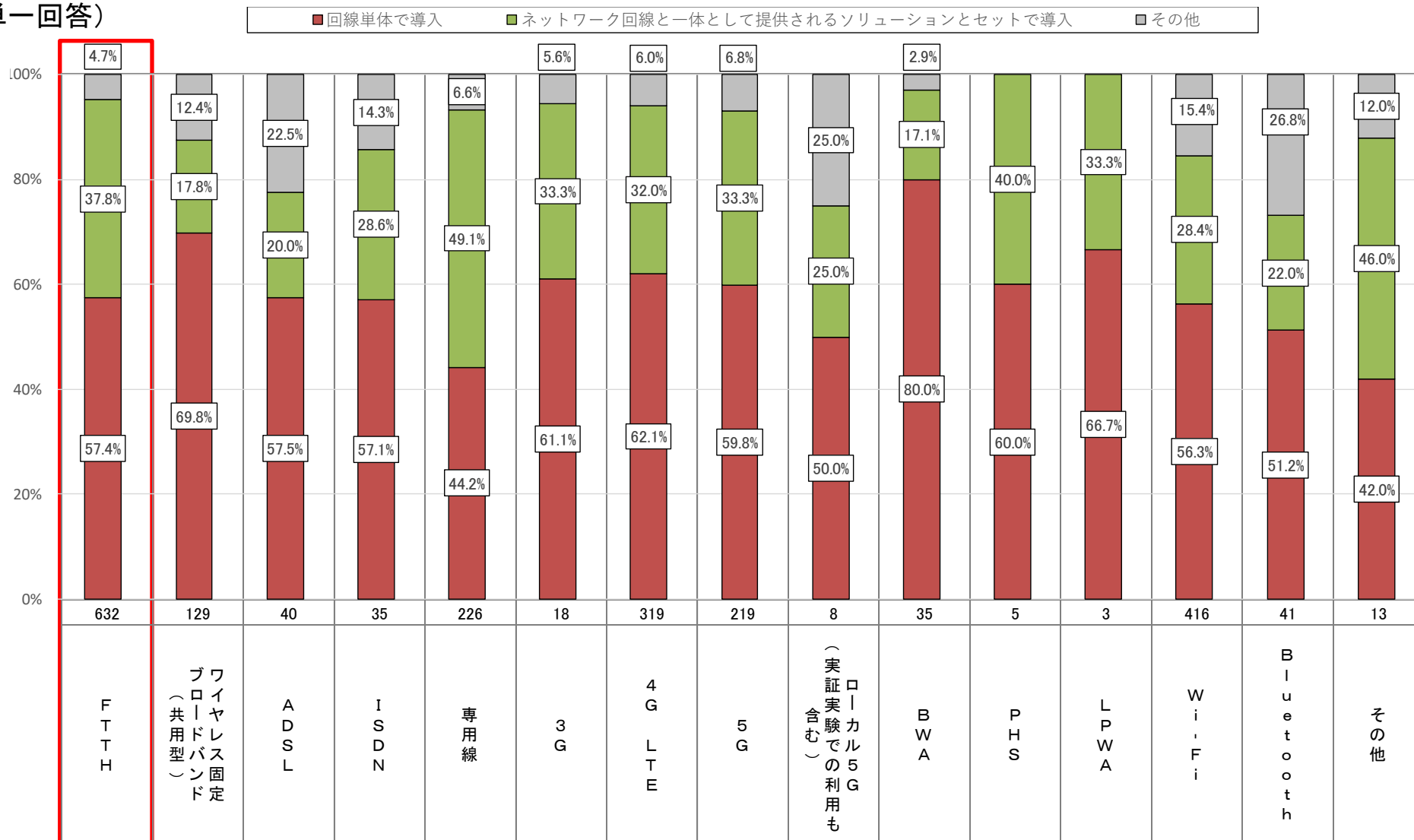


ワイヤレス固定ブロードバンド利用者



- インターネット利用用途のネットワーク回線で最も利用の多いFTTHは、約6割が回線単体で調達されている。

(単一回答)



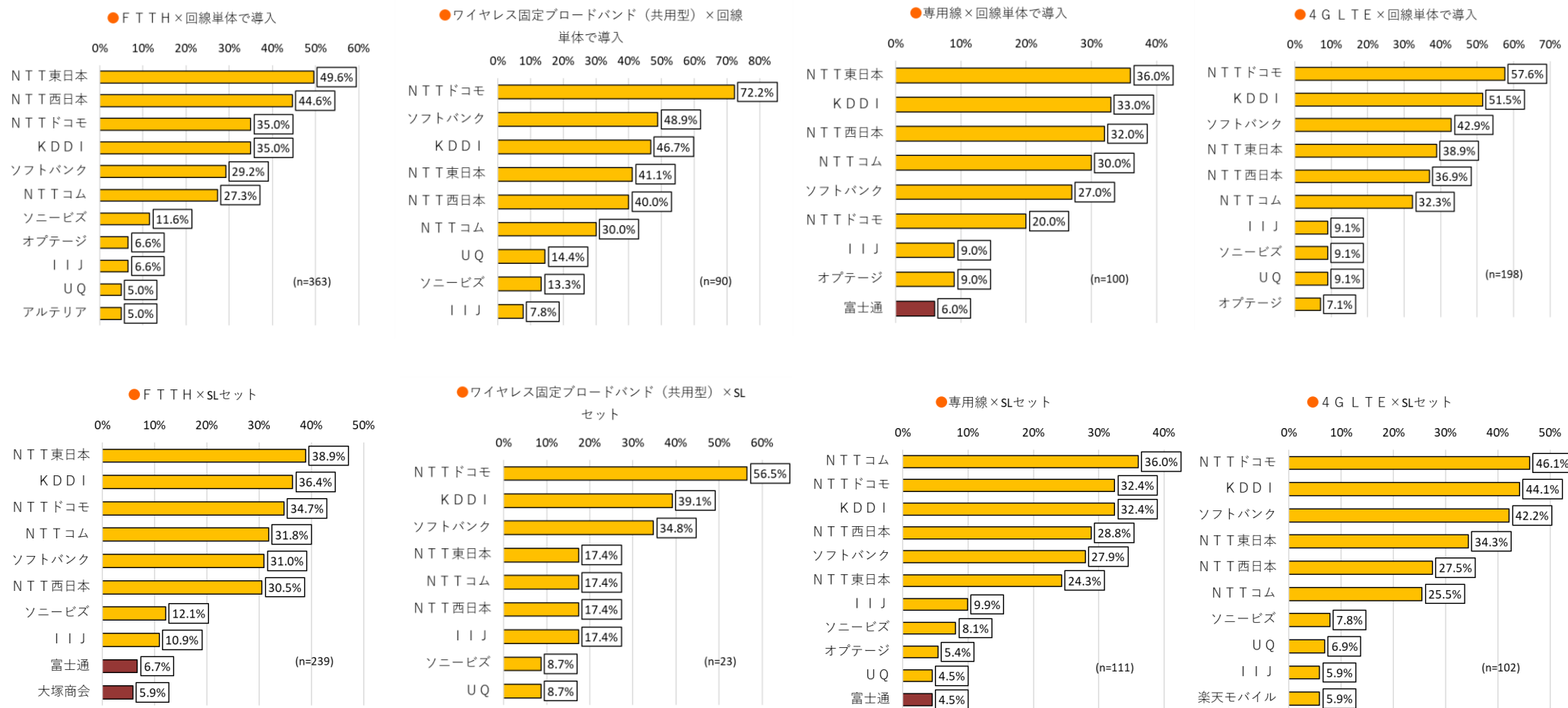
- インターネット利用用途のネットワーク回線の調達先候補は、「国内の電気通信事業者」が最も多く、次いで「国内SIer」「親会社・グループ関連会社」と続く。

(複数回答)

	該当数	国内の電気通信事業者	海外の電気通信事業者	国内コンサルティングファーム	外資コンサルティングファーム	国内SIer	外資SIer	PaaS/IaaS事業者	データセンター事業者	親会社・グループ関連会社	その他
順位											
1位	2位	3位	4位	5位							
(n=30以上の場合)											
FTTH	632	88.3	2.4	1.3	0.3	14.7	0.5	1.9	3.8	10.6	2.1
ワイヤレス固定ブロードバンド(共用型)	129	89.9	2.3	0.8	0.0	6.2	0.8	0.0	1.6	9.3	1.6
ADSL	40	85.0	2.5	5.0	0.0	20.0	0.0	2.5	5.0	12.5	2.5
ISDN	35	85.7	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	5.7	14.3	2.9
専用線	226	77.0	3.5	1.8	0.4	13.3	1.3	2.2	4.0	21.2	5.8
3G	18	94.4	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
4G LTE	319	91.8	1.3	1.3	0.0	8.2	0.3	0.3	1.3	9.4	2.5
5G	219	93.2	0.5	1.8	0.5	6.8	0.5	0.0	0.9	8.7	1.8
ローカル5G(実証実験での利用も含む)	8	62.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
BWA	35	85.7	2.9	0.0	0.0	14.3	2.9	0.0	0.0	14.3	5.7
PHS	5	80.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
LPWA	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
Wi-Fi	416	78.4	1.4	2.2	0.0	16.1	1.0	1.2	1.0	14.4	5.0
Bluetooth	41	61.0	0.0	2.4	0.0	19.5	2.4	0.0	0.0	19.5	9.8
その他	50	58.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	10.0	4.0	16.0	26.0

- インターネット利用用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においてもNTTグループを中心とする国内の電気通信事業者が上位の結果となった。SIerでは富士通や大塚商会在事業者として挙げられている。

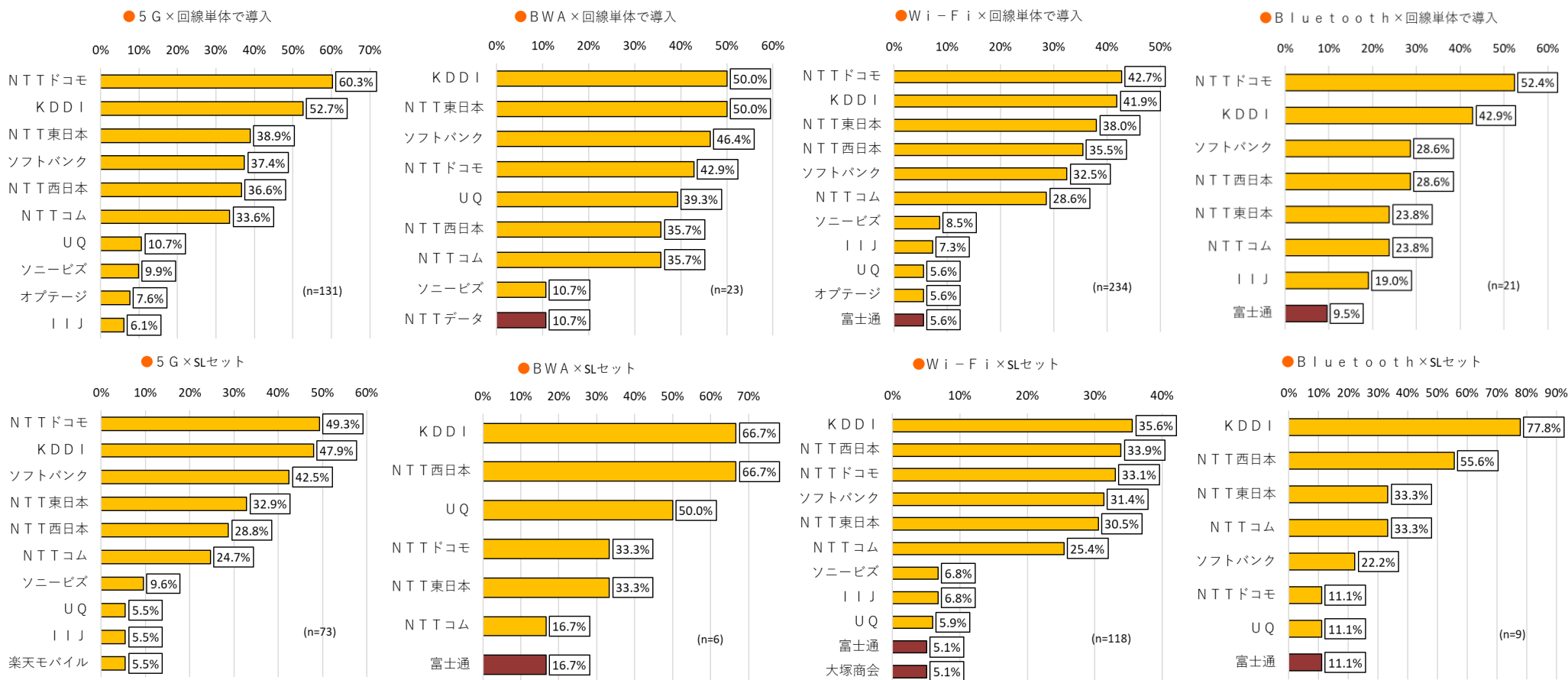
(複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値)



※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲で掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

- インターネット利用用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においてもNTTグループを中心とする国内の電気通信事業者が上位の結果となった。SIerではNTTデータや富士通、大塚商会在事業者として挙げられている。

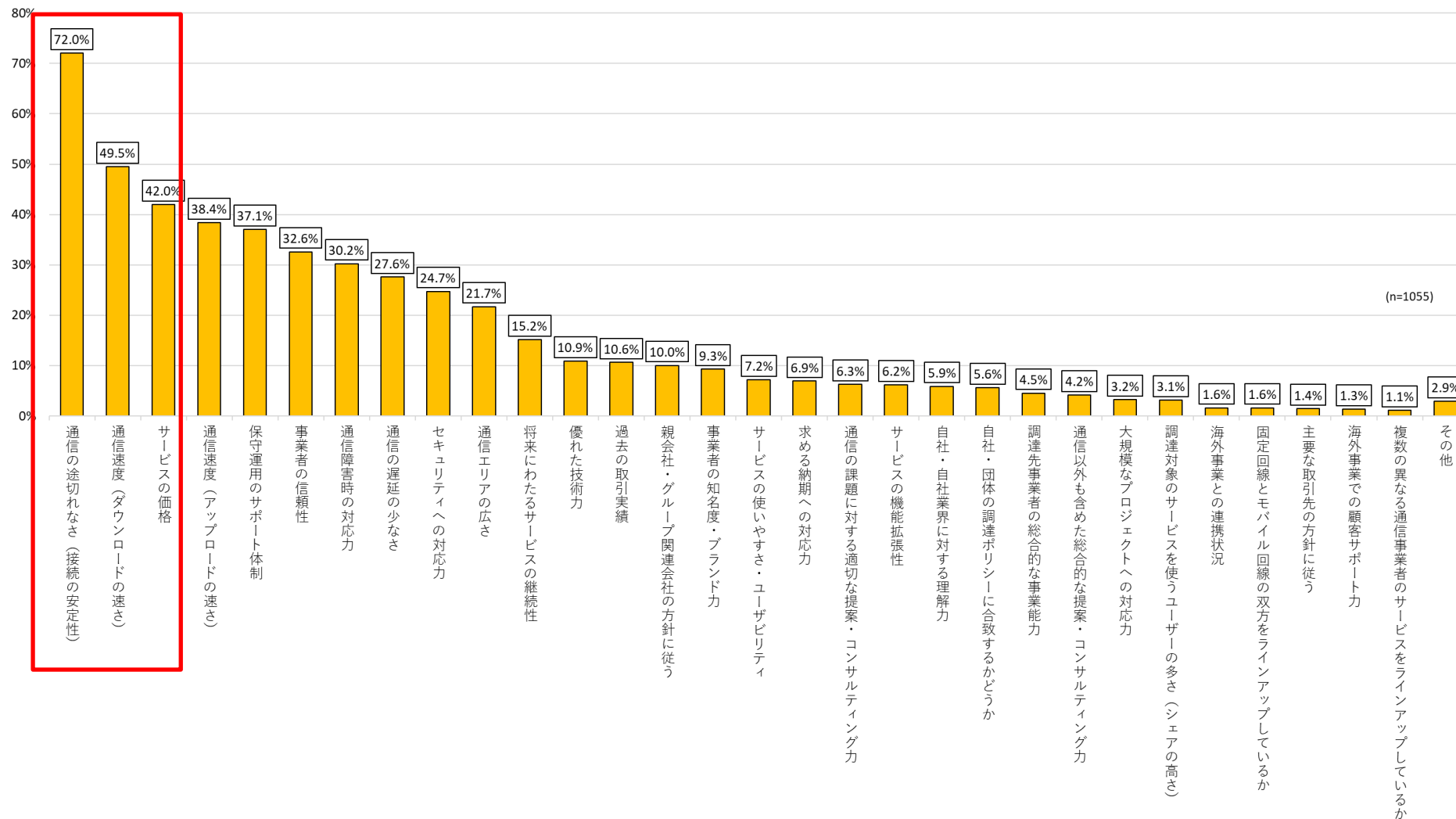
(複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値)



※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲に掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

- インターネット利用用途において、調達先候補を選定する際の重視点は「通信の途切れなさ(接続の安定性)」が72.0%となり、「通信速度(ダウンロードの速さ)」「保守運用のサポート体制」「サービスの価格」が40%台前半で続く。

(複数回答)



- インターネット利用用途のネットワーク回線の調達について、以下のいずれの回線においても、調達に関して相談した企業から実際の調達先が選ばれる割合が最も高い結果となっており、調達に関する相談相手に選ばれることが重要であることがうかがえる。

（複数回答、n=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）

■ FTTH 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTT東日本	NTT西日本	NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク	NTTコミュニケーションズ	ソニービズネットワークス	オプテージ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	アルテリア・ネットワークス
調達先 相談相手	NTT東日本	152	54.6	22.4	22.4	16.4	11.8	8.6	5.3	0.0	1.3	0.0
	NTT西日本	138	26.1	52.2	19.6	15.2	13.0	8.7	5.1	0.7	1.4	0.0
	NTTドコモ	110	24.5	23.6	54.5	14.5	16.4	9.1	5.5	1.8	1.8	0.0
	KDDI	97	29.9	25.8	21.6	49.5	19.6	8.2	5.2	3.1	2.1	0.0
	ソフトバンク	80	22.5	23.8	25.0	16.3	51.3	7.5	6.3	1.3	1.3	1.3
	NTTコミュニケーションズ	78	19.2	15.4	23.1	12.8	9.0	35.9	2.6	2.6	0.0	0.0
	ソニービズネットワークス	34	20.6	11.8	14.7	11.8	14.7	5.9	50.0	2.9	2.9	2.9
	オプテージ	18	11.1	27.8	16.7	16.7	5.6	16.7	5.6	33.3	0.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	16	31.3	18.8	18.8	12.5	6.3	6.3	0.0	0.0	25.0	0.0
	アルテリア・ネットワークス	14	21.4	14.3	14.3	7.1	7.1	0.0	14.3	0.0	7.1	21.4

■ FTTH SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			KDDI	NTT東日本	NTTコミュニケーションズ	NTTドコモ	NTT西日本	ソフトバンク	インターネットイニシアティブ（IIJ）	ソニービズネットワークス	富士通	大塚商会
調達先 相談相手	KDDI	70	47.1	12.9	14.3	14.3	17.1	14.3	4.3	2.9	4.3	1.4
	NTT東日本	65	16.9	44.6	13.8	21.5	13.8	10.8	3.1	3.1	3.1	0.0
	NTTコミュニケーションズ	63	17.5	15.9	54.0	27.0	14.3	12.7	1.6	0.0	1.6	0.0
	NTTドコモ	62	17.7	19.4	22.6	56.3	16.1	19.4	3.2	0.0	4.8	1.6
	NTT西日本	62	19.4	14.5	14.5	22.6	51.6	8.1	4.8	3.2	0.0	1.6
	ソフトバンク	59	11.9	10.2	16.9	16.9	11.9	49.2	0.0	5.1	1.7	3.4
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	23	13.0	8.7	4.3	13.0	13.0	4.3	52.2	0.0	4.3	0.0
	ソニービズネットワークス	21	9.5	4.8	4.8	4.8	4.8	23.8	0.0	28.6	0.0	9.5
	富士通	11	36.4	18.2	18.2	27.3	0.0	9.1	0.0	0.0	54.5	0.0
	大塚商会	11	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	18.2	0.0	0.0	36.4

■ ワイヤレス固定ブロードバンド（共用型）回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク	NTT西日本	NTT東日本	NTTコミュニケーションズ	UQコミュニケーションズ	ソニービズネットワークス	インターネットイニシアティブ（IIJ）	NEC
調達先 相談相手	NTTドコモ	62	74.2	19.4	22.6	19.4	17.7	19.4	4.8	6.5	1.6	0.0
	KDDI	33	51.5	57.6	33.3	30.3	27.3	21.2	9.1	3.0	3.0	0.0
	ソフトバンク	33	54.5	30.3	63.6	30.3	30.3	21.2	12.1	9.1	0.0	0.0
	NTT西日本	28	42.9	28.6	32.1	60.7	42.9	25.0	7.1	0.0	0.0	0.0
	NTT東日本	25	56.0	36.0	32.0	44.0	72.0	28.0	8.0	8.0	0.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	23	60.9	26.1	21.7	30.4	34.8	73.9	8.7	4.3	0.0	0.0
	UQコミュニケーションズ	7	71.4	42.9	71.4	42.9	42.9	42.9	57.1	0.0	0.0	0.0
	ソニービズネットワークス	6	66.7	16.7	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0	83.3	0.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	5	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	NEC	4	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0

■ ワイヤレス固定ブロードバンド（共用型）SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先						
			NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク	NTT東日本	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	インターネットイニシアティブ（IIJ）
調達先 相談相手	NTTドコモ	10	60.0	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	KDDI	7	14.3	57.1	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0
	ソフトバンク	7	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0	14.3	0.0
	NTT東日本	4	25.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	NTT西日本	4	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	4	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	4	25.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0

- インターネット利用用途のネットワーク回線の調達について、以下のいずれの回線においても、調達に関して相談した企業から実際の調達先が選ばれる割合が最も高い結果となっており、調達に関する相談相手に選ばれることが重要であることがうかがえる。

（複数回答、n=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）

■ 専用線 回線単体

順位 (n=30以上の場合)		該 当 数	実際の調達先											
			NTT東日本	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	KDDI	ソフトバンク	NTTドコモ	オプテージ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	アルテリア・ネットワークス	TOKAIコミュニケーションズ	富士通	NTTデータ
調達先 相談相手	NTT東日本	32	37.5	15.6	12.5	18.8	9.4	15.6	6.3	3.1	3.1	3.1	3.1	0.0
	NTT西日本	30	16.7	50.0	10.0	23.3	10.0	16.7	10.0	3.3	3.3	3.3	0.0	3.3
	NTTコミュニケーションズ	28	14.3	21.4	42.9	17.9	10.7	17.9	7.1	10.7	3.6	3.6	7.1	0.0
	KDDI	27	18.5	29.6	14.8	51.9	14.8	25.9	11.1	3.7	3.7	3.7	3.7	0.0
	ソフトバンク	24	8.3	16.7	16.7	16.7	37.5	20.8	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	4.2
	NTTドコモ	17	17.6	29.4	17.6	29.4	17.6	58.8	11.8	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0
	オプテージ	7	28.6	57.1	28.6	42.9	14.3	28.6	85.7	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	7	28.6	28.6	57.1	28.6	28.6	28.6	14.3	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	アルテリア・ネットワークス	5	60.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	TOKAIコミュニケーションズ	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	富士通	5	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	NTTデータ	5	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

■ Wi-Fi 回線単体

順位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先										
			NTT東日本	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	KDDI	ソフトバンク	NTTドコモ	オプテージ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	UQコミュニケーションズ	オプテージ	富士通
1位		91	54.9	14.3	13.2	20.9	12.1	12.1	1.1	3.3	4.4	3.3	2.2
2位		79	22.8	46.8	15.2	15.2	11.4	5.1	2.5	1.3	2.5	3.8	3.8
3位		72	20.8	20.8	50.0	16.7	11.1	8.3	4.2	1.4	2.8	1.4	4.2
	NTT東日本	69	27.5	17.4	18.8	52.2	8.7	10.1	1.4	2.9	1.4	5.8	1.4
	NTT西日本	67	23.9	14.9	7.5	11.9	41.8	9.0	3.0	1.5	3.0	3.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	54	29.6	9.3	14.8	16.7	11.1	35.2	1.9	1.9	3.7	1.9	3.7
	KDDI	16	6.3	12.5	18.8	6.3	12.5	6.3	37.5	6.3	0.0	0.0	0.0
	ソフトバンク	16	18.8	6.3	18.8	18.8	6.3	6.3	25.0	0.0	6.3	0.0	0.0
	NTTドコモ	10	60.0	30.0	0.0	10.0	30.0	10.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	オプテージ	10	30.0	30.0	10.0	50.0	20.0	10.0	0.0	10.0	0.0	50.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	10	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0

■ Wi-Fi SLセット

順位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先										
			KDDI	NTT西日本	NTT東日本	NTTドコモ	ソフトバンク	NTTコミュニケーションズ	ソニービズネットワークス	インターネットイニシアティブ（IIJ）	大塚商会	UQコミュニケーションズ	富士通
1位		39	51.3	28.2	23.1	15.4	17.9	12.8	2.6	2.6	2.6	5.1	2.6
2位		38	28.9	55.3	18.4	18.4	10.5	7.9	5.3	2.6	2.6	2.6	0.0
3位		34	20.6	20.6	47.1	20.6	23.5	17.6	0.0	5.9	0.0	2.9	2.9
	NTT東日本	31	25.8	19.4	25.8	58.1	16.1	12.9	3.2	3.2	0.0	3.2	3.2
	NTT西日本	30	16.7	16.7	16.7	16.7	56.7	20.0	3.3	0.0	3.3	6.7	3.3
	NTTコミュニケーションズ	26	23.1	15.4	23.1	19.2	23.1	46.2	0.0	0.0	0.0	3.8	3.8
	KDDI	5	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	ソフトバンク	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	80.0	0.0	0.0	0.0
	NTTドコモ	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	オプテージ	4	25.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	4	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

- インターネット利用用途のネットワーク回線の調達においては、相談先の企業から実際の調達先が選ばれる割合が高い結果となっており、調達に関する相談相手に選ばれることが重要であることがうかがえる。
- なお、4G LTEと5Gの調達においては、NTTコムに相談した企業では、NTTコムから調達する割合より、100%親会社のMNOであるNTTドコモから調達する割合の方が高い結果となった。

（複数回答、n=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）

4G LTE 回線単体

順位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク	NTT西日本	NTT東日本	NTTコミュニケーションズ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	UQコミュニケーションズ	ソニービズネットワークス	オプテージ
調達先 相談相手	NTTドコモ	103	67.0	19.4	21.4	20.4	15.5	14.6	3.9	3.9	3.9	3.9
	KDDI	88	29.5	52.3	23.9	20.5	19.3	12.5	3.4	3.4	5.7	5.7
	ソフトバンク	77	35.1	22.1	51.9	14.3	10.4	14.3	1.3	5.2	5.2	2.6
	NTT西日本	60	40.0	25.0	16.7	58.3	28.3	16.7	6.7	6.7	5.0	5.0
	NTT東日本	59	40.7	30.5	22.0	30.5	49.2	15.3	3.4	6.8	6.8	1.7
	NTTコミュニケーションズ	53	47.2	26.4	18.9	22.6	18.9	43.4	1.9	5.7	1.9	5.7
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	14	42.9	28.6	14.3	42.9	21.4	14.3	35.7	0.0	0.0	7.1
	UQコミュニケーションズ	13	53.8	30.8	53.8	46.2	23.1	15.4	0.0	46.2	0.0	0.0
	ソニービズネットワークス	13	30.8	38.5	30.8	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	61.5	7.7
	オプテージ	12	41.7	41.7	16.7	41.7	16.7	33.3	8.3	8.3	8.3	50.0

5G 回線単体

順位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク	NTTコミュニケーションズ	NTT西日本	NTT東日本	UQコミュニケーションズ	ソニービズネットワークス	オプテージ	アルテリア・ネットワークス（IIJ）
調達先 相談相手	NTTドコモ	72	70.8	18.1	22.2	12.5	23.6	15.3	5.6	2.8	4.2	1.4
	KDDI	59	30.5	54.2	23.7	10.2	22.0	23.7	5.1	3.4	3.4	1.7
	ソフトバンク	46	39.1	21.7	58.7	15.2	15.2	10.9	8.7	6.5	2.2	0.0
	NTTコミュニケーションズ	39	53.8	23.1	20.5	38.5	23.1	20.5	7.7	2.6	2.6	0.0
	NTT西日本	38	47.4	28.9	15.8	15.8	71.1	31.6	10.5	0.0	5.3	0.0
	NTT東日本	36	44.4	38.9	19.4	13.9	33.3	52.8	11.1	5.6	2.8	0.0
	UQコミュニケーションズ	11	63.6	36.4	54.5	18.2	45.5	27.3	54.5	0.0	0.0	0.0
	ソニービズネットワークス	9	33.3	22.2	33.3	11.1	0.0	22.2	0.0	44.4	0.0	0.0
	オプテージ	8	37.5	25.0	12.5	25.0	37.5	12.5	12.5	0.0	50.0	0.0
	アルテリア・ネットワークス（IIJ）	6	50.0	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0

4G LTE SLセット

順位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTTドコモ	ソフトバンク	KDDI	NTT東日本	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	インターネットイニシアティブ（IIJ）	UQコミュニケーションズ	ソニービズネットワークス	
調達先 相談相手	NTTドコモ	41	61.0	17.1	22.0	19.5	19.5	14.6	4.9	4.9	0.0	
	ソフトバンク	40	20.0	57.5	12.5	12.5	17.5	15.0	0.0	2.5	5.0	
	KDDI	39	23.1	15.4	61.5	17.9	20.5	12.8	0.0	2.6	0.0	
	NTT東日本	30	33.3	10.0	30.0	56.7	20.0	16.7	3.3	3.3	0.0	
	NTT西日本	26	38.5	23.1	34.6	23.1	65.4	11.5	0.0	0.0	0.0	
	NTTコミュニケーションズ	22	31.8	18.2	18.2	27.3	13.6	59.1	0.0	4.5	0.0	
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	6	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	
	UQコミュニケーションズ	5	60.0	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	
	ソニービズネットワークス	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	

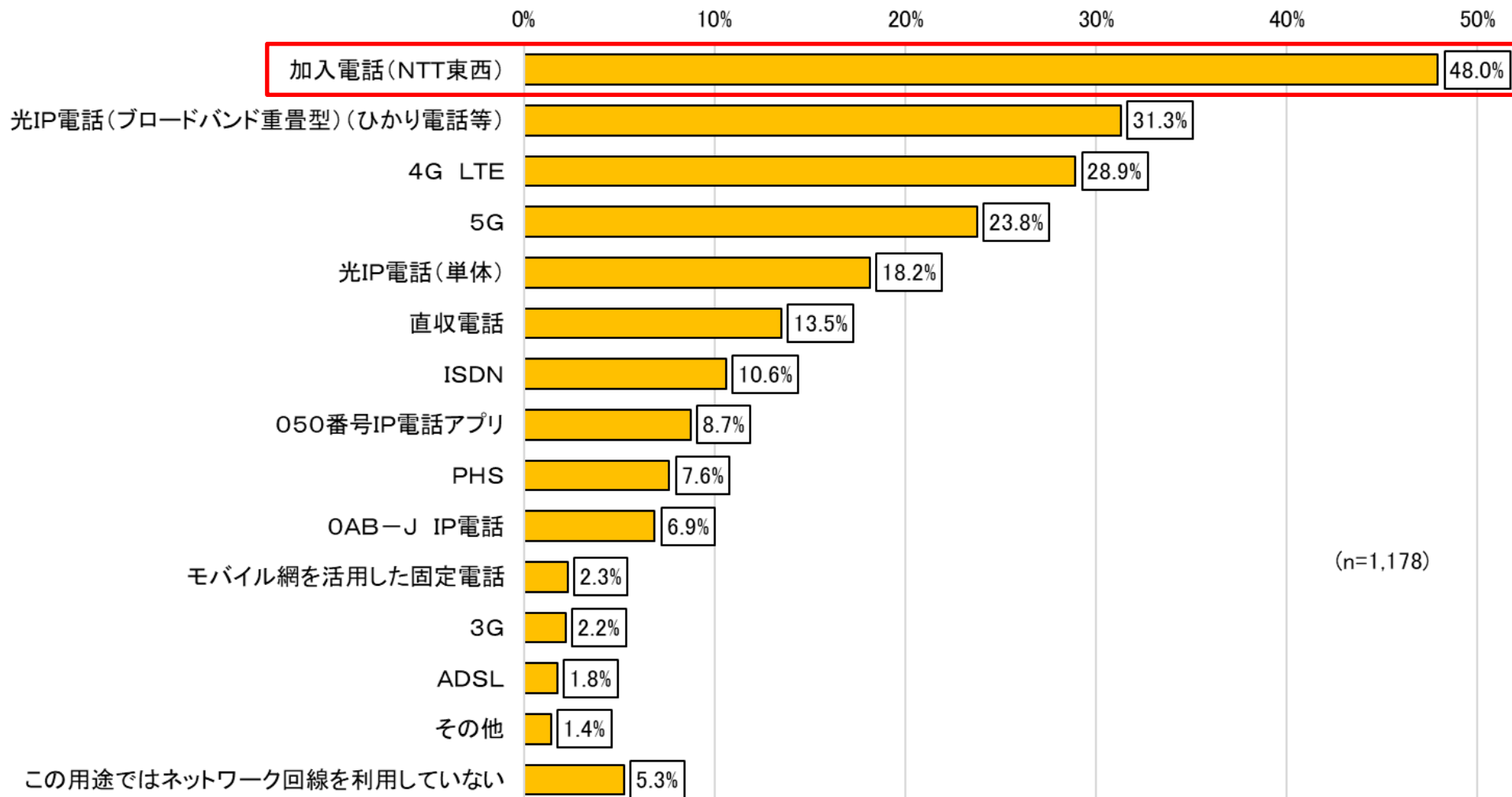
5G SLセット

順位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTTドコモ	KDDI	ソフトバンク	NTT東日本	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	ソニービズネットワークス	UQコミュニケーションズ	楽天モバイル	NTTデータ
調達先 相談相手	NTTドコモ	33	69.7	21.2	15.2	21.2	12.1	15.2	0.0	0.0	6.1	3.0
	KDDI	32	25.0	56.3	18.8	12.5	15.6	9.4	0.0	0.0	3.1	3.1
	ソフトバンク	28	25.0	17.9	57.1	10.7	17.9	17.9	3.6	0.0	3.6	7.1
	NTT東日本	22	40.9	31.8	13.6	59.1	22.7	18.2	4.5	0.0	4.5	0.0
	NTT西日本	20	30.0	35.0	20.0	25.0	65.0	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	16	37.5	12.5	18.8	25.0	12.5	68.8	0.0	0.0	6.3	0.0
	ソニービズネットワークス	5	20.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	4	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
	UQコミュニケーションズ	3	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0
	楽天モバイル	3	66.7	33.3	100.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3

⑥ 法人向けサービス市場 (音声通話用途)

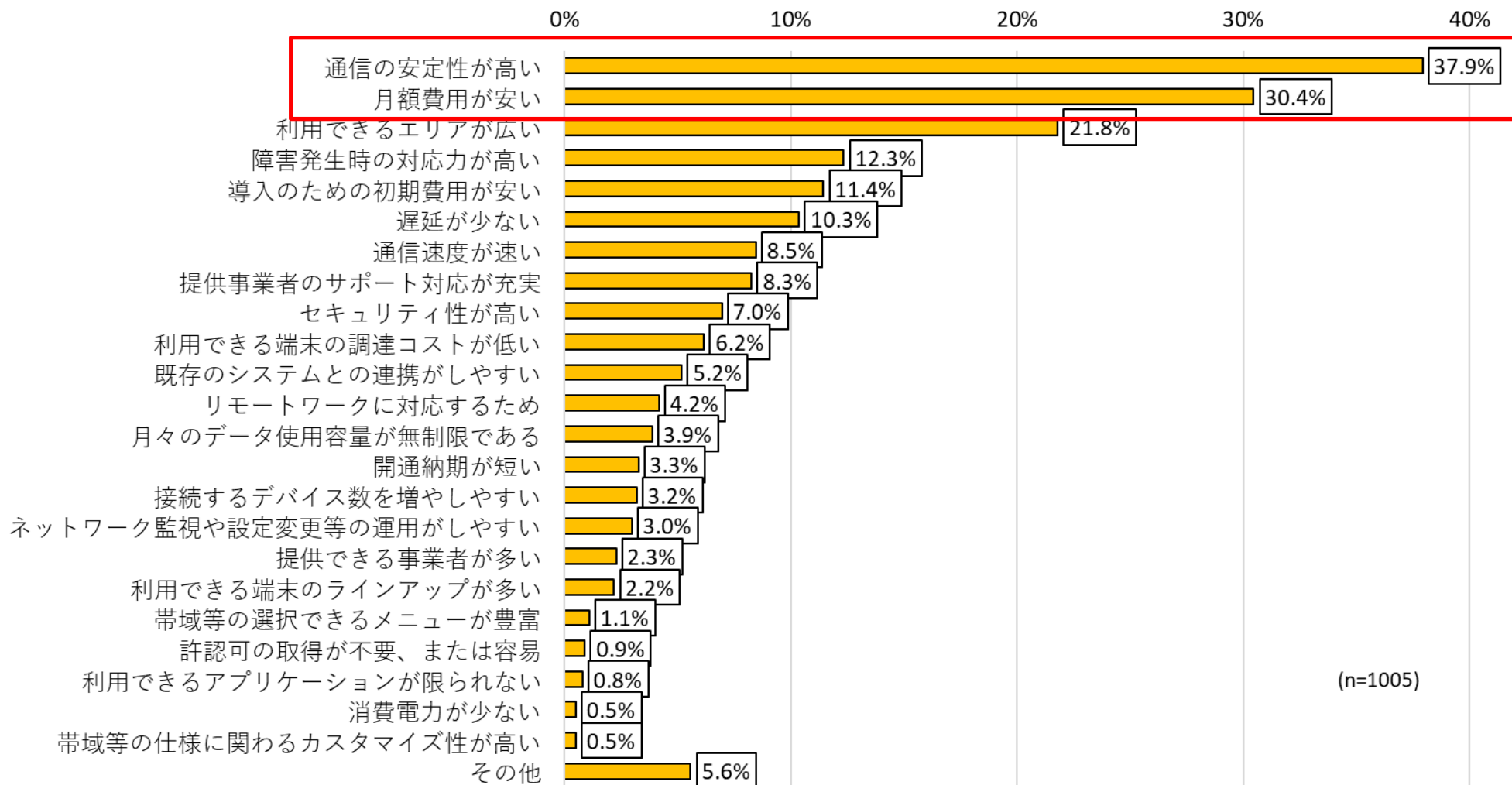
- 音声通話利用には48.0%が「加入電話（NTT東西）」を利用している。

（複数回答、「わからない」回答を除く）



- 音声通話利用のネットワーク回線選定では、「通信の安定性」が37.9%と最も重視される。
- 次いで「月額費用が安い」が30%を超える。

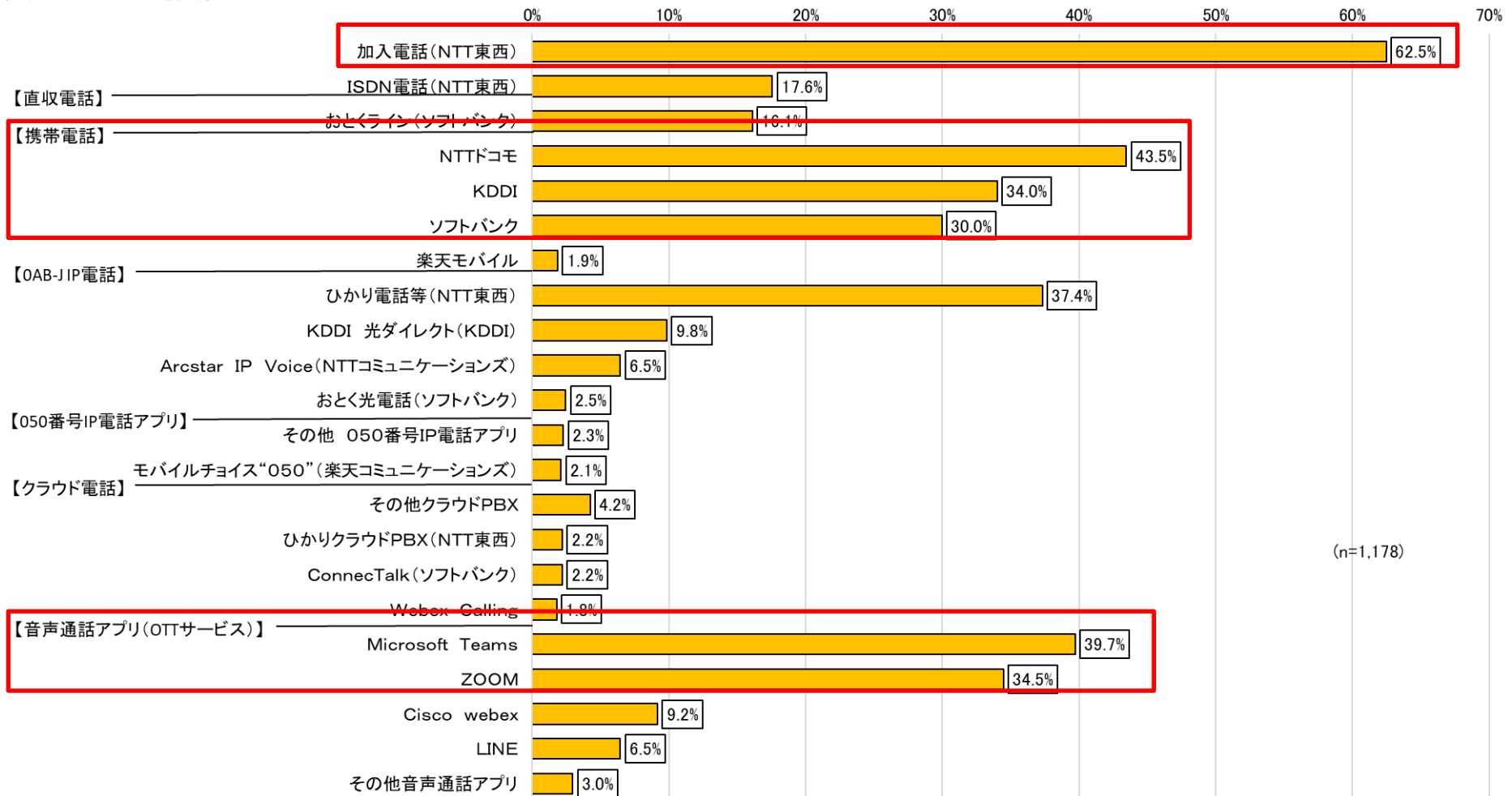
(複数回答、「わからない」回答を除く)



- 利用している音声サービスは「加入電話(NTT東西)」が62.5%と最も多い。
- 携帯電話では「NTTドコモ」が43.5%、「KDDI」が34.0%、「ソフトバンク」が30.0%となった。
- 音声通話アプリ(OTTサービス)は「Microsoft Teams」が39.7%、「ZOOM」が34.5%で2強と言える。

(複数回答、「わからない」回答を除く)

※最重視項目はn=20以上を抜粋



- 固定電話、携帯電話、0AB-J IP電話では、「回線の安定性」と「価格の安さ」が重視されている。
- 音声通話アプリ(OTTサービス)では「複数人での通話」や「社外からの通話」もそれに次いで重視される。

(複数回答、「わからない」回答を除く)

順位	1位	2位	3位	(n=30以上の場合)	該当数	無料である（初期導入費）	より安価である（初期導入費）	（月額基本料＋通話料）	より安価である（月額基本料＋通話料）	（長時間通話したい）	時間制限がない（長時間通話したい）	複数人で通話できる	社外からも通話できる	通話以外の機能も充実している（画面共有など）	アカウント登録などが必要ない	（混雑しない）（同時発着ができる）	音声にノイズが入らない	高音域もクリアに聞こえる	本人の声そのままに近い音声で通話ができる	回線が安定している	アプリが重くない（パソコンやスマートフォンへの負荷が少ない）	顔を見て話したい	局給電の機能がある	FAXが利用できる	代表組・直収電話独自の機能を利用できる	以前から使っていた電話番号を継続利用できる	オンプレミスの固定電話機やPBX等の装置が不要	その他
						736	17.5	38.5	10.6	53.1	17.5	27.3	34.9	24.2	9.0	12.2	21.6	13.9	9.2	62.8	10.9	17.1	5.3	26.5	23.1	39.3	12.9	14.3
						207	17.4	43.5	10.1	57.0	15.5	30.4	33.3	21.7	8.2	12.6	20.8	15.5	10.6	65.2	9.7	16.4	8.2	34.3	25.6	45.9	10.6	21.3
直収電話						190	22.6	48.9	14.2	63.2	17.4	25.8	32.6	18.9	7.4	11.1	18.4	13.2	6.3	51.6	8.4	16.8	3.2	23.2	19.5	36.8	14.2	17.9
携帯電話						512	18.4	36.3	12.3	52.0	18.4	30.3	38.9	28.1	9.4	13.5	23.6	15.8	10.9	62.1	12.3	17.2	4.7	22.1	18.0	36.7	17.0	16.2
						401	16.0	39.7	10.0	52.1	15.0	26.9	32.2	22.2	8.5	8.2	18.0	11.2	8.7	60.8	8.5	14.0	4.2	22.2	18.2	37.4	13.2	17.5
						353	20.4	45.6	9.9	62.6	18.7	28.0	36.3	25.8	8.5	11.9	20.7	12.5	9.3	55.8	9.9	17.3	5.1	21.0	17.6	34.6	14.7	18.1
						22	31.8	31.8	22.7	63.6	31.8	36.4	50.0	31.8	13.6	22.7	31.8	27.3	18.2	63.6	18.2	22.7	9.1	22.7	27.3	45.5	18.2	18.2
						12	41.7	66.7	33.3	91.7	33.3	50.0	33.3	41.7	16.7	25.0	16.7	8.3	8.3	58.3	16.7	41.7	8.3	25.0	33.3	66.7	16.7	41.7
0AB-J IP電話						440	17.5	41.6	11.6	57.0	20.5	29.1	33.9	26.6	9.8	14.5	24.1	17.5	12.3	66.1	13.0	17.3	6.4	27.3	19.8	41.6	14.5	15.9
						76	15.8	38.2	14.5	73.7	30.3	42.1	47.4	36.8	15.8	18.4	28.9	18.4	19.7	63.2	15.8	25.0	6.6	32.9	17.1	53.9	28.9	21.1
						7	14.3	42.9	42.9	71.4	28.6	28.6	28.6	28.6	28.6	42.9	42.9	28.6	28.6	71.4	28.6	28.6	14.3	28.6	14.3	71.4	57.1	14.3
						1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
						5	0.0	60.0	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	20.0
						116	12.9	48.3	8.6	56.0	19.0	26.7	36.2	25.9	6.0	12.1	25.0	17.2	13.8	65.5	9.5	11.2	7.8	23.3	14.7	37.1	25.0	15.5
						29	20.7	44.8	13.8	62.1	17.2	31.0	34.5	17.2	3.4	17.2	17.2	13.8	10.3	44.8	10.3	10.3	3.4	20.7	27.6	31.0	17.2	34.5
						2	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	0.0
						18	16.7	33.3	16.7	83.3	27.8	38.9	33.3	33.3	5.6	16.7	11.1	5.6	5.6	61.1	16.7	16.7	5.6	27.8	5.6	27.8	27.8	44.4
						12	8.3	33.3	8.3	41.7	8.3	8.3	25.0	16.7	0.0	8.3	8.3	16.7	16.7	33.3	8.3	16.7	8.3	16.7	25.0	33.3	16.7	33.3
050番号IP電話アプリ						17	29.4	47.1	11.8	47.1	35.3	35.3	47.1	29.4	17.6	29.4	47.1	29.4	23.5	70.6	17.6	17.6	11.8	35.3	29.4	41.2	23.5	23.5
						25	28.0	44.0	12.0	60.0	16.0	28.0	36.0	32.0	4.0	4.0	8.0	12.0	12.0	60.0	16.0	20.0	12.0	20.0	24.0	28.0	16.0	8.0
						4	25.0	0.0	25.0	100.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0	75.0
						27	7.4	51.9	7.4	59.3	29.6	37.0	44.4	44.4	0.0	14.8	11.1	3.7	0.0	29.6	18.5	11.1	0.0	22.2	25.9	51.9	40.7	37.0
クラウド電話						26	19.2	30.8	11.5	46.2	23.1	50.0	46.2	42.3	15.4	15.4	23.1	23.1	19.2	61.5	15.4	38.5	7.7	23.1	19.2	46.2	38.5	15.4
						7	57.1	42.9	28.6	71.4	42.9	42.9	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	28.6	14.3	57.1	42.9	42.9	14.3	28.6	28.6	28.6	28.6	14.3
						9	0.0	44.4	33.3	77.8	22.2	33.3	44.4	55.6	11.1	0.0	44.4	22.2	22.2	66.7	22.2	22.2	0.0	11.1	0.0	44.4	33.3	11.1
						4	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	25.0
						26	11.5	50.0	0.0	76.9	15.4	19.2	46.2	19.2	7.7	7.7	11.5	15.4	7.7	46.2	7.7	11.5	7.7	19.2	26.9	34.6	46.2	30.8
						19	5.3	42.1	15.8	73.7	26.3	42.1	68.4	47.4	5.3	15.8	21.1	15.8	15.8	63.2	26.3	26.3	10.5	15.8	10.5	36.8	42.1	15.8
						5	0.0	20.0	0.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	60.0	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0
						13	23.1	46.2	30.8	69.2	38.5	30.8	61.5	15.4	7.7	30.8	30.8	53.8	23.1	69.2	23.1	15.4	7.7	53.8	30.8	46.2	38.5	15.4
						21	19.0	71.4	14.3	42.9	28.6	23.8	57.1	23.8	19.0	23.8	33.3	33.3	28.6	71.4	14.3	28.6	9.5	23.8	33.3	52.4	76.2	14.3
						50	14.0	56.0	14.0	74.0	28.0	40.0	48.0	46.0	6.0	28.0	36.0	24.0	20.0	62.0	22.0	24.0	6.0	32.0	12.0	56.0	58.0	16.0
音声通話アプリ(OTTサービス)						27	63.0	48.1	14.8	59.3	25.9	37.0	44.4	29.6	14.8	14.8	25.9	22.2	14.8	51.9	7.4	14.8	11.1	29.6	29.6	37.0	7.4	14.8
						108	26.9	45.4	16.7	57.4	33.3	46.3	51.9	48.1	17.6	17.6	26.9	17.6	15.7	62.0	17.6	28.7	6.5	24.1	20.4	42.6	23.1	14.8
						406	28.3	41.4	13.8	56.4	26.6	48.0	46.8	36.9	12.6	14.5	22.7	15.5	12.3	61.6	16.7	28.8	4.7	26.1	21.2	37.4	14.8	18.2
						468	21.8	37.2	13.2	52.8	23.1	47.0	45.9	40.2	9.8	12.6	22.9	14.5	10.9	61.5	12.0	24.4	4.9	20.7	17.7	37.0	18.6	22.0
						24	45.8	37.5	33.3	62.5	37.5	58.3	50.0	41.7	16.7	33.3	33.3	25.0	16.7	66.7	29.2	25.0	8.3	41.7	25.0	37.5	16.7	16.7
						27	44.4	44.4	22.2	70.4	44.4	63.0	51.9	55.6	22.2	22.2	22.2	14.8	7.4	66.7	7.4	48.1	3.7	29.6	33.3	59.3	14.8	25.9
						76	43.4	35.5	26.3	48.7	25.0	46.1	51.3	35.5	17.1	13.2	19.7	15.8	14.5	68.4	18.4	31.6	6.6	36.8	25.0	34.2	15.8	17.1
						35	22.9	42.9	14.3	62.9	31.4	54.3	48.6	57.1	5.7	17.1	28.6	14.3	14.3	60.0	22.9	17.1	8.6	22.9	11.4	37.1	20.0	37.1
					7	14.3	42.9	14.3	42.9	28.6	14.3	42.9	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0	57.1	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	42.9	14.3	42.9	

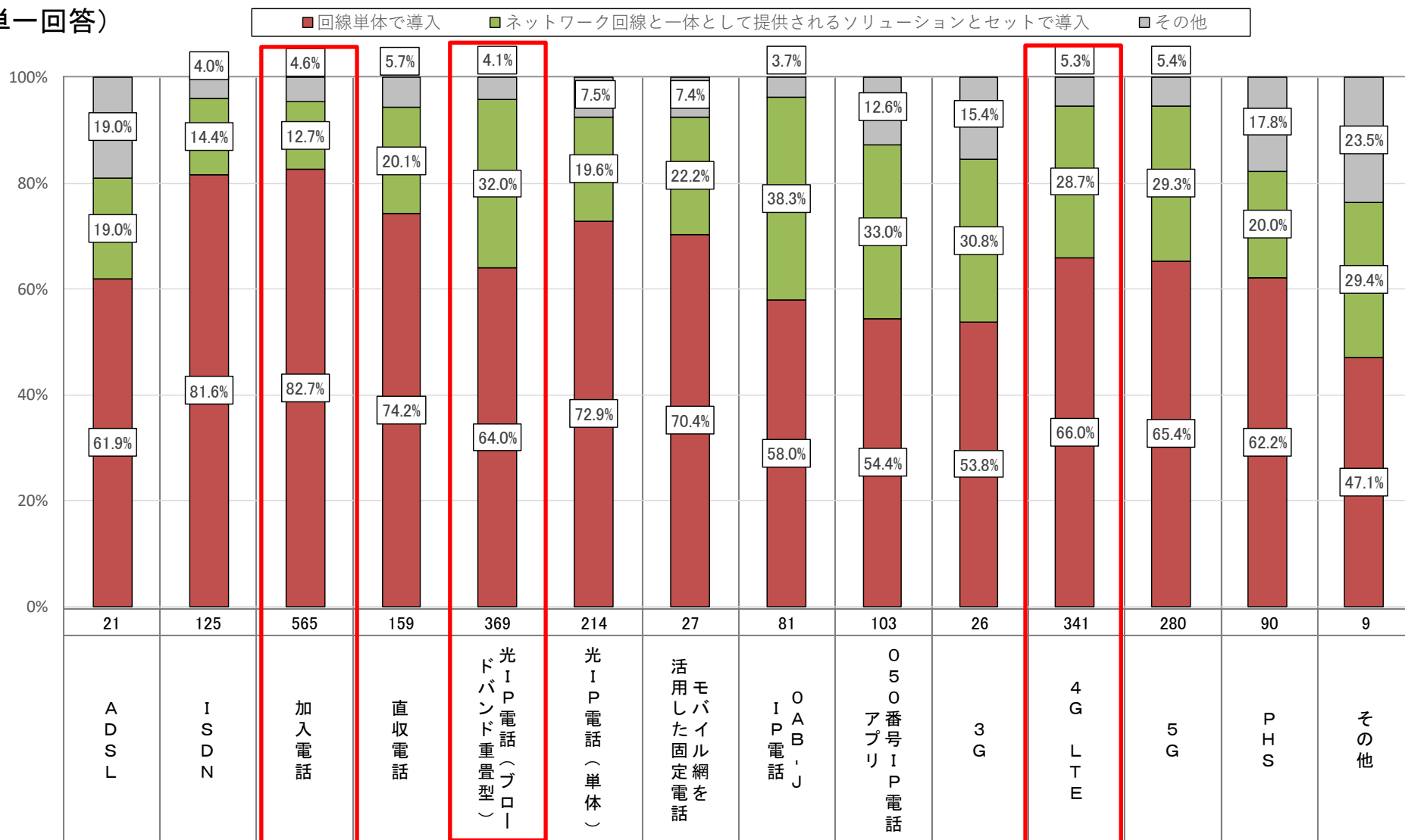
- 固定電話は用途を問わず利用される割合が高い。0AB-J IP電話は内線で利用される率が高い。
- 音声通話アプリは「複数人での会話」「資料投影が必要な会議形式の通話」の用途が6～7割と高く、自組織内外に関わらず利用されている。

(複数回答、n=30未満は省略)

順位		該当数	複数人での会話	資料投影が必要な会議形式の通話	長時間の通話 (1時間の通話10分超)	短時間の通話 (1時間の通話10分未満)	外出時の通話	内線・自組織メンバー間の通話	自組織外への通話 (取引先等)	使い分けはしていない
1位	4位									
2位	5位									
3位	(n=30以上の場合)									
	加入電話(NTT東西)	701	45.4	47.6	24.8	19.0	54.4	54.1	53.5	54.4
	ISDN電話(NTT東西)	206	45.6	43.2	23.8	16.5	46.1	50.5	43.7	64.1
直収電話	おとくライン(ソフトバンク)	184	51.6	47.8	27.2	15.8	50.5	56.0	48.9	58.2
携帯電話	NTTドコモ	507	47.5	51.3	25.2	19.9	58.4	56.4	56.2	48.5
	KDDI	393	42.7	45.3	23.4	19.1	51.7	55.5	53.2	56.0
	ソフトバンク	348	48.6	48.6	27.0	17.2	56.6	56.9	52.9	54.9
0AB-J IP電話	ひかり電話等(NTT東西)	423	45.4	47.3	24.8	20.6	51.5	54.1	52.5	54.6
	Arcstar IP Voice(NTTコミュニケーションズ)	75	52.0	64.0	28.0	20.0	53.3	70.7	61.3	52.0
	KDDI 光ダイレクト(KDDI)	114	38.6	38.6	24.6	19.3	46.5	61.4	54.4	52.6
クラウド電話	その他クラウドPBX	50	50.0	56.0	20.0	16.0	56.0	74.0	70.0	48.0
音声通話アプリ(OTTサービス)	Cisco webex	107	59.8	68.2	25.2	20.6	58.9	61.7	59.8	49.5
	ZOOM	406	66.5	72.4	32.5	21.9	59.1	64.0	66.3	49.5
	Microsoft Teams	466	70.0	76.0	32.8	23.4	64.6	69.7	70.2	40.8
	LINE	76	65.8	69.7	35.5	27.6	57.9	69.7	64.5	59.2
	その他音声通話アプリ	35	71.4	74.3	34.3	25.7	65.7	77.1	71.4	42.9

- 音声通話用途で利用の多い「加入電話」は、8割以上が「回線単体で導入」。続く「光IP電話(ブロードバンド重畳)」「4G LTE」は6～7割が「回線単体で導入」している。

(単一回答)



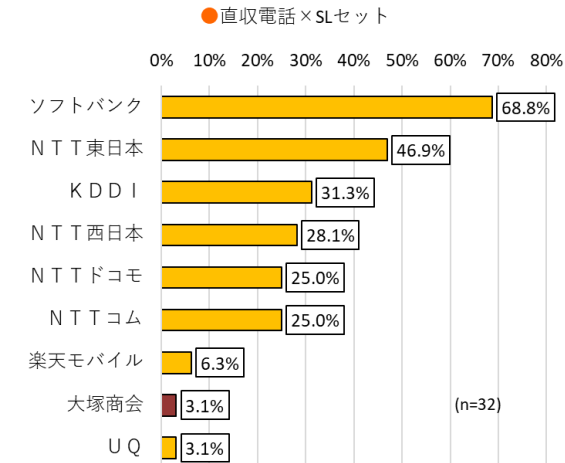
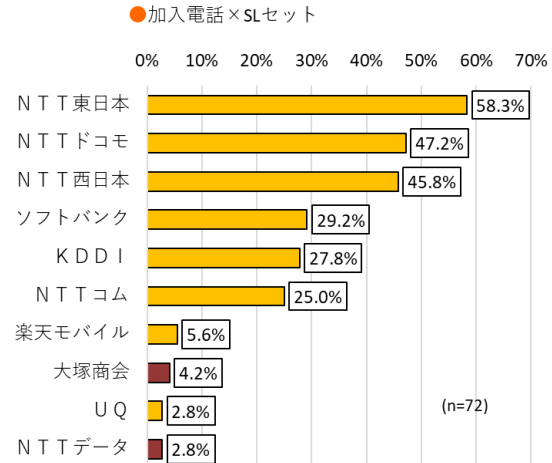
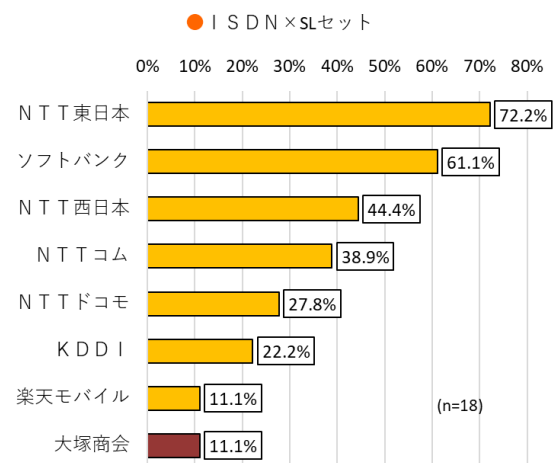
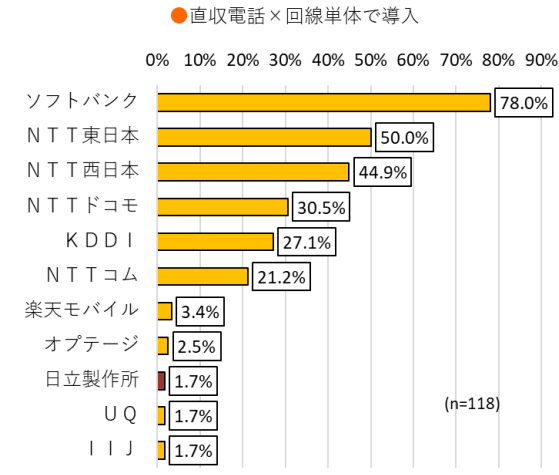
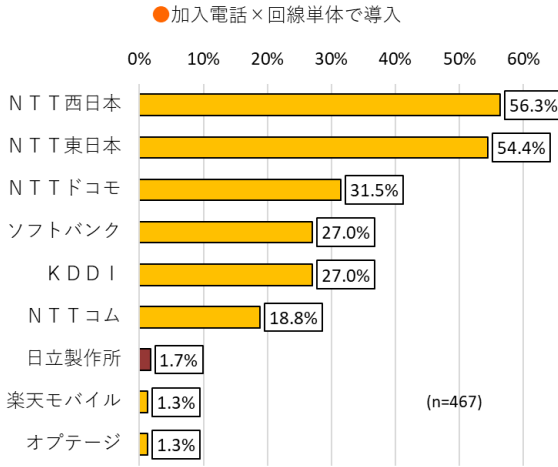
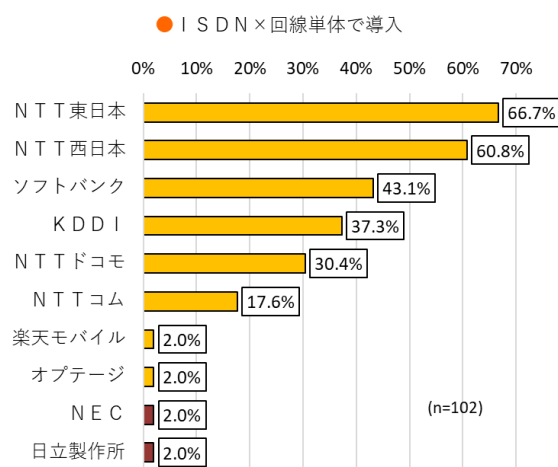
- 音声通話利用用途のネットワーク回線の調達先候補は、「国内の電気通信事業者」が最も多く、次いで「親会社・グループ関連会社」「国内SIer」と続く。

(複数回答)

	該当数	国内の電気通信事業者	海外の電気通信事業者	国内コンサルティングファーム	外資コンサルティングファーム	国内SIer	外資SIer	PaaS/IaaS事業者	データセンター事業者	親会社・グループ関連会社	その他
順位											
1位											
2位											
3位											
4位											
5位											
(n=30以上の場合)											
ADSL	21	90.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	0.0
ISDN	125	91.2	0.0	1.6	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.8
加入電話	565	92.7	0.5	0.4	0.0	4.6	0.0	0.0	0.7	5.5	1.8
直収電話	159	94.3	0.6	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.6	3.8	3.8
光IP電話(ブロードバンド重量型)	369	92.1	0.3	0.5	0.3	3.8	0.0	0.5	0.5	5.4	2.2
光IP電話(単体)	214	91.6	0.9	0.5	0.0	6.1	0.0	0.0	0.9	5.1	2.3
モバイル網を活用した固定電話	27	88.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	7.4
OAB-J IP電話	81	90.1	0.0	1.2	0.0	6.2	1.2	0.0	0.0	6.2	2.5
050番号IP電話アプリ	103	84.5	1.0	1.0	0.0	9.7	1.0	1.0	1.0	11.7	3.9
3G	26	96.2	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0
4G LTE	341	91.5	0.6	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.3	7.0	1.2
5G	280	91.4	0.4	0.4	0.0	4.3	0.0	0.0	0.4	6.4	0.4
PHS	90	71.1	0.0	0.0	0.0	17.8	0.0	1.1	0.0	11.1	7.8
その他	17	47.1	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	0.0	23.5	23.5

- 音声通話利用用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においても上位に国内の電気通信事業者が挙げられた。

(複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値)

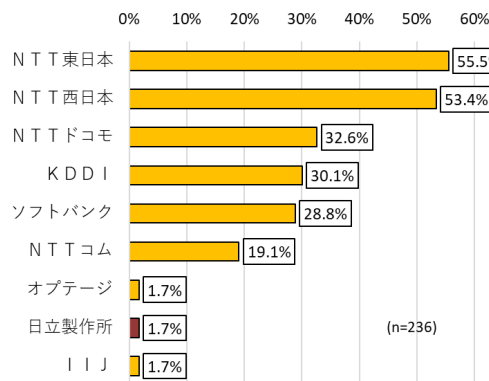


※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲で掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

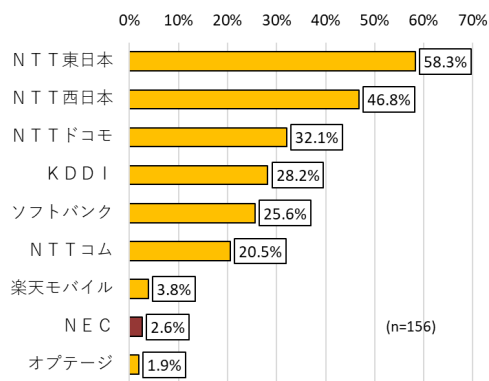
- 音声通話利用用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においても上位に国内の電気通信事業者が挙げられた。

(複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値)

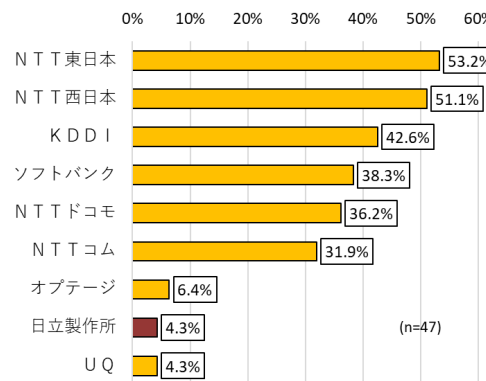
● 光IP電話(ブロードバンド重畳型)×回線単体で導入



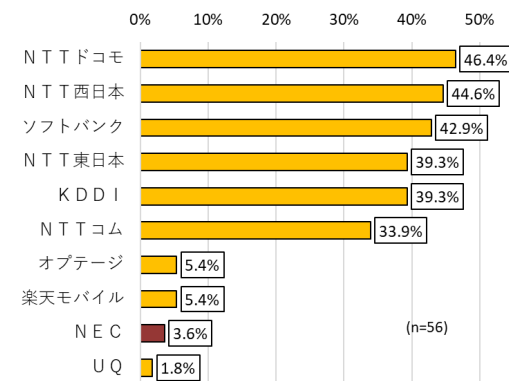
● 光IP電話(単体)×回線単体で導入



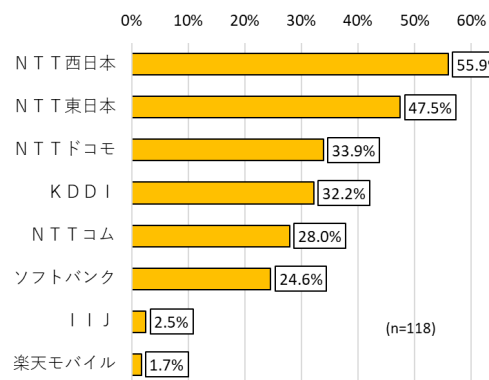
● 0AB-J IP電話×回線単体で導入



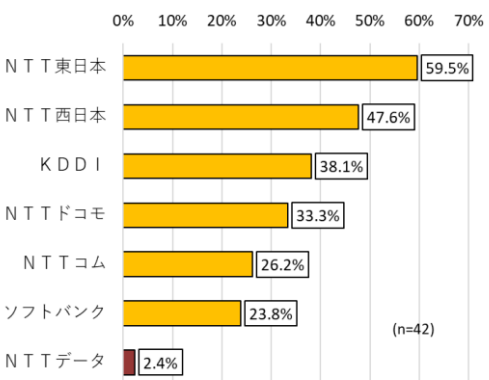
● 050番号IP電話アプリ×回線単体で導入



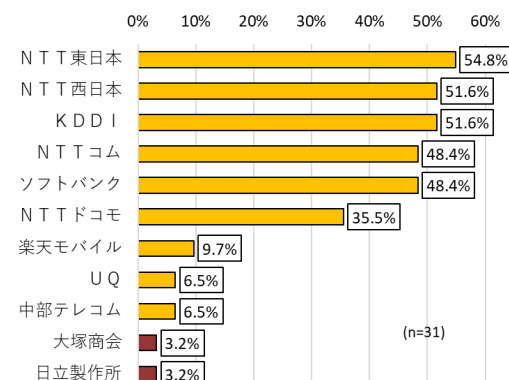
● 光IP電話(ブロードバンド重畳型)×SLセット



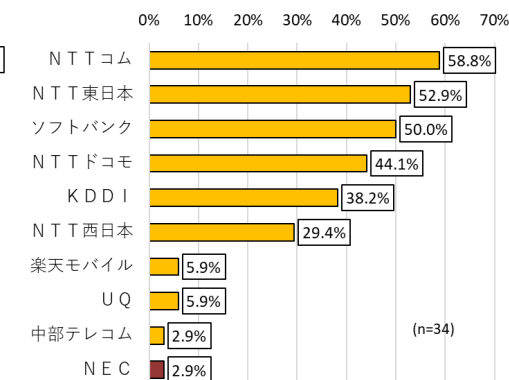
● 光IP電話(単体)×SLセット



● 0AB-J IP電話×SLセット



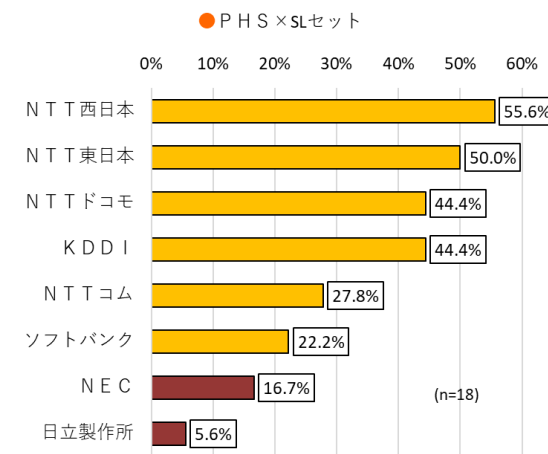
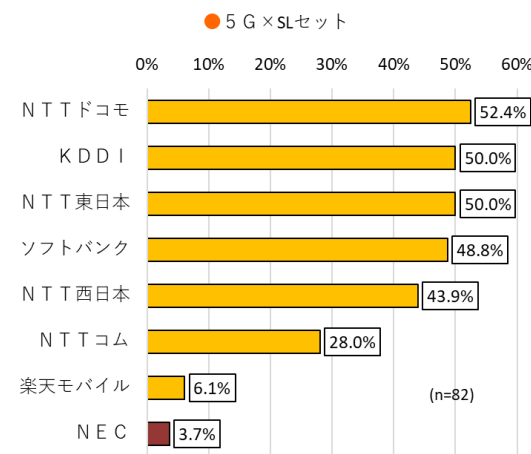
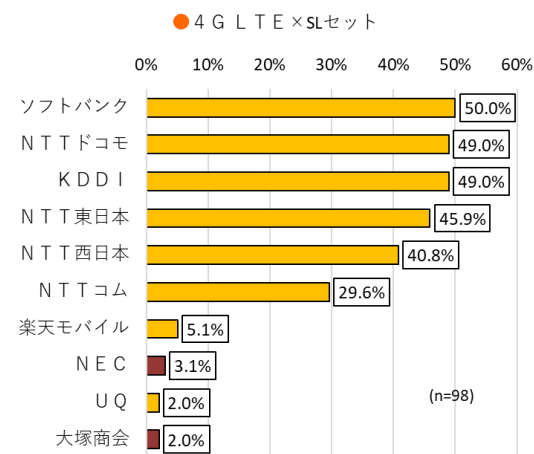
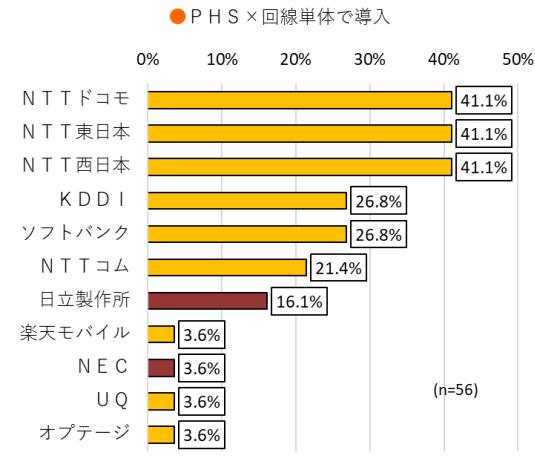
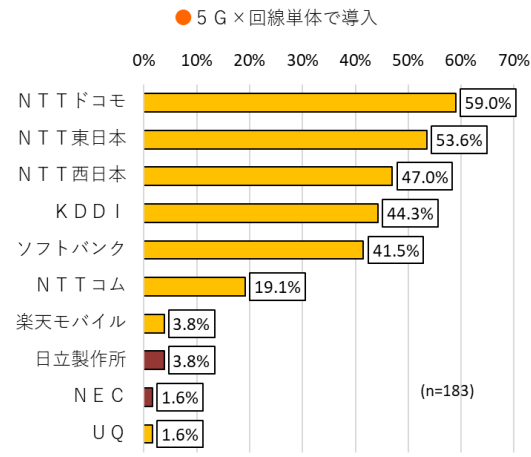
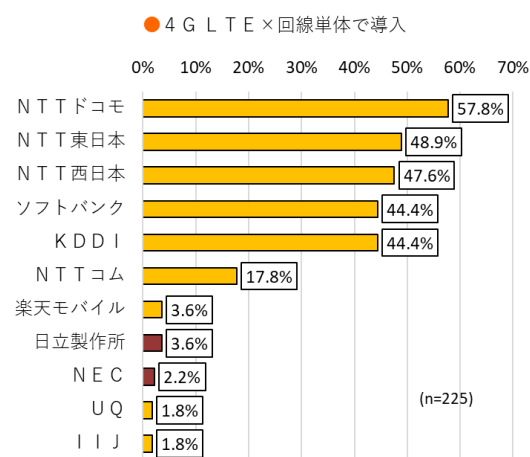
● 050番号IP電話アプリ×SLセット



※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲で掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

- 音声通話利用用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においても上位に国内の電気通信事業者が挙げられた。

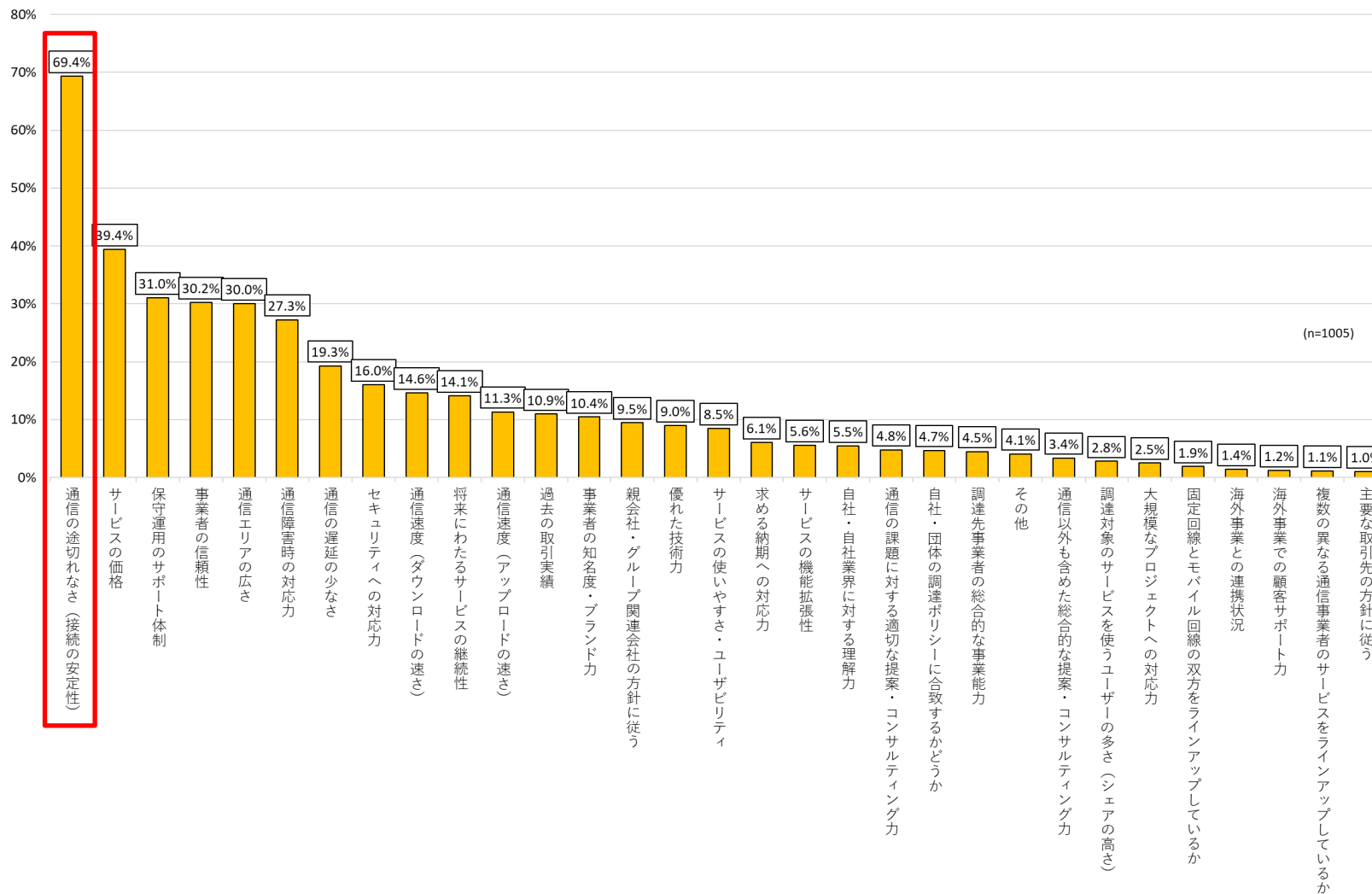
（複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）



※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲で掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

- 音声通話利用において、調達先候補を選定する際の重視点は「通話の途切れなさ(接続の安定性)」が7割弱となった。

(複数回答)



- 音声通話利用用途のネットワーク回線の調達について、以下のいずれの回線においても、調達に関して相談した企業から実際の調達先が選ばれる割合が最も高い結果となっており、調達に関する相談相手に選ばれることが重要であることがうかがえる。

（複数回答、n=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）

■ ISDN 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該 当 数	実際の調達先								
			NTT 東 日 本	NTT 西 日 本	ソフ ト バ ン ク	KDD I	NTT ド コ モ	NTT コ ミ ュ ニ ケー ション ズ	楽 天 モ バ イ ル	NEC	日 立 製 作 所
調 達 先 相 談 相 手	NTT東日本	63	58.7	38.1	34.9	22.2	14.3	9.5	0.0	0.0	1.6
	NTT西日本	58	39.7	62.1	27.6	19.0	15.5	12.1	0.0	0.0	1.7
	ソフトバンク	41	46.3	46.3	56.1	12.2	12.2	9.8	2.4	0.0	2.4
	KDDI	32	34.4	34.4	18.8	53.1	18.8	9.4	0.0	0.0	0.0
	NTTドコモ	27	37.0	40.7	25.9	25.9	48.1	25.9	0.0	0.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	14	42.9	35.7	28.6	28.6	50.0	64.3	0.0	0.0	0.0
	楽天モバイル	2	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
	NEC	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	日立製作所	2	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

■ ISDN SLセット

順位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先							
			NTT東日本	ソフトバンク	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	KDDI	NTTドコモ	大塚商会	楽天モバイル
調達先 相談相手	NTT東日本	10	50.0	30.0	40.0	30.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	ソフトバンク	9	22.2	33.3	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	0.0
	NTT西日本	7	42.9	14.3	57.1	42.9	28.6	28.6	0.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	6	33.3	16.7	50.0	66.7	16.7	33.3	0.0	0.0
	KDDI	4	50.0	25.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	NTTドコモ	2	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0
	大塚商会	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	楽天モバイル	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 加入電話 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			NTT西日本	NTT東日本	NTTドコモ	ソフトバンク	KDDI	NTTコミュニケーションズ	日立製作所	楽天モバイル	NEC	富士通
調達先 相談相手	NTT西日本	245	53.1	27.8	14.7	13.5	13.5	9.8	0.4	0.4	0.0	0.0
	NTT東日本	230	30.9	51.3	17.4	16.1	13.9	6.5	0.4	0.4	0.0	0.4
	NTTドコモ	131	26.7	23.7	51.9	17.6	14.5	15.3	0.0	0.8	0.0	0.0
	ソフトバンク	112	33.0	30.4	17.9	50.9	10.7	8.0	0.9	1.8	0.0	0.0
	KDDI	106	30.2	25.5	20.8	17.0	50.0	11.3	0.0	0.9	0.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	75	34.7	25.3	26.7	12.0	17.3	52.0	0.0	1.3	0.0	0.0
	日立製作所	7	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
	楽天モバイル	5	20.0	40.0	40.0	60.0	20.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	NEC	5	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	富士通	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0

■ 加入電話 SLセット

順位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先							
			NTT東日本	NTT西日本	NTTドコモ	ソフトバンク	NTTコミュニケーションズ	KDDI	大塚商会	NTTデータ
調達先 相談相手	NTT東日本	37	54.1	21.6	43.2	16.2	18.9	13.5	2.7	0.0
	NTT西日本	31	22.6	54.8	29.0	12.9	22.6	9.7	0.0	0.0
	NTTドコモ	30	36.7	20.0	66.7	20.0	23.3	16.7	3.3	0.0
	ソフトバンク	20	20.0	20.0	50.0	55.0	20.0	10.0	5.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	17	41.2	41.2	58.8	23.5	58.8	23.5	0.0	0.0
	KDDI	16	37.5	25.0	62.5	18.8	25.0	31.3	6.3	0.0
	大塚商会	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0
	NTTデータ	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

- 音声通話利用用途のネットワーク回線の調達について、以下のいずれの回線においても、調達に関して相談した企業から実際の調達先が選ばれる割合が最も高い結果となっており、調達に関する相談相手に選ばれることが重要であることがうかがえる。

（複数回答、n=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値）

■ 直収電話 回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先									
			ソフトバンク	NTT東日本	NTT西日本	NTTドコモ	KDDI	NTTコミュニケーションズ	楽天モバイル	UQコミュニケーションズ	オプテージ	日立製作所
調達先 相談相手	ソフトバンク	88	45.5	23.9	20.5	10.2	3.4	5.7	2.3	1.1	0.0	0.0
	NTT東日本	51	41.2	52.9	39.2	9.8	9.8	7.8	2.0	3.9	0.0	0.0
	NTT西日本	47	34.0	38.3	53.2	8.5	8.5	10.6	2.1	2.1	0.0	0.0
	NTTドコモ	32	37.5	25.0	18.8	37.5	6.3	15.6	3.1	3.1	0.0	0.0
	KDDI	27	29.6	25.9	18.5	14.8	33.3	14.8	3.7	3.7	0.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	20	30.0	25.0	15.0	20.0	20.0	45.0	5.0	5.0	0.0	0.0
	楽天モバイル	3	100.0	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0
	UQコミュニケーションズ	2	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	オプテージ	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	日立製作所	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■ 光IP電話（ブロードバンド重畳型）回線単体

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先							
			NTT東日本	NTT西日本	NTTドコモ	ソフトバンク	KDDI	NTTコミュニケーションズ	日立製作所	オプテージ
調達先 相談相手	NTT東日本	118	55.1	29.7	19.5	20.3	13.6	8.5	0.8	0.0
	NTT西日本	114	31.6	57.0	16.7	18.4	13.2	11.4	0.0	0.0
	NTTドコモ	69	23.2	24.6	52.2	17.4	17.4	14.5	1.4	1.4
	ソフトバンク	57	31.6	31.6	21.1	59.6	14.0	10.5	1.8	0.0
	KDDI	55	27.3	21.8	18.2	14.5	56.4	5.5	1.8	0.0
	NTTコミュニケーションズ	37	21.6	24.3	27.0	16.2	8.1	48.6	0.0	2.7
	日立製作所	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	オプテージ	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3

■ 直収電話 SLセット

順位 1位 2位 3位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先								
			ソフトバンク	NTT東日本	KDDI	NTT西日本	NTTコミュニケーションズ	NTTドコモ	UQコミュニケーションズ	楽天モバイル	大塚商会
調達先 相談相手	ソフトバンク	22	54.5	4.5	0.0	9.1	9.1	18.2	0.0	4.5	4.5
	NTT東日本	15	33.3	13.3	6.7	13.3	6.7	26.7	0.0	0.0	0.0
	KDDI	10	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	30.0	0.0	0.0	0.0
	NTT西日本	9	33.3	11.1	11.1	33.3	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0
	NTTコミュニケーションズ	8	25.0	12.5	12.5	25.0	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0
	NTTドコモ	7	42.9	28.6	14.3	14.3	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0
	UQコミュニケーションズ	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	楽天モバイル	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	大塚商会	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

■ 光IP電話（ブロードバンド重畳型）SLセット

順位 (n=30以上の場合)		該当数	実際の調達先						
			NTT西日本	NTT東日本	KDDI	NTTドコモ	NTTコミュニケーションズ	ソフトバンク	インターネットイニシアティブ（IIJ）
調達先 相談相手	NTT西日本	59	55.9	25.4	11.9	30.5	8.5	15.3	1.7
	NTT東日本	52	32.7	51.9	11.5	17.3	3.8	5.8	1.9
	KDDI	35	22.9	22.9	51.4	17.1	8.6	5.7	0.0
	NTTドコモ	34	32.4	23.5	14.7	73.5	14.7	14.7	0.0
	NTTコミュニケーションズ	28	14.3	10.7	10.7	21.4	53.6	3.6	0.0
	ソフトバンク	25	44.0	16.0	12.0	24.0	12.0	48.0	0.0
	インターネットイニシアティブ（IIJ）	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

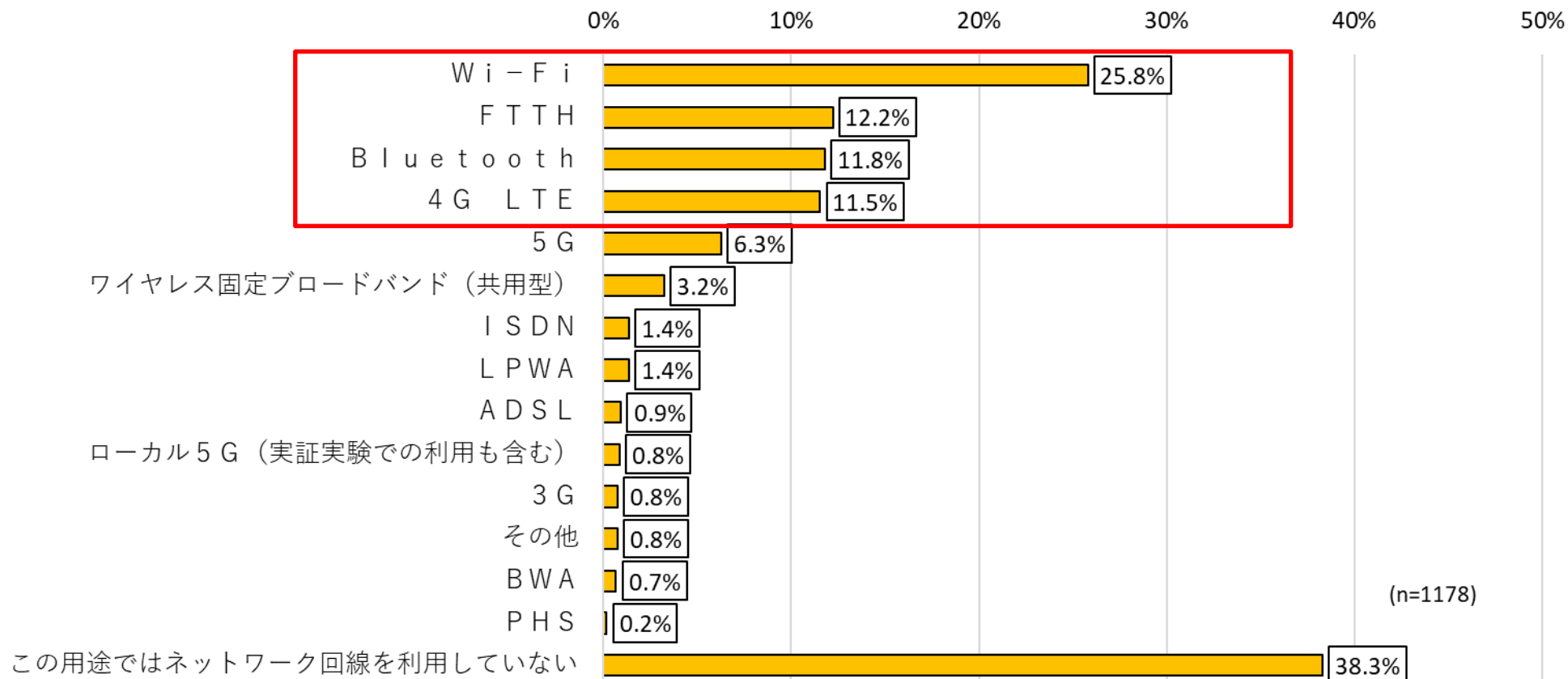
- [illegible]

- [illegible]

⑥ 法人向けサービス市場 (IoT機器接続用途)

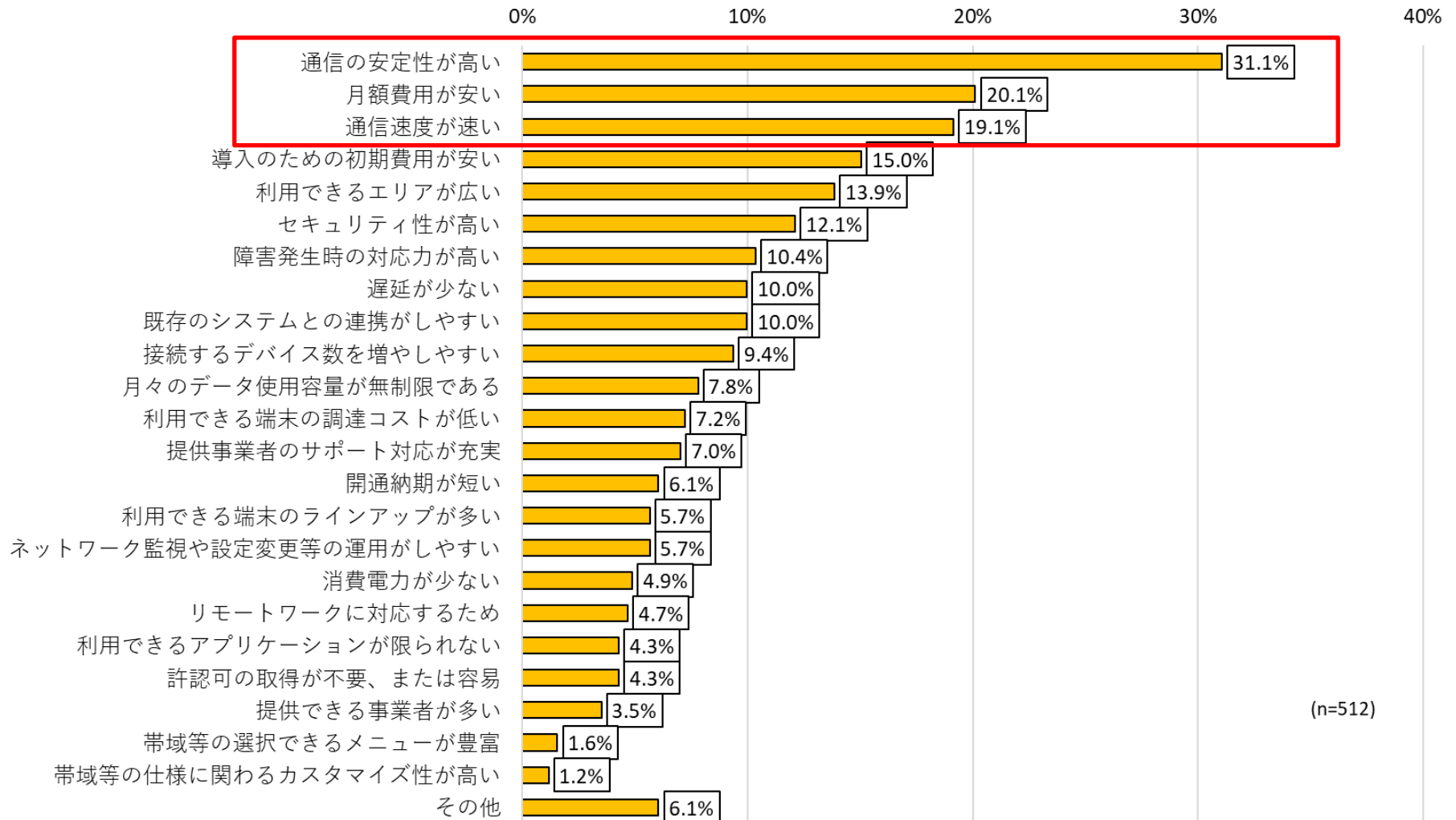
- IoT機器接続には25.8%が「Wi-Fi」を利用している。「FTTH」「Bluetooth」「4G LTE」が12%前後でそれに続く。

（複数回答、「わからない」回答を除く）



- IoT機器接続のネットワーク回線選定では、「通信の安定性」が31.1%と最も重視される。
- 次いで「月額費用が安い」「通信速度が速い」が20%前後となっている。

(複数回答、「わからない」回答を除く)



- IoT機器接続用途で利用の多い「Wi-Fi」「4G LTE」「Bluetooth」は5～6割前後が「回線単体」で導入されている。

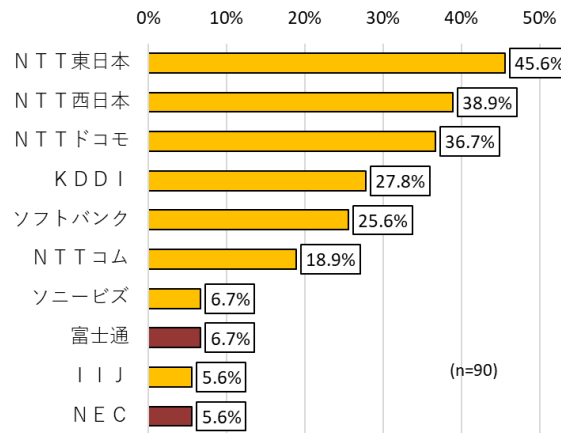
(単一回答)



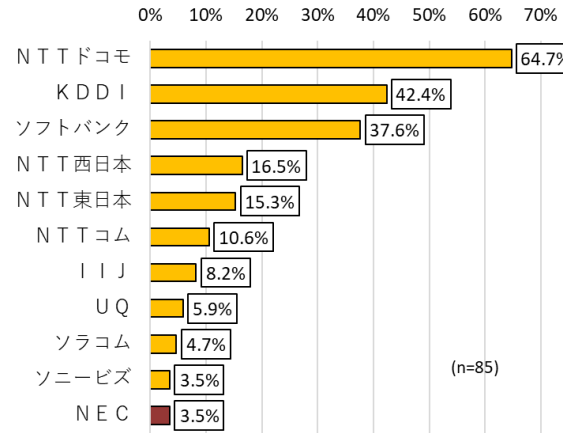
- IoT機器接続用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においても上位に国内電気通信事業者が挙げられた。SIerではNECや富士通などが事業者として挙げられている。

(複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値)

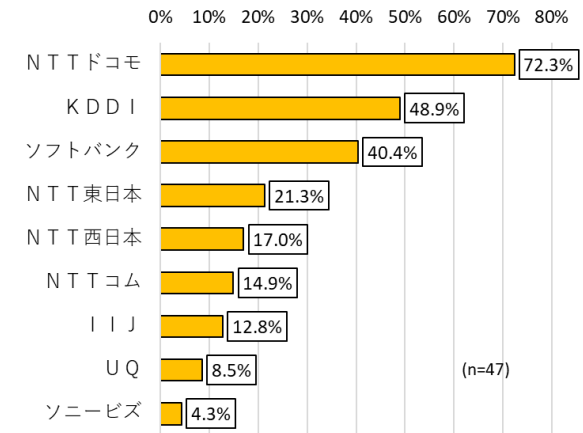
● F T T H × 回線単体で導入



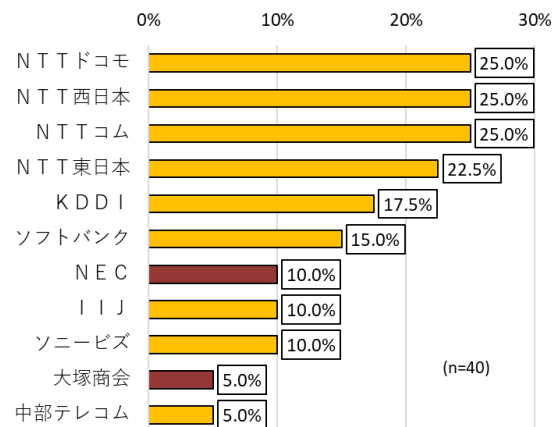
● 4 G L T E × 回線単体で導入



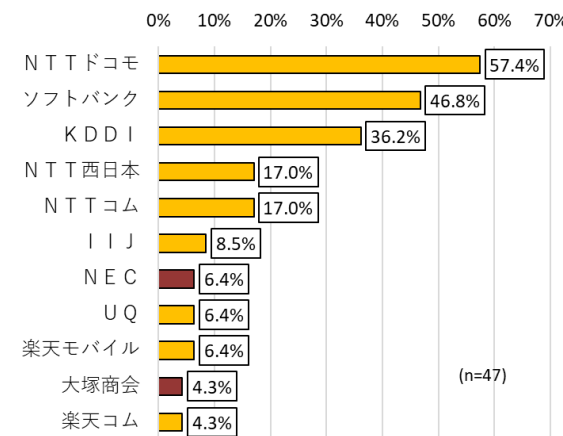
● 5 G × 回線単体で導入



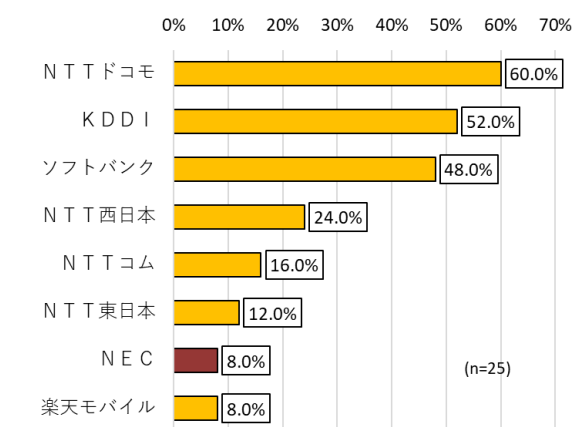
● F T T H × SLセット



● 4 G L T E × SLセット



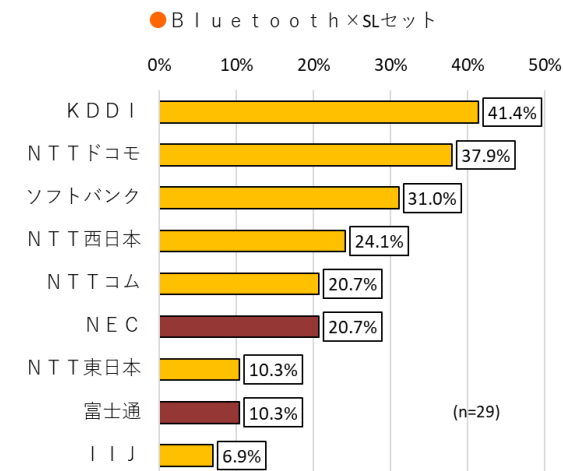
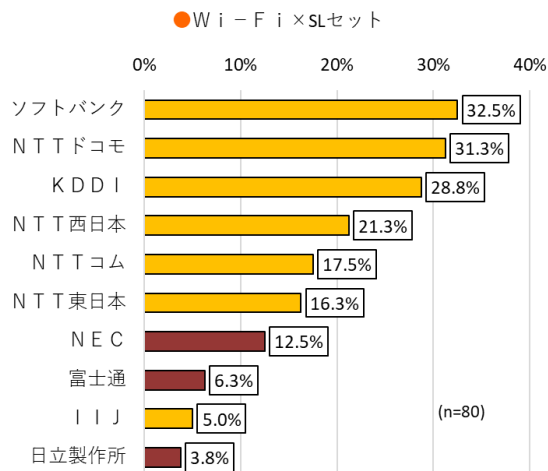
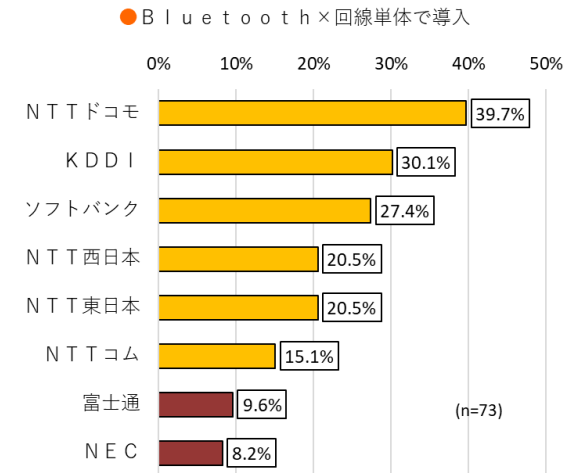
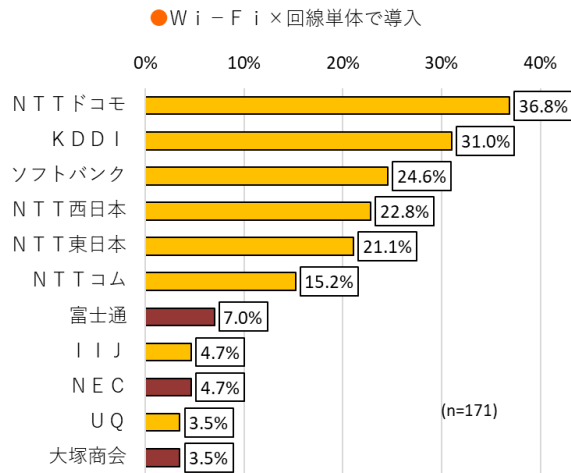
● 5 G × SLセット



※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲で掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

- IoT機器接続用途のネットワーク回線の調達先候補となるベンダーは、以下のいずれの回線および調達方法においても上位に国内電気通信事業者が挙げられた。SIerではNECや富士通などが事業者として挙げられている。

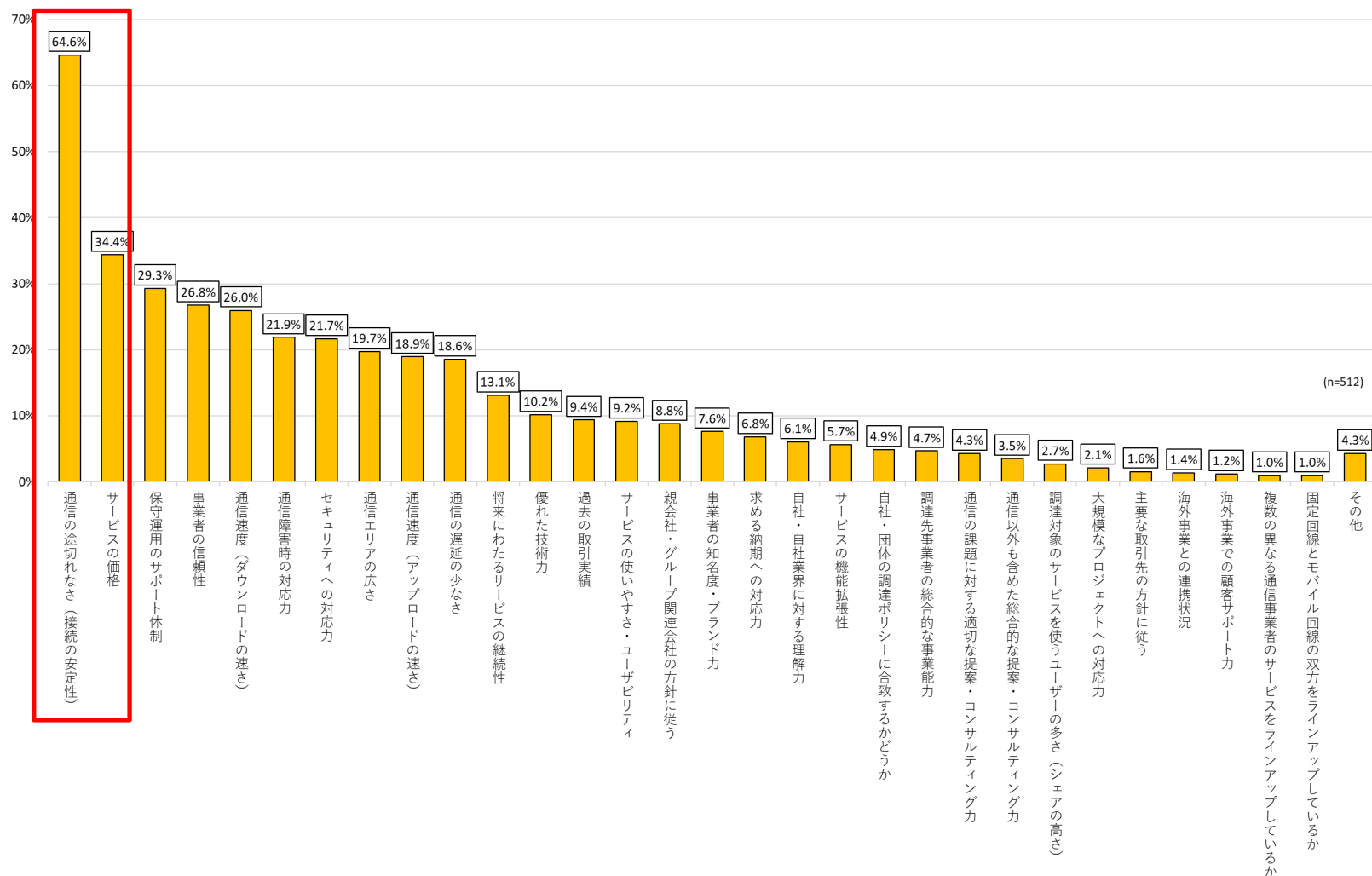
(複数回答、用途別の利用状況においてn=30以上の回線を対象に掲載、各グラフn=30未満は参考値)



※各グラフは概ね上位10事業者を掲載するが、同率の事業者が続く場合は10事業者を超えない範囲で掲載している。なお、通信サービスを主なビジネスとする事業者を黄色にしている。

- IoT機器接続用途において、調達先候補を選定する際の重視点は、「通信の途切れなさ(接続の安定性)」が64.6%でトップ。次いで「サービスの価格」が3割超となった。

(複数回答)



- | | | 順位 | 該当数 | 実際の調査先 | | | | | | | | |
|------|--------------------|-------------|-----|--------|--------|--------|------|---------------|--------|------|----------------|------|
| | | | | NTTドコモ | ソフトバンク | NTT西日本 | KDDI | NTTコミュニケーションズ | NTT東日本 | NEC | インターネットイニシアティブ | 富士通 |
| 調査先 | NTTドコモ | 1位 | 21 | 47.6 | 19.0 | 9.5 | 19.0 | 4.8 | 4.8 | 4.8 | 4.8 | 0.0 |
| | ソフトバンク | 2位 | 20 | 15.0 | 50.0 | 5.0 | 25.0 | 0.0 | 5.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 相談相手 | NTT西日本 | 3位 | 15 | 13.3 | 6.7 | 60.0 | 13.3 | 6.7 | 13.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | KDDI | (n=30以上の場合) | 15 | 26.7 | 33.3 | 13.3 | 60.0 | 0.0 | 13.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | NTTコミュニケーションズ | | 13 | 7.7 | 7.7 | 7.7 | 7.7 | 53.8 | 7.7 | 7.7 | 0.0 | 0.0 |
| | NTT東日本 | | 12 | 8.3 | 8.3 | 16.7 | 16.7 | 16.7 | 41.7 | 8.3 | 0.0 | 0.0 |
| | NEC | | 9 | 11.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 11.1 | 0.0 | 44.4 | 11.1 | 11.1 |
| | インターネットイニシアティブ(IJ) | | 4 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 50.0 | 50.0 | 0.0 |
| | 富士通 | | 4 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 25.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 50.0 |

參考資料

利用者アンケート(移動系・固定系)について

- 市場動向の分析として定点的に観測する指標のうち、事業者のサービス間の代替性に関する指標を補完するものとして、利用者アンケートを実施。
- 各事業者のサービスをどの程度代替的と捉えているか、どのようなサービスの利用意向を持っているか等、報告規則に基づく報告内容等では確認できない利用者の認識・利用意向について把握。

アンケート対象者	固定インターネットサービス(FTTH、CATV、ADSL又はSoftBank Air等の固定設置型ワイヤレスルータのいずれか)及び移動系通信の利用者(有効回答数:6,000人※)
実施方法	インターネット調査(民間事業者に委託)
実施期間	第1回調査(移動系通信):令和6年12月27日～令和7年1月8日 第2回調査(固定系通信):令和7年1月16日～同月21日

※6,000人のうち、固定ブロードバンドを利用する者(5,700人)が第1回調査(移動系通信)及び第2回調査(固定系通信)の両方に回答している。
このほか、移動系通信のみを利用し、固定ブロードバンドを利用しない者(300人)が、第1回調査(移動系通信)のみに回答している。

共通設問

- F1 あなたの性別をお答えください。(SA)
- F2 あなたの年齢をお答えください。／歳(NU)
- F3 お住まいの都道府県をお答えください。(PD)
- F4 同居人数をお答えください。(SA)
- F5 居住形態についてお答えください。(SA)
- F6 あなたの職業をお答えください。(SA)
- F7 お勤めの会社(団体など)の業種について、最も当てはまるものをお答えください。(SA)
- F8 あなたの世帯年収について当てはまるものをお選びください。(SA)
- SC1 現在あなたが、インターネット接続する際、利用している接続回線・方法をすべてお答えください。(MA)
- SC2 現在、ご自宅で固定インターネットサービスに加入していますか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- SC3 現在契約している携帯電話事業者・サービスの回線数と携帯電話端末の台数について、当てはまるものをそれぞれ1つお答えください。(MXSA)
- SC4_1 現在利用契約中の携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(勤務先等が契約し、あなたに支給されている場合は除きます。以下の問いでも同じ。)複数のサービスを契約している場合は、メインで利用しているサービスの契約状況について回答してください。(SA)
- SC4_2 現在利用契約中の携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(勤務先等が契約し、あなたに支給されている場合は除きます。以下の問いでも同じ。)サブ(2回線目)として利用しているサービスの契約状況について回答してください。(SA)
- SC5 あなたがインターネット接続して利用する用途・サービスについてお聞きます。それぞれ、ご自宅／外出先(オフィス・学校・移動時など)でのご利用状況について、当てはまるものをお答えください。(MXSA)
- SC6 あなたがインターネット接続を利用している1日の平均時間についてお聞きます。ご自宅／外出先(オフィス・学校・移動時など)での利用時間について、当てはまるものをお答えください。(MXSA)
- SC7 インターネット接続方法ごとの、自宅・外出先利用について、当てはまるものをお答えください。(MXSA)

移動系通信

- IQ1_1 現在メインとして利用している携帯電話事業者・サービスのプランについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ1_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話事業者・サービスのプランについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ2 複数の携帯電話事業者・サービスを契約している理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MXMA/SA)
- IQ3_1 現在メインで利用している携帯電話事業者を契約した時期はいつですか。(SA)
- IQ3_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話事業者を契約した時期はいつですか。(SA)
- IQ4_1 以前メインとして利用されていた携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ4_2 以前サブ(2回線目)として利用されていた携帯電話事業者・サービスについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ5_1 以前メインとして利用していた携帯電話事業者・サービスのプランについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ5_2 以前サブ(2回線目)として利用していた携帯電話事業者・サービスのプランについて当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ6 以前利用していた携帯電話事業者・サービスから現在契約している携帯電話事業者・サービスへの変更方法について当てはまるものを1つお答えください。(MXSA)
- IQ7_1 現在メインで利用している携帯電話サービスの契約に際し、現在メインとして利用中のサービス以外に比較・検討した携帯電話サービスについて当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ7_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスの契約に際し、現在サブとして利用中のサービス以外に比較・検討した携帯電話サービスについて当てはまるものをすべてお答えください。(MA)

移動系通信(続き)

- IQ8_1 現在メインで利用している携帯電話サービスは、どのような方法で契約しましたか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ8_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスは、どのような方法で契約しましたか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ9_1 あなたがメインで利用している携帯電話サービスの1か月あたりの利用料(基本料金、端末の割賦支払い及びオプション料金を含む総支払額。家族分をまとめて支払っている等の場合、あなたがメインで利用している回線についての総支払額をお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ9_2 あなたがサブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスの1か月あたりの利用料(基本料金、端末の割賦支払い及びオプション料金を含む総支払額。家族分をまとめて支払っている等の場合、あなたがサブ(2台目)として利用している回線についての総支払額をお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ10_1 現在メインで利用している携帯電話サービスを提供する事業者から、携帯電話サービスとのセットで他のサービスの提供を受けていますか。セットで提供を受けているサービスをすべてお答えください。(MA)
- IQ10_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスを提供する事業者から、携帯電話サービスとのセットで他のサービスの提供を受けていますか。セットで提供を受けているサービスをすべてお答えください。(MA)
- IQ11_1 現在メインで利用中の携帯電話サービスとセットで提供を受けているサービスの利用を開始した時期について、当てはまるものをお選びください。(MXSA)
- IQ11_2 現在サブ(2回線目)として利用中の携帯電話サービスとセットで提供を受けているサービスの利用を開始した時期について、当てはまるものをお選びください。(MXSA)
- IQ12_1 メインとして利用中の携帯電話サービスを契約する際に【IQ10_1で回答したサービス】をセットで契約できることが影響しましたか。(MXSA)
- IQ12_2 サブ(2回線目)として利用中の携帯電話サービスを契約する際に【IQ10_2で回答したサービス】をセットで契約できることが影響しましたか。(MXSA)
- IQ13_1 メインとして利用中の携帯電話サービスを継続している(他サービスに変更しない)理由として、【IQ10_1で回答したサービス】をセットで契約していることが影響していますか。(MXSA)
- IQ13_2 サブ(2回線目)として利用中の携帯電話サービスを継続している(他サービスに変更しない)理由として、【IQ10_2で回答したサービス】をセットで契約していることが影響していますか。(MXSA)
- IQ14 携帯電話サービスと固定インターネットとのセット割を現在利用している場合、仮にそのセット割がなくなったとして、携帯電話サービスと固定インターネットサービスの事業者を変更しますか。(SA)
- IQ15 携帯電話サービスと固定インターネットサービスとのセット割を現在利用していない場合、セット割を利用していない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MXMA/SA)
- IQ16 携帯電話サービスと固定インターネットサービスとの用途を使い分けしていますか。各項目について、携帯電話サービスを通じて主に利用しているか、固定インターネットサービスを通じて主に利用しているか、そもそも利用等をしていないか、それぞれお答えください。(MXSA)
- IQ17_1 あなたがメインで利用している事業者(サービス)について、その選択理由として当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MXMA/SA)
- IQ17_2 あなたがサブ(2回線目)として利用している事業者(サービス)について、その選択理由として当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MXSA/MA)
- IQ18_1 現在メインで利用している携帯電話事業者(サービス)を選択した際に、以下の点をどの程度重視しましたか。(MXSA)
- IQ18_2 現在サブ(2回線目)として利用している携帯電話事業者(サービス)を選択した際に、以下の点をどの程度重視しましたか。(MXSA)
- IQ19_1 現在メインで利用している携帯電話端末の購入時期はいつ頃ですか。(SA)
- IQ19_2 現在サブ(2台目)で利用している携帯電話端末の購入時期はいつ頃ですか。(SA)
- IQ20_1 現在メインで利用している携帯電話端末について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ20_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話端末について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ21_1 現在メインで利用している携帯電話端末の機種名について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ21_2 現在サブ(2台目)で利用している携帯電話端末の機種名について当てはまるものをお選びください。(SA)
- IQ22_1 現在メインで利用している携帯電話端末の購入金額(割賦支払いの場合は合計した総支払額)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ22_2 現在サブ(2台目)として利用している携帯電話端末の購入金額(割賦支払いの場合は合計した総支払額)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ23 次のポイントのうち、利用しているものすべてと、日常的に最も多くポイントを取得しているポイント(カード)を1つお答えください。(MXMA/SA)

移動系通信(続き)

- IQ24 下記を利用している理由として、当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ25 下記のポイントで、携帯電話サービスの契約者特典として得ているポイント(金融・決済サービスやECサイトの利用、公共料金の支払い等により追加進呈されたポイント)について、1カ月で得ている平均ポイントをお答えください。(MXSA)
- IQ26 次のECサイトのうち、利用しているものすべてと、最も利用頻度の高いECサイトを1つお答えください。(MXMA/SA)
- IQ27 下記を利用している理由として、当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ28 携帯電話(端末)を活用した以下の決済サービスを利用していますか。利用しているものすべてと、最もよく利用する決済サービスを1つお答えください。(MXMA/SA)
- IQ29 下記を利用している理由として、当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ30 次のクレジットカードのうち、所有しているものすべてと、利用頻度の高いクレジットカードを1つお答えください。(提携カードも含む。)(MXMA/SA)
- IQ31 下記を利用している理由として、当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ32 次の銀行口座のうち、開設しているものすべてと、利用頻度の高い銀行口座を1つお答えください。(MXMA/SA)
- IQ33 下記を利用している理由として、当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ34 次の証券会社のうち、開設しているものすべてと、利用頻度の高い証券会社を1つお答えください。(MXMA/SA)
- IQ35 下記を利用している理由として、当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ36 次の生命保険サービスのうち、加入しているものすべてと、主軸としている保険サービスを1つお答えください。(MXMA/SA)
- IQ37 下記を利用している理由として、当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ38 次の電気サービスのうち、利用している電気サービスを1つお答えください。(SA)
- IQ39 【IQ38回答表示】を利用している理由として、当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ40 次のガスサービスのうち、利用しているガスサービスを1つお答えください。(SA)
- IQ41 【IQ40回答表示】を利用している理由として、当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ42 各サービスは、現在メインとして利用している携帯電話サービスを利用開始する前から利用していましたか。(MXSA)
- IQ43 各サービスを利用していることが、現在メインとして利用している携帯電話サービスを契約したことに影響がありますか。(MXSA)
- IQ44 【IQ23_1 回答表示】と現在メインとして利用している携帯電話サービスとの連携が仮に利用できなくなった場合、携帯電話サービスの利用を継続しますか。(MXSA)
- IQ45 現在メインとして利用している各サービスが仮に利用できなくなった場合、携帯電話サービスの利用を継続しますか。(MXSA)
- IQ46 現在メインとして利用している携帯電話サービスと同一の会社が提供・連携する他サービスを複数利用していることが、現在利用している携帯電話サービスを契約したことに影響がありますか。また、現在利用している携帯電話サービスを継続していることに影響がありますか。それぞれお答えください。(MXSA)
- IQ47 携帯電話回線の現在の利用状況について、感じていることをそれぞれ一番近いものをお選びください。(MXSA)
- IQ48 携帯電話回線の通信の途切れにくさを不満とを感じる場所・利用シーンについて、当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- IQ49 5Gサービスの提供に関して、現在利用中の携帯電話サービスの事業者へ期待することをすべてお答えください。(MA)
- IQ50 現在メインで利用している携帯電話の通話プランについてお答えください。(SA)
- IQ51 アプリケーションの無料通話等、音声通話アプリケーションについてお聞きます。以下のうち、現在利用している音声通話アプリケーションをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの利用時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MXSA)
- IQ52 【IQ51回答表示】と、携帯電話の音声通話サービスの使い方について、それぞれ当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ53 【IQ51回答表示】と、携帯電話の音声通話サービスを利用する理由について、それぞれ当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ54 携帯電話サービスの音声通話サービスのみに対する月額支払料金をお答えください。(基本料やデータ通信料、コンテンツへの支払い金額などを除く)(SA)
- IQ55 仮に、利用中の携帯電話サービスの音声通話サービスの定額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の携帯電話サービスの音声通話サービス・音声通話アプリケーションの利用方法について、当てはまるものをお答えください。(SA)

移動系通信(続き)

- IQ56 メッセンジャーアプリについてお聞きます。以下のうち、現在、利用しているメッセンジャーアプリをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの利用時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MXSA)
- IQ57 【IQ56で回答のメッセンジャーアプリ】と、携帯電話サービスにおけるメール(キャリアメール・ショートメッセージ(SMS)・フリーメール)の使い方について、それぞれ当てはまるものをすべてお答えください。(MXMA)
- IQ58 SNSサービスの利用についてお聞きます。以下のうち、現在、利用しているSNSサービスをすべてお答えください。またそれぞれ1週間あたりの利用時間はどの程度ですか。各サービスについて、当てはまるものをお答えください。(MXSA)
- IQ59_1 あなたがメインで利用している携帯電話サービスの1か月あたりのデータ通信量(Wi-Fi接続は含まず、携帯電話回線のデータ通信のみについてお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ59_2 あなたがサブ(2回線目)として利用している携帯電話サービスの1か月あたりのデータ通信量(Wi-Fi接続は含まず、携帯電話回線のデータ通信のみについてお答えください。)はどの程度ですか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- IQ60_1 仮にあなたが現在メインで利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合、どの事業者のサービスに変更しますか。(SA)
- IQ60_2 仮にあなたがサブ(2回線目)として利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合、どの事業者のサービスに変更しますか。(SA)
- IQ61 メインで利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合の変更先として【IQ60_1の事業者】を回答として選んだ理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ62 サブ(2回線目)として利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合の変更先として【IQ60_2の事業者】を回答として選んだ理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ63 メインで利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合の変更先として回答した【IQ60_1の事業者】に現時点で切り替えない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)
- IQ64 サブ(2回線目)として利用している携帯電話事業者のサービスが利用できなくなった場合の変更先として回答した【IQ60_2の事業者】に現時点で切り替えない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MA/SA)

固定系通信

- KQ1 現在、ご自宅で利用している固定インターネットサービスとして当てはまるものを1つお答えください。ISP(インターネットサービスプロバイダー)ではなく、固定インターネットの回線をお答えください。(SA)
- KQ2 現在、ご自宅で利用している固定インターネットサービスのISP(インターネット サービス プロバイダー)として当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ3 現在利用中のプラン速度をお答えください。(SA)
- KQ4 現在ご回答いただいている端末をご自宅の固定インターネットに接続し、下記サイトにアクセスしてください。下記サイトで計測した結果のインターネット速度をご記載ください。(SA/FA)
- KQ5 現在利用している固定インターネット回線が繋がりにくい、または速度が遅いと感じる時はありますか。当てはまる時間帯をすべてお答えください。(MA)
- KQ6 現在利用している固定インターネット回線の満足している点と不満に感じている点をそれぞれ3つまでお答えください。(MXSA)
- KQ7 現在利用している固定インターネット回線を提供している事業者のサービスを契約した時期はいつですか。当てはまるものをお選びください。(SA)
- KQ8 5Gサービスの提供に関して、現在利用中の固定インターネットサービスの事業者へ期待することをすべてお答えください。(MA)
- KQ9 現在利用中の固定インターネット回線を提供する事業者から、固定インターネットとのセットで他のサービスの提供を受けていますか。セットで提供を受けているサービスをすべてお答えください。(MA)
- KQ10 現在利用中の固定インターネット回線とセットで提供を受けているサービスの利用を開始した時期について当てはまるものをお選びください。(MXSA)
- KQ11 利用中の固定インターネット回線を契約する際に以下のサービスをセットで契約できることが影響しましたか。(MXSA)
- KQ12 利用中の固定インターネット回線を解約しない(他サービスに変更しない)理由として、以下のサービスをセットで契約していることが影響していますか。(MXSA)

固定系通信(続き)

- KQ13 現在利用している固定インターネット回線を提供している事業者と契約した際のことについてお伺いします。あなたが現在利用している固定インターネット回線(事業者)を選択した理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MXMA/SA)
- KQ14 前問で回答いただいた、固定インターネット契約時の理由についてお聞きます。最も重視した理由のメリットがなかった場合、現在ご利用の固定インターネットを契約しましたか。最も当てはまるものをお答え下さい。(MXSA)
- KQ15 現在利用している固定インターネット回線(事業者)以外に比較・検討したサービス(事業者)について当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- KQ16 現在お使いの固定インターネットサービスの月額利用料(税込)について、当てはまるものをお選びください。(SA)
- KQ17 仮に、現在利用中の事業者の固定インターネット回線が利用できなくなった場合、他のどの事業者(サービス)を利用したいと考えますか。ISP(インターネットサービスプロバイダー)ではなく、固定インターネットの回線をお答えください。(SA)
- KQ18 前問を回答として選んだ理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MXMA/SA)
- KQ19 KQ17で選択した回答に現時点において切り替えない理由について当てはまるものをすべてお答えください。また、最も当てはまるものを1つお答えください。(MXMA/SA)
- KQ20 これまで、固定インターネット回線、または事業者を変更したことがありますか。また、変更したことがある場合は、現在の固定インターネット回線、事業者をお使いになる直前に、どの固定インターネット回線、事業者を利用していましたか。当てはまるものを1つお答えください。ISP(インターネットサービスプロバイダー)ではなく、固定インターネットの回線をお答えください。(SA)
- KQ21 以前、ご自宅で利用されていた固定インターネットサービスのISP(インターネット サービス プロバイダー)として当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ22 お答えいただいた直近の事業者の変更は、どのような理由によるものですか。最も当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ23 仮に、利用中の固定インターネットサービスを含む全てのFTTHサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約について、当てはまるものをお答えください。(SA)
- KQ24 仮に、利用中のHOME Wi-Fiサービス含む全てのHOME Wi-Fiサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約について、当てはまるものをお答えください。(SA)
- KQ25 現在、ご自宅で契約している固定電話サービス(「050」から始まる番号を利用するIP電話(固定電話器を用いて通話するもの)を含みます。)のうち、当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ26 ご自宅で現在契約中の固定電話を利用する理由は何ですか。当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- KQ27 ご自宅で現在契約中の固定電話を契約した際に重視した点は何ですか。当てはまるものをすべてお答えください。(MA)
- KQ28 仮に、現在ご自宅で契約している固定電話サービス(「050」から始まる番号を利用するIP電話(固定電話器を用いて通話するもの)を含みます。)が利用できなくなった場合、他のどのサービスを利用したいと思いますか。当てはまるものを1つお答えください。(SA)
- KQ29 仮に、利用中の固定電話サービス含む全ての固定電話の料金(月額基本料+通話料)が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の音声通話の利用方法について、当てはまるものをお答え下さい。(SA)

法人等利用者アンケートについて

- 市場動向の分析として定点的に観測する指標のうち、法人向けサービスをめぐる政策対応を検討する際の前提として、法人サービスの実態把握に関するアンケートを実施。
- 各民間企業・自治体のICT投資額、サービス利用状況、ネットワーク回線種別・用途、法人向けサービス利用状況などについて把握する。

アンケート対象者	従業員数300人以上の民間企業:9,432社 都道府県＋東京都特別区＋政令指定都市＋人口10万人以上の自治体(市):328団体 (有効回答数:民間企業社1,091社、自治体:87団体)
実施方法	インターネット調査(民間事業者に委託)
実施期間	令和6年12月13日～令和7年1月17日

Q1	貴社・団体の所在地をご回答ください。
Q2	貴社・団体の直近事業年度末における従業員数または職員数をご回答ください。
Q3-1	貴社における直近事業年度の年間売上高をご回答ください。
Q3-2	貴団体の区分について、あてはまるものをご回答ください。
Q4-1	貴社における直近事業年度の年間営業利益をご回答ください。
Q4-2	貴団体の人口について、あてはまるものをご回答ください。※2024年12月1日時点の住民基本台帳ベースでお答えください。
Q5	貴社における直近事業年度末における資本金をご回答ください。
Q6	貴社の業種をご回答ください。
Q7	拠点間通信、インターネット利用、IoT機器接続、音声通話利用の各用途において、貴社・団体で利用されているネットワーク回線の種類をそれぞれご回答ください(いくつでも)。
Q8	貴社・団体で利用しているワイヤレス固定ブロードバンドサービスをご回答ください(いくつでも)。
Q9	貴社・団体で利用されているネットワーク回線について、そのネットワークを選定した理由を用途ごとにご回答ください(いくつでも)。
Q10	貴社・団体において利用している音声通話サービスをご回答ください(いくつでも)。
Q11	音声通話サービスを選択する際に重視する点をご回答ください(いくつでも)。
Q12	複数のサービス利用時の使い分け用途について、あてはまるものを全てご回答ください(いくつでも)。
Q13	仮に、利用中の携帯電話サービスを含む全ての携帯電話サービスの料金(月額基本料＋通話料)が今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の携帯電話サービスの音声通話の利用方法について、あてはまるものをお答えください(ひとつだけ)。
Q14	仮に、利用中の固定電話サービスを含む全ての固定電話サービスの料金(月額基本料＋通話料)が今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定電話サービスの音声通話の利用方法について、あてはまるものをご回答ください(ひとつだけ)。
Q15	<設問文がQ7の回答により異なります> [パターン① Q7で「ワイヤレス固定ブロードバンド」を選択] 現在利用しているワイヤレス固定ブロードバンドサービスを選択した際に重視した点をすべてご回答ください(いくつでも)。 そのうち、最も重視した点をご回答ください(ひとつだけ)。 [パターン② Q7で「FTTH」を選択] (「ワイヤレス固定ブロードバンド」も選択している場合は、パターン①に回答してください) 現在利用しているFTTHサービスを選択した際に重視した点をすべてご回答ください(いくつでも)。 そのうち、最も重視した点をご回答ください(ひとつだけ)。
Q16	<設問文がQ7の回答により異なります> [パターン① Q7で「ワイヤレス固定ブロードバンド」を選択] 前問で回答いただいた、ワイヤレス固定ブロードバンドサービス選択時に最も重視した点についてお聞きます。最も重視したメリットがなかった場合、現在ご利用のワイヤレス固定ブロードバンドサービスを契約しましたか。最もあてはまるものをご回答ください(ひとつだけ)。 [パターン② Q7で「FTTH」を選択] (「ワイヤレス固定ブロードバンド」も選択している場合はパターン①に回答してください) 前問で回答いただいた、FTTHサービス選択時に最も重視した点についてお聞きます。最も重視したメリットがなかった場合、現在ご利用のFTTHサービスを契約しましたか。最もあてはまるものをご回答ください(ひとつだけ)。
Q17	仮に利用中のFTTHサービスを含む全てのFTTHサービスの月額料金が、今後10%値上がりすると仮定した場合、今後の固定インターネットサービスの契約について、あてはまるものをご回答ください(ひとつだけ)。
Q18	仮に利用中のワイヤレス固定ブロードバンドサービスを含む全てのワイヤレス固定ブロードバンドサービスの月額料金が今後10%値上がりする場合、契約の方針として最もあてはまるものをご回答ください(ひとつだけ)。
Q19	現在貴社・団体が利用しているパブリッククラウド(IaaS/PaaS)の名称をご回答ください(いくつでも)。
Q20	現在、拠点間通信で利用するオンプレミスシステムと通信事業者が提供するWANサービスを合わせた運用費用が今後10%値上がりすると仮定した場合、今後のシステムや通信の利用方法について、あてはまるものをご回答ください(ひとつだけ)。
Q21	前問で、クラウド移行に際して「WANサービスをインターネットに切り替える」または「WANサービスとインターネット併用する」とご回答した方へお尋ねします。クラウドサービス移行に伴って、通信事業者のWANサービスの全部または一部をインターネット利用へ切り替えた理由や目的をご回答ください(いくつでも)。
Q22	「WANを継続利用する」と回答した方にお尋ねします。WANを継続利用する理由や目的をご回答ください(いくつでも)。

Q23	現在、 拠点間通信 の用途で利用しているネットワーク回線について、貴社・団体の調達方法としてあてはまるものをお答えください。
Q24	現在、 インターネット利用 の用途で利用しているネットワーク回線について、貴社・団体の調達方法としてあてはまるものをお答えください。
Q25	現在、 IoT機器接続 の用途で利用しているネットワーク回線について、貴社・団体の調達方法としてあてはまるものをお答えください。
Q26	現在、 音声通話利用 の用途で利用しているネットワーク回線について、貴社・団体の調達方法としてあてはまるものをお答えください。
Q27	各用途において「ネットワーク回線をソリューションとセットで導入している」と回答した方にお伺いします。 ソリューションの導入案件数は過去1年間(2023年12月～2024年11月)でどの程度であったかお答えください。
Q28	各用途について、過去1年間(2023年12月～2024年11月)におけるネットワーク回線の新規契約数(切り替え含む)であてはまるものをご回答ください。
Q29	拠点間通信 用途において、ネットワーク回線の調達先事業者候補としてあてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q30	拠点間通信 用途において、ネットワーク・回線の調達先候補として社名が挙がった 具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q31	拠点間通信 用途において、ネットワーク・回線を調達する際、 相談相手 として打合せや見積取得などを行った事業者として、あてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q32	拠点間通信 用途において、ネットワーク・回線を調達する際、 相談相手 として打合せや見積取得などを行った 具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q33	拠点間通信 用途において、ネットワーク回線の調達先事業者候補のうち、過去1年間(2023年12月～2024年11月)に 実際に調達した事業者 としてあてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q34	拠点間通信 用途において、ネットワーク・回線を過去1年間(2023年12月～2024年11月)に 実際に調達した具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q35	インターネット利用 用途において、ネットワーク回線の調達先事業者候補としてあてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q36	インターネット利用 用途において、ネットワーク・回線の調達先候補として社名が挙がった 具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q37	インターネット利用 用途において、ネットワーク・回線を調達する際、 相談相手 として打合せや見積取得などを行った事業者として、あてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q38	インターネット利用 用途において、ネットワーク・回線を調達する際、 相談相手 として打合せや見積取得などを行った 具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q39	インターネット利用 用途において、ネットワーク回線の調達先事業者候補のうち、過去1年間(2023年12月～2024年11月)に 実際に調達した事業者 としてあてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q40	インターネット利用 用途において、ネットワーク・回線を過去1年間(2023年12月～2024年11月)に 実際に調達した具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q41	IoT機器接続 用途において、ネットワーク回線の調達先事業者候補としてあてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q42	IoT機器接続 用途において、ネットワーク・回線の調達先候補として社名が挙がった 具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q43	IoT機器接続 用途において、ネットワーク・回線を調達する際、 相談相手 として打合せや見積取得などを行った事業者として、あてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q44	IoT機器接続 用途において、ネットワーク・回線を調達する際、 相談相手 として打合せや見積取得などを行った 具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q45	IoT機器接続 用途において、ネットワーク回線の調達先事業者候補のうち、過去1年間(2023年12月～2024年11月)に 実際に調達した事業者 としてあてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q46	IoT機器接続 用途において、ネットワーク・回線を過去1年間(2023年12月～2024年11月)に 実際に調達した具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q47	音声通話利用 用途において、ネットワーク回線の調達先事業者候補としてあてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q48	音声通話利用 用途において、ネットワーク・回線の調達先候補として社名が挙がった 具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q49	音声通話利用 用途において、ネットワーク・回線を調達する際、 相談相手 として打合せや見積取得などを行った事業者として、あてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q50	音声通話利用 用途において、ネットワーク・回線を調達する際、 相談相手 として打合せや見積取得などを行った 具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q51	音声通話利用 用途において、ネットワーク回線の調達先事業者候補のうち、過去1年間(2023年12月～2024年11月)に 実際に調達した事業者 としてあてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q52	音声通話利用 用途において、ネットワーク・回線を過去1年間(2023年12月～2024年11月)に 実際に調達した具体的な事業者名 をご回答ください(いくつでも)。
Q53	拠点間通信、インターネット利用、IoT機器接続、音声通話利用の各用途において、ネットワーク回線の調達先を決定する際に重視する点をご回答ください(いくつでも)。
Q54	5Gサービスを利用して、4Gサービスとの違いを実感していますか。お気持ちに近いものをお選びください(ひとつだけ)。
Q55	5Gサービス(モバイル)を利用して、4Gサービスと比較して違いを実感した内容について、その程度をご回答ください。
Q56	5Gサービス(モバイル)が「つながりにくい」と感じる場所をご回答ください(いくつでも)。
Q57	ネットワーク回線サービスのうち、5Gまたはローカル5Gを利用していると回答した方にお伺いします。 5Gまたはローカル5Gについて、通信事業者(ローカル5G支援事業者含む)に期待する点について、あてはまるものをご回答ください(いくつでも)。
Q58	最後に貴社・団体名、ご担当部署名等をお書きください。

事業者アンケートについて

- 市場動向の分析の一環として、電気通信事業者等に対するアンケートを実施した。

実施方法	総務省において実施（一部民間事業者に委託）
実施期間	令和7年2月5日～令和7年3月19日

アンケート対象者

【電気通信事業分野における市場動向の分析関係】

アンケート項目	内訳
○移動系通信	合計58者:MNO 事業者(7者)、SIM カード型契約数が5万以上のMVNO 事業者(35者※)、その他(17者) ※MNOと重複あり(1者)
○固定系データ通信	合計126者:自己設置又は接続の契約数10 万以上の事業者(31者)、回線の卸提供を受ける契約数が3万以上の事業者(27者)、ワイヤレス固定BBの提供事業者(67者)、その他(1 者)
○固定系音声通信	合計75者:固定電話提供事業者(6者)、IP電話の提供事業者(15者)、電話転送役務の提供事業者(54者)
○法人向けサービス	上記対象者(移動:58者、固定データ:126者)、Sler/ベンダー(24者)及びWANサービス/クラウドサービス提供事業者(7者)、その他(2者)
○(法人向けサービスのうち)ローカル5G	上記対象者(移動:58者、固定データ:126者)、Sler/ベンダー(24者)、WANサービス/クラウドサービス提供事業者(7者)、その他(35者)
○研究開発	NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイル

【電気通信事業者の業務の適正性等の確認関係】

アンケート項目	内訳
○規制対象事業者	NTT東西、NTTドコモ
○その他の事業者	上記3者以外のアンケート対象者(移動:55者、固定データ:123者、固定音声:72者、Sler/ベンダー:24者、WAサービス/クラウドサービス提供事業者:7者、その他:35者)
○電柱	合計39者

1. 全事業者

- 1) それぞれの市場における競争状況に関して、最近(直近1～2年程度)変化
- 2) それぞれの市場における公正な競争を確保する上で課題と考えていること

2-1. 移動(セット割)

- 1) セット割引提供状況
- 2) 移動系通信と固定系通信のセット割引の内容
- 3) 利用者の解約率(%)
- 4) 解約率の傾向

2-2. 移動(IoT M2M向け)

- 1) 移動(IoT M2M向け)サービス提供有無
- 2) 料金プラン
- 3) IoT/M2M向けサービスの料金や内容の変更内容
- 4) 各種条件による通信料金の割引内容
- 5) IoT/M2M向けサービス向けに提供している通信規格と他に代替可能な通信規格と理由

2-3. 移動(ローミング)

- 1) 6ヶ月を超えて日本国内で同一ユーザが利用し続ける前提でのローミング回線の提供有無
- 2) 国内ローミングと国際ローミングインそれぞれの方式別サービス提供状況
- 3) 前問で国際ローミングインによるサービス「その他」の詳細
- 4) 提供中のローミングサービスの①サービス概要、②メイン回線、③メイン回線の提供元事業者、④ローミング先事業者
- 5) 契約数の大まかな規模
- 6) 電気通信事業報告規則に基づくMVNOサービス契約数の四半期報告(様式15の3)の契約数に含めているか
- 7) 大まかな契約数について、正確な契約数を特定することは可能か
- 8) 特定できる場合、正確な契約数を特定するのに必要な作業や作業時間

3. 固定系ブロードバンド

- 1) 固定系ブロードバンドサービスの提供有無
- 2) ワイヤレス固定ブロードバンドアクセスサービスの利用者・顧客ターゲット
- 3) 固定系ブロードバンド市場における公正な競争を確保する上での課題

4. 音声通話

- 1) 提供している主要な音声通話サービスについて
- 2) 携帯電話の音声通話サービスの加入数
- 3) 固定電話・携帯電話・OTTサービス(音声アプリケーション等)間の代替性に係る認識について
- 4) 固定電話網のIP網移行に伴う、固定電話の利用状況の変化に係る認識
- 5) 音声通信市場における公正な競争を確保する上での課題

5. 法人向けサービス

- 1) 法人向けサービスの提供有無
- 2) 提供サービスの内容、提供形態
- 3) 「オンプレミスシステム+通信事業者WANサービス」と「パブリッククラウド上のシステム+クラウドまでのアクセス回線(主にインターネット等)」についてそれぞれの利用者、又は顧客ターゲットの違い

6. ローカル5G

- 1) ローカル5G事業におけるNTT東西、NTTドコモ、NTTコミュニケーションズの間の連携状況
- 2) ローカル5G事業におけるMNOとローカル5G事業者の連携状況や、全国BWA事業者と地域BWA事業者(ローカル5Gの免許人に限る)との連携状況
- 3) ローカル5G市場における公正な競争を確保するうえでの課題

7.研究開発

- 1) 研究開発の概要について、令和6年度の市場検証会議での説明内容からの変更点
- 2) 共同研究開発の現状や異業種連携の現状について、令和6年度の市場検証会議での説明内容からの変更点
- 3) NTT持株における基礎研究とNTTドコモ等の行う応用研究との関係について令和6年度の市場検証会議での説明内容からの変更点
- 4) NTT持株における基礎研究に係る各社の拠出額の直近の数値

8.電柱の貸与状況

- 1) 2024年3月末時点の電柱全保有数
- 2) 2024年3月末時点の電柱の合計貸与数
- 3) 2023年4月1日～2024年3月末までの電柱の調査申請状況
- 4) 2023年4月1日～2024年3月末までの電柱の使用申請状況
- 5) 「電気通信事業分野における競争の促進に関する指針」に記載の貸与申込手続等に関する標準実施要領の公表状況
- 6) 「電気通信事業分野における競争の促進に関する指針」に記載の貸与申込手続等に関する標準実施要領を公表しているURL
- 7) 「電気通信事業分野における競争の促進に関する指針」に記載の貸与申込手続等に関する標準実施要領を公表していない理由
- 8) 電柱を新設した後、実際にいつ使用可能となるかの平均期間
- 9) 電柱貸与に関する公表状況
- 10) 電柱を貸与しなかった事由別の内訳件数
- 11) 電柱を貸与しなかった事由の具体例
- 12) 電柱の貸与部門と他部門・自己の関係事業者との間において、どのような情報遮断措置を講じているか

9.業務の適正性(固定系通信)

- 1) NTT東西が接続の業務に関して知り得た情報の目的外利用・提供を行っていると思われる具体的な事例
- 2) NTT東西が特定の電気通信事業者に対する不当に優先的な取扱い・利益付与又は不当に不利な取扱い・不利益付与を行っていると思われる具体的な事例
- 3) NTT東西が他の電気通信事業者に対し、電気通信役務以外の業務であって電気通信役務の提供に密接に関連した業務について、NTTドコモ又はNTTコムに比べて不利な取扱いを行っていると思われる具体的な事例
- 4) NTT東西との間で、NTT東西から優先的な取扱い・利益付与又は不利な取扱い・不利益付与を受けることを内容に含む電気通信役務に関する契約又は電気通信役務以外の業務であって電気通信役務の提供に密接に関連した業務に関する契約
- 5) NTT東西との間で、NTT東西に対し優先的な取扱い・利益付与を行うことを内容に含む電気通信役務に関する契約又は電気通信役務以外の業務であって電気通信役務の提供に密接に関連した業務に関する契約
- 6) NTT東西が他の電気通信事業者（電気通信事業法第164条第1項各号に掲げる電気通信事業を営む者を含む。）又は電気通信設備の製造業者若しくは販売業者に対し、その業務について、不当な規律又は干渉をしていると思われる具体的な事例
- 7) NTT東西が貴社に対し、その業務について、不当な規律又は干渉をしていると思われる具体的な事例
- 8) 法人営業に関するNTT東西及びNTTドコモ・NTTコムの間での共同提案活動に関し、禁止行為規制の観点から、不当に優先的な取扱い等の問題が疑われる具体的な事例
- 9) その他禁止行為規制に係る制度上の課題等について
- 10) サービス卸に関して、NTT東西が、サービス卸ガイドラインに掲げる電気通信事業法上問題となり得る行為を行っていると思われる具体的な事例
- 11) サービス卸に関して、事業者変更の提供に係る不当な差別的取扱いが疑われる具体的な事例
- 12) サービス卸を利用したサービスの提供に当たっての課題、サービス卸に関する意見・要望

10.業務の適正性(移動系通信)

- 1) NTTドコモが接続の業務に関して知り得た情報の目的外利用・提供を行っていると思われる具体的な事例
- 2) NTTドコモがNTTドコモの特定関係法人(総務大臣が指定するもの※に限る。)に対する不当に優先的な取扱い・利益付与を行っていると思われる具体的な事例
- 3) NTTドコモとの間で、NTTドコモから優先的な取扱い・利益付与を受けることを内容に含む電気通信役務に関する契約又は電気通信役務以外の業務であって電気通信役務の提供に密接に関連した業務に関する契約
- 4) NTTドコモとの間で、NTTドコモに対し優先的な取扱い・利益付与を行うことを内容に含む電気通信役務に関する契約又は電気通信役務以外の業務であって電気通信役務の提供に密接に関連した業務に関する契約
- 5) NTTドコモが他の電気通信事業者(電気通信事業法第164条第1項各号に掲げる電気通信事業を営む者を含む。)又は電気通信設備の製造業者若しくは販売業者に対し、その業務について、規律をし、又は干渉をしていることにより、不当な競争を引き起こしていると思われる具体的な事例
- 6) NTTドコモが貴社に対し、その業務について、規律又は干渉をしていることにより、不当な競争を引き起こしていると思われる具体的な事例
- 7) 法人営業に関するNTT東西及びNTTドコモ・NTTコムの間での共同提案活動や、NTTドコモ及びNTTコムの間での連携に関し、禁止行為規制の観点から、不当に優先的な取扱い等の問題が疑われる具体的な事例
- 8) その他禁止行為規制に係る制度上の課題

11.業務の適正性(その他)

- 1) NTTドコモ以外のMNOにおけるグループ内事業者への優先的な取扱いや、接続の業務に関し知り得た情報の目的外利用が疑われる事例
- 2) 「日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社及び西日本電信電話株式会社に係る共同調達に関する指針」(令和5年9月)に基づく共同調達への参加を検討したものの参加しなかった場合の理由又は検討したことがない理由
- 3) 上記共同調達の実施にあたり、NTTグループ会社以外の電気通信事業者の参加を促進するよう、NTTにおいて、円滑な参加に必要となる情報の提供が不十分であるという認識である場合の具体的な点
- 4) 上記共同調達について、公正な競争を確保する上で課題と考えていること
- 5-1) NTT東西による県間伝送設備の入札(令和5年10月～令和6年9月)が行われたのを知っていたか
- 5-2) (知っている場合)入札への参加を検討したか
- 5-3) (検討した場合)参加したか
- 5-4) (参加していない場合)入札に参加しなかった理由
- 5-5) (今までに参加を検討したことがない場合)検討をしたことがない理由